

維 持 管 理 年 報

富士北麓流域下水道

峡 東 流 域 下 水 道

釜無川流域下水道

桂 川 流 域 下 水 道

令 和 7 年 度 版



公益財団法人 山梨県下水道公社

目 次

公 社 の 概 要	1
1 公社の概要	2
(1) 名 称	2
(2) 事務所所在地	2
(3) 設立目的	2
(4) 事 業	2
(5) 基本財産（出損金）	2
(6) 評 議 員	3
(7) 役 員	3
(8) 組織及び職員配置	3
(9) 分掌事務	4
2 事業の実施状況	5
(1) 富士北麓、峡東、釜無川及び桂川流域下水道維持管理事業	5
(2) 下水道排水設備工事責任技術者認定登録等の事業	5
(3) 下水道技術の調査研究事業	5
(4) 下水道知識の普及啓発事業	5
(5) 公共下水道水質測定事業	6
(6) 公共下水道維持管理事業	6
流域下水道の維持管理	7
I 流域下水道の概要	7
II 富士北麓流域下水道	11
1 整備状況	12
(1) 全体計画及び現況	12
(2) 施設整備状況	16
① 富士北麓浄化センター	16
② 中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計	27
2 施設運転管理状況	35
(1) 機械設備運転管理状況	35
① 各設備の運転状況等	35
② 未使用機器の保守	36
③ 機器故障状況	36
(2) 電気設備運転管理状況	39
① 電力使用状況	39
② 非常用発電設備運転状況	39
③ 機器故障状況	39
3 水質及び汚泥管理状況	42
(1) 水質管理状況	42
① 水質試験結果	42
② 幹線調査結果	42
③ 反応タンク試験結果及び生物試験結果	42
④ 通日試験結果	42
(2) 汚泥管理状況	42

(3) その他管理状況	43
① 放流河川調査結果	43
② 臭気測定結果	43
Ⅲ 峡東流域下水道	62
1 整備状況	63
(1) 全体計画及び現況	63
(2) 施設整備状況	67
① 峡東浄化センター	67
② 中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計	80
2 施設運転管理状況	93
(1) 機械設備運転管理状況	93
① 各設備の運転状況等	93
② 未使用機器の保守	94
③ 機器故障状況	94
(2) 電気設備運転管理状況	97
① 電力使用状況	97
② 非常用発電設備運転状況	97
③ 機器故障状況	97
3 水質及び汚泥管理状況	100
(1) 水質管理状況	100
① 水質試験結果	100
② 幹線調査結果	100
③ 反応タンク試験結果及び生物試験結果	100
④ 通日試験結果	100
(2) 汚泥管理状況	100
(3) その他管理状況	101
① 放流河川調査結果	101
② 臭気測定結果	101
Ⅳ 釜無川流域下水道	121
1 整備状況	122
(1) 全体計画及び現況	122
(2) 施設整備状況	126
① 釜無川浄化センター	126
② 中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計	137
2 施設運転管理状況	155
(1) 機械設備運転管理状況	155
① 各設備の運転状況等	155
② 未使用機器の保守	156
③ 機器故障状況	156
(2) 電気設備運転管理状況	159
① 電力使用状況	159
② 非常用発電設備運転状況	159
③ 機器故障状況	160

3	水質及び汚泥管理状況	164
(1)	水質管理状況	164
①	水質試験結果	164
②	幹線調査結果	164
③	反応タンク試験結果及び生物試験結果	164
④	通日試験結果	164
(2)	汚泥管理状況	164
(3)	その他管理状況	165
①	放流河川調査結果	165
②	臭気測定結果	165
V	桂川流域下水道	185
1	整備状況	186
(1)	全体計画及び現況	186
(2)	施設整備状況	190
①	桂川清流センター	190
②	中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計	201
2	施設運転管理状況	210
(1)	機械設備運転管理状況	210
①	各設備の運転状況等	210
②	未使用機器の保守	211
③	機器故障状況	211
(2)	電気設備運転管理状況	214
①	電力使用状況	214
②	非常用発電設備運転状況	214
③	機器故障状況	214
3	水質及び汚泥管理状況	217
(1)	水質管理状況	217
①	水質試験結果	217
②	幹線調査結果	217
③	反応タンク試験結果及び生物試験結果	217
④	通日試験結果	217
(2)	汚泥管理状況	217
(3)	その他管理状況	217
①	放流河川調査結果	217
②	臭気測定結果	218
参 考 資 料		237
水質試験等実施要領		238

公 社 の 概 要

1 公社の概要

令和8年3月31日現在の状況について記載する。

(1) 名 称 公益財団法人山梨県下水道公社

(2) 事務所所在地 事務局・峡東浄化センター 笛吹市石和町東油川字北畑417番地
富士北麓浄化センター 富士吉田市下吉田東四丁目26番1号
釜無川浄化センター 南巨摩郡富士川町長澤1790番地
桂川清流センター 大月市梁川町塩瀬800番地

(3) 設立目的

下水道技術の調査研究、下水道知識の普及啓発、下水道施設の管理運営並びに下水道排水設備工事責任技術者の認定等を行い、もって県及び市町村の下水道行政の推進と県民の健康で文化的な生活に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全に資することを目的とする。

(4) 事業

- ①下水道技術の調査研究
- ②下水道知識の普及啓発
- ③流域下水道施設の維持管理事業及び当該事業の関連事業
- ④下水道排水設備工事責任技術者の認定、登録等
- ⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(5) 基本財産（出捐金） 74,000 千円

山 梨 県 37,000 千円

市 町 村 37,000 千円

（内 訳）

○富士北麓流域関連市町村 ○峡 東 流 域 関 連 市 ○釜無川流域関連市町

富士吉田市 1,000 千円 甲 府 市 1,000 千円 韮 崎 市 1,000 千円

忍 野 村 1,000 千円 山 梨 市 2,000 千円 南アルプス市 5,000 千円

山 中 湖 村 1,000 千円 笛 吹 市 6,000 千円 甲 斐 市 3,000 千円

富士河口湖町 3,000 千円 甲 州 市 2,000 千円 中 央 市 2,000 千円

市川三郷町 2,000 千円

富 士 川 町 2,000 千円

昭 和 町 1,000 千円

○桂川流域関連市町

富 士 吉 田 市

都 留 市 1,000 千円

大 月 市 1,000 千円

上 野 原 市 1,000 千円

西 桂 町 1,000 千円

※富士北麓流域と桂川流域の両方に関連する富士吉田市については、富士北麓流域供用開始時に
出捐している。

公社の概要

(6) 評 議 員

役 職 名	常 勤	非 常 勤	計	備 考
評 議 員		7	7	
計		7	7	

(7) 役 員

役 職 名	常 勤	非 常 勤	計	備 考
理 事 長	1		1	
専 務 理 事	1		1	
理 事		5	5	
監 事		2	2	
計	2	7	9	

(8) 組織及び職員配置

評 議 員 会

評 議 員 ————— 7名

理 事 会

理 事 長
専務理事 ————— 1名
理 事 ————— 5名

監 事

監 事 ————— 2名

事 務 局

事務局長（専務理事兼任）
事務局次長
総務グループ
事 務 職 ————— 2名
臨時職員 ————— 1名
業務グループ
化 学 職 ————— 1名
電 気 職 ————— 2名

富士北麓浄化センター

所長
管理グループ
化 学 職 ————— 1名
電 気 職 ————— 1名
機 械 職（桂川機械職1名兼務）
臨時職員 ————— 1名

峡 東 浄 化 セ ン タ ー

所長
管理グループ
化 学 職 ————— 1名
電 気 職 ————— 1名
機 械 職 ————— 1名
臨時職員 ————— 1名

釜無川浄化センター

所長
管理グループ
化 学 職 ————— 1名
電 気 職 ————— 1名
機 械 職 ————— 1名
臨時職員 ————— 1名

桂 川 清 流 セ ン タ ー

所長
管理グループ
化 学 職 ————— 1名
電 気 職 ————— 1名
機 械 職 ————— 1名
臨時職員 ————— 1名

(9) 分掌事務

事務局

総務グループ

- ①下水道知識の普及及び啓発に関すること。
- ②公社運営の企画に関すること。
- ③評議員会及び理事会に関すること。
- ④定款、その他規程等の制定及び改廃に関すること。
- ⑤事業計画及び事業報告に関すること。
- ⑥予算、決算及び経理に関すること。
- ⑦文書及び社印に関すること。
- ⑧職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
- ⑨資産の取得、管理及び処分に関すること。
- ⑩物品の調達、管理及び処分に関すること。
- ⑪業務の受託及び委託に関すること。
- ⑫事務所及び関係機関との連絡調整に関すること。
- ⑬その他、他のグループ及び事務所の所掌に属さない事務に関すること。

業務グループ

- ①下水道技術の調査研究に関すること。
- ②下水道知識の普及及び啓発に関すること。
- ③下水道施設の土木関連業務の実施に関すること。
- ④下水道の水質分析等の受託に関すること。
- ⑤流域関連公共下水道の支援に関すること。
- ⑥下水道排水設備工事責任技術者の認定、登録に関すること。
- ⑦公社業務の企画及び実施に関すること。
- ⑧下水道技術者の養成に関すること。
- ⑨事務所の技術的事項の連絡調整及び支援に関すること。
- ⑩下水処理の統計及び調査資料の作成に関すること。
- ⑪関係機関との技術的事項の連絡調整に関すること。
- ⑫その他、他のグループ及び事務所の所掌に属さない技術的業務に関すること。

事務所（浄化センター、清流センター）

管理グループ

- ①下水道技術の調査研究に関すること。
- ②下水道知識の普及及び啓発に関すること。
- ③処理施設及びポンプ施設の維持管理に関すること。
- ④各種機器の保守、点検及び調整に関すること。
- ⑤汚泥の処分に關すること。
- ⑥管路の維持管理に関すること。
- ⑦施設の小規模補修に関すること。
- ⑧水質及び汚泥の測定、分析等に関すること。
- ⑨委託業務の指導、監督に関すること。
- ⑩庁舎の管理に関すること。
- ⑪下水道台帳に関すること。
- ⑫文書及び社印に関すること。
- ⑬資産の取得、管理及び処分に関すること。
- ⑭物品の調達、管理及び処分に関すること。
- ⑮経理に関すること。
- ⑯下水道技術者の養成に関すること。
- ⑰その他流域下水道施設の維持管理に必要な業務に関すること。

2 事業の実施状況

令和7年度に実施した主な事業は次のとおりである。

(1) 富士北麓、峡東、釜無川及び桂川流域下水道維持管理事業

流域下水道維持管理業務

富士北麓、峡東、釜無川及び桂川流域下水道の維持管理業務を山梨県から受託し実施した。

受託期間 令和7年4月1日から令和10年3月31日

受託内容 ア 富士北麓、峡東、釜無川及び桂川流域下水道に係る施設（関連する施設設備を含む。）の運転操作、保守点検、小規模な補修及び改良

イ 下水流量等の計量計測、水質及び汚泥成分等の分析

ウ 下水及び汚泥等の処理処分

エ 前記の受託業務に付随する業務

令和7年度各流域下水道流入下水流量及び放流水質の状況

	流入下水流量	放流水質/BOD	放流水質/SS
富士北麓流域下水道	8,566,378 m ³ /年	2.8mg/L	1.9mg/L
峡東流域下水道	10,135,107 m ³ /年	2.2mg/L	2.1mg/L
釜無川流域下水道	19,348,239 m ³ /年	2.7mg/L	3.3mg/L
桂川流域下水道	2,643,806 m ³ /年	1.5mg/L	1.9mg/L

(2) 下水道排水設備工事責任技術者認定登録等の事業

下水道の普及促進及び技術者の養成を図るため、下水道排水設備工事責任技術者の認定試験及び更新講習を実施し、認定及び登録並びに登録更新を行った。

更新講習	令和7年6月24～26日、7月18日	受講者	413名
試験講習	令和7年10月21日	受講者	47名
認定試験	令和7年11月18日	受験者	64名
		合格者	20名

(3) 下水道技術の調査研究事業

下水処理を安定的かつ経済的に行うため、調査研究を実施した。

最初沈殿池の使用法に関する調査について

硝化抑制運転の特性を踏まえた滅菌用薬品の低減に関する調査について

釜無川流域市町における硫化水素発生状況の調査について

脱水用高分子凝集剤の選定について

(4) 下水道知識の普及啓発事業

ア) 施設見学者の案内及び説明

年間を通じて浄化センター及び清流センターを一般開放し、小学校や各種団体の依頼に対して、施設案内及び説明を行い、下水道知識の普及啓発に努めた。

見学者

富士北麓浄化センター	986名
峡東浄化センター	770名
釜無川浄化センター	777名
桂川清流センター	161名
合計	2,694名

イ) 下水道出前教室

処理場の見学に来られない小学生等を対象に実施した。

実施回数 26回 参加者 1,121名

公社の概要

ウ) わくわく下水道体験教室

下水道への理解の向上を図るため、流域毎に処理場の施設見学、微生物の観察などの体験イベントを行った。

富士北麓浄化センター	令和7年11月9日(日)	参加者数	37名
峡東浄化センター	令和7年11月23日(日)	参加者数	71名
釜無川浄化センター	令和7年11月30日(日)	参加者数	51名
桂川清流センター	令和7年11月16日(日)	参加者数	27名

エ) 下水道ポスターコンクール

地域住民の下水道事業に対する認識を高め、下水道の普及拡大を推進することを目的として県内の小学生(4～6年生)を対象に下水道ポスターコンクールを実施した。

第36回下水道ポスターコンクール 応募校数 89校 応募作品数 1,647点
表彰式 令和7年10月26日(日) 入賞者 59名

オ) 講習会等

市町村の下水道担当職員の技術水準の向上に寄与するため、下水道管理担当者会議と管路内及びマンホール修繕等の現場見学会を開催した。

カ) 県及び市町村イベント等への参加協力

県及び市町村からの依頼によりイベント等への参加協力を実施した。

山梨県建設業協会主催の第8回建設まつり	令和7年10月25日(土)
甲州富士川まつり実行委員会主催の甲州富士川まつり	令和7年11月9日(日)
県民の日記念行事実行委員会主催の県民の日記念行事小瀬会場	令和7年11月16日(日)

キ) その他の普及啓発活動

公共施設等における下水道PRパネル・ポスターコンクール入賞作品の展示を実施した。

(5) 公共下水道水質測定事業

計量証明事業の登録を活用して、山梨県流域下水道維持管理要綱に基づく公共下水道接続点等の水質検査を、流域関連市町村からの受託により実施した。

各流域合計受託市町村 19市町村 測定箇所 176箇所

(6) 公共下水道維持管理事業

流域関連市町村を支援するため、公共下水道施設の維持管理業務及び技術援助業務を市町村からの受託により実施した。

笛吹市公共下水道 マンホールポンプ場技術援助業務

流域下水道の維持管理

I 流域下水道の概要

I 流域下水道の概要

流域下水道全体計画概要を表 1－1 に、流域下水道全体計画図を図 1－1 に、維持管理進捗状況を表 1－2 に示す。

表 1－1 流域下水道全体計画概要

流 域 名	富士北麓流域下水道	峡 東 流 域 下 水 道	釜無川流域下水道	桂 川 流 域 下 水 道
関 連 市 町 村	富 士 吉 田 市 忍 野 村 山 中 湖 村 富 士 河 口 湖 町	甲 府 市 山 梨 市 笛 吹 市 甲 州 市	韮 崎 市 南 アルプス 市 甲 斐 市 中 央 市 市 川 三 郷 町 富 士 川 町 昭 和 町	富 士 吉 田 市 都 留 市 大 月 市 上 野 原 市 西 桂 町
排 除 方 式	分 流 式	分 流 式	分 流 式	分 流 式
事 業 年 度	昭和50年～令和13年	昭和52年～令和17年	昭和61年～令和17年	平成5年～令和13年
計 画 面 積	4,466.5ha	6,343.5ha	8,107.1ha	1,692.6ha
計 画 人 口	70,450 人	106,060 人	213,063 人	43,260 人
計画処理水量	49,738 m ³ /日	74,530 m ³ /日	144,419 m ³ /日	23,759 m ³ /日
幹 線 延 長	33.5km	63.7km	77.0km	47.9km
ポ ン プ 場	3箇所	3箇所	8箇所	2箇所
全 体 事 業 費	271 億円	615 億円	953 億円	689 億円
備 考	昭和 61 年 7 月 一部供用開始	平成元年 7 月 一部供用開始	平成 5 年 4 月 一部供用開始	平成 16 年 4 月 一部供用開始

Ⅰ 流域下水道の概要

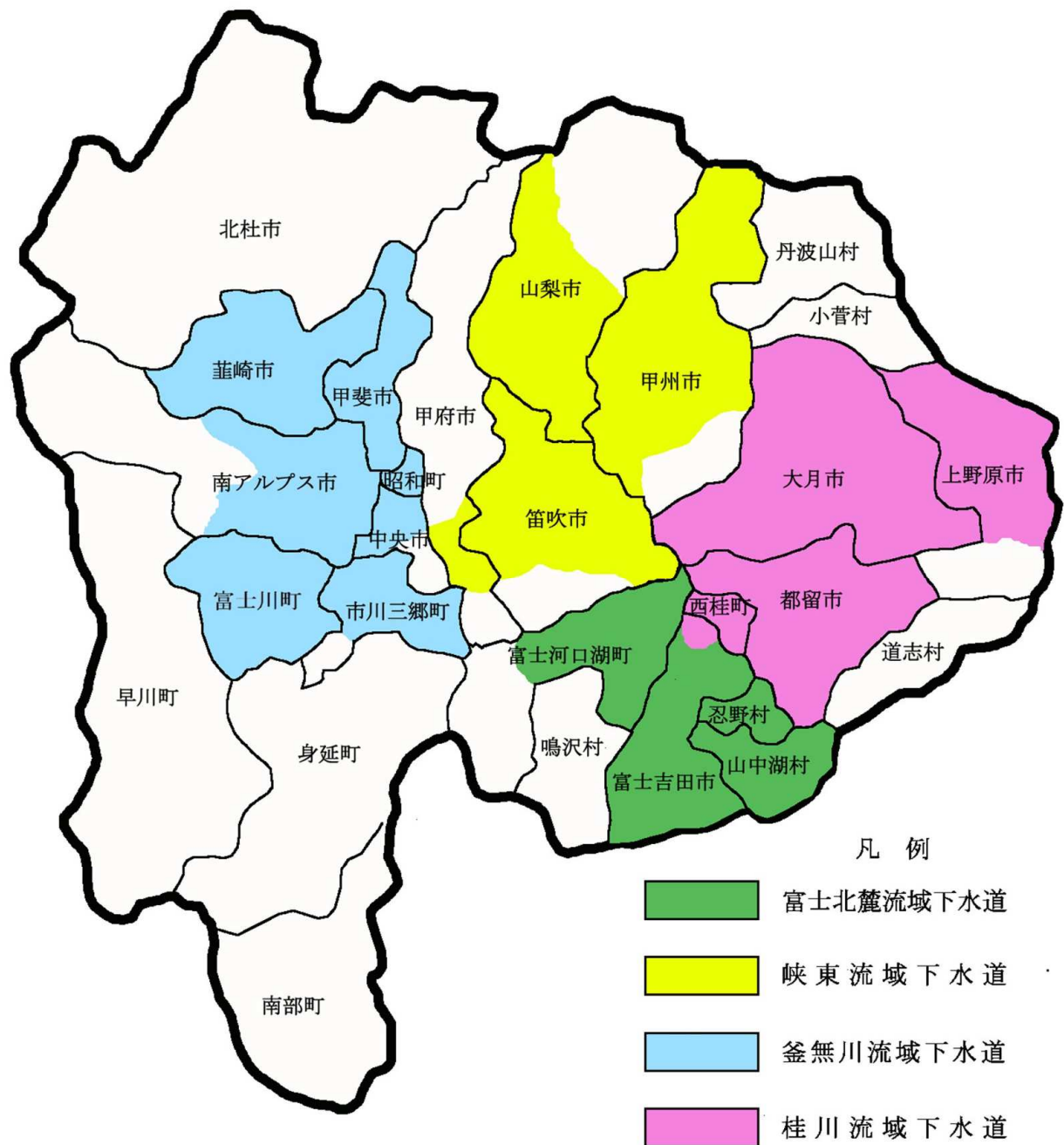


図 1 - 1 流域下水道全体計画図

I 流域下水道の概要

表 1－2 維持管理進捗状況

流域名	年度 項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
富士北麓	供用開始市町村数	市町村	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	供用幹線延長	km	29.3	32.2	32.2	32.2	32.2	32.2	32.2	32.2	32.2	32.2
	ポンプ場数	箇所	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	流入下水量	m ³ /年	7,848,885	8,215,930	8,401,829	8,405,358	7,639,200	7,779,915	8,143,938	8,387,325	8,816,695	8,566,378
	電力使用量	kWh/年	2,460,426	2,555,262	2,552,832	2,553,930	2,335,656	2,455,128	2,483,184	2,596,416	2,541,648	2,506,969
	脱水ケーキ発生量	t/年	3,981	3,970	4,236	4,252	3,379	3,449	3,624	3,929	4,229	4,337
峡東	供用開始市数	市	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	供用幹線延長	km	59.5	61.8	61.8	61.8	61.8	61.8	61.8	61.8	61.8	61.8
	ポンプ場数	箇所	8(5)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)	9(6)
	流入下水量	m ³ /年	10,629,068	10,900,948	10,876,602	10,921,284	11,019,786	10,546,212	10,572,539	10,508,115	10,951,792	10,135,107
	電力使用量	kWh/年	3,784,127	3,731,920	3,651,421	3,647,193	3,675,767	3,681,984	3,658,464	3,594,528	3,616,896	3,562,944
	脱水ケーキ発生量	t/年	6,690	6,859	6,883	6,804	6,654	6,966	7,049	7,314	7,222	7,009
釜無川	供用開始市町村数	市町	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	供用幹線延長	km	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	76.4	76.4
	ポンプ場数	箇所	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)	14(6)
	流入下水量	m ³ /年	16,885,649	17,323,909	17,433,682	17,860,879	19,176,968	18,509,110	18,554,738	19,010,662	19,354,773	19,348,239
	電力使用量	kWh/年	4,966,104	4,911,384	4,789,992	4,909,848	5,092,440	4,975,560	5,051,760	5,002,632	4,946,424	4,899,192
	脱水ケーキ発生量	t/年	14,269	14,568	15,075	14,742	15,103	15,301	15,829	14,789	15,040	15,134
桂川	供用開始市町村数	市町	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	供用幹線延長	km	42.8	43.6	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1	44.3	44.3
	ポンプ場数	箇所	2	3(1)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)	4(2)
	流入下水量	m ³ /年	2,262,343	2,339,514	2,378,968	2,432,936	2,516,778	2,576,303	2,611,066	2,661,960	2,702,965	2,643,806
	電力使用量	kWh/年	1,620,000	1,656,552	1,661,160	1,664,040	1,675,344	1,674,816	1,670,904	1,674,288	1,690,752	1,616,376
	脱水ケーキ発生量	t/年	1,502	1,570	1,623	1,628	1,573	1,663	1,645	1,614	1,650	1,600

* 過去10年間のデータを記載した。

* ポンプ場数記載方法は、総ポンプ場数（マンホールポンプ場数）である。

Ⅱ 富士北麓流域下水道

II 富士北麓流域下水道

1 整備状況

(1) 全体計画及び現況

富士北麓流域下水道は、昭和61年7月の供用開始より40年目を迎えている。

全体計画処理水量は49,738 m³/日、事業計画水量は38,174 m³/日であり、幹線は32.2 kmが供用開始となっている。

供用開始区域内の面積は2,483.02ha、人口は51,168人となっており、流入下水量は令和7年度平均で23,470 m³/日である。

富士北麓流域下水道の全体計画及び現況を表2-1に、富士北麓流域下水道事業計画図を図2-1に、関連公共下水道市町村別水洗化状況を表2-2に、市町村別流入下水量を表2-3に示す。

表2-1 全体計画及び現況

市町村名	項 目	全体計画 (計画年次:昭和50年～令和13年)		事業計画 (計画年次:昭和50年～令和7年)		供用開始区域	
		計画面積 (ha)	計画人口 (人)	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	面 積 (ha)	人 口 (人)
	富 士 吉 田 市	1, 512. 9	31, 760	829. 9	21, 490	629. 75	19, 126
	忍 野 村	611. 0	12, 370	585. 1	11, 890	458. 03	7, 747
	山 中 湖 村	508. 2	3, 040	468. 7	2, 950	473. 66	3, 603
	富士河口湖町	1, 834. 4	23, 280	1, 188. 7	17, 700	921. 58	20, 692
	合 計	4, 466. 5	70, 450	3, 072. 4	54, 030	2, 483. 02	51, 168
	計画処理水量 (日最大)	49, 738 m ³ ／日		38, 174 m ³ ／日		—	
	下水排除方式	分 流 式					
	処 理 方 式	標 準 活 性 汚 泥 法					
	幹 線 延 長	33. 5 km		33. 5 km		管理延長 32. 2 km	
	ポンプ場数	3 箇所		3 箇所		3 箇所	

※供用開始区域の面積、人口及び幹線延長は、令和8年4月1日現在の値を示す。

II 富士北麓流域下水道

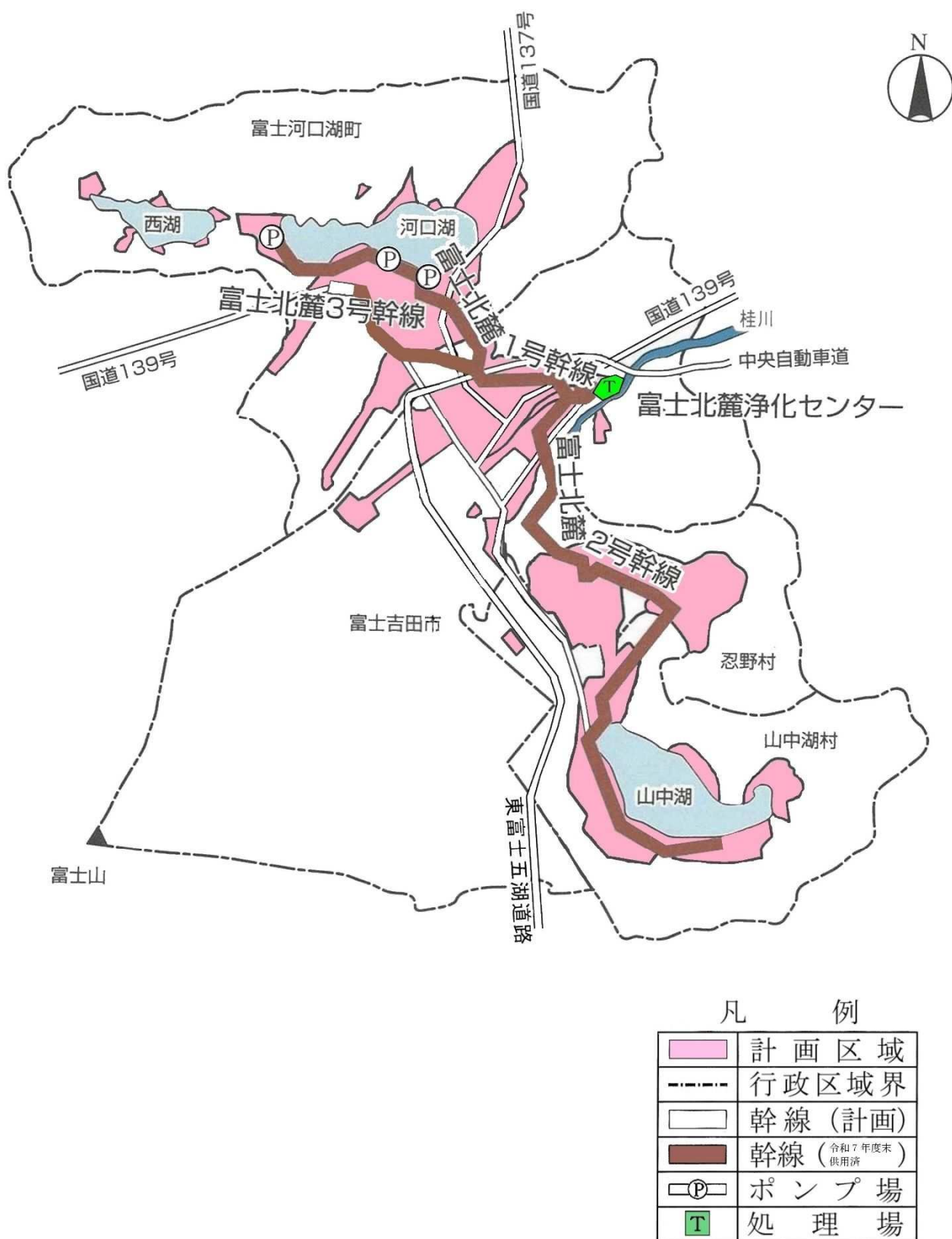


図 2 - 1 富士北麓流域下水道事業計画図

II 富士北麓流域下水道

表 2－2 関連公共下水道市町村別水洗化状況

市町村名	項目	令和 7 年 度 末			普及率	水洗化率	接続戸数
		行政 人口 A (人)	処理区域 内人口 B (人)	水洗化 人口 C (人)			
富士吉田市		39,003	19,126	15,710	49.0	82.1	6,639
忍野村		9,602	7,747	6,148	80.7	79.4	2,849
山中湖村		5,750	3,603	3,423	62.7	95.0	1,370
富士河口湖町		26,134	20,692	20,411	79.2	98.6	8,603
計		80,489	51,168	45,692	63.6	89.3	19,461

注1) 行政人口は、令和 8 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳の人口を示す。

注2) 処理区域内人口は、供用開始区域内人口を表し、令和 8 年 4 月 1 日公示分を含む。

注3) 富士吉田市の行政人口については、桂川流域分を除いた人口を示す。

注4) 富士河口湖町の行政人口については、旧上九一色村南部区域を除いた人口を示す。

Ⅱ 富士北麓流域下水道

表 2－3 市町村別流入下水量

(単位：m³)

市町村名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
富士吉田市	202,616	220,221	195,998	207,329	216,803	207,692	210,733	190,485	219,416	228,802	208,873	209,992	2,518,960	209,913
忍野村	75,744	71,025	68,464	81,690	77,116	75,841	76,185	78,727	92,072	100,034	92,675	95,925	985,498	82,125
山中湖村	141,020	143,134	132,416	144,289	159,420	133,125	126,352	129,898	145,232	150,610	143,267	151,433	1,700,196	141,683
富士河口湖町	285,010	278,679	253,712	265,271	278,881	257,802	264,708	272,810	300,726	314,665	295,433	294,027	3,361,724	280,144
合 計	704,390	713,059	650,590	698,579	732,220	674,460	677,978	671,920	757,446	794,111	740,248	751,377	8,566,378	713,865
日平均	23,480	23,002	21,686	22,535	23,620	22,482	21,870	22,397	24,434	25,616	26,437	24,238	年間日平均	23,470

II 富士北麓流域下水道

(2) 施設整備状況

令和7年度末の状況については、以下のとおりである。

① 富士北麓浄化センター

水処理使用可能池数としては、最初沈殿池 2.5 / 3 池、反応タンク 5 / 6 池、最終沈殿池 2.5 / 3 池となっており、処理能力は 42,100 m³/日である。

富士北麓浄化センターの全体平面図を図 2-2 に、フローシートを図 2-3 に、建築構造物概要を表 2-4 に、水処理機械設備概要を表 2-5 に、汚泥処理機械設備概要を表 2-6 に、電気設備概要を表 2-7 に、単線結線図を図 2-4 に、システム系統図を図 2-5 に示す。

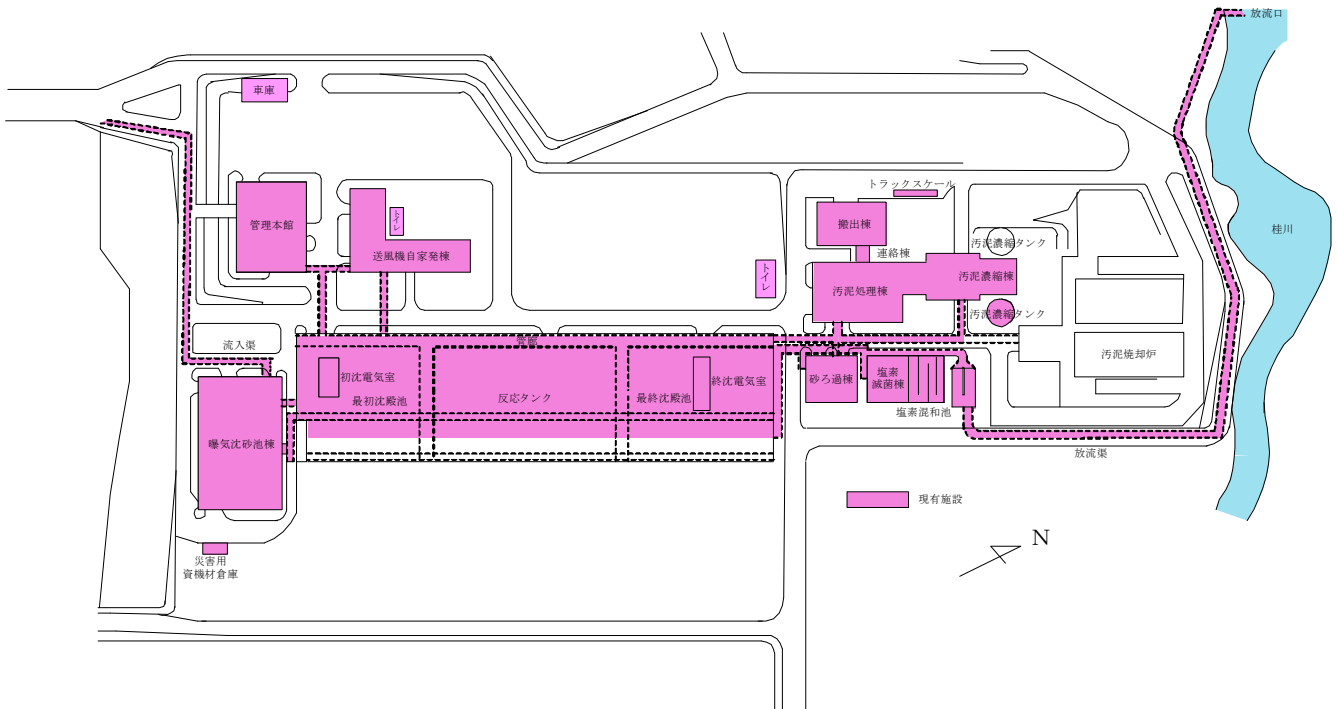


図 2-2 富士北麓浄化センター全体平面図

II 富士北麓流域下水道

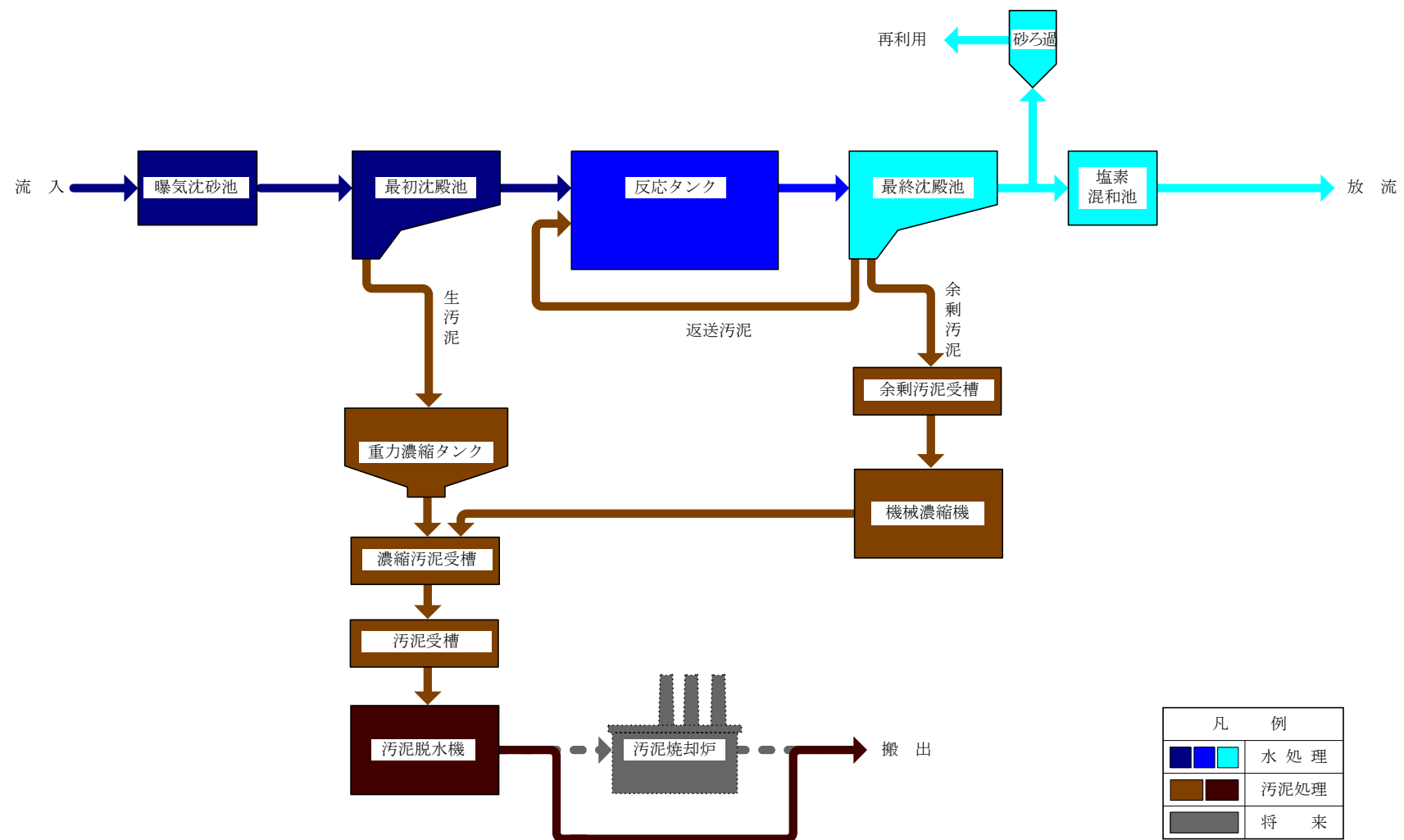


図 2 - 3 富士北麓浄化センターフローシート

II 富士北麓流域下水道

表 2 - 4 富士北麓浄化センター建築構造物概要

施設名称	構 造 及 び 概 要
管 理 本 館	R C 造 地下1階、地上4階 建築面積 936㎡ 延床面積 2,833㎡ 事務室、水質試験室、会議室、中央管理室、換気ファン室、空調機械室、設計室、その他
曝気沈砂池棟	R C 造 地下1階、地上1階 建築面積 1,776㎡ 延床面積 1,939㎡ スクリーン室、曝気沈砂池室、脱臭機室、搬出作業室、電気室、その他
送 風 機 自 家 発 棟	R C 造 地下1階、地上3階 建築面積 873㎡ 延床面積 1,947㎡ 送風機室、エアフィルター室、自家発電機室、換気ファン室、電気室、ポンプ室、その他
最 初 沈 殿 池 電 気 室	R C 造 地上1階 建築面積 124㎡ 延床面積 122㎡ 電気室、スカム分離機室、階段室
最 終 沈 殿 池 電 気 室	R C 造 地上1階 建築面積 205㎡ 延床面積 192㎡ 電気室
塩 素 滅 菌 棟	R C 造 地上1階 建築面積 122㎡ 延床面積 122㎡ 塩素滅菌室
砂 ろ 過 棟	R C 造 地下1階、地上1階 建築面積 107㎡ 延床面積 438㎡ ポンプ室、電気室、その他
汚 泥 濃 縮 棟	R C 造 地下1階、地上2階 建築面積 95㎡ 延床面積 297㎡ ポンプ室、搬出室、スクリーン室、換気ファン室、脱臭機室、その他
汚 泥 処 理 棟	R C 造 地下1階、地上2階 建築面積 1,380㎡ 延床面積 3,228㎡ ポンプ室、脱臭機室、スクリーン室、脱水機室、遠心濃縮機室、遠心脱水機室、コンベヤ室、換気ファン室、電気室、搬出入作業室、その他
搬 出 棟	R C 造 地上2階 建築面積 433㎡ 延床面積 510㎡ 搬出室、脱臭機室、その他

II 富士北麓流域下水道

表 2-5 富士北麓浄化センター水処理機械設備概要

設備名称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
曝気沈砂池 設 備	幅5.3m×深3.6m×長10m 164m ³ (1池当たり) スクリーン室流入ゲート (外ネジ式鋳鉄製) 幅0.9m×高1.2m 曝気沈砂池流入ゲート (外ネジ式鋳鉄製) 幅1m×高1.2m 粗目スクリーン (手掻きバースクリーン) 水路幅0.9m×水路深3m×目幅100mm 細目スクリーン自動除塵機 (間欠式前面掻揚型) 水路幅1.5m×水路深3m×目幅20mm×2.2kW 水路幅1.5m×水路深3m×目幅20mm×1.5kW No.1し渣搬出機 (傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅500mm×長17.8m 輸送量24m ³ /h×20m/min×1.5kW No.1沈砂搬出機 (フライト式ダブルチェーンコンベヤ) フライト幅500mm 輸送量1.22m ³ /h×3m/min×1.5kW し渣洗浄脱水機 (スクリュウ式脱水機) 処理量0.4m ³ /h×2.2kW No.1集砂装置 (エジェクター式集砂装置) 幅5.3m×長10m 揚砂ポンプ (着脱式水中渦流ポンプ) φ150×1.5m ³ /min×23m×22kW 集砂水ポンプ (着脱式水中汚水ポンプ) φ150×1.5m ³ /min×19m×11kW 沈砂分離機 (分離槽付スクリュウコンベヤ) 1.5m ³ /min×2.2kW 沈砂池散気装置 (散気筒型散気装置) φ80×10個/基	1 池 4 門 2 門 2 基 1 基 1 基 1 基 1 基 1 基 1 基 1 基 1 基 2 台 (予備1台) 1 基 2 基
最初沈殿池 設 備	幅7.3m×長28.5m×深3.3m×2水路 1,373m ³ (1池当たり) 幅7.3m×長23.5m×深3.3m×2水路 1,132m ³ (1池当たり) 初沈汚泥ポンプ (無閉塞型汚泥ポンプ) φ100×1.0m ³ /min×8m×5.5kW 初沈汚泥掻寄機 (フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅3.0m×機長23.4m×0.6m/min×0.75kW (1水路1駆動) 幅3.0m×機長18.3m×0.6m/min×0.4kW (1水路1駆動) 初沈スカムスキマー (空気作動回転式パイプスキマー) φ250×幅3.65m/3.35m (1水路1駆動) 初沈スカムスキマー (電動回転式パイプスキマー) φ300×幅7.60m×0.2kW (1水路1駆動) スカム分離機 (回転ドラムスクリーン) 処理能力3.6m ³ /min×目幅3mm×1.5kW 分離液排水ポンプ φ150×1.8m ³ /min×8m×7.5kW	2 池 0.5 池 2 台 (予備1台) 4 基 1 基 4 基 1 基 1 基 2 台

II 富士北麓流域下水道

設備名称	構造及び能力	現有設備
反応タンク設備	幅7.6m×長81.5m×深4.8m 2,812m ³ (1池当たり)	5 池
	No.1-1反応タンク散気装置	
	水中攪拌機	5 台
	送風量2.6Nm ³ /min×酸素供給量10kg O ₂ /h×3.7kW	
	全面式散気装置	508 枚
	散気量100L/min/枚	
	No.1-2反応タンク散気装置	
	双曲面形攪拌・曝気機	
	送風量4.3Nm ³ /min×酸素供給量20kg O ₂ /h×5.5kW	1 台
	送風量3.9Nm ³ /min×酸素供給量14.5kg O ₂ /h×3.7kW	2 台
送風機設備	全面式散気装置	783 枚
	散気量20~50L/min/枚	
	No.1-3反応タンク散気装置	
	旋回流式散気板 (固定式)	260 枚
	散気量80~100L/min/枚	
	No.1-4反応タンク散気装置	
	旋回流式散気板 (固定式)	260 枚
	散気量80~100L/min/枚	
	No.2-1反応タンク散気装置	
	双曲面形攪拌・曝気機	
最終沈殿池設備	送風機 (増速単段ターボブロワ)	
	φ250/φ200×55m ³ /min×58.8kPa×90kW	2 台
	φ300/φ250×76m ³ /min×56.8kPa×110kW	1 台
	幅7.3m×長46.4m×深3m×2水路 2,032m ³ (1池当たり)	2.5 池
	終沈汚泥掻寄機 (フライト付ダブルチェーンコンベヤ)	
	幅3.0m×機長41.3m×0.3m/min×0.75kW (1水路1駆動)	4 基
	幅3.0m×機長41.7m×0.3m/min×0.4kW (1水路1駆動)	1 基
	終沈スカムスキマー (空気作動回転式パイプスキマー)	4 基
	φ250×幅3.65m/3.35m (1水路1駆動)	
	終沈スカムスキマー (電動回転式パイプスキマー)	1 基
塩素滅菌設備	φ300×幅7.20m×0.2kW (1水路1駆動)	
	返送汚泥ポンプ (吸込スクレー式汚泥ポンプ)	
	φ200/φ150×3.0m ³ /min×6m×7.5kW	2 台
	φ200/φ200×5.3m ³ /min×6m×15kW	1 台
	φ250×6.0m ³ /min×6m×11kW	4 台
	余剰汚泥ポンプ (無閉塞汚泥ポンプ)	2 台
	φ100×1.0m ³ /min×9m×5.5kW	
	余剰汚泥ポンプ (吸込スクレー式汚泥ポンプ)	
	φ100×1.0m ³ /min×16m×7.5kW	2 台
	塩素混和池 幅2.5m×96m×3m 720m ³ (1池当たり)	1 池
塩素滅菌設備	次亜塩注入ポンプ (プランジャ駆動ダイヤフラム式)	2 台 (予備1台)
	φ15×(0.04~0.99)L/min×1.0MPa×0.4kW	
	砂ろ過用次亜塩注入ポンプ (プランジャ駆動ダイヤフラム式)	1 台
	φ15×(0.008~0.097)L/min×1.0MPa×0.2kW	
塩素滅菌設備	次亜塩貯留タンク	2 基
	容量 3m ³	

II 富士北麓流域下水道

設備名称	構造及び能力	現有設備
砂ろ過設備	砂ろ過水槽 幅4.5m×長3.7m×深 約3.0m 約50m ³ (1槽当たり) 幅4.5m×長7.7m×深 約3.0m 約104m ³ (1槽当たり) 砂ろ過塔 (移床式上向流砂ろ過器) 19.2m ³ /h 56.3m ³ /h 原水送水ポンプ (片吸込渦巻ポンプ) φ65/φ50×0.32m ³ /min×15m×2.2kW φ100/φ80×1.1m ³ /min×13m×5.5kW 砂ろ過送水ポンプ (片吸込渦巻ポンプ) φ125/φ100×2.2m ³ /min×10m×5.5kW φ150/φ125×3.6m ³ /min×10m×11kW 高架水槽揚水ポンプ (片吸込渦巻ポンプ) φ125/φ100×2.7m ³ /min×31m×22kW	2 槽 1 槽 2 塔 2 塔 2 台 2 台 2 台 1 台 2 台
脱臭設備	曝気沈砂池棟 脱臭ファン (FRPターボファン) φ750×340m ³ /min×2.94kPa×30kW 薬液洗浄塔 (立型2液接触式充填塔) 処理風量340m ³ /min 薬液循環ポンプ φ100×1m ³ /min×19m×7.5kW 薬液供給ポンプ (流量可変定量ダイヤフラムポンプ) φ20×25~250cc/min×0.4kW (酸液用) φ20×10~100cc/min×0.2kW (アルカリ液用) 活性炭吸着塔 (無添着炭吸着塔) 処理風量340m ³ /min	1 台 1 塔 2 台 1 台 1 台 1 台

II 富士北麓流域下水道

表 2-6 富士北麓浄化センター汚泥処理機械設備概要

設備名称	構造及び能力	現有設備
重力濃縮設備	汚泥スクリーン（回転ドラム式スクリーン） 処理能力 $1 \text{ m}^3/\text{min} \times 5 \text{ mm} \times 0.4 \text{ kW}$	1 基
	スクリーンかす脱水機（スクリー式脱水機） 処理量 $0.25 \text{ t/h} \times 2.2 \text{ kW}$	1 基
	スクリーンかすホッパー（電動式鋼鉄製） 容量 $2 \text{ m}^3 \times 0.75 \text{ kW} \times 2$	1 基
	重力濃縮タンク $\phi 8.5 \text{ m} \times \text{深} 3.0 \text{ m}$ 170 m^3 （1 槽当たり）	1 槽
	汚泥掻寄機（中央駆動懸垂型） $\phi 8.5 \text{ m} \times 3 \text{ m} \times \text{周速度} 2.3 \text{ m/min} \times 0.4 \text{ kW}$	1 基
	濃縮汚泥移送ポンプ（吸込スクリー付汚泥ポンプ） $\phi 100 \times 1 \text{ m}^3/\text{min} \times 2 \text{ m} \times 2.2 \text{ kW}$	1 台
機械濃縮設備	汚泥スクリーン（回転ドラム式スクリーン） 処理能力 $2 \text{ m}^3/\text{min} \times 4 \text{ mm} \times 0.75 \text{ kW}$	1 基
	スクリーンかす脱水機 処理量 $0.26 \text{ t/h} \times 2.2 \text{ kW}$	1 基
	余剰汚泥受槽 幅 $5.5 \text{ m} \times \text{長} 3.5 \text{ m} \times \text{深}$ 約 2.6 m 約 50 m^3 （1 槽当たり）	2 槽
	余剰汚泥受槽攪拌機（立軸 2 段パドル形攪拌機） 7.5kW	2 基
	濃縮機給泥ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） $\phi 100 \times (10 \sim 24) \text{ m}^3/\text{h} \times 20 \text{ m} \times 5.5 \text{ kW}$	2 台
	$\phi 125 \times (10 \sim 30) \text{ m}^3/\text{h} \times 20 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$	1 台
	ベルト濃縮機（ベルト型ろ過濃縮機） 処理能力 $15 \text{ m}^3/\text{h}$ 動力 3.6kW	1 台
	処理能力 $15 \text{ m}^3/\text{h}$ 動力 2.25kW	1 台
	遠心濃縮機（横型連続遠心濃縮機） 処理能力 $15 \text{ m}^3/\text{h}$ 動力（駆動用／差動用）22／5.5kW	1 台
	濃縮汚泥受槽 幅 $5.1 \text{ m} \times \text{長} 3.7 \text{ m} \times \text{深}$ 約 2.5 m 約 47 m^3 （1 槽当たり）	1 槽
	幅 $5.5 \text{ m} \times \text{長} 4.2 \text{ m} \times \text{深}$ 約 2.5 m 約 58 m^3 （1 槽当たり）	1 槽
	幅 $5.2 \text{ m} \times \text{長} 4.2 \text{ m} \times \text{深}$ 約 2.5 m 約 55 m^3 （1 槽当たり）	1 槽
	濃縮汚泥受槽攪拌機（立軸 2 段パドル形攪拌機） 7.5kW	3 基
	濃縮汚泥移送ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） $\phi 100 \times 15 \text{ m}^3/\text{h} \times 20 \text{ m} \times 5.5 \text{ kW}$	2 台（予備 1 台）
	薬品定量フィーダー（容積式定量フィーダー） $0.1 \sim 0.4 \text{ L/min} \times 0.2 \text{ kW}$	2 台
	薬品溶解タンク（鋼板製円筒立形） 有効容量 1.5 m^3	2 基
	薬品溶解タンク用攪拌機（立軸 2 段プロペラ式） 0.75kW	2 台
	薬品供給ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） $\phi 20 \times (1.2 \sim 3.7) \text{ L/min} \times 20 \text{ m} \times 0.4 \text{ kW}$	2 台（予備 1 台）
脱水設備	汚泥受槽 幅 $5.4 \text{ m} \times \text{長} 6.0 \text{ m} \times \text{深}$ 約 3.7 m 約 120 m^3 （1 槽当たり）	1 槽
	幅 $4.9 \text{ m} \times \text{長} 4.8 \text{ m} \times \text{深}$ 約 3.7 m 約 87 m^3 （1 槽当たり）	1 槽
	汚泥受槽攪拌機（立軸 2 段パドル形攪拌機） 7.5kW	2 基
	脱水機給泥ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） $\phi 125 \times (7.5 \sim 22.5) \text{ m}^3/\text{h} \times 22 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$	1 台
	$\phi 100 \times (7.5 \sim 18.0) \text{ m}^3/\text{h} \times 40 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$	1 台
	汚泥脱水機（ロータリープレス脱水機） 処理能力 $15 \text{ m}^3/\text{h}$ 動力 12.5kW	1 基
	遠心脱水機（直胴型遠心脱水機） 処理能力 $15 \text{ m}^3/\text{h}$ 動力（駆動用／差動用）37／7.5kW	1 基

II 富士北麓流域下水道

設備名称	構造及び能力	現有設備
脱水設備	No.1-1ケーキコンベヤ（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.5m×長14m 輸送量20 t / h ×1.5kW	1 台
	No.1-2ケーキコンベヤ（傾斜トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.5m×長3 m 輸送量24m ³ /h ×0.75kW	1 台
	No.1-3ケーキコンベヤ（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.5m×長3.5m 輸送量24m ³ /h ×1.5kW	1 台
	No.2ケーキコンベヤ（傾斜ベルトコンベヤ） 幅0.5m×長17.7m 輸送量24m ³ /h ×1.5kW	1 台
	No.3ケーキコンベヤ（傾斜無軸スクリューコンベヤ） φ455×長8.8m 輸送量23.9m ³ /h ×7.5kW	1 台
	No.4ケーキコンベヤ（傾斜無軸スクリューコンベヤ） φ455×長6.9m 輸送量23.9m ³ /h ×11kW	1 台
	脱水ケーキホッパー（鋼板製角形カットゲート） 容量 10m ³	1 基
	容量 10m ³ 1.5kW×2台（モートルシリンドラ）	1 基
	薬品定量フィーダー（容積式定量フィーダー） 0.75～3.0 L / min ×0.4kW	1 台
	1.2～4.0 L / min ×0.4kW	1 台
	薬品溶解タンク（鋼板製立円筒タンク） 有効容量 9 m ³	2 基
	薬品溶解タンク用攪拌機（立軸2段パドル形） 5.5kW	2 台
	薬品供給ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ50×（1.26～3.84）m ³ /h ×20m×1.5kW	1 台
	φ50×（1.3～3.8）m ³ /h ×25m×2.2kW	1 台
脱臭設備	汚泥濃縮棟 脱臭ファン（FRP製片吸込ターボファン） φ320×22m ³ /min ×2.2kW	2 台
	活性炭吸着塔（FRP製上向流式） 22m ³ /min	1 塔
	生物脱臭塔（FRP製充填式生物脱臭塔） 22m ³ /min	1 塔
	汚泥処理棟 脱臭ファン（ターボファン） φ375×50m ³ /min ×5.5kW	1 台
	φ250×45m ³ /min ×7.5kW	1 台
	生物脱臭塔（FRP製充填式生物脱臭塔） 90m ³ /min	1 塔
	活性炭吸着塔（FRP製立形2層式） 処理風量 100m ³ /min	1 塔
	汚泥搬出棟 脱臭ファン（ターボファン） φ375×35m ³ /min ×3.7kW	1 台
	活性炭吸着塔（FRP製上向流式） 処理風量 35m ³ /min	1 塔
その他設備	分離液貯留槽 幅6.1m×長4.8m×深 約2.7m 約79m ³ （1槽当たり）	1 槽
	分離液移送ポンプ φ125 / φ100 ×1.2m ³ /min ×15.0m ×7.5kW	2 台
	雑排水槽 幅2.5m×長3.7m×深 約2.2m 約20m ³ （1槽当たり）	1 槽
	雑排水圧送ポンプ φ125 / φ100 ×1.0m ³ /min ×15.0m ×5.5kW	2 台
	トラックスケール（マルチロードセル方式） 秤量30 t 幅3,000mm×長12,000mm	1 基

II 富士北麓流域下水道

表 2-7 富士北麓浄化センター電気設備概要

設 備 名 称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6, 600 V / 50Hz×1 回線 受電設備容量 1, 970kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7, 200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12. 5kA	1 式
変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 動力用 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×200kVA " 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×300kVA " 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×150kVA 電灯用 1 φ 3 W×6, 600 V / 210 V-105 V×150kVA " 1 φ 3 W×6, 600 V / 210 V-105 V×50kVA " 1 φ 3 W×6, 600 V / 210 V-105 V×20kVA	2 台 4 台 1 台 1 台 1 台 1 台
高圧進相コンデンサ	3 φ 3 W×6, 600 V×150kVA 3 φ 3 W×6, 600 V×50kVA	1 台 1 台
直 流 電 源 装 置	送 風 機 棟 200Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池 汚 泥 棟 100Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式 1 式
交流無停電電源装置	送 風 機 棟 200Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池 終沈電気室 200Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式 1 式
非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 433kW(588PS) 3 φ 3 W×6, 600 V×500kVA 430kW(585PS) 3 φ 3 W×6, 600 V×375kVA 始動用直流電源装置 300Ah×12セル 制御弁式据置鉛蓄電池 400Ah×24セル 制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 台 1 式 1 式
中 央 監 視 設 備	L C D 装置 大型ディスプレイ プリンタ ロガーコントローラ	4 台 2 台 2 台 1 台
遠 方 監 視 制 御 設 備	入出力装置 テレメータ・テレコントロール装置 (親局) 帯域品目3. 4kHz×2 線式 保守用電話切替式 テレメータ装置 (親局) 帯域品目3. 4kHz×2 線式 保守用電話切替式 帯域品目3. 4kHz×2 線式 符号品目50 b / s	1 台 2 台 1 台 1 台 3 台
付 帯 設 備	構内電話設備 屋内消火栓設備 自動火災警報設備 放送設備 T V 共聴設備 避雷設備 デマンド監視設備	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式

II 富士北麓流域下水道

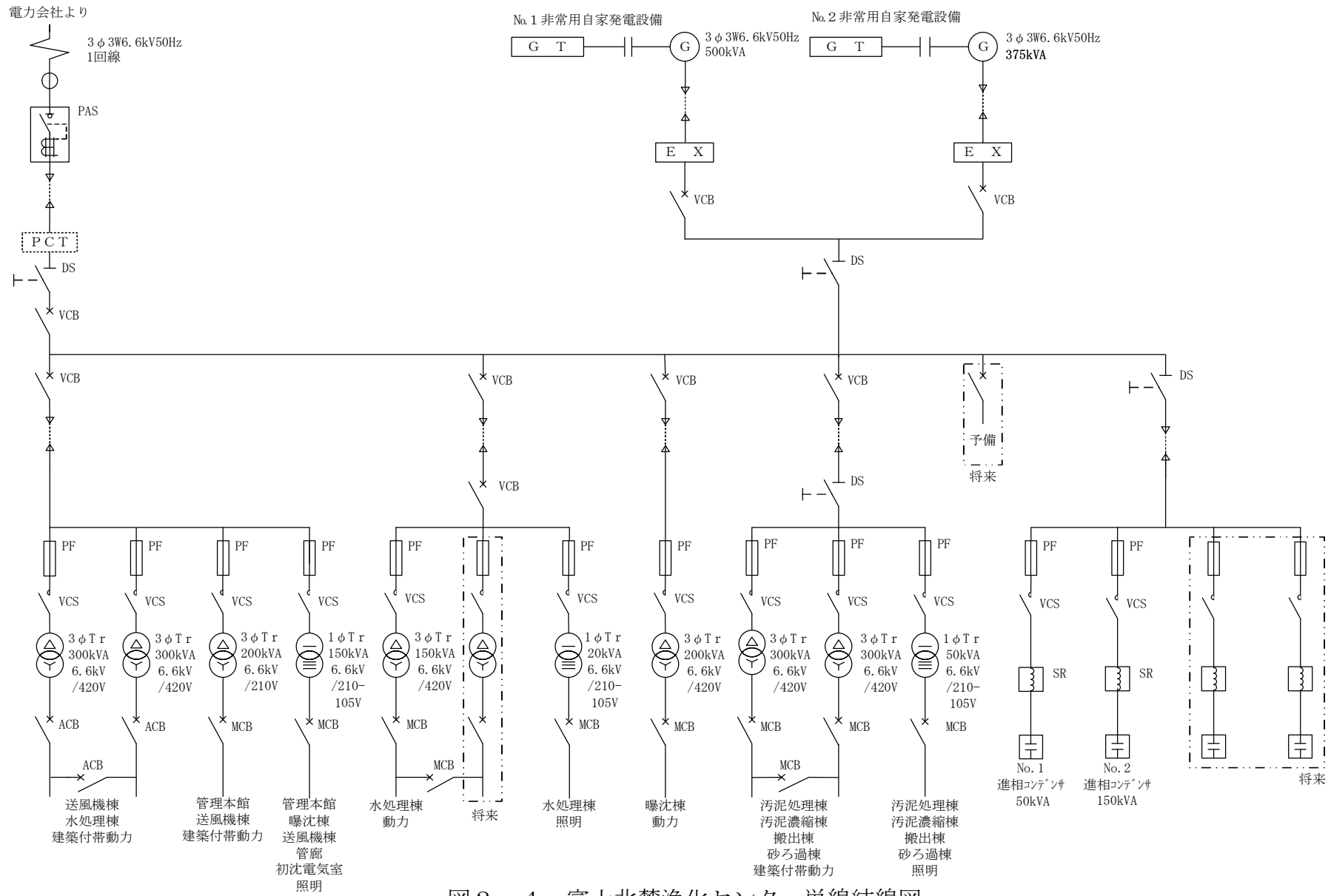


図 2 - 4 富士北麓浄化センター単線結線図

II 富士北麓流域下水道

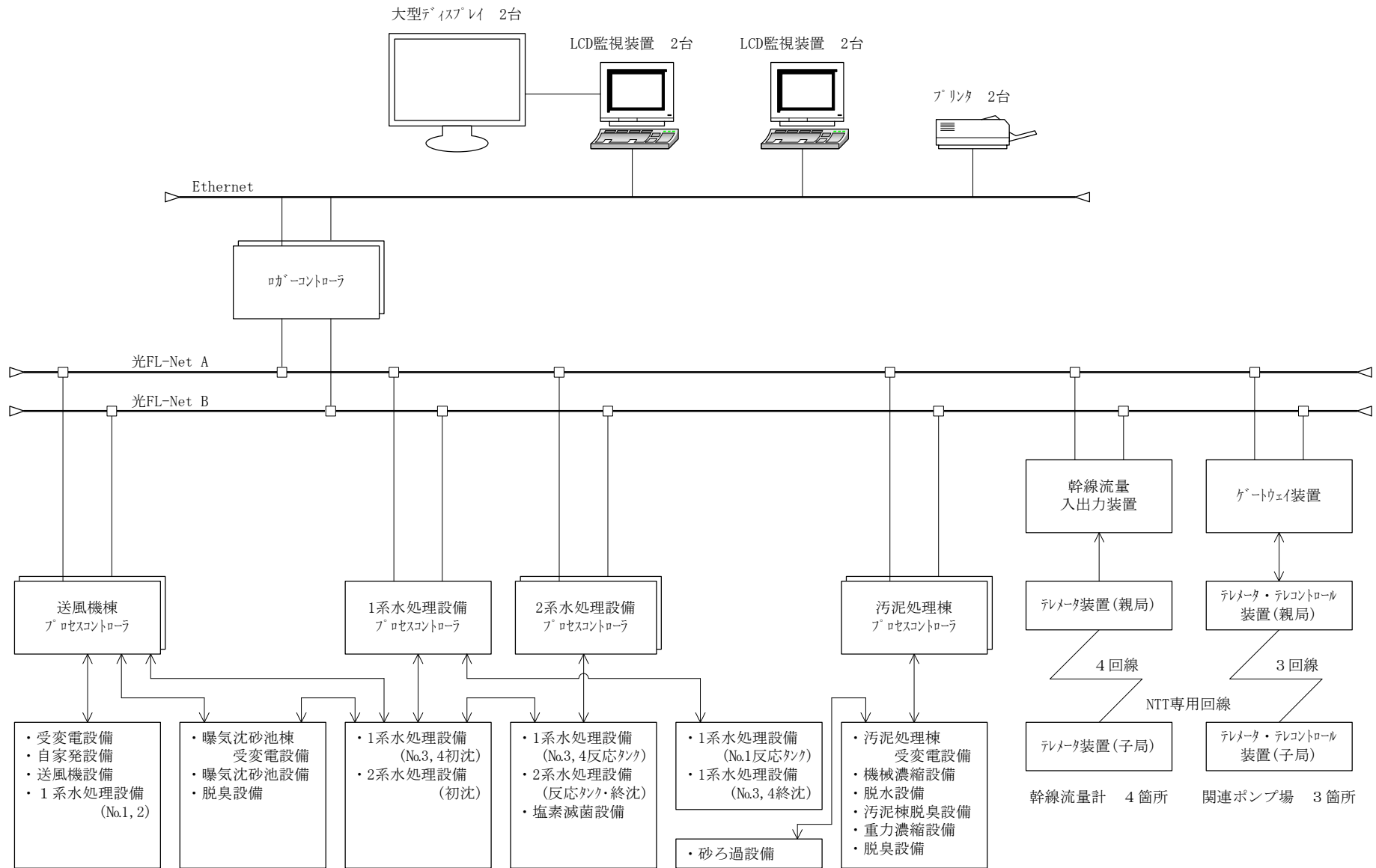


図2-5 富士北麓浄化センターシステム系統図

II 富士北麓流域下水道

②中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計

中継ポンプ場は、全体計画3箇所全てが整備されており、幹線は、全体計画延長33.5kmの内32.2kmが供用開始している。また、中継ポンプ場の流量計を含めた幹線流量計設置数は7箇所となっている。

流域幹線系統図を図2-6に、流域関連公共下水道接続概要を表2-8に、中継ポンプ場の建築構造物概要を表2-9に、機械設備概要を表2-10に、電気設備概要を表2-11に、単線結線図を図2-7～図2-9に、幹線概要を表2-12に、幹線付帯設備概要を表2-13に、幹線流量計測設備概要を表2-14に示す。

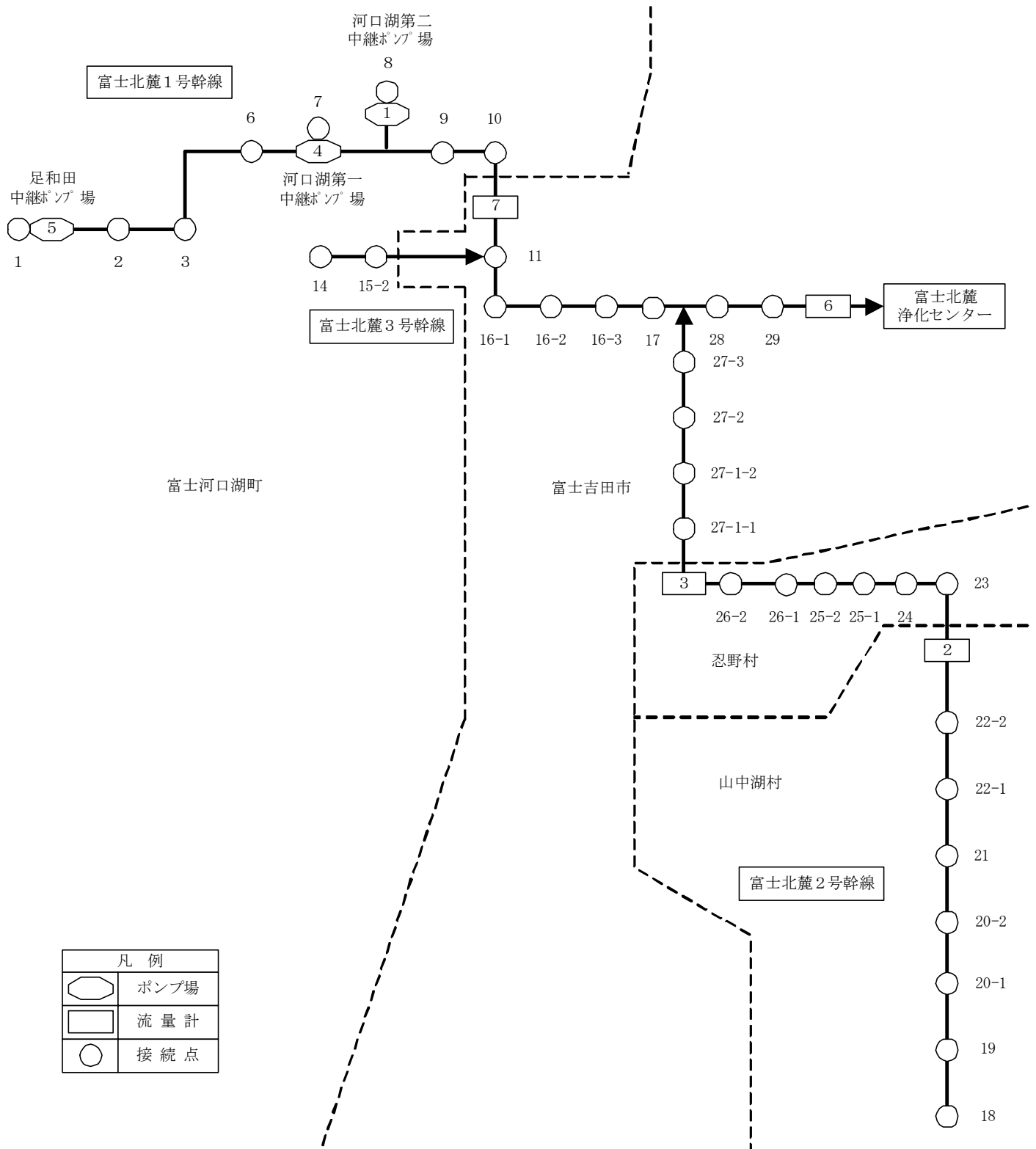


図2-6 流域幹線系統図

II 富士北麓流域下水道

表 2－8 流域関連公共下水道接続概要

幹線名称	処理分区名	供用開始年月日	処理区域面積 (ha)	処理区域人口 (人)	接続市町村名
富士北麓線 1号幹線	第 1	平成 2 年 4 月 1 日	105.43	1,121	富士河口湖町
	第 2		79.69	1,398	
	第 3	平成 2 年 6 月 1 日	109.10	2,068	
	第 6	平成 2 年 4 月 1 日	51.50	1,173	
	第 7		96.93	2,448	
	第 8	昭和 6 3 年 1 月 1 1 日	69.44	1,534	
	第 9	昭和 6 1 年 7 月 1 日	17.51	940	
	第 10		289.26	8,934	
	第 15－1		78.24	731	富士吉田市
	第 11	平成 6 年 7 月 1 日	17.80	202	
	第 11	平成 元年 6 月 1 日	21.70	168	
	第 16－1	平成 6 年 7 月 1 日	13.52	598	
	第 16－2	平成 4 年 6 月 1 日	30.77	1,060	
	第 16－3		11.43	510	
	第 17	昭和 6 1 年 7 月 1 日	347.00	10,819	
	第 28	平成 2 年 6 月 1 日	64.21	2,091	
	第 29	平成 3 年 6 月 1 日	25.02	791	
富士北麓線 2号幹線	第 18	平成 6 年 5 月 1 日	103.83	606	山中湖村
	第 19		20.53	26	
	第 20－1	平成 3 年 5 月 10 日	36.95	188	
	第 20－2		12.50	127	
	第 21	平成 2 年 7 月 1 日	105.89	1,198	
	第 22－1	平成 元年 7 月 1 日	144.64	1,302	
	第 22－2	平成 7 年 6 月 1 日	1.20	0	
	第 23	平成 13 年 6 月 1 日	6.14	64	
	第 25－1	平成 11 年 6 月 1 日	41.98	92	忍野村
	第 23	昭和 6 3 年 8 月 20 日	35.33	792	
	第 24		77.86	1,419	
	第 25－1	平成 31 年 4 月 1 日	56.85	666	
	第 25－2	昭和 6 3 年 4 月 20 日	196.15	4,020	
	第 26－1	昭和 6 3 年 8 月 20 日	81.34	842	
	第 26－2	平成 7 年 4 月 1 日	10.50	8	
	第 27－1－1	平成 4 年 6 月 1 日	16.89	92	富士吉田市
	第 27－1－2	平成 4 年 3 月 1 日	0.03	18	
	第 27－2	平成 11 年 6 月 1 日	22.11	477	
	第 27－3	平成 4 年 6 月 1 日	77.07	2,502	
富士北麓線 3号幹線	第 14	平成 25 年 10 月 1 日	4.66	43	富士河口湖町
	第 15－2	令和 2 年 6 月 1 日	2.02	100	

※処理区域内面積及び人口は、令和 8 年 4 月 1 日現在の値を示す。

※第 15－1 処理分区は第 10 処理分区に暫定流入している。

II 富士北麓流域下水道

表 2－9 中継ポンプ場建築構造物概要

ポンプ場名称	構 造 及 び 概 要
河 口 湖 第 一 中 継 ポンプ 場	RC造 地下1階、地上2階 建築面積 254m ² 延床面積 428m ² スクリーン室、電気室、自家発電機室、搬出室、その他
河 口 湖 第 二 中 継 ポンプ 場	RC造 地下1階、地上1階 建築面積 154m ² 延床面積 302m ² スクリーン室、ゲート弁室、電気室、自家発電機室、その他

表 2－10 中継ポンプ場機械設備概要

ポンプ場名称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
足 和 田 中 継 ポンプ 場	水中汚水ポンプ（フライホイール付水中スクリュウポンプ） $\phi 150 \times 2.8 \text{ m}^3/\text{min} \times 30 \text{ m} \times 30 \text{ kW}$	2 台
河 口 湖 第 一 中 継 ポンプ 場	流入ゲート（鋳物製角形制水扉） $0.6 \text{ m} \times 0.6 \text{ m} \times 0.75 \text{ kW}$	1 門
	スクリーン（バースクリーン） 水路幅 1 m × 水路深 2.8 m × 目幅 40 mm	1 基
	細目自動除塵機（間欠式前面掻揚型） 水路幅 1 m × 水路深 2.8 m × 目幅 20 mm × $6.9 \text{ m}^3/\text{min} \times 1.5 \text{ kW}$	1 基
	水中汚水ポンプ（フライホイール付水中汚水ポンプ） $\phi 200 \times 3.0 \text{ m}^3/\text{min} \times 18 \text{ m} \times 15 \text{ kW}$	4 台
	脱臭ファン $\phi 200 \times 8 \text{ m}^3/\text{min} \times 1.6 \text{ kPa} \times 0.75 \text{ kW}$	1 台
	活性炭吸着塔（立型活性炭吸着塔） 処理風量 $8 \text{ m}^3/\text{min}$	1 塔
	水中攪拌機（昇降式水中攪拌機） 2.0 kW	2 台
河 口 湖 第 二 中 継 ポンプ 場	流入ゲート（鋳鉄製角形制水扉） $0.6 \text{ m} \times 0.6 \text{ m} \times 0.75 \text{ kW}$	1 門
	スクリーン（バースクリーン） 水路幅 1 m × 水路深 2.7 m × 目幅 40 mm	1 基
	細目自動除塵機（間欠式自動除塵機） 水路幅 1 m × 水路深 2.7 m × 目幅 20 mm × $6.1 \text{ m}^3/\text{min} \times 1.5 \text{ kW}$	1 基
	水中汚水ポンプ（水中渦巻斜流ポンプ） $\phi 200 \times 3.5 \text{ m}^3/\text{min} \times 13 \text{ m} \times 15 \text{ kW}$	2 台
	脱臭ファン $\phi 225 \times 10 \text{ m}^3/\text{min} \times 2.0 \text{ kPa} \times 1.5 \text{ kW}$	1 台
	活性炭吸着塔（立型活性炭吸着塔） 処理風量 $10 \text{ m}^3/\text{min}$	1 塔
	水中攪拌機（昇降式水中攪拌機） 0.9 kW	1 台

II 富士北麓流域下水道

表 2-1-1 中継ポンプ場電気設備概要

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
足 和 田 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×210V／50Hz×1 回線（動力） 契 約 電 力 36kW 受電遮断器 M C C B 250AF／250AT	1 式
		受 電 方 式 1 φ 3 W×210－110V／50Hz×1 回線（電灯） 契 約 電 流 10A 受電遮断器 M C C B 50AF／50AT	1 式
	無 停 電 電 源 装 置	ミニUPS 1kVA	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 78kW(106PS) 3 φ 3 W×210V×62.5kVA 始動用直流電源装置 100Ah×4セル 制御弁式据置鉛蓄電池	1 台
			1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ装置（子局） 帯域品目3.4kHz×2線式 保守用電話切替式	1 台
河 口 湖 第 一 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V／50Hz×1 回線 受電設備容量 100kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 500A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V／210V×100kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×210V×3kVA	1 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×54セル 制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 104kW(142PS) 3 φ 3 W×210V×100kVA 始動用直流電源装置 150Ah×12セル シール形据置式鉛蓄電池	1 台
			1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3.4kHz×2線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備	1 式
		自動火災警報設備	1 式

II 富士北麓流域下水道

ポンプ場名称	設備名称	形式及び仕様	現有設備
河口湖第二 中継ポンプ場	受電設備	受電方式 3φ3W×6,600V/50Hz×1回線 受電設備容量 75kVA 受電遮断器 VCB 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1式
	変電設備	モールド形乾式変圧器 3φ3W×6,600V/210V×75kVA	1台
	低圧進相 コンデンサ	3φ3W×210V×3kVA	1台
	直流 電源装置	50Ah×54セル 制御弁式据置鉛蓄電池	1式
	非常用 発電設備	ディーゼル発電機 107kW(145PS) 3φ3W×210V×100kVA	1台
		始動用直流電源装置 100Ah×4セル 制御弁式据置鉛蓄電池	1式
	遠方監視 制御設備	テレメータ・テレコントロール装置(子局) 帯域品目3.4kHz×2線式 保守用電話切替式	1台
	付帯設備	インターホン設備 自動火災警報設備	1式 1式

II 富士北麓流域下水道

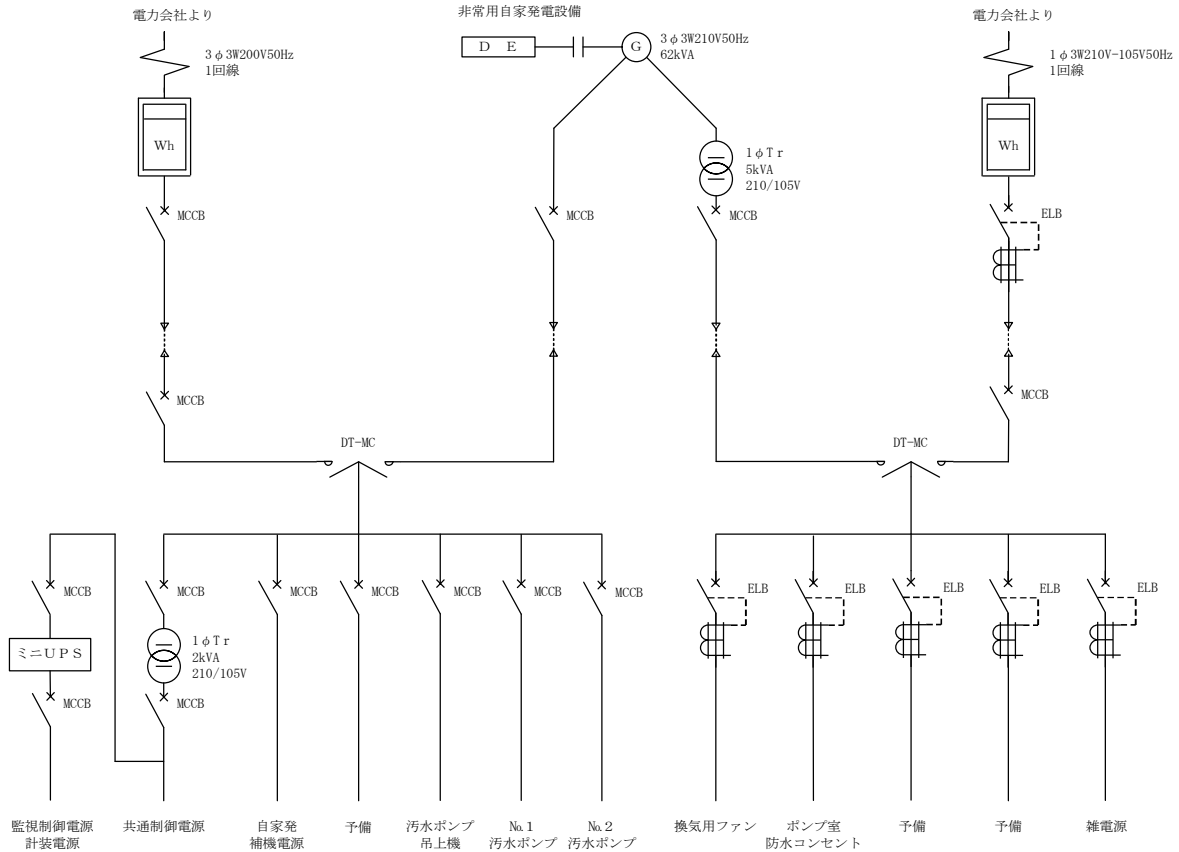


図 2 - 7 足和田中継ポンプ場単線結線図

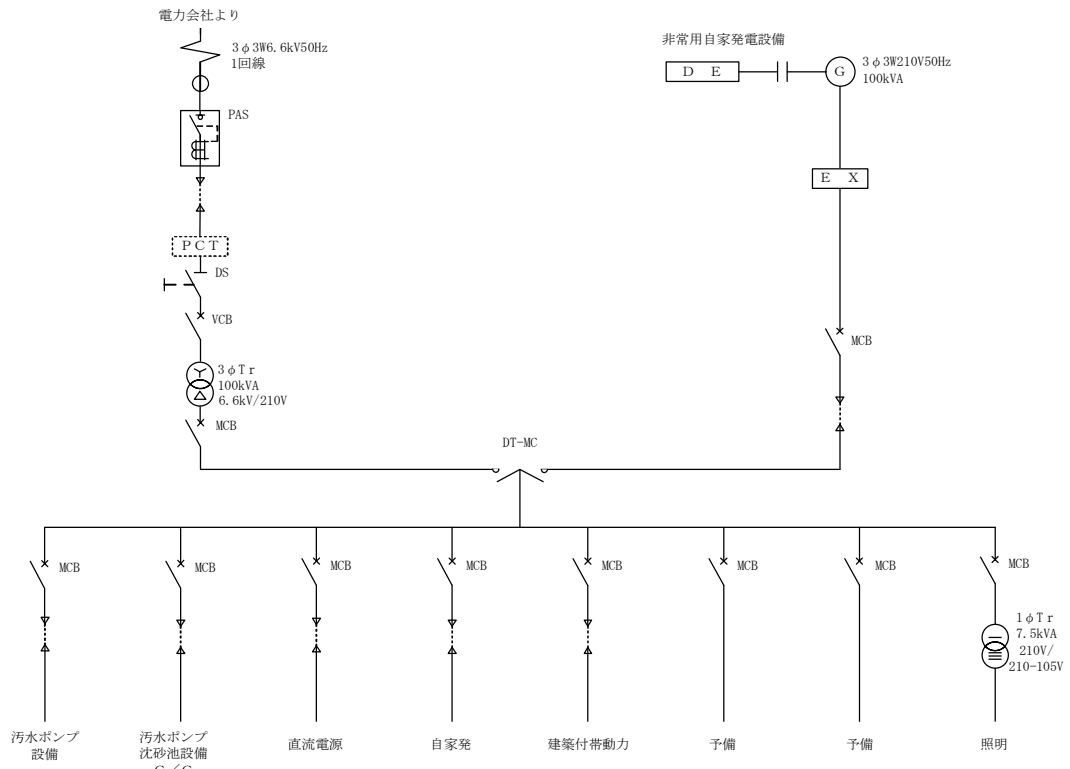


図 2 - 8 河口湖第一中継ポンプ場単線結線図

II 富士北麓流域下水道

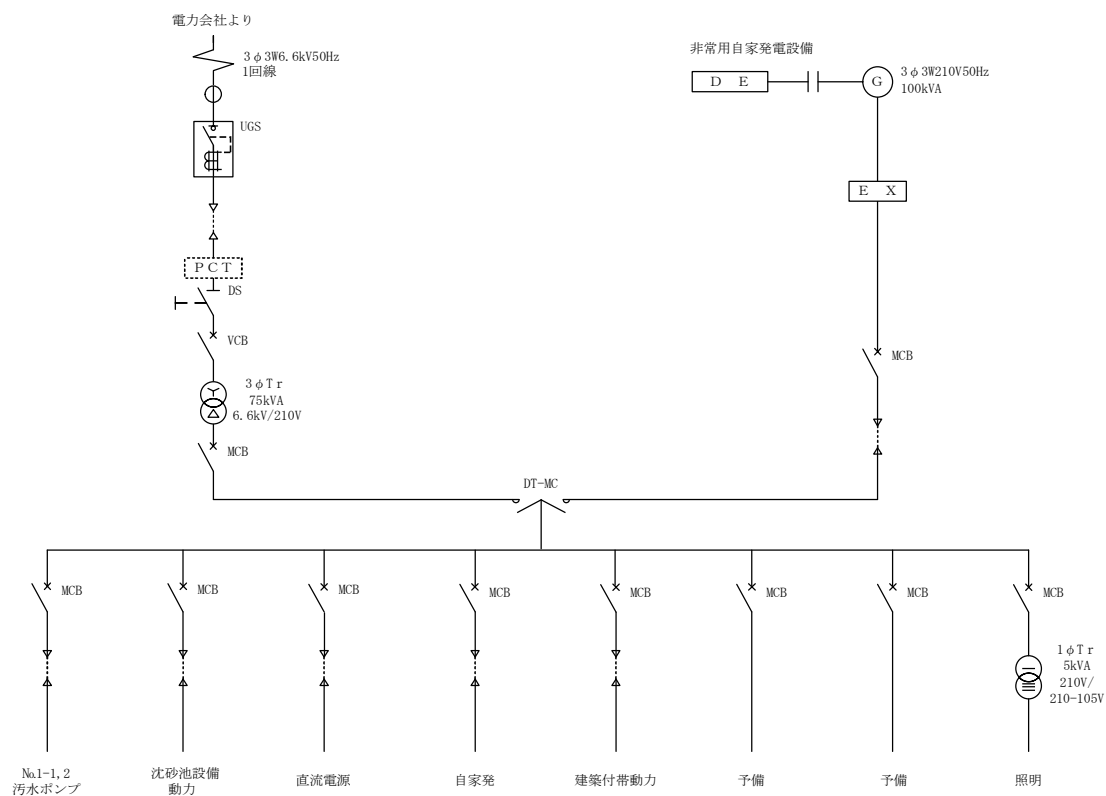


図 2-9 河口湖第二中継ポンプ場単線結線図

II 富士北麓流域下水道

表 2－1 2 幹線概要

幹線名称	供 用	
	管 径 (mm)	延 長 (m)
富士北麓 1 号幹線	200 ～ 2,000	12,572
富士北麓 2 号幹線	600 ～ 1,800	16,812
富士北麓 3 号幹線	250 ～ 800	2,826
合 計		32,210

※供用管径及び延長は、令和 8 年 4 月 1 日現在の値を示す。

表 2－1 3 幹線付帯設備概要

幹線名称	設備名称	仕様及び形式	現有設備
富士北麓 1 号幹線	中沢川横断部伏越	中沢川横断部 管径 1,100mm 900mm	27.585m
	富士北麓 1 号幹線トンネル	馬蹄形管きよ 幅2,000mm×高2,300mm 〔汚水用水路幅 950mm〕 〔点検用通路幅 900mm〕	1,709.720m
富士北麓 2 号幹線	桂川横断部水管橋	桂川横断部 管径 900mm	27.390m
	富士北麓 2 号幹線トンネル	上流側 管径 1,200mm 下流側 馬蹄形管きよ 幅1,800mm×高1,800mm 〔汚水用水路幅 800mm〕 〔点検用通路幅 850mm〕	241.800m 435.900m

表 2－1 4 幹線流量計測設備概要

流量計番号	設備名称	管径 (mm)	流量計口径 (mm)	最大目盛 (m ³ /h)	形式
1	第 8 処理分区流量計 (河口湖第二中継ポンプ場)	—	200	600	電磁式
2	第 1 8 ～ 2 2 処理分区流量計	800	800	1,500	P B F、圧力式
3	第 1 8 ～ 2 6 処理分区流量計	900	900	2,000	P B F、圧力式
4	河口湖第一中継ポンプ場流量計	—	250	800	電磁式
5	足和田中継ポンプ場流量計	—	150	200	電磁式
6	第 1 ～ 3 0 処理分区流量計	1,500	1,500	6,000	超音波、圧力式
7	第 1 ～ 1 0 処理分区流量計	900	900	2,500	超音波、圧力式
備 考	流量計番号は図 2－6 流域幹線系統図中の設備番号を示す。				

2 施設運転管理状況

(1) 機械設備運転管理状況

①各設備の運転状況等

主要機器運転状況を表 2-15 に、し渣及び沈砂搬出状況を表 2-16 に、薬品・給水・燃料使用状況を表 2-17 に、中継ポンプ場運転状況を表 2-18 に示す。

各設備については、下記のとおり運転を行った。

ア) 曝気沈砂池設備

流入ゲートは流入管路の滞泥防止のため、流入水量が少ない朝方にフラッシング操作を行った。

スクリーン設備についてはNo.1 またはNo.2 水路のうち1 水路を使用し、細目スクリーン自動除塵機は2 時間毎のタイマー設定による間欠自動運転を行った。

沈砂池設備については、機械設備の整っているNo.1 沈砂池を使用し、集砂装置は1 日1 回手動運転を行った。

イ) 最初沈殿池設備

使用池数は1.0 池を基本とした。No.1-1 及びNo.2-1 池の年次点検期間は0.5 池使用とした。

汚泥掻寄機、初沈汚泥ポンプは連続運転を行った。また、スカムスキマーはスカムの発生状況に応じて間隔を調整しながら間欠自動運転を行った。

ウ) 反応タンク設備

使用池数は3 池とした。

送風機は吐出圧一定制御とし、状況により風量一定制御とした。また、運転号機は負荷の状況によりNo.1 及びNo.2 送風機の1～2 台運転を基本とした。なお、3 月10 日にNo.3 送風機の修繕が行われて運転可能となったため、それ以降はNo.1～3 送風機の1～2 台運転を基本とした。

各池の曝気風量の調整は、目標DO に合わせてDO 一定制御を基本として調整を行った。

エ) 最終沈殿池設備

使用池数は2.5 池を基本とした。年次点検及び機器分解点検により使用制限を受ける場合については2.0 池使用とした。

汚泥掻寄機は連続運転とし、スカムスキマーはスカムの発生状況に応じて間隔を調整しながら間欠自動運転を行った。

返送汚泥ポンプは返送率一定制御による自動運転を行った。

余剰汚泥ポンプは余剰汚泥受槽によるレベル制御で自動運転を行った。

オ) 塩素滅菌設備

次亜塩注入ポンプは注入率一定制御により連続運転を行った。注入率は残留塩素濃度を確認しながら調整を行った。

カ) 機械汚泥濃縮設備

濃縮機はNo.1 及びNo.3 ベルト濃縮機を主機として余剰汚泥のみの処理とし、1 台間欠運転にて、濃度一定制御による自動運転により処理を行った。No.2 遠心濃縮機は予備機として1 週間毎に実負荷運転と洗浄運転を交互に行った。

キ) 重力汚泥濃縮設備

最初沈殿池より送泥された生汚泥を希釈濃縮法により濃縮した。

汚泥掻寄機は連続運転とした。

II 富士北麓流域下水道

ク) 汚泥脱水設備

脱水機は、電力消費量削減のため、No. 1 汚泥脱水機を主機として運転し、No. 2 遠心脱水機は月 1 回程度の実負荷運転を行った。

ケ) 脱臭設備

脱臭設備は、曝気沈砂池棟、汚泥濃縮棟、汚泥処理棟、搬出棟及び各ポンプ場のいずれも 24 時間連続運転とした。

コ) 関連中継ポンプ場

足和田中継ポンプ場、河口湖第二中継ポンプ場の汚水ポンプは固定速運転でポンプ井水位による間欠運転を行った。河口湖第一中継ポンプ場の汚水ポンプは 0～20 時の間は可変速運転でポンプ井水位による間欠運転、20～24 時の間は固定速運転でポンプ井水位による間欠運転を行った。

②未使用機器の保守

未使用機器は、基本的に月次点検時に保守運転を実施した。また、予備機のある機器については、1 箇月毎を基本に交互切替運転とした。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表 2－19 に示す。

Ⅱ 富士北麓流域下水道

表 2－1 5 主要機器運転状況

(単位：時間)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
No. 1 初沈汚泥ポンプ	560.4	584.2	559.9	575.2	616.3	551.4	591.9	568.3	580.0	575.2	521.4	574.2	6,858.4
No. 2 初沈汚泥ポンプ	545.9	576.6	562.1	572.9	592.1	557.4	572.3	563.9	578.3	578.0	509.9	571.1	6,780.5
No. 1 送風機	720.0	744.0	720.0	742.8	744.0	720.0	744.0	720.0	744.0	741.7	672.0	232.0	8,244.5
No. 2 送風機	664.9	650.2	580.0	596.5	694.2	563.7	652.0	572.8	561.0	493.7	429.3	274.9	6,733.2
No. 3 送風機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	407.2	407.2
No. 1-1 返送汚泥ポンプ	714.0	730.6	717.6	730.0	729.5	717.1	698.0	640.8	743.7	740.6	670.7	743.2	8,575.8
No. 1-2 返送汚泥ポンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No. 1-3 返送汚泥ポンプ	7.4	30.9	26.1	16.1	15.3	8.5	54.6	145.6	0.1	0.3	3.4	4.6	312.9
No. 1-4 返送汚泥ポンプ	665.6	9.7	631.0	7.3	652.9	13.2	626.7	16.6	643.4	8.6	649.6	8.7	3,933.3
No. 1-5 返送汚泥ポンプ	9.5	682.2	8.1	636.5	7.3	622.1	9.1	628.6	5.3	726.5	12.3	701.9	4,049.4
No. 2-1 返送汚泥ポンプ	9.1	732.3	15.5	734.3	10.8	710.7	12.4	493.3	9.6	732.4	9.8	735.3	4,205.5
No. 2-2 返送汚泥ポンプ	710.4	11.4	703.6	10.1	732.9	15.6	629.8	1.1	733.6	8.6	661.1	8.5	4,226.7
No. 1-1 余剰汚泥ポンプ	4.2	255.9	3.0	231.6	3.5	229.7	3.3	197.1	3.1	187.5	3.3	182.3	1,304.5
No. 1-2 余剰汚泥ポンプ	256.4	4.0	230.0	3.0	243.5	2.9	203.4	2.8	173.3	2.9	168.3	8.6	1,299.1
No. 2-1 余剰汚泥ポンプ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	32.1	0.1	33.9	0.1	32.6	99.5
No. 2-2 余剰汚泥ポンプ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	5.5	0.1	39.4	0.1	32.3	1.3	79.3
No. 1 次亜塩注入ポンプ	0.3	2.7	0.3	0.2	0.5	2.6	249.8	657.0	0.3	335.4	334.6	335.8	1,919.5
No. 2 次亜塩注入ポンプ	719.7	741.3	719.3	743.8	742.7	717.4	494.3	63.0	743.7	406.2	337.4	408.2	6,837.0
No. 1 ベルト濃縮機	363.3	357.6	337.5	348.0	373.3	350.5	328.7	336.5	338.8	349.2	407.0	390.8	4,281.2
No. 2 遠心濃縮機	3.0	3.2	4.2	3.3	2.0	2.0	3.0	2.0	1.5	0.0	4.3	2.1	30.6
No. 3 ベルト濃縮機	357.2	392.5	371.9	363.1	373.8	357.9	306.6	373.2	362.3	374.2	240.9	328.7	4,202.3
No. 1 汚泥脱水機	311.7	300.7	308.9	320.3	327.1	292.0	314.8	282.5	304.5	299.2	179.8	290.9	3,532.4
No. 2 遠心脱水機	9.5	27.5	11.5	12.5	12.2	11.8	12.7	11.2	10.0	11.9	87.9	21.4	240.1
No. 1 非常用発電機	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.6
No. 2 非常用発電機	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.3

表 2－1 6 し 渣 及 び 沈 砂 搬 出 状 況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
し 渣 搬 出 量 (水処理系) (kg)	1,045	648	835	835	869	717	691	912	890	762	1,171	677	10,052
し 渣 搬 出 量 (汚泥処理系) (kg)	900	1,116	1,042	794	839	1,262	935	1,075	1,313	1,174	1,219	783	12,452
沈 砂 搬 出 量 (kg)	0	0	0	250	1,730	9,011	0	336	0	0	0	0	11,327

表 2－1 7 薬品・給水・燃料使用状況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
薬品	固形塩素剤 (kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	次亜塩素酸ナトリウム (L)	4,680	5,320	5,000	6,340	6,660	6,390	5,720	5,200	6,220	5,690	4,880	67,150
	高分子凝集剤(機械濃縮系) (kg)	62.8	63.3	59.9	54.8	54.4	55.2	59.3	54.2	52.2	50.1	43.0	655.6
	高分子凝集剤(脱水機系) (kg)	1,147.0	1,052.2	952.8	958.3	973.9	973.0	1,104.6	901.4	998.7	989.9	788.4	11,803.9
	消臭剤(重力濃縮系) (L)	2,763	3,317	3,275	3,289	4,676	4,110	4,020	3,681	3,748	3,150	2,316	41,162
	消臭剤(脱水機系) (L)	607	610	700	893	1,075	960	886	662	568	464	373	8,297
給水	上水 (m³)	51	53	53	48	61	43	47	84	40	44	80	651
	砂ろ過水 (m³)	21,755	22,696	22,181	23,360	23,794	22,878	23,390	22,903	22,588	21,901	20,305	271,289
燃料	重油 (L)	28	38	46	26	27	28	28	28	29	29	26	362

表 2－1 8 中継ポンプ場運転状況

(単位：時間)

ポンプ場名称	項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
足和田 中継ポンプ場	No. 1 汚水ポンプ	56.8	53.2	49.6	50.1	54.5	46.1	42.5	41.3	53.5	64.9	63.3	59.0	634.8
	No. 2 汚水ポンプ	58.6	54.2	50.1	52.5	57.3	48.4	44.5	43.2	55.7	68.6	66.2	62.3	661.6
	非常用発電機	0.3	0.5	1.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.1	0.2	0.3	0.2	4.6
河口湖第一 中継ポンプ場	No. 1-1 汚水ポンプ	474.7	481.9	454.1	471.1	491.5	470.9	489.5	460.8	515.8	554.9	506.5	534.8	5,906.5
	No. 1-2 汚水ポンプ	1.0	0.5	0.5	0.6	0.7	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.6	7.1
	No. 2-1 汚水ポンプ	3.8	66.7	4.8	88.2	9.2	78.4	17.3	70.8	4.4	77.8	7.0	86.2	514.6
	No. 2-2 汚水ポンプ	83.0	15.7	68.5	1.3	80.3	6.0	69.8	9.2	83.5	14.6	84.4	7.0	523.3
	非常用発電機	0.2	0.2	1.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	1.1	0.2	0.4	0.2	4.5
河口湖第二 中継ポンプ場	No. 1-1 汚水ポンプ	0.6	0.4	0.7	0.6	0.5	0.6	0.4	0.4	0.3	0.0	18.1	56.5	79.1
	No. 1-2 汚水ポンプ	117.2	115.3	106.4	113.3	116.3	107.2	112.9	114.4	117.9	127.7	102.8	62.0	1,313.4
	非常用発電機	0.2	0.2	1.0	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	1.0	0.2	0.2	0.9	4.8

II 富士北麓流域下水道

表 2－19 機器故障状況（機械関連）

機器名称	内容及び原因	処置及び対応
管理本館 空気調和機	リモコンの液晶画面が点灯しない状況であった。 原因は経年劣化によるものであった。	リモコンの交換を実施した。
曝気沈砂池棟 公園用上水ポンプ	公園用上水ポンプの圧力スイッチから漏水していた。 原因は経年劣化によるものであった。	圧力スイッチの交換を実施した。
送風機自家発棟 No.3 送風機	電動機のスリップリング部付近より異音が発生していた。 原因は経年劣化によるものであった。	電動機の交換を実施した。
水処理施設 No.1－2 終沈 污泥掻寄機	スプロケットやチェーンブッシュが摩耗限界値を超える状況であった。 原因は経年劣化によるものであった。	スプロケットやチェーン等の部品交換を実施した。
水処理施設 スカム搬出用 電動ホイスト	操作スイッチが硬くなっており、操作性が悪い状況であった。 原因は経年劣化によるものであった。	操作スイッチの交換を実施した。
污泥処理棟 No.1 ベルト濃縮機 濃度検出装置攪拌機	濃度検出装置攪拌機の減速部あたりから異音が発生していた。 原因はオイルシール不良及び軸受の損傷であった。	減速機の交換を実施した。
污泥処理棟 濃縮機No.4 薬品供給ポンプ	ローター及びステーターが摩耗している状況であった。 原因は経年劣化によるものであった。	ローター及びステーターの交換を実施した。
污泥処理棟 No.2 脱臭ファン	電動機が焼損していた。 原因は経年劣化によるものであった。	電動機の交換を実施した。
塩素滅菌棟 No.1, 2 次亜塩タンク 納入口	バルブが破損している状況であった。また、ストレーナが劣化している状況であった。 原因は経年劣化によるものであった。	バルブ及びストレーナの交換を実施した。
屋外トイレ フラッシュバルブ	男子小便器の洗浄水が流れている状況であった。 原因はフラッシュバルブ内部のパッキンの劣化によるものであった。	フラッシュバルブ本体の交換を実施した。
屋外トイレ 壁タイル	女子トイレの壁タイルが一部剥がれていた。 原因は経年劣化によるものであった。	タイルの貼り替えを実施した。

注）令和7年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

II 富士北麓流域下水道

(2) 電気設備運転管理状況

①電力使用状況

施設の受電電圧は、富士北麓浄化センター、河口湖第一中継ポンプ場及び河口湖第二中継ポンプ場は高圧 6,600V、足和田中継ポンプ場が低圧 200V（動力）及び 200-100V（照明）である。

富士北麓浄化センター、足和田中継ポンプ場、河口湖第一中継ポンプ場及び河口湖第二中継ポンプ場の使用電力量と流入下水量の表とグラフをそれぞれ表 2-20～表 2-23、図 2-10～図 2-13 に示す。

浄化センターの使用電力量は、196～225 千 kWh/月の間で推移し、年間として 2,507 千 kWh/年となり、昨年度と比較して約 1.4%の減少となった。

浄化センターの原単位電力量と最大需要電力の表とグラフをそれぞれ表 2-24、図 2-14、図 2-15 に示す。

原単位電力量は 0.265～0.310kWh/m³の間で推移した。

最大需要電力は、329～358kW の間で推移した。

デマンド監視装置によるデマンド管理の目標値は、年間を通じて 359kW に設定し、例年、需要電力のピークとなる 8 月の最大需要電力は抑制により目標値以下で抑えることが出来た。

浄化センターの契約電力は、実量制による契約電力決定方式により年間を通じて 358kW であった。

ポンプ場の契約電力は、河口湖第一及び河口湖第二中継ポンプ場は実量制による契約電力決定方式により、河口湖第一中継ポンプ場は 36～49kW、河口湖第二中継ポンプ場は 16～18kW の間で推移した。また、足和田中継ポンプ場は設備容量による契約電力決定方式により 36kW であった。

②非常用発電設備運転状況

浄化センターでは、保守点検として、1 箇月に 1 回約 5～10 分間の無負荷運転のみ実施した。

足和田中継ポンプ場では、保守運転として 1 箇月に 1 回約 10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回約 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 13kWh であった。また、情報処理計装設備保守点検業務委託の計装設備点検後の確認として、5 月に 1 回約 10 分間の実負荷運転を実施し、発電電力量は 4kWh であった。

河口湖第一中継ポンプ場では、保守運転として 1 箇月に 1 回約 10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回約 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 5kWh であった。

河口湖第二中継ポンプ場では、保守運転として 1 箇月に 1 回約 10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回約 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 0kWh であった。

また、停電による運転として、足和田中継ポンプ場では 7 月に 1 分間の実負荷運転を実施し、発電電力量は 0kWh であった。河口湖第一中継ポンプ場及び河口湖第二中継ポンプ場では 8 月にそれぞれ 1 分間と 2 分間の実負荷運転を実施し、発電電力量は 1kWh と 0kWh であった。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表 2-25 に示す。

II 富士北麓流域下水道

表 2-20 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	212,400	212,256	201,816	214,776	225,241	203,297	202,743	201,340	214,473	216,081	196,096	206,450	2,506,969	208,914
流入下水量	704,390	713,059	650,590	698,579	732,220	674,460	677,978	671,920	757,446	794,111	740,248	751,377	8,566,378	713,865

表 2-21 使用電力量と流入下水量（足和田中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	3,183	3,073	2,600	2,956	3,064	2,705	2,363	2,288	2,539	3,806	3,838	3,549	35,964	2,997
流入下水量	15,531	15,134	13,972	14,587	16,391	14,078	12,822	12,238	14,610	16,513	15,167	15,131	176,174	14,681

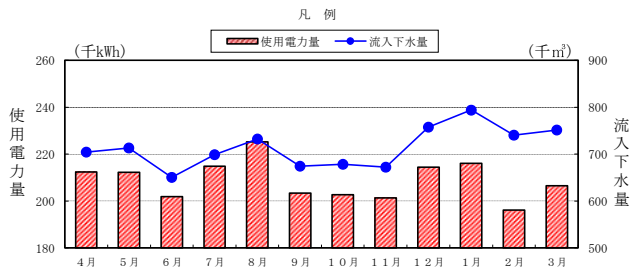


図 2-10 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

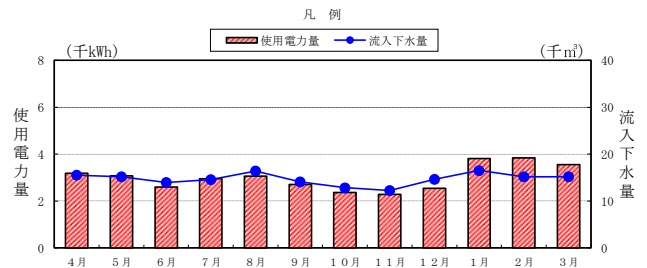


図 2-11 使用電力量と流入下水量（足和田中継ポンプ場）

表 2-22 使用電力量と流入下水量（河口湖第一中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	7,024	6,881	6,603	7,344	7,272	6,761	6,967	6,958	8,005	8,615	7,467	8,093	87,990	7,333
流入下水量	87,317	87,697	81,142	84,841	90,737	84,181	84,878	81,949	92,697	99,757	93,507	92,738	1,061,441	88,453

表 2-23 使用電力量と流入下水量（河口湖第二中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	3,841	3,781	3,673	3,996	3,984	3,750	3,875	3,852	4,172	4,406	3,858	3,896	47,084	3,924
流入下水量	29,674	29,937	26,785	28,644	30,259	28,096	28,961	29,353	31,237	33,408	31,324	31,576	359,254	29,938

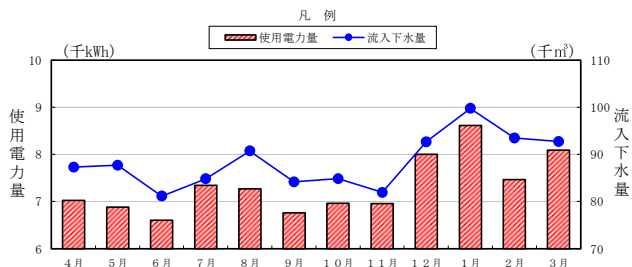


図 2-12 使用電力量と流入下水量（河口湖第一中継ポンプ場）

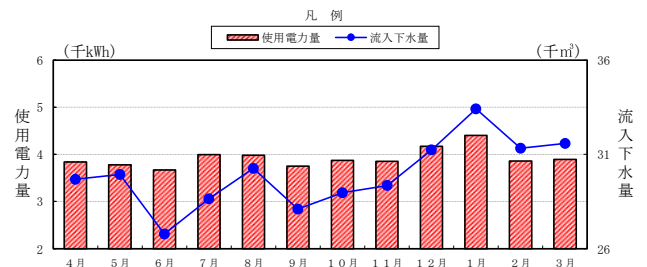


図 2-13 使用電力量と流入下水量（河口湖第二中継ポンプ場）

表 2-24 原単位電力量と最大需要電力（浄化センター）

(単位: 上段 kWh/m³, 下段 kW)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
原単位電力量	0.302	0.298	0.310	0.307	0.308	0.301	0.299	0.300	0.283	0.272	0.265	0.275	0.293
最大需要電力	348	350	348	341	350	346	329	341	353	358	358	353	348

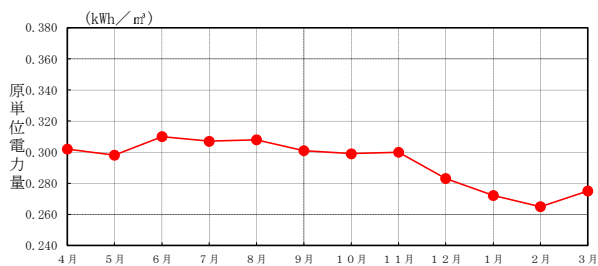


図 2-14 原単位電力量（浄化センター）

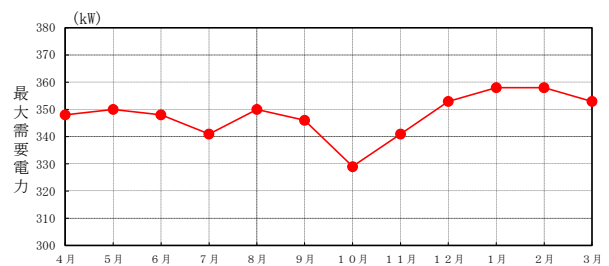


図 2-15 最大需要電力（浄化センター）

表 2 - 2 5 機器故障状況（電気関連）

機器名称	内容及び原因	処置及び対応
No. 2 搬出棟 No. 4 ケーキコンベヤ	電流指示値が通常より高い値となっていた。 原因は、経年劣化によるものであった。	電流計の交換を実施した。
汚泥処理棟 汚泥脱水設備 コントロールセンタ	「汚泥脱水 S X 軽故障」及び「No. 1 脱水機一括故障」 警報が発生し、脱水機が停止した。 原因は、電源モジュールの経年劣化によるものであった。	電源モジュールの交換を実施した。
足和田中継ポンプ場 計装盤 動力制御盤 低圧引込盤	スペースヒーターが動作していなかった。 原因は経年劣化によるものであった。	スペースヒーターの交換を実施した。
足和田中継ポンプ場 ミニ UPS	「ミニ UPS 一括故障」警報が発生した。 原因はバッテリー経過時間に伴うアラーム発報によるものであった。	バッテリーの交換を実施した。

注) 令和 7 年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

3 水質及び汚泥管理状況

(1) 水質管理状況

①水質試験結果

水質試験結果を表 2-26～表 2-29、図 2-16～図 2-17 に示す。

流入水質については、年間平均 BOD が 150mg/L、SS が 150mg/L であった。汚濁濃度は冬期に凍結防止水の影響により低下する傾向を示した。

放流水については、年間を通し良好で安定した水質であった。

②幹線調査結果

幹線調査結果を表 2-30 に示す。

幹線調査では、全地点でふっ素及びその化合物が検出されたが、いずれも下水道排除基準未満であった。

③反応タンク試験結果及び生物試験結果

反応タンク運転状況、反応タンク試験結果及び生物試験結果を表 2-31～表 2-34 に、反応タンクの管理状況を図 2-18～図 2-19 に示す。

反応タンクは使用可能な 5 池のうち、通常使用として 3 池を使用した。処理方式としては、No.1-1 池、No.1-2 池及び No.2-1 池の使用時は二段式嫌気好気法で、No.1-3 池、No.1-4 池の使用時は疑似嫌気好気法による運転とした。

返送汚泥率は、最終沈殿池での汚泥界面や処理水窒素濃度に応じ、約 60～80% の範囲で調整した。

SVI は 100～210mL/g で推移し、年間平均値は 160mL/g であり、冬期に上昇傾向を示したが沈降性は年間を通し概ね良好であった。

BOD-SS 負荷は 0.18～0.28kg/kg・日で推移し、年間平均値は 0.23kg/kg・日であった。

活性汚泥中の微生物は、概ね年間を通して種類も多く、良好な状況であった。

④通日試験結果

通日試験結果を表 2-35～表 2-38、図 2-20～図 2-35 に示す。

流入水負荷は、年間を通して 10:00～24:00 頃が高く、4:00～6:00 頃に急激に低下する傾向を示した。

放流水は、年 4 回のいずれの試験においても水質変動が小さく、安定した良好なものであった。

(2) 汚泥管理状況

汚泥処理運転状況を表 2-39 に、汚泥試験測定結果を表 2-40～表 2-42 に示す。

生汚泥は、連続的に引き抜きを行い重力濃縮槽に投入した。また、重力濃縮槽は年間を通し安定した処理ができた。

余剰汚泥は、MLSS の状況に合わせて引き抜きを行い、機械濃縮機により濃縮を行った。目標濃縮濃度は汚泥性状に応じ 4.0% 前後とした。

脱水は電力消費量削減のため、No.1 汚泥脱水機（ロータリープレス脱水機）を主機として運転し、No.2 汚泥脱水機（遠心脱水機）は週 1 回の実負荷運転又は洗浄運転とした。

脱水ケーキの発生量は年間 4,336.83 t、含水率は年間平均で 70.9% と良好に推移した。なお、脱水ケーキは、23% をセメント原料、77% を肥料原料として全量有効利用した。

Ⅱ 富士北麓流域下水道

(3) その他管理状況

①放流河川調査結果

放流河川調査結果を表 2-43～表 2-44 に示す。

浄化センター放流口の上流域及び下流域とも、ほぼ同程度の水質であった。

②臭気測定結果

臭気測定結果を表 2-45 に示す。

敷地境界における臭気指数はすべて検出下限値未満であった。

II 富士北麓流域下水道

表 2-26 日常試験分析結果（流入水）

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (°C)	最大	19.5	21.5	22.5	24.0	25.0	25.0	23.5	21.0	19.5	17.0	16.5	18.0	25.0
	最小	16.0	19.0	20.5	23.0	24.0	23.0	21.5	19.5	17.5	14.0	14.5	15.5	14.0
	平均	18.1	20.3	21.8	23.5	24.6	24.4	22.7	20.5	18.3	15.7	15.4	16.8	20.2
水素イオン濃度	最大	7.40	7.29	7.39	7.19	7.26	7.23	7.32	7.34	7.40	7.32	7.34	7.35	7.40
	最小	7.08	7.19	7.17	7.10	7.10	7.11	7.08	7.18	7.10	7.10	7.13	7.17	7.08
	平均	7.29	7.24	7.23	7.14	7.15	7.17	7.21	7.29	7.25	7.23	7.27	7.27	7.23
透 視 度 (cm)	最大	7.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	最小	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	4.0
	平均	5.5	5.3	5.6	5.6	5.2	5.6	5.8	5.4	6.1	6.3	6.3	6.0	5.7
浮遊物質量 (mg/L)	最大	170	190	180	170	200	170	190	170	150	140	160	160	200
	最小	130	140	140	120	140	130	120	140	120	100	110	120	100
	平均	150	160	150	150	160	150	150	150	130	120	130	140	150
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	160	180	160	150	180	150	160	160	140	130	140	160	180
	最小	120	140	140	130	150	140	140	150	130	120	130	120	120
	平均	150	160	150	140	170	140	150	160	140	130	130	140	150
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	81	79	84	76	86	82	81	77	72	69	75	78	86
	最小	62	70	66	60	67	66	65	64	64	55	54	56	54
	平均	74	74	73	70	75	71	71	72	68	62	61	67	70
大腸菌数 (CFU/mL)	最大	61,000	56,000	58,000	110,000	73,000	60,000	67,000	310,000	58,000	50,000	36,000	200,000	310,000
	最小	26,000	38,000	41,000	44,000	61,000	32,000	49,000	30,000	34,000	27,000	29,000	37,000	26,000
	平均	40,000	46,000	49,000	67,000	67,000	47,000	54,000	110,000	43,000	39,000	31,000	86,000	57,000

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表 2-27 日常試験分析結果（放流水）

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (°C)	最大	20.5	22.5	24.0	25.5	26.0	26.0	24.5	22.0	20.0	17.5	17.5	19.0	26.0
	最小	17.0	20.0	21.5	24.0	25.5	25.0	22.0	20.5	18.5	15.5	15.5	16.5	15.5
	平均	18.9	21.3	22.9	24.9	25.8	25.5	23.4	21.2	19.0	16.7	16.4	17.8	21.2
水素イオン濃度	最大	6.97	6.95	6.93	6.88	6.95	6.89	6.96	6.92	6.85	6.82	6.81	6.98	6.98
	最小	6.63	6.66	6.69	6.70	6.76	6.70	6.58	6.68	6.49	6.46	6.40	6.48	6.40
	平均	6.80	6.78	6.82	6.79	6.83	6.80	6.81	6.78	6.68	6.62	6.65	6.73	6.76
透 視 度 (cm)	最大	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	最小	>100	>100	>100	90	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	90	90
	平均	>100	>100	>100	100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	99	100
浮遊物質量 (mg/L)	最大	3.7	3.2	3.0	4.0	2.8	2.5	2.2	3.9	2.5	2.1	3.0	5.8	5.8
	最小	2.1	1.7	1.1	1.5	1.3	<1.0	<1.0	1.1	1.1	1.0	1.5	1.7	<1.0
	平均	2.7	2.5	1.7	2.6	1.9	1.6	<1.0	2.1	1.6	1.5	2.1	3.0	1.9
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	4.1	3.6	2.2	3.1	4.5	2.1	2.6	4.6	2.6	2.7	3.5	6.2	6.2
	最小	2.8	2.2	1.8	1.8	2.1	1.6	1.8	2.2	1.8	1.7	2.0	3.0	1.6
	平均	3.4	2.8	2.0	2.6	2.9	1.9	2.1	3.4	2.1	2.3	2.9	4.6	2.8
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	9.8	8.7	8.7	8.8	8.7	7.2	7.4	8.5	7.7	7.3	7.7	11	11
	最小	7.8	7.1	6.5	6.7	6.6	6.3	6.5	7.0	6.7	5.9	6.2	6.9	5.9
	平均	8.5	8.0	7.3	7.8	7.4	6.9	7.0	7.7	7.1	6.4	6.8	8.4	7.4
大腸菌数 (CFU/mL)	最大	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	最小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

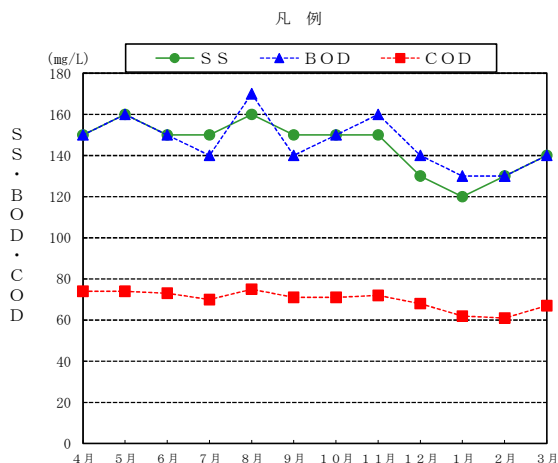


図 2-16 流入水の水質変化

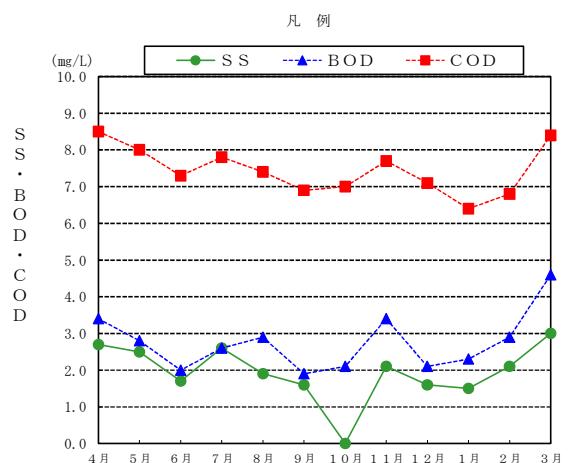


図 2-17 放流水の水質変化

Ⅱ 富士北麓流域下水道

表 2－28（１） 精密試験分析結果（流入水－１）

測 定 項 目	単位	４ 月		５ 月		６ 月		７ 月		８ 月		９ 月		１０月	
実施日	－	3	17	8	22	5	19	3	17	7	21	4	17	2	16
水温	℃	16.5	18.0	19.0	21.5	21.0	22.0	23.0	23.5	24.5	24.5	25.0	24.5	23.0	22.5
透視度	cm	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	5.0	6.0	5.0	5.0	6.0	6.0
水素イオン濃度	－	7.28	7.33	7.26	7.28	7.25	7.26	7.19	7.16	7.21	7.12	7.21	7.22	7.11	7.19
蒸発残留物	mg/L	370	410	430	470	400	420	440	370	420	370	460	440	390	420
強熱残留物	mg/L	160	200	230	200	180	190	210	180	170	190	240	190	180	200
溶解性物質	mg/L	250	240	260	280	230	320	270	230	270	280	320	270	250	290
浮遊物質量	mg/L	130	160	150	190	140	140	140	140	160	160	140	150	140	150
アルカリ度	mg/L	119	139	135	138	137	134	134	122	145	135	138	132	135	140
生物化学的酸素要求量	mg/L	120	160	160	180	160	140	130	130	160	150	140	140	140	150
化学的酸素要求量	mg/L	68	77	74	79	71	71	68	66	76	74	70	70	70	68
アンモニア性窒素含有量	mg/L	17.2	18.5	18.0	17.7	17.4	17.4	17.4	15.6	19.9	18.9	18.2	17.9	17.8	18.3
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.36	0.38	0.40	0.25	0.38	0.43	0.34	0.26	0.35	0.35	0.36	0.38	0.35	0.31
有機性窒素含有量	mg/L	6.85	11.2	10.8	13.5	9.42	11.1	9.01	8.88	10.1	10.8	11.4	10.7	10.7	10.4
窒素含有量	mg/L	24.5	30.1	29.2	31.4	27.2	29.0	26.8	24.7	30.4	30.0	29.9	29.0	28.8	29.0
磷酸イオン態磷含有量	mg/L	1.04	1.24	1.27	1.29	1.21	1.23	1.22	1.12	1.37	1.37	1.35	1.25	1.28	1.27
磷含有量	mg/L	2.73	3.36	3.22	3.52	3.10	3.22	2.99	2.96	3.49	3.45	3.36	3.55	3.05	3.41
大腸菌数	CFU/mL	26,000	34,000	42,000	56,000	41,000	49,000	61,000	110,000	61,000	63,000	56,000	39,000	50,000	50,000
よう素消費量	mg/L	9	10	8	8	11	13	11	13	12	12	16	17	10	11
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	9	10	14	11	8	7	10	8	10	12	11	9	9	10
シアン化合物	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.01	－	－	－	－	－
フェノール類含有量	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.50	－	－	－	－	－
鉄含有量	mg/L	0.26	0.11	0.15	0.45	0.24	0.24	0.21	0.23	0.18	0.13	0.20	0.11	0.16	0.14
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.001	－	－	－	－	－
クロム含有量	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.05	－	－	－	－	－
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.0005	－	－	－	－	－
トリクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.0005	－	－	－	－	－
有機磷化合物	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.1	－	－	－	－	－
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.0005	－	－	－	－	－
ジクロロメタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
四塩化炭素	mg/L	－	－	<0.002	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
1,2-ジクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.004	－	－	－	－	－
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.04	－	－	－	－	－
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	－	－	<0.001	－	－	－	－	－	<0.001	－	－	－	－	－
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.006	－	－	－	－	－
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
チウラム	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.006	－	－	－	－	－
シマジン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.003	－	－	－	－	－
チオベンカルブ	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
ベンゼン	mg/L	－	－	<0.01	－	－	－	－	－	<0.01	－	－	－	－	－
セレン及びその化合物	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.01	－	－	－	－	－
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.16	0.17	0.18	0.18	0.15	0.17	0.14	0.13	0.15	0.22	0.14	0.16	0.13	0.20
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	17.6	18.9	18.4	18.0	17.8	17.8	17.7	15.9	20.3	19.3	18.6	18.3	18.2	18.6
1,4-ジオキサン	mg/L	－	－	<0.05	－	－	－	－	－	<0.05	－	－	－	－	－

II 富士北麓流域下水道

表 2-28 (2) 精密試験分析結果 (流入水-2)

測定項目	単位	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—	6	20	4	18	8	22	5	19	5	18	—	—	—
水温	℃	21.0	19.5	18.0	18.0	16.0	15.5	15.0	15.5	15.5	16.5	25.0	15.0	20.0
透視度	cm	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.7
水素イオン濃度	—	7.24	7.32	7.36	7.31	7.10	7.26	7.32	7.29	7.35	7.18	7.36	7.10	7.24
蒸発残留物	mg/L	430	430	380	350	340	330	340	350	330	390	470	330	400
強熱残留物	mg/L	190	220	190	180	180	190	170	180	170	220	240	160	190
溶解性物質	mg/L	280	280	240	230	240	210	220	220	220	240	320	210	260
浮遊物質	mg/L	150	140	130	130	120	120	120	120	120	140	190	120	140
アルカリ度	mg/L	143	137	130	122	117	125	114	122	115	131	145	114	131
生物化学的酸素要求量	mg/L	160	150	140	140	130	130	130	140	120	160	180	120	140
化学的酸素要求量	mg/L	73	70	72	69	62	61	59	59	56	71	79	56	69
アンモニア性窒素含有量	mg/L	19.0	18.6	16.9	14.6	14.0	13.6	14.0	14.6	14.7	16.9	19.9	13.6	17.0
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.15	0.13	0.15	0.15	0.30	<0.02	0.30	<0.02	0.04
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.33	0.32	0.34	0.32	0.36	0.40	0.38	0.37	0.37	0.48	0.48	0.25	0.36
有機性窒素含有量	mg/L	9.88	10.3	9.34	9.50	8.32	8.04	8.71	7.68	8.41	11.2	13.5	6.85	9.84
窒素含有量	mg/L	29.2	29.3	26.6	24.4	22.8	22.1	23.2	22.8	23.8	28.5	31.4	22.1	27.2
磷酸イオン態磷含有量	mg/L	1.27	1.21	1.15	1.07	0.95	0.95	0.99	1.03	0.97	1.22	1.37	0.95	1.18
磷含有量	mg/L	3.14	3.14	3.05	2.89	2.65	2.68	2.53	3.01	2.39	2.84	3.55	2.39	3.07
大腸菌数	CFU/mL	310,000	54,000	41,000	34,000	27,000	33,000	36,000	31,000	200,000	37,000	310,000	26,000	64,000
よう素消費量	mg/L	10	10	8	8	8	7	7	7	8	10	17	7	10
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	8	9	10	10	9	10	9	10	11	14	7	10
シアン化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.22	0.12	<0.10	<0.10	<0.10	0.16	0.14	0.16	0.19	0.16	0.45	<0.10	0.17
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機磷化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.002	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.16	0.18	0.20	0.18	0.21	0.21	0.19	0.21	0.14	0.17	0.22	0.13	0.17
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	19.3	18.9	17.2	14.9	14.5	14.1	14.5	15.1	15.4	17.4	20.3	14.1	17.4
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

Ⅱ 富士北麓流域下水道

表 2－2 9 （1） 精密試験分析結果（放流水－1）

測 定 項 目	単位	水質基準	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月	
実施日	—		3	17	8	22	5	19	3	17	7	21	4	17	2	16
水温	℃		17.0	19.0	20.5	22.0	22.0	23.0	25.0	24.5	25.5	26.0	25.5	25.5	24.5	23.0
透視度	cm		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	6.77	6.66	6.95	6.85	6.82	6.92	6.81	6.70	6.81	6.84	6.81	6.85	6.85	6.72
蒸発残留物	mg/L		240	240	240	270	220	310	310	220	250	300	350	260	240	290
強熱残留物	mg/L		160	180	200	190	160	200	210	170	190	200	230	200	190	210
溶解性物質	mg/L		230	240	230	260	200	290	300	220	240	300	340	250	240	280
浮遊物質質量	mg/L	40(30)	2.3	2.1	2.1	2.7	1.1	1.5	1.5	2.9	1.7	1.9	1.0	1.9	1.1	1.2
アルカリ度	mg/L		56	55	56	61	60	57	54	51	56	55	56	58	73	55
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	2.8	4.1	2.6	3.6	1.9	2.0	1.8	2.9	2.8	2.1	1.9	2.1	2.3	1.8
化学的酸素要求量	mg/L		7.8	8.2	8.1	7.9	6.7	7.2	7.4	7.5	7.0	7.5	6.7	6.9	7.0	6.7
アンモニア性窒素含有量	mg/L		1.41	0.75	0.70	1.70	1.31	0.25	0.20	0.34	0.40	0.46	0.36	0.65	2.51	0.95
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.16	0.15	0.06	0.10	0.07	<0.02	<0.02	0.05	0.05	0.04	0.06	0.06	0.08	0.08
硝酸性窒素含有量	mg/L		3.93	5.70	5.34	4.85	5.12	5.42	5.85	4.98	6.05	6.04	6.00	5.53	5.79	6.38
有機性窒素含有量	mg/L		0.72	1.06	0.96	1.06	0.78	0.82	0.79	0.93	0.81	0.90	0.78	0.79	0.85	0.75
窒素含有量	mg/L	120(60)	6.21	7.66	7.07	7.71	7.28	6.49	6.84	6.31	7.30	7.44	7.19	7.04	9.22	8.17
磷酸イオン態磷含有量	mg/L		0.26	0.47	0.44	0.50	0.62	0.30	0.42	0.25	0.40	0.24	0.31	1.10	0.37	0.71
磷含有量	mg/L	16(8)	0.38	0.61	0.56	0.67	0.74	0.39	0.56	0.39	0.52	0.36	0.41	1.28	0.49	0.80
大腸菌数	CFU/mL	300	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
よう素消費量	mg/L		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
フェノール類含有量	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	—	—
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
クロム含有量	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機磷化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	0.16	0.13	0.14	0.12	<0.10	0.10	<0.10	0.11	0.12	0.17	0.13	0.12	0.12	0.15
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	4.65	6.15	5.68	5.63	5.71	5.52	5.93	5.17	6.26	6.26	6.20	5.85	6.87	6.84
1,4-ジオキササン	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

II 富士北麓流域下水道

表2-29 (2) 精密試験分析結果(放流水-2)

測定項目	単位	水質基準	11月		12月		1月		2月		3月		最大	最小	平均
実施日	—		6	20	4	18	8	22	5	19	5	18	—	—	—
水温	℃		22.0	21.0	19.5	18.5	17.0	17.0	16.0	16.5	16.5	18.0	26.0	16.0	21.0
透視度	cm		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8~8.6	6.70	6.80	6.82	6.77	6.50	6.73	6.68	6.75	6.72	6.60	6.95	6.50	6.77
蒸発残留物	mg/L		280	260	240	240	230	210	210	210	220	240	350	210	250
強熱残留物	mg/L		200	220	200	210	170	190	150	200	180	220	230	150	190
溶解性物質	mg/L		260	260	240	210	220	160	210	210	210	240	340	160	240
浮遊物質質量	mg/L	40(30)	3.9	1.2	1.3	1.7	1.4	1.1	1.8	1.6	1.7	2.8	3.9	1.0	1.8
アルカリ度	mg/L		58	56	56	58	56	53	56	56	58	62	73	51	57
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	4.6	2.4	2.6	2.0	2.2	2.4	3.5	2.7	3.0	5.8	5.8	1.8	2.7
化学的酸素要求量	mg/L		8.1	7.5	7.0	6.9	6.2	6.5	6.4	6.7	6.9	8.3	8.3	6.2	7.2
アンモニウム性窒素含有量	mg/L		1.57	0.86	0.76	0.86	0.41	0.80	0.75	1.05	0.95	2.84	2.84	0.20	0.95
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.11	0.11	0.09	0.08	0.05	0.08	0.09	0.14	0.14	0.28	0.28	<0.02	0.09
硝酸性窒素含有量	mg/L		6.32	6.06	5.60	4.98	4.21	4.45	3.55	3.46	4.71	4.81	6.38	3.46	5.21
有機性窒素含有量	mg/L		1.20	0.77	0.87	0.87	0.69	0.69	0.58	0.67	0.66	0.79	1.20	0.58	0.82
窒素含有量	mg/L	120(60)	9.20	7.80	7.32	6.79	5.36	6.03	4.96	5.32	6.45	8.72	9.22	4.96	7.08
磷酸イオン態リン含有量	mg/L		0.49	0.40	0.42	1.04	0.21	1.26	0.71	0.72	0.95	0.50	1.26	0.21	0.55
リン含有量	mg/L	16(8)	0.73	0.52	0.55	1.24	0.32	1.59	0.92	1.01	1.14	0.65	1.59	0.32	0.70
大腸菌数	CFU/mL	300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
よう素消費量	mg/L		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機リン化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	0.15	0.11	0.19	<0.10	0.19	0.18	0.17	0.18	0.13	0.17	0.19	<0.10	0.13
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	7.06	6.51	5.99	5.40	4.42	4.85	3.94	4.02	5.23	6.23	7.06	3.94	5.68
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

II 富士北麓流域下水道

表 2-30 幹線調査分析結果

測定項目		単位	排除基準	①	②	③	④	⑤	⑥	
採水月日						5月14日	5月14日	5月14日	5月14日	
採水時刻						9:55	10:20	9:30	9:05	
政 令 で 理 定 め る 物 質 質 条 例 で 定 め る 物 質 そ の 他 備 考	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出			<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	シアン化合物	mg/L	0.1			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	有機燐化合物	mg/L	不検出			<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
	鉛及びその化合物	mg/L	0.1			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	六価クロム化合物	mg/L	0.05			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	砒素及びその化合物	mg/L	0.05			<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	アルキル水銀化合物	mg/L	不検出			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	トリクロロエチレン	mg/L	0.1			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.1			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	ジクロロメタン	mg/L	0.2			<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	四塩化炭素	mg/L	0.02			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04			<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1			<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4			<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3			<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06			<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	チウラム	mg/L	0.06			<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	
	シマジン	mg/L	0.03			<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
	チオベンカルブ	mg/L	0.2			<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	ベンゼン	mg/L	0.1			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	セレン及びその化合物	mg/L	0.1			<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	ほう素及びその化合物	mg/L	10			<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	
	ふっ素及びその化合物	mg/L	1			0.29	0.22	0.13	0.14	
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.5			<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
	フェノール類含有量	mg/L	1			<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	
	銅含有量	mg/L	1			<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	亜鉛含有量	mg/L	1			<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	溶解性鉄含有量	mg/L	1			<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	溶解性マンガン含有量	mg/L	1			<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	クロム含有量	mg/L	0.5			<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
	条 例 で 定 め る 物 質	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380			27.9	22.6	23.7	20.7
		生物化学的酸素要求量	mg/L	600			240	190	140	130
		浮遊物質質量	mg/L	600			230	210	150	100
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	30			19	10	8	8
		水素イオン濃度	—	5～9			7.50	7.37	7.37	7.47
		水温	℃	45			20.0	20.0	19.0	18.0
		よう素消費量	mg/L	220			15	12	9	9
	そ の 他	色	—				黄濁	黄濁	微黄濁	微黄濁
		化学的酸素要求量	mg/L				120	100	81	59
備 考	番号 幹線名		上流市町村名							
	① 富士北麓1号幹線		(欠番)							
	② 富士北麓1号幹線		(欠番)							
	③ 富士北麓1号幹線		富士河口湖町							
	④ 富士北麓1号幹線		全市町村							
	⑤ 富士北麓2号幹線		山中湖村、忍野村							
	⑥ 富士北麓2号幹線		山中湖村							
	※①、②は、市町村合併により欠番としている。									

Ⅱ 富士北麓流域下水道

表 2 - 3 1 反応タンク運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
流 入 下 水 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	27,566	27,559	23,004	26,369	25,657	34,667	27,129	24,550	27,444	27,667	29,136	27,330	34,667
	最小	21,829	21,094	19,988	20,638	22,008	20,583	20,983	21,164	21,877	24,040	23,658	23,103	19,988
	平均	23,480	23,002	21,686	22,535	23,620	22,482	21,870	22,397	24,434	25,616	26,437	24,238	23,469
反応タンク 流入水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	28,860	28,810	24,250	27,640	27,070	35,840	28,170	25,710	28,580	28,730	30,340	28,690	35,840
	最小	22,910	22,210	21,300	21,920	23,390	21,760	22,210	22,670	23,310	25,210	24,680	24,290	21,300
	平均	24,668	24,196	22,881	23,756	24,917	23,760	23,094	23,683	25,644	26,797	27,617	25,456	24,692
返 送 汚 泥 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	19,370	20,240	17,122	19,980	20,270	26,600	18,130	18,990	19,440	19,240	20,400	19,220	26,600
	最小	15,640	15,240	14,490	14,940	16,100	14,990	13,730	15,070	15,800	16,670	16,750	16,410	13,730
	平均	16,839	16,715	15,789	16,732	17,382	16,507	15,514	16,479	17,365	17,956	18,582	17,254	16,918
返 送 汚 泥 率 (%)	最大	72.9	75.9	74.1	77.9	79.9	74.2	71.4	80.1	68.5	68.3	69.7	72.6	80.1
	最小	67.1	66.8	65.7	67.7	67.2	67.7	60.0	64.8	67.3	59.5	65.2	66.7	59.5
	平均	68.3	69.1	69.0	70.4	69.7	69.4	67.2	69.6	67.7	67.0	67.3	67.8	68.5
余 剩 汚 泥 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	396	420	413	407	409	378	370	485	464	398	382	407	485
	最小	338	300	280	262	339	243	254	274	288	294	252	264	243
	平均	355	357	353	338	356	347	303	356	335	348	340	343	344
送 風 量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	最大	87,204	93,283	77,557	78,929	82,337	81,221	86,484	87,861	70,158	75,209	66,836	82,426	93,283
	最小	65,970	65,639	64,343	65,466	69,279	64,959	71,112	59,616	58,218	50,805	51,657	53,331	50,805
	平均	78,754	74,929	71,321	73,006	76,852	70,981	77,077	70,025	64,490	60,382	59,348	66,262	70,348
送 風 倍 率 (倍)	最大	3.6	3.5	3.4	3.3	3.2	3.7	3.8	3.6	2.8	2.8	2.6	3.4	3.8
	最小	2.3	2.5	2.8	2.6	2.9	1.8	2.9	2.6	2.3	1.8	1.8	2.0	1.8
	平均	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0	3.3	3.0	2.5	2.3	2.2	2.6	2.9
滞 留 時 間 (H r)	最大	8.8	9.1	9.5	9.2	8.7	9.3	9.1	8.9	8.7	8.0	8.2	8.3	9.5
	最小	7.0	7.0	8.3	7.3	7.5	5.6	7.2	7.9	7.1	7.0	6.7	7.1	5.6
	平均	8.2	8.4	8.9	8.5	8.1	8.6	8.8	8.6	7.9	7.6	7.3	8.0	8.2

II 富士北麓流域下水道

表 2-32 反応タンク試験結果 (1)

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均	
水 温 (℃)	最大	20.5	22.5	24.0	26.0	26.5	26.0	25.0	22.5	21.0	18.0	18.0	19.5	26.5	
	最小	17.5	20.5	22.0	24.0	25.5	25.0	22.5	21.0	19.0	16.0	15.5	17.0	15.5	
	平均	19.2	21.6	23.1	25.0	26.0	25.8	23.8	21.9	19.5	17.0	16.7	18.1	21.5	
p H	ML	最大	6.72	6.59	6.66	6.64	6.60	6.59	6.66	6.55	6.61	6.53	6.55	6.58	6.72
		最小	6.38	6.41	6.45	6.40	6.45	6.42	6.42	6.36	6.32	6.34	6.31	6.33	6.31
		平均	6.53	6.51	6.55	6.49	6.52	6.52	6.49	6.45	6.45	6.42	6.45	6.43	6.48
	RS	最大	6.70	6.65	6.70	6.70	6.67	6.67	6.75	6.62	6.65	6.60	6.60	6.66	6.75
		最小	6.38	6.50	6.54	6.45	6.53	6.51	6.50	6.49	6.42	6.41	6.46	6.40	6.38
		平均	6.58	6.58	6.62	6.57	6.60	6.60	6.60	6.54	6.53	6.50	6.53	6.54	6.57
D O (mg/L)	最大	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	0.9	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	1.0	
	最小	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	0.7	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	
	平均	0.6	0.7	0.6	0.6	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	
M L S S (mg/L)	最大	2,100	1,960	1,900	1,840	1,900	1,900	1,740	1,890	1,870	1,960	2,040	1,970	2,100	
	最小	1,750	1,680	1,750	1,470	1,510	1,520	1,430	1,590	1,710	1,680	1,790	1,760	1,430	
	平均	1,920	1,840	1,830	1,600	1,760	1,810	1,660	1,740	1,820	1,810	1,880	1,860	1,790	
M L V S S (mg/L)	最大	1,770	1,640	1,620	1,550	1,620	1,580	1,450	1,620	1,620	1,690	1,770	1,680	1,770	
	最小	1,430	1,400	1,490	1,260	1,290	1,290	1,210	1,350	1,440	1,450	1,540	1,480	1,210	
	平均	1,610	1,540	1,550	1,380	1,490	1,510	1,370	1,470	1,550	1,560	1,630	1,580	1,520	
MLVSS/MLSS (%)	最大	85.4	85.1	87.4	87.2	86.6	84.8	85.1	87.3	87.7	88.0	88.7	87.3	88.7	
	最小	81.7	82.0	81.8	84.3	82.7	81.3	79.3	83.5	84.4	83.8	84.9	83.7	79.3	
	平均	83.9	83.6	84.9	85.8	84.6	83.1	82.9	84.7	85.4	86.0	86.7	85.2	84.7	
S V 3 0 (%)	ML	最大	31	28	34	29	31	37	35	34	33	37	31	27	37
		最小	23	24	25	23	24	27	27	27	27	29	27	19	19
		平均	28	26	30	25	27	34	31	29	30	33	29	24	29
	RS	最大	95	93	97	92	96	97	92	93	95	94	93	89	97
		最小	81	79	78	65	70	83	84	86	87	88	74	54	54
		平均	88	86	89	85	88	92	90	90	90	91	89	82	88
S V I (mL/ g)	ML	最大	160	160	180	200	170	210	200	190	180	200	170	150	210
		最小	120	130	140	140	140	170	170	160	150	170	150	100	100
		平均	140	140	160	160	160	190	190	170	160	190	160	130	160
	RS	最大	300	290	300	300	300	340	340	300	300	300	290	250	340
		最小	220	220	230	220	230	260	260	240	240	250	230	160	160
		平均	250	240	260	260	260	290	280	280	270	280	260	220	260
BOD-SS (kg/kg·日)	最大	0.22	0.27	0.25	0.24	0.26	0.26	0.21	0.26	0.23	0.24	0.28	0.27	0.28	
	最小	0.21	0.18	0.20	0.20	0.21	0.18	0.18	0.21	0.19	0.20	0.20	0.20	0.18	
	平均	0.22	0.22	0.22	0.23	0.23	0.22	0.20	0.23	0.21	0.23	0.25	0.25	0.23	
S R T (日)	平均	13.0	11.9	12.6	12.4	12.5	13.6	14.4	12.6	13.6	13.2	13.6	12.5	13.0	

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表 2-33 反応タンク試験結果 (2)

項 目		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均			
酸素利用速度 Rr (mg/L・h)	—	21.1	25.7	38.0	34.8	24.5	41.6	49.7	51.4	39.1	53.1	36.7	46.1	40.9	24.6	20.9	26.2	27.3	26.6	23.7	26.5	14.6	33.0	26.7	23.2	53.1	14.6	32.3			
	ATU	16.3	13.1	23.7	20.2	16.2	20.8	24.5	29.7	19.1	29.2	17.5	25.3	19.6	15.8	11.7	18.9	18.9	19.4	15.7	14.3	10.3	20.8	16.3	14.6	29.7	10.3	18.8			
酸素利用速度 係数Kr (mg/g・h)	—	10.1	13.7	21.1	19.9	13.5	23.2	28.1	32.5	24.6	27.8	20.6	24.5	23.4	14.1	11.7	14.5	14.1	13.3	11.2	14.0	7.6	16.8	13.8	12.3	32.5	7.6	17.8			
	ATU	7.8	7.0	13.2	11.5	8.9	11.6	13.8	18.8	12.0	15.3	9.8	13.5	11.2	9.0	6.5	10.4	9.7	9.7	7.4	7.6	5.4	10.6	8.4	7.7	18.8	5.4	10.3			
備 考		A T U 添加量10mg/L、酸素利用速度係数はM L S S による。																													

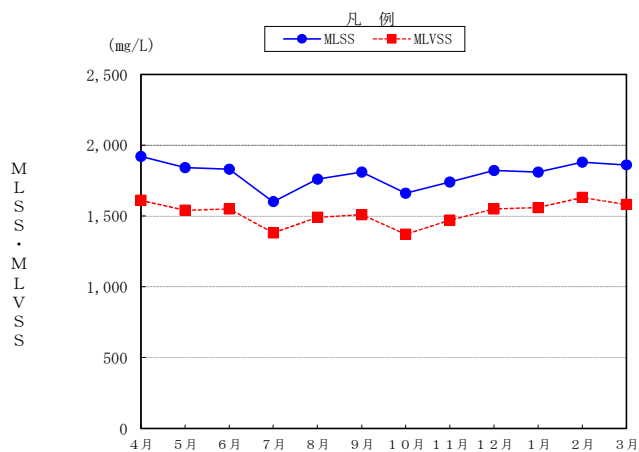


図 2-18 反応タンクの管理状況 (1)

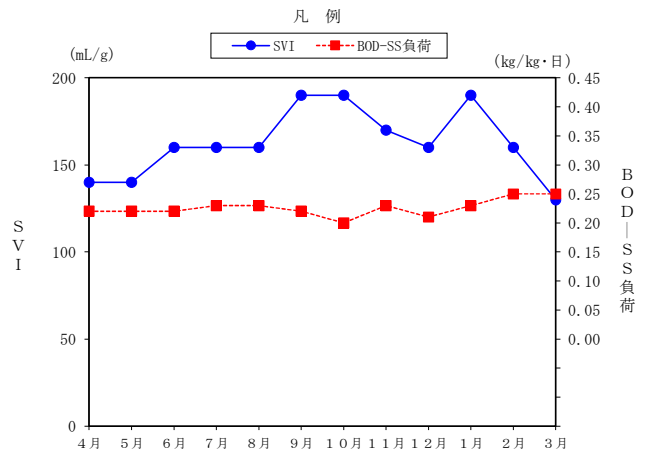


図 2-19 反応タンクの管理状況 (2)

II 富士北麓流域下水道

表 2-34 反応タンク生物試験結果

(単位：個/cm³)

分類及び生物名			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	最大	最小	平均		
原	鞭毛虫類	動物性	Bodo・Monas	90		80	120		40	40	50	10	30	40	120	0	42		
		植物性	Peranema	100	100	70	250	220	310	140	310	300	110	90	150	310	70	179	
			Entosiphon	100	190	80	840	20	390	50	380	120			30	840	0	183	
生	繊毛虫類	原口目	Prorodon	30	90	40	20	20	20		10	10	10	10	20	90	0	23	
		異毛目	Spirostomum	100	1,640	80	600	30	230	340	10	10	300	1,020	530	1,640	10	408	
			Blepharisma		90	40	80	20	30	10			30	10	20	90	0	28	
	裸口目	Litonotus	220	90	80	90	40	60	80	60	150	70	70	70	220	40	90		
		Amphileptus	300	110	60	130	60	150	130	70	160	90	30	130	300	30	118		
		Coleps	130	140	50	80	70	90	90	40	80	110	110	140	140	40	94		
		Trachelophyllum	80	80	120	150	30	110	40	120	150	20		100	150	0	83		
	虫	下毛目	Aspidisca	280	240	810	280	900	630	1,380	1,150	1,090	340	590	200	1,380	200	658	
		Euplotes	10							60	60				30	60	0	13	
		ナスラ目	Drepanomonas			20	30	80	40	60	10	110	30			110	0	32	
	動	類		Vorticella	3,300	2,240	2,810	920	2,320	1,010	1,370	2,770	1,970	3,730	1,950	3,420	3,730	920	2,318
			緑毛目	Epistylis	1,130	2,840	7,560	1,240	3,720	1,970	4,760	5,920	4,850	2,740	1,930	4,410	7,560	1,130	3,589
			Opercularia					50					170			170	0	18	
		吸虫	管目	Acineta		40	10	30	40	20	20	10	10			40	40	0	18
			Tokophrya	70	30	90	120	60	100	90	90	150	140	120	90	150	30	96	
物	根足虫類	有殻	Arcella	760	640	280	640	1,090	200	470	1,820	630	310	660	2,070	2,070	200	798	
			Euglypha	210	160	180	10	30		60	200	30	30		210	0	76		
			Pyxidicula	260	170	170	290	100	480	220	270	500	750	390	400	750	100	333	
		無殻	Amoeba	390	520	440	230	300	170	300	140	310	630	370	540	630	140	362	
後動生物	輪虫類	Colurella				20	40								40	0	5		
		Lecane				10	40	50	30	20	10	10	20	10	50	0	17		
		Lepadella	760	520	460	310	620	150	340	350	690	570	720	1,040	1,040	150	544		
		Rotaria	80	60	50	50	20	50	110	70	120	110	60	60	120	20	70		
	腹毛類	Chaetonotus						10	40	40	10				40	0	8		
		緩歩類	Macrobiotus						10						10	0	1		
		線虫類	Dyplogaster			30		10		10	10	10	30	10		30	0	9	
その他の生物数															0	0	0		
総生物数			8,400	9,990	13,610	6,540	9,930	6,280	10,180	13,970	11,580	10,340	8,190	13,540	13,970	6,280	10,213		
活性汚泥生物数			7,520	9,200	12,790	5,700	9,330	5,630	9,570	13,290	10,610	9,470	7,620	12,640	13,290	5,630	9,448		
活性汚泥性生物(%)			89.5	92.1	94.0	87.2	94.0	89.6	94.0	95.1	91.6	91.6	93.0	93.4	95.1	87.2	92.1		

II 富士北麓流域下水道

表 2-3 5 流入水及び放流水の経時変化(4/8~4/10)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/8 10:00	2,360	170	401	190	448	93	219
12:00	2,160	170	367	180	389	87	188
14:00	2,000	170	340	180	360	84	168
16:00	1,760	180	317	150	264	81	143
18:00	1,800	170	306	160	288	80	144
20:00	2,280	160	365	160	365	80	182
22:00	2,720	160	435	160	435	74	201
4/9 0:00	2,380	150	357	140	333	70	167
2:00	1,600	110	176	120	192	54	86
4:00	960	79	76	80	77	40	38
6:00	820	59	48	58	48	33	27
8:00	1,760	140	246	140	246	79	139

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/9 10:00	2,400	3.8	9.1	2.6	6.2	8.5	20.4
12:00	2,160	4.3	9.3	2.8	6.0	8.3	17.9
14:00	2,020	4.2	8.5	2.5	5.1	8.6	17.4
16:00	1,860	6.8	12.6	2.9	5.4	9.8	18.2
18:00	1,840	5.0	9.2	2.8	5.2	8.8	16.2
20:00	2,140	5.1	10.9	3.0	6.4	8.9	19.0
22:00	2,600	7.6	19.8	3.4	8.8	9.5	24.7
4/10 0:00	2,460	6.8	16.7	3.6	8.9	9.5	23.4
2:00	1,660	4.5	7.5	3.1	5.1	9.3	15.4
4:00	1,060	5.1	5.4	3.0	3.2	9.3	9.9
6:00	860	5.1	4.4	2.5	2.2	9.1	7.8
8:00	1,600	5.1	8.2	2.6	4.2	8.7	13.9

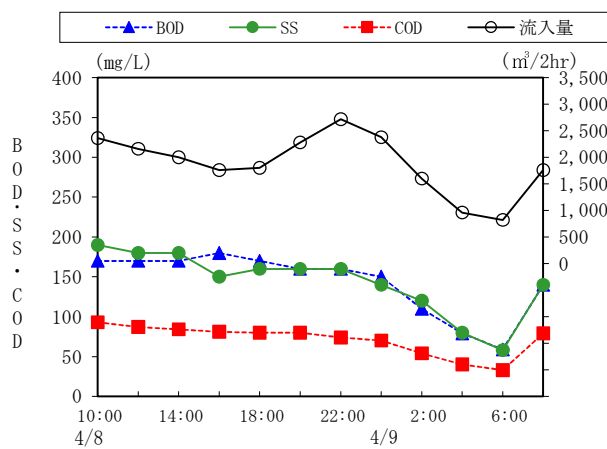


図 2-2 0 流入水濃度の経時変化 (4/8~4/9)

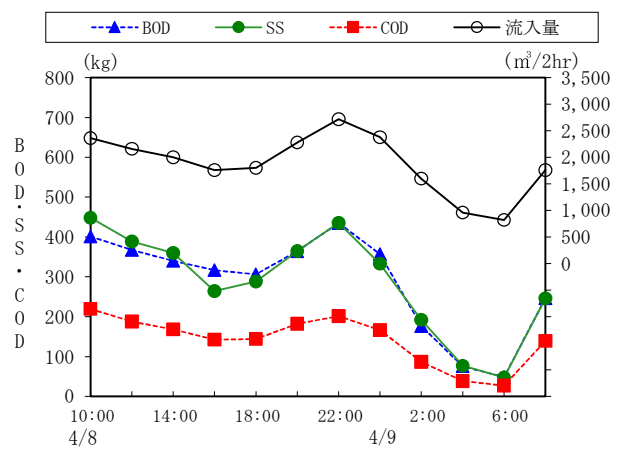


図 2-2 1 流入水負荷量の経時変化 (4/8~4/9)

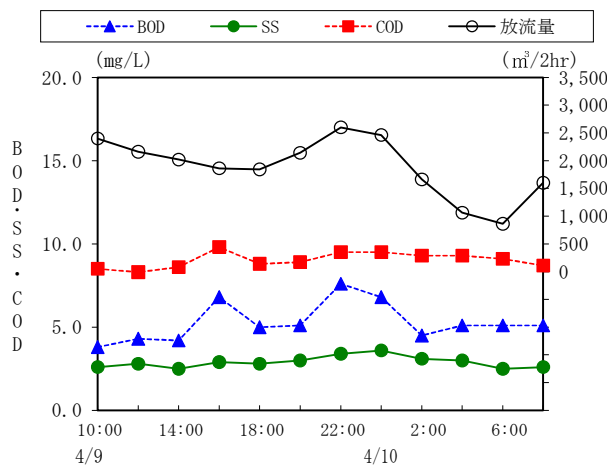


図 2-2 2 放流水濃度の経時変化 (4/9~4/10)

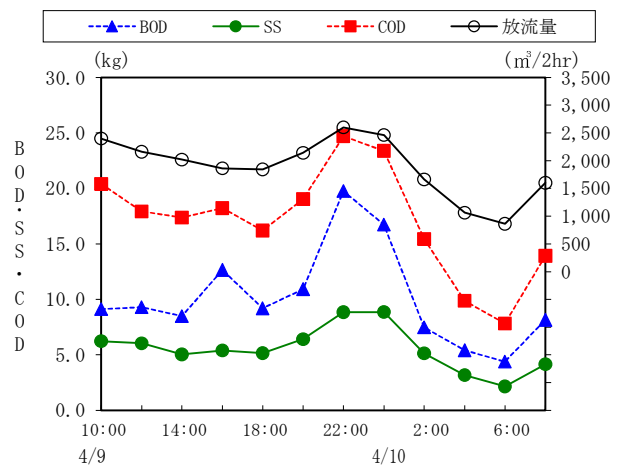


図 2-2 3 放流水負荷量の経時変化 (4/9~4/10)

II 富士北麓流域下水道

表 2-3 6 流入水及び放流水の経時変化 (8/12~8/14)

流入水								放流水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD		採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)			濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/12 10:00	2,280	180	410	200	456	90	205	8/13 10:00	2,280	3.2	7.3	2.0	4.6	7.3	16.6
12:00	2,470	190	469	200	494	91	225	12:00	2,350	6.4	15.0	2.2	5.2	8.5	20.0
14:00	2,280	190	433	190	433	89	203	14:00	2,180	6.6	14.4	2.9	6.3	8.7	19.0
16:00	2,070	200	414	180	373	86	178	16:00	1,940	6.4	12.4	2.7	5.2	8.6	16.7
18:00	2,100	210	441	190	399	86	181	18:00	2,040	3.5	7.1	2.4	4.9	8.3	16.9
20:00	2,460	180	443	190	467	82	202	20:00	2,230	3.3	7.4	1.8	4.0	8.6	19.2
22:00	2,950	190	561	180	531	84	248	22:00	2,650	2.8	7.4	2.4	6.4	8.4	22.3
8/13 0:00	2,590	160	414	160	414	73	189	8/14 0:00	2,700	3.3	8.9	2.2	5.9	8.8	23.8
2:00	1,670	120	200	140	234	62	104	2:00	2,000	3.8	7.6	2.8	5.6	8.5	17.0
4:00	1,000	97	97	110	110	47	47	4:00	1,280	7.4	9.5	3.1	4.0	8.8	11.3
6:00	900	72	65	79	71	37	33	6:00	1,150	8.2	9.4	4.1	4.7	8.3	9.5
8:00	1,600	160	256	170	272	75	120	8:00	1,610	6.5	10.5	2.1	3.4	7.9	12.7

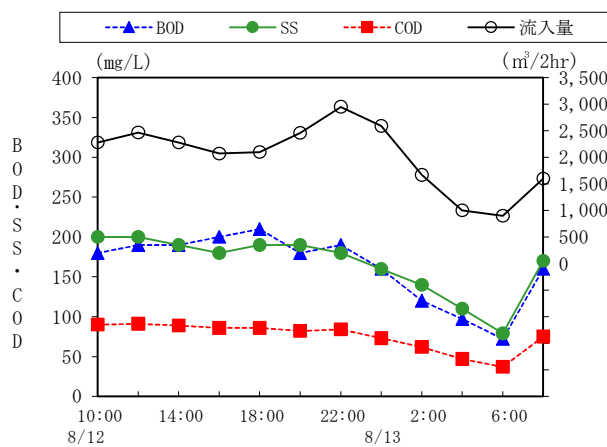


図 2-2 4 流入水濃度の経時変化 (8/12~8/13)

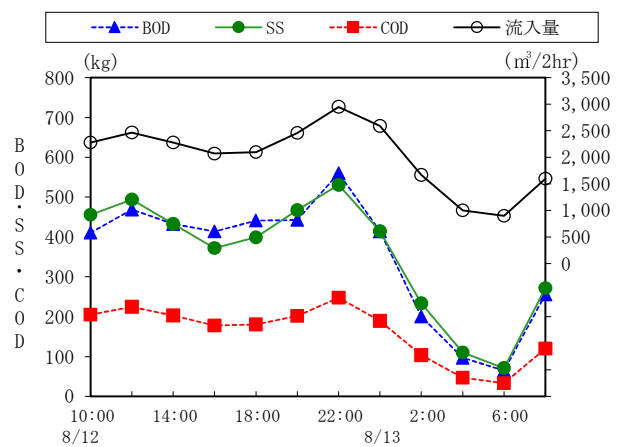


図 2-2 5 流入水負荷量の経時変化 (8/12~8/13)

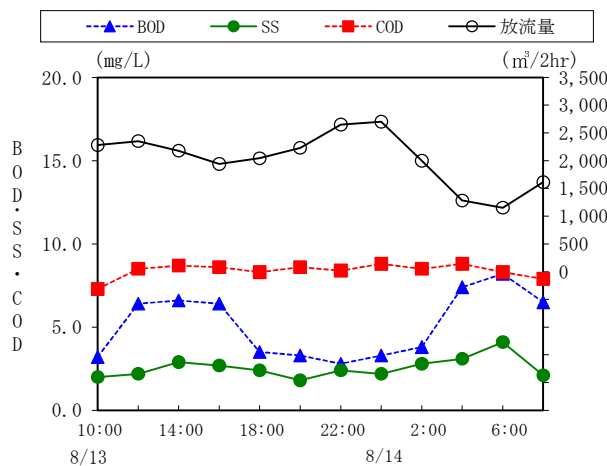


図 2-2 6 放流水濃度の経時変化 (8/13~8/14)

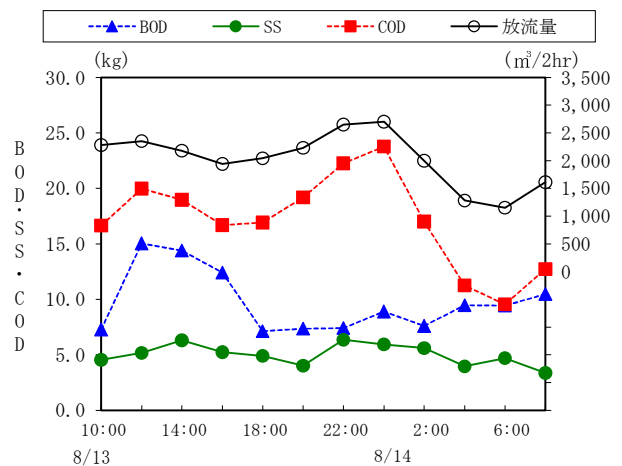


図 2-2 7 放流水負荷量の経時変化 (8/13~8/14)

II 富士北麓流域下水道

表 2-3 7 流入水及び放流水の経時変化(11/11~11/13)

流入水								放流水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD		採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)			濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/11 10:00	2,360	160	378	170	401	89	210	11/12 10:00	2,220	3.9	8.7	2.8	6.2	7.7	17.1
12:00	2,080	180	374	160	333	88	183	12:00	2,050	7.0	14.4	2.6	5.3	8.4	17.2
14:00	1,960	220	431	190	372	96	188	14:00	1,890	6.6	12.5	2.4	4.5	8.7	16.4
16:00	1,720	160	275	160	275	75	129	16:00	1,770	5.8	10.3	2.6	4.6	8.8	15.6
18:00	1,780	170	303	150	267	76	135	18:00	1,840	5.5	10.1	3.7	6.8	8.8	16.2
20:00	2,220	160	355	140	311	76	169	20:00	2,150	4.1	8.8	2.7	5.8	8.6	18.5
22:00	2,660	170	452	150	399	76	202	22:00	2,570	4.3	11.1	2.9	7.5	8.6	22.1
11/12 0:00	2,310	150	347	140	323	73	169	11/13 0:00	2,280	4.6	10.5	3.2	7.3	8.9	20.3
2:00	1,490	100	149	99	148	54	80	2:00	1,500	5.1	7.7	3.5	5.3	8.8	13.2
4:00	860	74	64	73	63	38	33	4:00	900	6.2	5.6	3.5	3.2	8.5	7.7
6:00	790	51	40	46	36	31	24	6:00	820	4.3	3.5	2.7	2.2	8.2	6.7
8:00	1,570	130	204	120	188	69	108	8:00	1,420	6.9	9.8	3.7	5.3	8.7	12.4

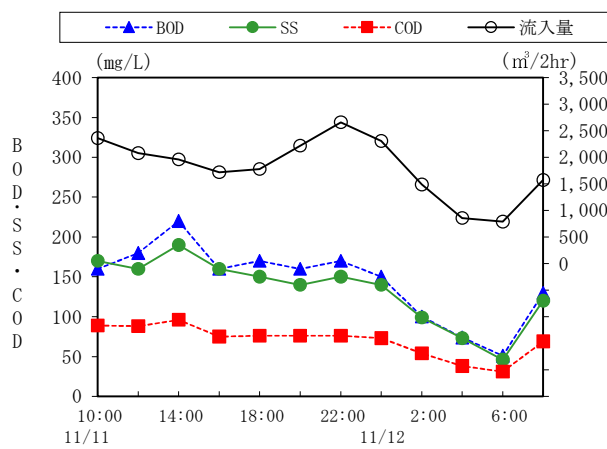


図 2-2 8 流入水濃度の経時変化 (11/11~11/12)

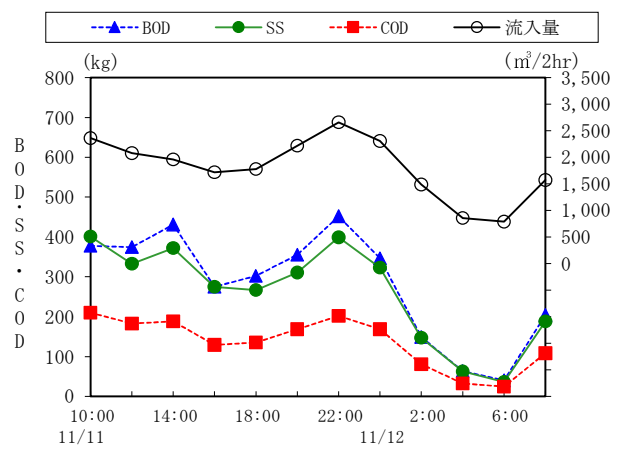


図 2-2 9 流入水負荷量の経時変化 (11/11~11/12)

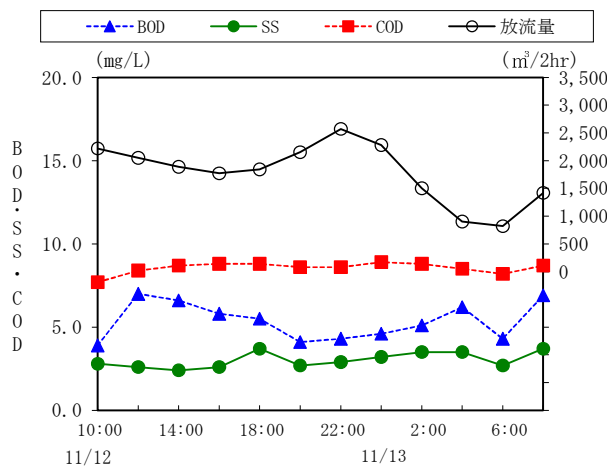


図 2-3 0 放流水濃度の経時変化 (11/12~11/13)

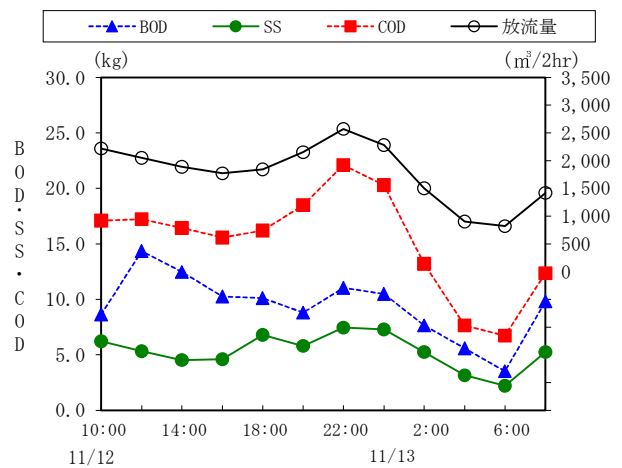


図 2-3 1 放流水負荷量の経時変化 (11/12~11/13)

II 富士北麓流域下水道

表 2-3 8 流入水及び放流水の経時変化 (2/17~2/19)

流入水								放流水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD		採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)			濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/17 10:00	2,450	150	368	160	392	74	181	2/18 10:00	2,510	2.9	7.3	2.4	6.0	6.9	17.3
12:00	2,450	140	343	140	343	72	176	12:00	2,450	2.9	7.1	2.0	4.9	7.2	17.6
14:00	2,220	150	333	140	311	79	175	14:00	2,220	4.9	10.9	2.0	4.4	7.6	16.9
16:00	2,030	160	325	140	284	76	154	16:00	2,090	3.7	7.7	2.3	4.8	7.6	15.9
18:00	2,080	150	312	140	291	77	160	18:00	2,180	5.0	10.9	2.4	5.2	8.3	18.1
20:00	2,570	150	386	130	334	74	190	20:00	2,550	5.2	13.3	2.5	6.4	8.2	20.9
22:00	2,960	150	444	140	414	79	234	22:00	2,930	6.0	17.6	2.9	8.5	8.6	25.2
2/18 0:00	2,660	130	346	120	319	59	157	2/19 0:00	2,680	6.6	17.7	3.1	8.3	8.7	23.3
2:00	1,880	110	207	96	180	55	103	2:00	1,920	5.3	10.2	2.4	4.6	8.4	16.1
4:00	1,330	64	85	71	94	34	45	4:00	1,510	4.1	6.2	1.9	2.9	7.8	11.8
6:00	1,280	67	86	45	58	26	33	6:00	1,300	3.4	4.4	1.7	2.2	7.6	9.9
8:00	2,040	97	198	100	204	58	118	8:00	2,000	3.7	7.4	1.9	3.8	7.1	14.2

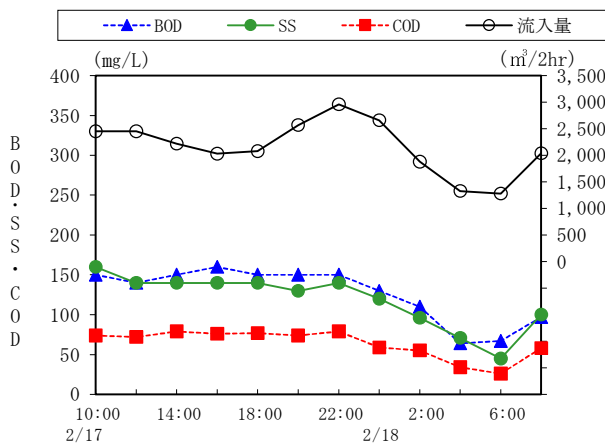


図 2-3-2 流入水濃度の経時変化 (2/17~2/18)

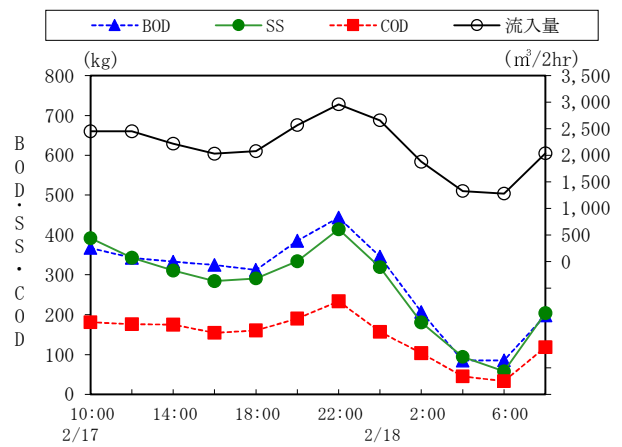


図 2-3-3 流入水負荷量の経時変化 (2/17~2/18)

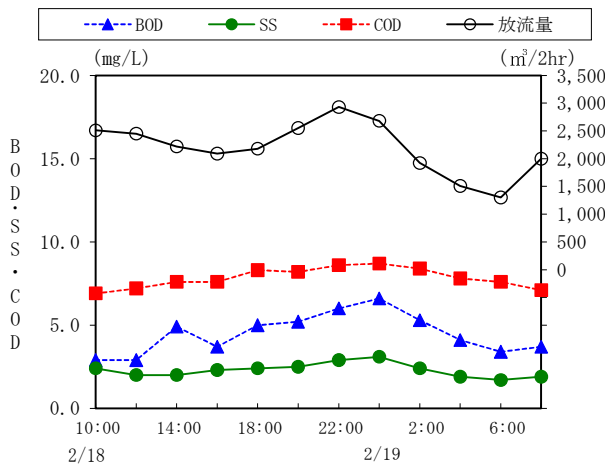


図 2-3-4 放流水濃度の経時変化 (2/18~2/19)

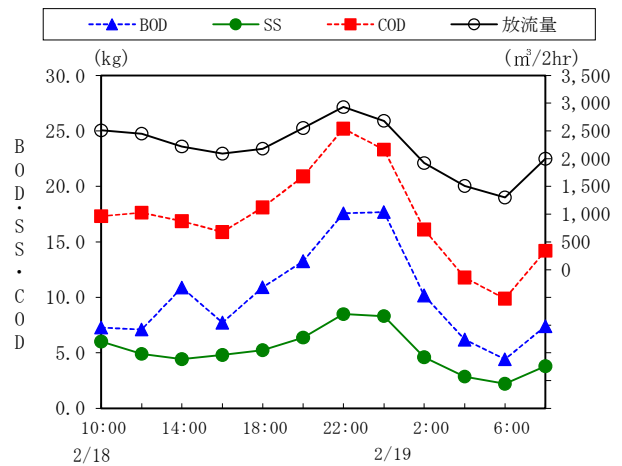


図 2-3-5 放流水負荷量の経時変化 (2/18~2/19)

II 富士北麓流域下水道

表 2－3 9 汚泥処理運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均	計
生汚泥	固 形 分 (%)	0.37	0.62	0.67	0.57	0.54	0.45	0.52	0.52	0.55	0.49	0.39	0.46	0.67	0.37	0.51	－
	引 拔 量 (m³)	18,351.3	18,589.9	18,942.4	19,400.3	20,082.0	19,879.3	20,177.3	20,040.7	20,240.2	19,563.6	18,132.3	18,332.3	20,240.2	18,132.3	19,311.0	231,731.6
	固形物量 (kg)	67,551	115,731	126,348	110,691	108,428	89,526	104,655	104,122	111,400	96,385	71,254	84,128	126,348	67,551	99,185	1,190,219
重縮力汚泥	固 形 分 (%)	4.06	4.12	3.50	3.45	3.68	3.39	3.46	3.81	3.66	3.35	3.60	3.49	4.12	3.35	3.63	－
	引 拔 量 (m³)	2,168.0	2,333.0	2,331.3	2,876.3	3,474.9	2,466.1	2,768.7	2,695.4	2,640.0	2,493.2	2,194.6	2,645.4	3,474.9	2,168.0	2,590.6	31,086.9
	固形物量 (kg)	88,128	96,108	81,658	99,311	127,977	83,630	95,674	102,776	96,609	83,535	79,100	92,333	127,977	79,100	93,903	1,126,839
余剰汚泥	固 形 分 (%)	0.56	0.42	0.43	0.41	0.39	0.47	0.44	0.45	0.43	0.42	0.45	0.38	0.56	0.38	0.44	－
	引 拔 量 (m³)	10,657.2	11,058.8	10,595.0	10,474.2	11,037.0	10,422.8	9,378.9	10,682.7	10,371.5	10,796.5	9,517.0	10,634.3	11,058.8	9,378.9	10,468.8	125,625.9
	固形物量 (kg)	59,748	46,685	45,197	43,063	42,777	48,790	41,528	47,680	44,533	45,692	42,995	40,929	59,748	40,929	45,801	549,617
濃供給機	固 形 分 (%)	0.43	0.37	0.43	0.40	0.43	0.45	0.53	0.52	0.50	0.45	0.45	0.39	0.53	0.37	0.45	－
	供 給 量 (m³)	10,759.3	11,181.6	10,587.2	10,593.1	11,150.2	10,572.0	9,457.3	10,582.6	10,414.8	10,749.2	9,682.4	10,736.8	11,181.6	9,457.3	10,538.9	126,466.5
	固形物量 (kg)	46,777	41,567	45,971	42,142	47,697	47,301	50,200	54,788	52,174	47,901	43,638	41,855	54,788	41,567	46,834	562,011
高分子凝集剤（濃縮）	濃 度 (%)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	－
	供 給 量 (m³)	62.66	63.30	59.71	54.55	54.11	55.08	59.11	54.09	52.40	49.85	43.08	46.35	63.30	43.08	54.52	654.28
	薬注率(%)濃縮機	0.12	0.15	0.13	0.13	0.11	0.12	0.12	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	0.15	0.10	0.12	－
	供給量(No.1)	30.72	31.55	29.06	29.36	26.91	28.28	33.83	25.69	27.26	27.33	27.67	25.14	33.83	25.14	28.57	342.78
	薬注率(No.1)	0.12	0.15	0.13	0.14	0.11	0.12	0.13	0.11	0.09	0.12	0.10	0.11	0.15	0.09	0.12	－
	供給量(No.3)	31.95	31.75	30.65	25.20	27.20	26.80	25.28	28.40	25.14	22.52	15.41	21.21	31.95	15.41	25.96	311.50
	薬注率(No.3)	0.15	0.15	0.13	0.12	0.11	0.11	0.11	0.09	0.12	0.09	0.10	0.11	0.15	0.09	0.12	－
脱水機	固 形 分 (%)	3.86	3.80	3.48	3.31	3.11	3.36	3.39	3.30	3.41	3.47	3.49	3.53	3.86	3.11	3.46	－
	供 給 量 (m³)	3,142.5	3,237.0	3,235.1	3,636.1	4,253.9	3,335.0	3,646.7	3,405.2	3,422.4	3,348.8	2,845.8	3,514.6	4,253.9	2,845.8	3,418.6	41,023.1
	固形物量 (kg)	121,159	123,155	112,657	120,267	132,194	112,121	123,804	112,240	116,671	116,221	99,398	124,181	132,194	99,398	117,839	1,414,068
高分子（脱水）凝集剤	濃 度 (%)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	－
	供 給 量 (m³)	382.30	350.68	317.56	319.37	324.50	324.26	368.13	300.42	332.87	329.83	262.70	321.16	382.30	262.70	327.82	3,933.78
	薬注率(%)No.1脱水機	0.95	0.86	0.85	0.80	0.74	0.88	0.90	0.81	0.86	0.85	0.83	0.78	0.95	0.74	0.84	－
	薬注率(%)No.2脱水機	0.78	0.78	0.76	0.69	0.70	0.61	0.75	0.72	0.73	0.74	0.72	0.78	0.78	0.61	0.73	－
脱水ケーキ	含 水 率 (%)	71.0	70.6	71.1	70.4	70.4	71.0	70.8	71.2	71.4	71.4	71.2	70.4	71.4	70.4	70.9	－
	ケーキ量(t)	380.03	379.17	363.63	377.61	393.61	350.02	375.48	336.95	355.06	355.12	305.85	364.30	393.61	305.85	361.40	4,336.83
	固形物量 (kg)	110,209	111,476	105,089	111,773	116,509	101,506	109,640	97,042	101,547	101,564	88,085	107,833	116,509	88,085	105,189	1,262,273

II 富士北麓流域下水道

表 2－40 汚泥中試験、汚泥返流水試験分析結果

項 目			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均
汚泥中試験	重力汚泥濃縮	水素イオン濃度	5.71	5.62	6.32	5.46	5.76	5.45	5.43	5.88	5.67	5.91	5.69	5.67	6.32	5.43	5.71
		固形分 (%)	4.16	4.08	3.62	3.57	3.09	3.56	3.39	3.37	3.56	3.02	3.49	3.57	4.16	3.02	3.54
		有機分 (%)	93.0	93.3	93.0	93.1	93.4	93.0	93.5	93.5	93.2	93.5	93.2	93.6	93.6	93.0	93.3
	機械汚泥濃縮	水素イオン濃度	6.42	6.49	6.44	6.35	6.38	6.41	6.45	6.57	6.52	6.54	6.45	6.40	6.57	6.35	6.45
		固形分 (%)	4.65	4.26	4.41	4.19	4.24	4.57	4.33	4.78	4.32	4.49	4.27	4.86	4.86	4.19	4.45
		有機分 (%)	83.3	81.8	82.9	84.7	82.8	81.9	80.6	83.1	83.9	84.9	87.0	84.8	87.0	80.6	83.5
	脱水機供給汚泥	水素イオン濃度	5.56	5.50	5.36	5.14	5.30	5.11	5.26	5.63	5.70	5.93	5.69	5.98	5.98	5.11	5.51
		固形分 (%)	3.78	3.76	3.53	3.48	2.98	3.25	3.46	3.16	3.42	3.47	3.68	3.58	3.78	2.98	3.46
		有機分 (%)	88.9	89.0	89.0	88.3	88.8	87.8	88.8	89.5	90.3	90.8	90.9	90.5	90.9	87.8	89.4
	脱水ケーキ	含水率 (%)	71.1	69.3	70.9	69.9	70.6	70.7	69.9	71.1	71.1	70.9	70.8	70.2	71.1	69.3	70.5
		有機分 (%)	93.4	93.6	93.3	92.4	93.7	93.8	93.8	93.8	94.2	93.9	94.0	93.7	94.2	92.4	93.6
汚泥返流水試験	重力分離液濃縮	水素イオン濃度	6.57	6.58	6.23	6.55	6.64	6.37	6.53	6.76	6.72	6.69	6.76	6.71	6.76	6.23	6.59
		アルカリ度 (mg/L)	133	141	142	127	139	136	142	149	130	109	123	126	149	109	133
		浮遊物質質量 (mg/L)	160	150	130	160	130	140	150	98	120	100	110	120	160	98	130
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	280	310	250	270	280	290	280	230	250	180	220	230	310	180	260
		化学的酸素要求量 (mg/L)	99	98	88	87	94	87	91	79	84	65	73	78	99	65	85
	機械分離液濃縮	水素イオン濃度	6.89	7.04	7.04	7.04	6.98	7.04	6.97	7.04	7.07	6.85	7.02	7.04	7.07	6.85	7.00
		アルカリ度 (mg/L)	58	66	61	53	63	69	68	57	57	54	61	68	69	53	61
		浮遊物質質量 (mg/L)	170	180	76	140	210	100	140	150	170	150	160	190	210	76	150
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	200	190	69	130	170	120	130	140	150	150	170	190	200	69	150
		化学的酸素要求量 (mg/L)	83	97	34	65	78	59	58	60	67	67	68	76	97	34	68
	脱水分離液	水素イオン濃度	5.47	5.46	5.35	5.08	5.24	5.05	5.17	5.58	5.72	5.83	5.96	6.01	6.01	5.05	5.49
		アルカリ度 (mg/L)	730	600	760	370	550	540	470	580	570	580	590	620	760	370	580
		浮遊物質質量 (mg/L)	660	930	850	990	730	940	810	620	700	540	580	880	990	540	770
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	4,600	4,100	4,300	4,600	4,100	6,500	4,600	3,700	3,600	2,800	2,700	3,700	6,500	2,700	4,100
		化学的酸素要求量 (mg/L)	1,100	1,100	950	1,000	890	1,100	1,000	900	940	790	760	970	1,100	760	960

II 富士北麓流域下水道

表 2－4 1 汚泥測定結果（溶出試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機燐化合物	mg/L	—	<0.1	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素又はその化合物	mg/L	<0.005	0.009	<0.005	0.005	0.009	<0.005	<0.005
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
銅又はその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.18	0.27	0.21	0.19	0.27	0.18	0.21
鉄	mg/L	1.4	0.48	1.4	0.71	1.4	0.48	1.0
マンガン	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	<0.004	—	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.04	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	<0.003	—	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.05	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 2－4 2 汚泥測定結果（含有試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム	mg/kg	0.21	0.41	0.38	0.38	0.41	0.21	0.35
シアン化合物	mg/kg	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0
鉛	mg/kg	4.0	4.5	5.1	2.0	5.1	2.0	3.9
六価クロム	mg/kg	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40
ひ素	mg/kg	1.5	1.1	1.9	1.1	1.9	1.1	1.4
水銀	mg/kg	0.16	0.23	0.13	0.10	0.23	0.10	0.16
銅	mg/kg	120	120	150	96	150	96	120
ニッケル	mg/kg	3.6	4.2	4.1	2.7	4.2	2.7	3.7
亜鉛	mg/kg	190	400	200	160	400	160	240
鉄	mg/kg	1,600	1,500	1,900	1,400	1,900	1,400	1,600
マンガン	mg/kg	24	23	31	27	31	23	26
クロム	mg/kg	5.6	3.3	5.6	9.1	9.1	3.3	5.9

Ⅱ 富士北麓流域下水道

表 2－4 3 放流河川調査結果 河川名：桂川（採水地点 深山橋[放流口下流約600m]）

項 目		単 位	4/10	5/15	6/12	7/24	8/14	9/11	10/9	11/13	12/11	1/15	2/12	3/12	最大	最小	平均
一般生活環境項目	採水時刻		9:15	9:15	9:15	9:15	9:15	9:15	9:15	9:15	9:15	9:15	9:15	9:15	—	—	—
	水温	℃	12.0	13.5	14.0	15.0	15.5	15.0	13.5	12.0	10.5	9.5	10.0	11.0	15.5	9.5	12.6
	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
	水素イオン濃度	—	7.77	7.70	7.66	7.67	7.70	7.77	7.62	7.67	7.33	7.65	7.63	7.49	7.77	7.33	7.64
	溶存酸素量	mg/L	10	9.7	9.5	9.2	9.4	10	9.7	10	10	10	10	10	10	9.2	9.8
	生物化学的酸素要求量	mg/L	3.3	2.8	1.8	2.7	3.0	2.8	3.8	2.2	2.8	2.3	2.4	2.2	3.8	1.8	2.7
	化学的酸素要求量	mg/L	1.7	2.0	1.6	2.2	2.6	2.1	1.3	1.3	1.7	1.7	1.5	1.5	2.6	1.3	1.8
	浮遊物質質量	mg/L	2.2	2.1	1.4	2.5	2.0	1.7	1.3	1.0	1.8	1.6	2.1	2.6	2.6	1.0	1.9
	大腸菌数	CFU/mL	2	1	4	5	13	2	6	1	2	2	4	1	13	1	4
	窒素含有量	mg/L	1.49	1.62	1.41	1.56	1.45	1.47	1.52	1.61	1.60	1.38	1.21	1.37	1.62	1.21	1.47
	磷含有量	mg/L	0.21	0.27	0.33	0.26	0.23	0.23	0.22	0.21	0.23	0.32	0.26	0.30	0.33	0.21	0.26
特殊項目	アンモニア性窒素含有量	mg/L	<0.16	<0.16	<0.16	0.17	<0.16	<0.16	0.21	0.17	<0.16	<0.16	<0.16	0.22	0.22	<0.16	<0.16
	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.04	0.04	<0.02	<0.02
	硝酸性窒素含有量	mg/L	1.14	1.23	1.10	1.25	1.20	1.16	1.22	1.20	1.24	1.10	0.96	1.08	1.25	0.96	1.16
	磷酸イオン態磷含有量	mg/L	0.16	0.21	0.26	0.18	0.19	0.17	0.17	0.17	0.19	0.26	0.21	0.24	0.26	0.16	0.20

表 2－4 4 放流河川調査結果 河川名：桂川（採水地点 小明見橋[放流口上流約900m]）

項 目		単 位	4/10	5/15	6/12	7/24	8/14	9/11	10/9	11/13	12/11	1/15	2/12	3/12	最大	最小	平均
一般生活環境項目	採水時刻		9:05	9:05	9:05	9:05	9:05	9:05	9:05	9:05	9:05	9:05	9:05	9:05	—	—	—
	水温	℃	12.0	13.5	14.0	15.0	15.5	15.0	13.5	11.5	9.0	8.5	9.5	11.0	15.5	8.5	12.3
	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
	水素イオン濃度	—	8.05	8.15	8.10	8.04	8.05	8.03	7.94	8.13	7.75	7.92	8.06	8.04	8.15	7.75	8.02
	溶存酸素量	mg/L	10	10	10	9.7	9.7	11	10	10	11	11	11	11	11	9.7	10
	生物化学的酸素要求量	mg/L	2.1	2.0	1.4	1.8	1.9	2.0	2.6	2.3	1.8	1.3	1.4	1.4	2.6	1.3	1.8
	化学的酸素要求量	mg/L	1.0	1.0	0.7	1.0	1.2	0.9	0.8	1.0	0.7	0.6	<0.5	0.7	1.2	<0.5	0.8
	浮遊物質質量	mg/L	2.0	2.0	1.4	1.7	2.4	1.4	1.0	1.3	<1.0	<1.0	1.1	1.9	2.4	<1.0	1.4
	大腸菌数	CFU/mL	6	3	15	3	11	6	4	13	16	7	9	8	16	3	8
	窒素含有量	mg/L	0.82	0.81	0.82	0.88	0.78	0.85	0.84	0.84	0.92	0.80	0.75	0.81	0.92	0.75	0.83
	磷含有量	mg/L	0.15	0.15	0.16	0.16	0.15	0.15	0.16	0.16	0.17	0.17	0.17	0.16	0.17	0.15	0.16
特殊項目	アンモニア性窒素含有量	mg/L	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16
	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	硝酸性窒素含有量	mg/L	0.82	0.81	0.82	0.88	0.78	0.85	0.84	0.84	0.74	0.80	0.75	0.81	0.88	0.74	0.81
	磷酸イオン態磷含有量	mg/L	0.13	0.14	0.14	0.14	0.13	0.13	0.14	0.14	0.15	0.15	0.15	0.14	0.15	0.13	0.14

II 富士北麓流域下水道

表 2－4 5 臭気測定結果

項 目	敷地境界		
	令和7年8月22日	令和8年2月9日	規制値
採取年月日			
採取時刻	10:35	11:15	
臭気指数	<10	<10	15

Ⅲ 峽東流域下水道

1 整備状況

(1) 全体計画及び現況

峡東流域下水道は、平成元年7月の供用開始より37年目を迎えている。

全体計画処理水量は74,530 m³/日、事業計画水量は69,134 m³/日(水洗化水量は55,873 m³/日)であり、幹線は61.8 kmが供用開始となっている。

供用開始区域内の面積は3,939.26ha、人口は83,150人となっており、流入下水量は令和7年度平均で27,767 m³/日である。

峡東流域下水道の全体計画及び現況を表3-1に、峡東流域下水道事業計画図を図3-1に、関連公共下水道市別水洗化状況を表3-2に、市別流入下水量を表3-3に示す。

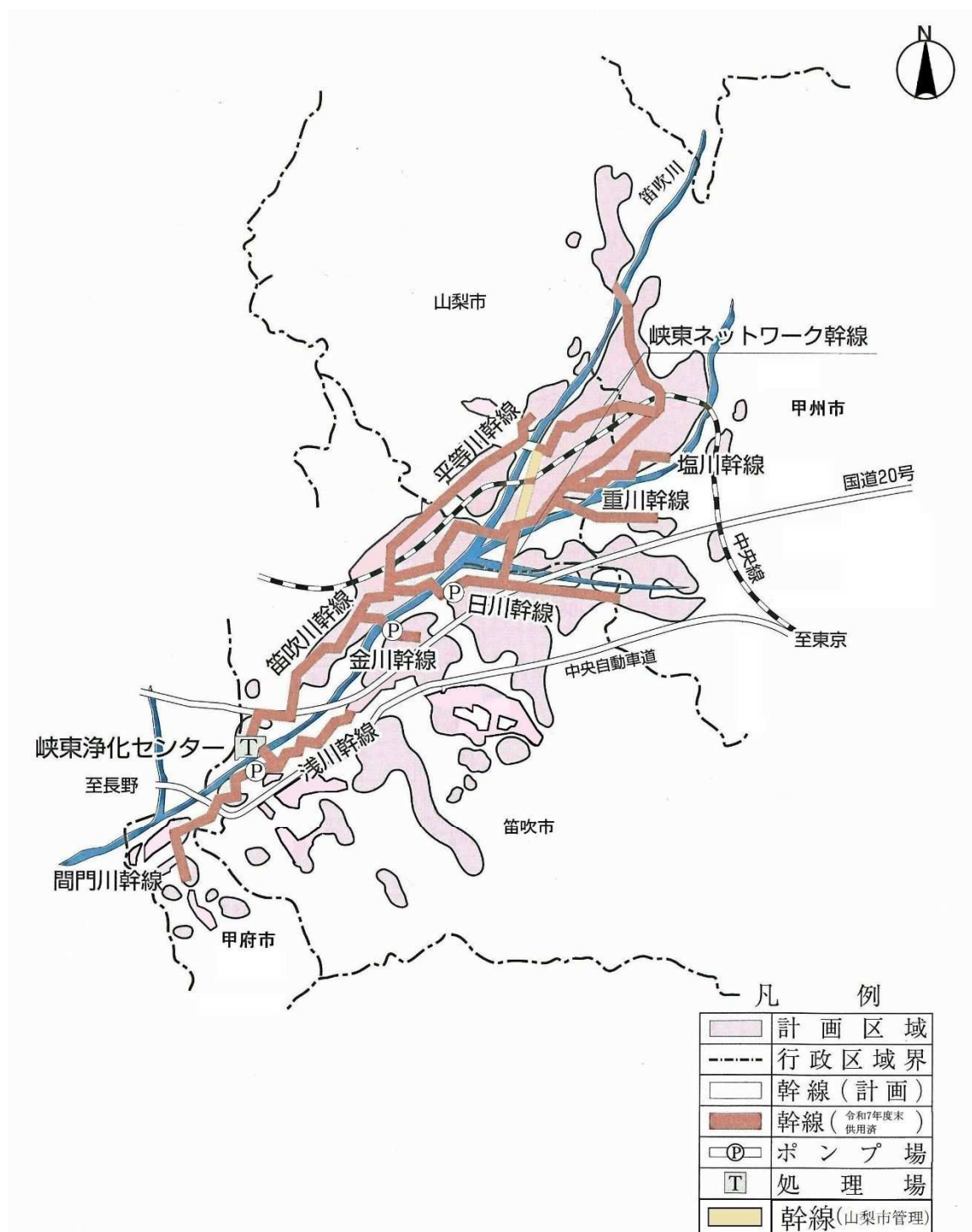
表3-1 全体計画及び現況

市町村名	項 目	全体計画 (計画年次:昭和52年～令和17年)		事業計画 (計画年次:昭和52年～令和10年)		供用開始区域	
		計画面積 (ha)	計画人口 (人)	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	面 積 (ha)	人 口 (人)
甲 府 市		424.8	2,890	379.4	3,740	261.82	4,215
山 梨 市		1,352.8	27,210	1,099.7	25,440	897.02	19,150
笛 吹 市		3,279.9	61,530	2,589.2	56,260	2,082.61	43,066
甲 州 市		1,286.0	14,430	947.9	15,100	697.81	16,719
合 計		6,343.5	106,060	5,016.2	100,540	3,939.26	83,150
計画処理水量 (日最大)		74,530 m ³ /日		69,134 m ³ /日 (水洗化水量 55,873 m ³ /日)		—	
下水排除方式		分流式					
処 理 方 式		標準活性汚泥法					
幹 線 延 長		63.7 km		63.7 km		管理延長 61.8 km	
ポンプ場数		3 箇所		3 箇所		3 箇所	

※供用開始区域の面積、人口及び幹線延長は、令和8年4月1日現在の値を示す。

※供用開始区域の幹線延長は、県への管理移管を計画している公共管を含まない。

III 峽東流域下水道



※**峡東ネットワーク幹線の一部は山梨市から移管される予定。**

図 3-1 峡東流域下水道事業計画図

III 峡東流域下水道

表 3－2 関連公共下水道市別水洗化状況

市名	項目	令和 7 年 度 末			普及率 B/A (%)	水洗化率 C/B (%)	接続戸数 累計 (戸)
		行政人口 A (人)	処理区域 内人口 B (人)	水洗化 人口 C (人)			
甲府市		4,846	4,215	3,580	87.0	84.9	1,374
山梨市		32,209	19,150	15,876	59.5	82.9	7,060
笛吹市		66,149	43,066	31,531	65.1	73.2	14,936
甲州市		27,578	16,719	13,671	60.6	81.8	5,787
計		130,782	83,150	64,658	63.6	77.8	29,157

注1) 行政人口は、令和 8 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳の人口を示す。

注2) 処理区域内人口は、供用開始区域内人口を表し、令和 8 年 4 月 1 日公示分を含む。

注3) 甲府市の行政人口については、旧中道町行政人口分の人口を示す。

注4) 甲州市の行政人口については、旧大和村行政人口分を除いた人口を示す。

III 峡東流域下水道

表 3－3 市別流入下水水量

(単位：m³)

市 名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
甲府市	61,455	64,585	62,493	67,821	65,663	66,835	67,115	62,883	61,210	61,280	57,019	63,067	761,426	63,452
山梨市	225,427	237,672	235,058	253,667	247,272	260,729	258,879	246,556	233,019	215,062	199,877	217,595	2,830,813	235,901
笛吹市	424,588	445,035	439,586	452,117	445,608	429,622	407,271	389,468	433,874	427,216	386,923	432,361	5,113,669	426,139
甲州市	111,307	118,244	121,027	127,196	124,589	130,705	126,757	118,602	117,568	114,342	105,462	113,400	1,429,199	119,100
合 計	822,777	865,536	858,164	900,801	883,132	887,891	860,022	817,509	845,671	817,900	749,281	826,423	10,135,107	844,592
日平均	27,426	27,921	28,605	29,058	28,488	29,596	27,743	27,250	27,280	26,384	26,760	26,659	年間日平均	27,767

III 峡東流域下水道

(2) 施設整備状況

令和7年度末の状況については、以下のとおりである。

① 峡東浄化センター

水処理使用可能池数としては、最初沈殿池 6 / 10 池、反応タンク 6 / 10 池、最終沈殿池 6 / 10 池となっており、処理能力は 46,350 m³/日である。

峡東浄化センターの全体平面図を図 3-2 に、フローシートを図 3-3 に、建築構造物概要を表 3-4 に、水処理機械設備概要を表 3-5 に、汚泥処理機械設備概要を表 3-6 に、電気設備概要を表 3-7 に、単線結線図を図 3-4 に、システム系統図を図 3-5 に示す。

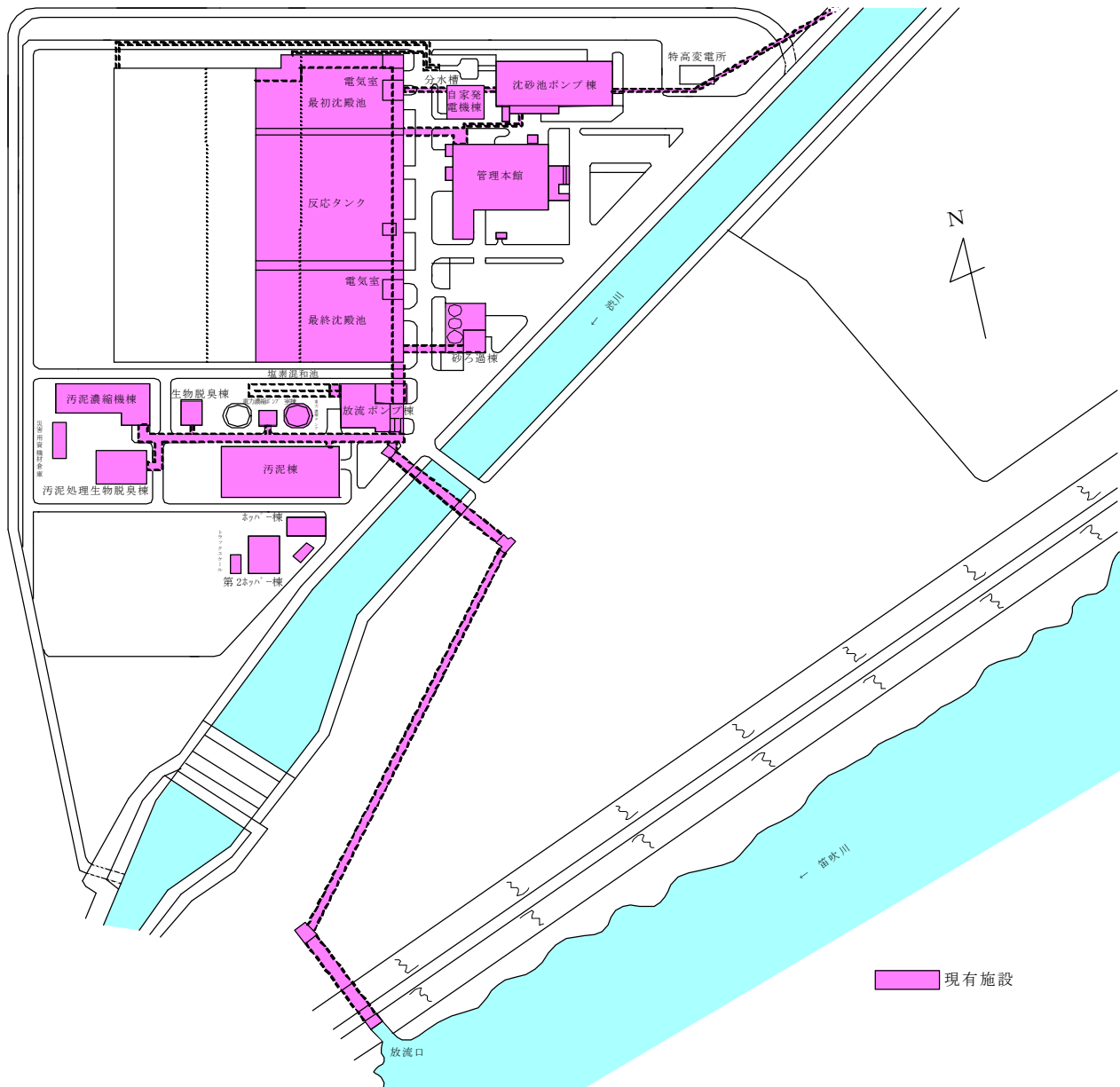


図 3-2 峡東浄化センター全体平面図

III 峡東流域下水道

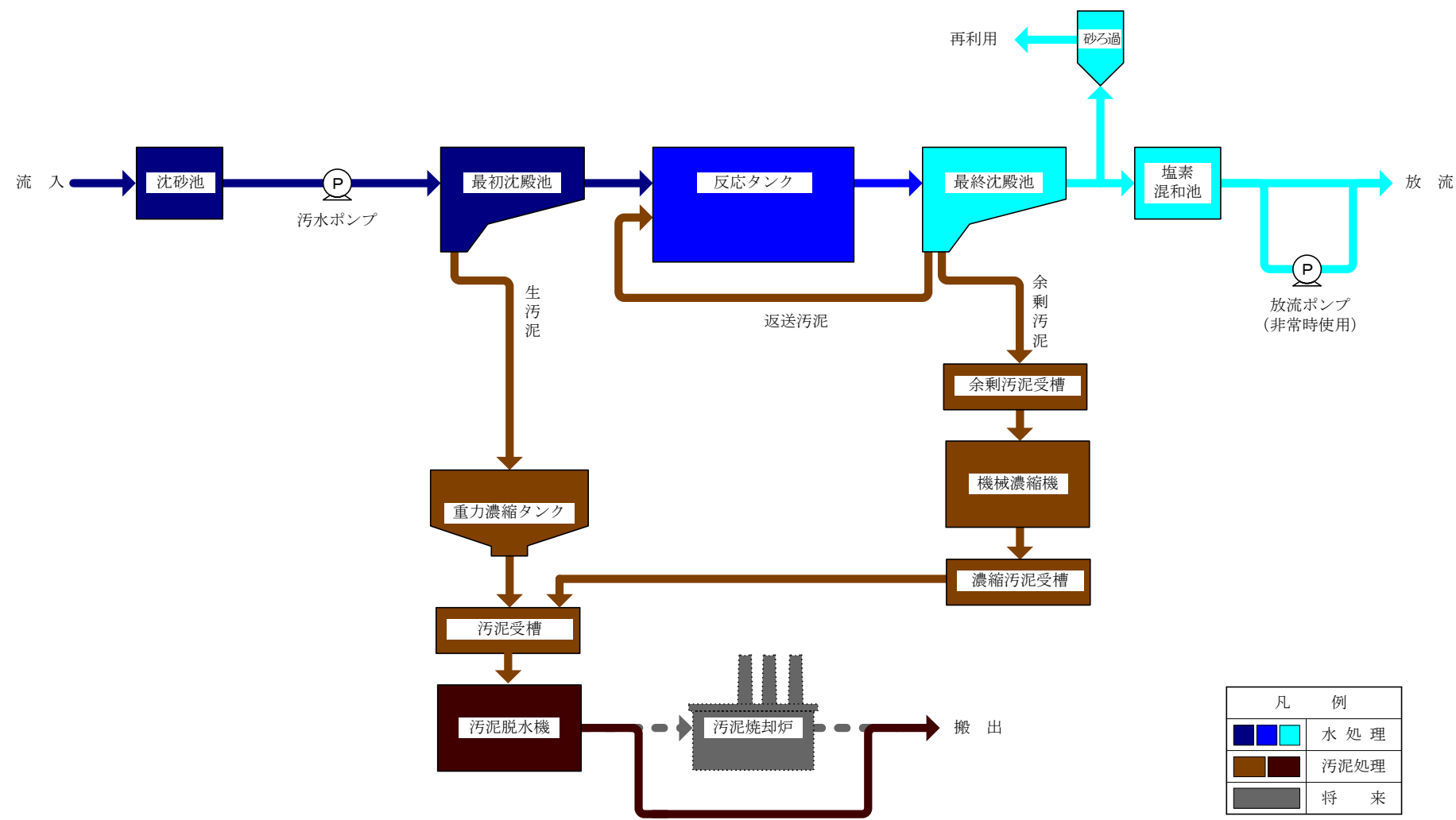


図 3 - 3 峡東浄化センターフローシート

III 峡東流域下水道

表 3 - 4 峡東浄化センター建築構造物概要

施設名称	構造及び概要
管理本館	R C造 地下1階、地上3階 建築面積 1,947㎡ 延床面積 3,727㎡ ブロー室、自家発電機室、電気室、水質試験室、中央監理室、事務室、会議室、その他
沈砂池 ポンプ棟	R C造 地下2階、地上1階（一部中2階） 建築面積 1,388㎡ 延床面積 2,790㎡ 沈砂池スクリーン室、ポンプ室、ポンプモーター室、搬出作業室、電気室、脱臭機室、その他
最初沈殿池 電気室	R C造 地上1階 建築面積 106㎡ 延床面積 106㎡ 電気室
最終沈殿池 電気室	R C造 地上1階 建築面積 178㎡ 延床面積 178㎡ 電気室
砂ろ過棟	R C造 地下1階、地上1階 建築面積 146㎡ 延床面積 355㎡ ポンプ室、電気室
汚泥棟	R C造 地下1階、地上3階 建築面積 1,111㎡ 延床面積 2,431㎡ ポンプ室、脱水機室、監視室、薬品注入機室、脱臭機室、電気室、その他
ホッパー棟	R C造 地上1階 建築面積 94㎡ 延床面積 94㎡ 搬出室
第2ホッパー棟	R C造 地上2階 建築面積 79㎡ 延床面積 138㎡ 搬出室
汚泥濃縮機棟	R C造 地下1階、地上2階 建築面積 559㎡ 延床面積 1,309㎡ ポンプ室、濃縮機室、脱臭機室、電気室、搬出室、換気ファン室、ホッパー室、その他
放流ポンプ棟	R C造 地下1階、地上1階 建築面積 458㎡ 延床面積 475㎡ ポンプ室、滅菌室、電気室、換気ファン室、その他
重力濃縮 ポンプ室棟	R C造 地下1階、地上2階 建築面積 59㎡ 延床面積 172㎡ ポンプ室、その他
生物脱臭棟	R C造 地上1階 建築面積 72㎡ 延床面積 91㎡ 生物脱臭室
汚泥処理 生物脱臭棟	R C造 地下1階、地上1階 建築面積 260㎡ 延床面積 311㎡ 生物脱臭室
自家発電機棟	R C造 地上1階 建築面積 124㎡ 延床面積 121㎡ 発電機室

III 峡東流域下水道

表 3－5 峡東浄化センター水処理機械設備概要

設 備 名 称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
沈 砂 池 ポンプ設備	幅2.0m×深3.4m×長14.4m（1池当たり）	2 池
	流入ゲート（外ネジ式鋳鉄製）	2 門
	幅0.8m×高1.5m×2.2kW	
	粗目スクリーン	2 基
	水路幅1.4m×水路深4.3m×目幅100mm	
	細目スクリーンかすかき上げ機（単一レーキ間欠式自動除塵機）	2 基
	水路幅1.4m×水路深4.5m×目幅20mm×1.5kW	
	スクリーンかす搬出機（トラフ型ベルトコンベヤ）	1 台
	幅600mm×1.5kW×2	
	スクリーンかす破砕機（二軸せん断式）	1 基
	処理量1.0m ³ /h×7.5kW	
	スクリーンかす移送タンク（ステンレス鋼板製）	1 基
	容量1.5m ³	
	スクリーンかす移送機（ジェットポンプ式）	1 台
	φ80×0.7m ³ /min×15m	
	スクリーンかす分離機（連続かき上げ式）	1 基
	処理量1.0m ³ /h×0.75kW	
	スクリーンかす脱水機（スクリュース式）	1 基
	処理量1.0m ³ /h×3.7kW	
	スクリーンかすホッパー（電動カットゲート式）	1 基
	容量3 m ³ ×0.75kW×2	
	スカム分離機（回転ドラムスクリーン）	1 基
	処理能力4 m ³ /min×目幅3mm×1.5kW	
	沈砂かき上げ機（Vバケットダブルチェーンコンベヤ）	1 基
	池寸法幅2m×高さ5.1m×長さ14.1m	
	かき寄量1.5m ³ /h×2.2kW	
	水中サンドポンプ（据置型）	2 台
	φ100×1.0m ³ /min×24m×11kW	
	沈砂流出トラフ（U型流水トラフ式）	1 基
	トラフ幅600mm	
	沈砂移送タンク（ステンレス鋼板製）	1 基
	容量1.5m ³	
	沈砂移送機（ジェットポンプ式）	1 台
	φ80×0.9m ³ /min×15m	
	沈砂分離機（スクリュースコンベヤ式）	1 基
	処理量1.6m ³ /h×3.7kW	
	沈砂ホッパー（電動カットゲート式）	1 基
	容量3 m ³ ×0.75kW×2	
	圧力水移送ポンプ（片吸込渦巻ポンプ）	1 台
	φ125×φ100×2.2m ³ /min×15m×11kW	
	圧力水ポンプ（片吸込多段渦巻ポンプ）	1 台
	φ150×2.2m ³ /min×70m×45kW	
	ポンプ井水中攪拌機（フリクト水中ミキサー）	1 台
	攪拌能力約150m ³	
	汚水ポンプ（立軸斜流渦巻ポンプ（三床式））	3 台
	φ500×30m ³ /min×13m×100kW	

III 峡東流域下水道

設備名称	構造及び能力	現有設備
最初沈殿池設備	幅8.3m×長31.1m×深3.3m 約852m ³ （1池当たり） 幅8.3m×長20.3m×深3.3m 約556m ³ （1池当たり） 初沈汚泥ポンプ（無閉塞型汚泥ポンプ） $\phi 100 \times 1 \text{ m}^3/\text{min} \times 14\text{m} \times 7.5\text{kW}$ 初沈汚泥掻寄機（フライト付ダブルチェーンコンベヤ） 幅3.55m×機長25.5m×0.6m/min×0.75kW（2水路1駆動） 幅3.55m×機長15.25m×0.6m/min×0.4kW（2水路1駆動） 初沈スカムスキマー（空気作動回転式パイプスキマー） $\phi 250 \times \text{水路幅} 4.15\text{m}$ （2水路1駆動） 初沈スカムスキマー（電動回転式パイプスキマー） $\phi 250 \times \text{水路幅} 4.15\text{m} \times 0.2\text{kW}$ （2水路1駆動）	4 池 2 池 2 台（予備1台） 4 基 2 基 2 基 4 基
反応タンク設備	幅8.6m×長60.1m×深5.6m 約2,894m ³ （1池当たり） No.1-1反応タンク散気装置 水中攪拌機（水中エアレーター） 送風量3.5N m ³ /min×酸素供給量17kg O ₂ /h×5.5kW 全面式散気装置 酸素供給量29kg O ₂ /h No.1-2反応タンク散気装置 水中攪拌機（水中エアレーター） 送風量8.2S m ³ /min×酸素供給量30kg O ₂ /h×7.5kW 全面式散気装置 酸素供給量29kg O ₂ /h No.1-3反応タンク散気装置 水中攪拌機（水中エアレーター） 送風量6.25N m ³ /min×酸素供給量24kg O ₂ /h×5.5kW 全面式散気板 散気量30～50L/min/枚 No.1-4反応タンク散気装置 水中攪拌機（水中エアレーター） 送風量6.25N m ³ /min×酸素供給量24kg O ₂ /h×5.5kW 全面式散気板 散気量30～50L/min/枚 No.2-1反応タンク散気装置 水中攪拌機（水中エアレーター） 送風量6.4S m ³ /min×酸素供給量23kg O ₂ /h×5.5kW 水中攪拌機（水中エアレーター） 送風量8.0S m ³ /min×酸素供給量34kg O ₂ /h×11kW 全面式散気装置 酸素供給量33kg O ₂ /h 酸素供給量50kg O ₂ /h No.2-2反応タンク散気装置 水中攪拌機（水中エアレーター） 送風量6.4S m ³ /min×酸素供給量23kg O ₂ /h×5.5kW 水中攪拌機（水中エアレーター） 送風量8.0S m ³ /min×酸素供給量34kg O ₂ /h×11kW 全面式散気装置 酸素供給量33kg O ₂ /h 酸素供給量50kg O ₂ /h	6 池 2 台 62 枚 2 台 62 枚 2 台 336 枚 2 台 336 枚 1 台 1 台 26 枚 38 枚 1 台 1 台 26 枚 38 枚

III 峡東流域下水道

設備名称	構造及び能力	現有設備
反応タンク 設 備	フロスブレードポンプ（渦巻ポンプ） $\phi 100 \times 1.6 \text{ m}^3 / \text{min} \times 25 \text{ m} \times 11 \text{ kW}$ $\phi 100 \times 2.0 \text{ m}^3 / \text{min} \times 26 \text{ m} \times 15 \text{ kW}$ $\phi 150 / \phi 100 \times 3.2 \text{ m}^3 / \text{min} \times 24 \text{ m} \times 22 \text{ kW}$	1 台 1 台 1 台
送風機設備	初期用送風機（ロータリーブロワ） $\phi 150 \times 20 \text{ m}^3 / \text{min} \times 61.8 \text{ kPa} \times 37 \text{ kW}$ 送風機（単段ターボブロワ） $\phi 200 \times 55 \text{ m}^3 / \text{min} \times 61.8 \text{ kPa} \times 90 \text{ kW}$ $\phi 300 / \phi 250 \times 80 \text{ m}^3 / \text{min} \times 68.6 \text{ kPa} \times 132 \text{ kW}$ $\phi 300 \times 120 \text{ m}^3 / \text{min} \times 63.7 \text{ kPa} \times 180 \text{ kW}$	2 台 2 台（予備 1 台） 1 台 1 台
最終沈殿池 設 備	幅8.3m×長43.7m×深3.4m 約1,233 m^3 （1池当たり） 終沈汚泥掻寄機（ノッチチェーン型フライト式） 幅3.55m×機長38.7m×0.3m/min×0.4kW（2水路1駆動） 終沈汚泥掻寄機（フライト付ダブルチェーンコンベヤ） 幅3.55m×機長38.3m×0.3m/min×0.75kW（2水路1駆動） 幅3.55m×機長38.3m×0.3m/min×0.4kW（2水路1駆動） 終沈スカムスキマー（電動回転式パイプスキマー） $\phi 250 \times$ 水路幅3.8m×0.1kW（1水路1駆動） $\phi 250 \times$ 水路幅3.8m×0.2kW（2水路1駆動） $\phi 250 \times$ 水路幅4.15m×0.2kW（2水路1駆動） 返送汚泥ポンプ（吸込スクリー式汚泥ポンプ） $\phi 250 \times 5.4 \text{ m}^3 / \text{min} \times 4 \text{ m} \times 11 \text{ kW}$ $\phi 200 / \phi 250 \times 7.0 \text{ m}^3 / \text{min} \times 4 \text{ m} \times 11 \text{ kW}$ $\phi 250 \times 5.9 \text{ m}^3 / \text{min} \times 4 \text{ m} \times 11 \text{ kW}$ 余剰汚泥ポンプ（無閉塞汚泥ポンプ） $\phi 100 \times 1.0 \text{ m}^3 / \text{min} \times 15 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$ $\phi 100 \times 1.1 \text{ m}^3 / \text{min} \times 14 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$	6 池 2 基 2 基 2 基 4 基 2 基 2 基 2 台（予備 1 台） 1 台 2 台（予備 1 台） 2 台（予備 1 台） 2 台（予備 1 台） 2 台（予備 1 台）
塩素滅菌 設 備	塩素混和池 幅2.0m×長32.0m×深3.0m 約192 m^3 （1池当たり） 次亜塩注入ポンプ（一軸偏心ねじマグネットカップリング式ポンプ） $\phi 15 \times (0.0181 \sim 1.77) \text{ L} / \text{min} \times 0.2 \text{ MPa} \times 0.4 \text{ kW}$ 次亜塩注入ポンプ（可変定量ダイヤフラムポンプ） $\phi 25 \times 1.56 \text{ L} / \text{min} \times 0.5 \text{ MPa} \times 0.2 \text{ kW}$ 砂ろ過用次亜塩注入ポンプ（可変定量ダイヤフラムポンプ） $\phi 15 \times (0.0184 \sim 0.092) \text{ L} / \text{min} \times 0.5 \text{ MPa} \times 0.2 \text{ kW}$ 次亜塩貯留タンク 容量 3.5 m^3 容量 6.0 m^3	1 池 1 台 2 台 1 台 1 基 1 基

III 峡東流域下水道

設備名称	構造及び能力	現有設備
砂ろ過設備	砂ろ過水槽 幅5.4m×長6.0m×深 約3.7m 約120m ³ （1槽当たり） 砂ろ過塔（移動床式上向流砂ろ過器） 41.7m ³ /h 50m ³ /h 原水送水ポンプ（渦巻ポンプ） φ80/φ65×1.1m ³ /min×23m×7.5kW φ100/φ80×1.3m ³ /min×20m×7.5kW 汚泥処理棟送水ポンプ（渦巻ポンプ） φ200×4.8m ³ /min×13m×18.5kW 高架水槽揚水ポンプ（渦巻ポンプ） φ150/φ125×3m ³ /min×28m×30kW	4 槽 2 塔 1 塔 3 台 2 台 2 台 2 台
放流設備	放流ポンプ（立軸斜流渦巻ポンプ） φ500×30m ³ /min×6m×45kW 川表ゲート（鋼板製スライドゲート） 幅1.6m×高1.6m×1.5kW	3 台 1 門
脱臭設備	沈砂池ポンプ棟脱臭ファン（FRPターボファン） φ375×66m ³ /min×2.5kPa×5.5kW 沈砂池ポンプ棟活性炭吸着塔（カートリッジ式三層吸着塔） 処理風量66m ³ /min	1 台 1 塔

III 峡東流域下水道

表 3－6 峡東浄化センター汚泥処理機械設備概要

設 備 名 称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
重力濃縮設備	重力濃縮槽 φ 11.0m×深 約3.0m 約280m ³ (1槽当たり)	1 槽
	重力濃縮槽用汚泥掻寄機 (円形中央駆動懸垂型) 2.4m/min×0.75kW	1 基
	初沈汚泥スクリーン (回転ドラム式スクリーン) 処理能力 1 m ³ /min×0.4kW	1 基
	スクリーンかす脱水機 (スクリュース式脱水機) 処理量0.25 t/h×2.2kW/0.4kW	1 基
	スクリーンかすホッパー (電動開閉式ホッパー) 2 m ³ ×0.75kW×2	1 基
	濃縮汚泥ポンプ (吸込スクリュース付汚泥ポンプ) φ 100×1 m ³ /min×9 m×3.7kW	2 台 (予備 1 台)
機械濃縮設備	余剰汚泥スクリーン (回転ドラム式スクリーン) 処理能力 2 m ³ /min×0.75kW	1 基
	スクリーンかす脱水機 (スクリュース式脱水機) 処理量0.25 t/h×2.2kW/0.4kW	1 基
	スクリーンかすホッパー (油圧開閉式ホッパー) 2 m ³ ×0.75kW	1 基
	遠心濃縮機給泥ポンプ (一軸ネジ式定量ポンプ) φ 150×(12.5~37.5) m ³ /h×15m×15kW	2 台 (予備 1 台)
	ベルト濃縮機給泥ポンプ (一軸ネジ式定量ポンプ) φ 125×(12.5~37.5) m ³ /h×20m×11kW	1 台
	遠心濃縮機 (横型連続遠心濃縮機) 処理能力25m ³ /h×44.9kW	1 台
	遠心濃縮機 (横型連続遠心濃縮機) 処理能力25m ³ /h×30.75kW	1 台
	ベルト濃縮機 (ベルト型ろ過濃縮機) 処理能力25m ³ /h×5.4kW	1 台
	余剰汚泥受槽 幅5.0m×長5.5m×深 約4.0m 約90m ³	1 槽
	余剰汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形攪拌機) 5.5kW	1 基
	濃縮汚泥受槽 幅5.0m×長7.1m×深 約4.0m 約100m ³ (1槽当たり)	2 槽
	濃縮汚泥受槽 幅5.0m×長5.8m×深 約3.5m 約100m ³	1 槽
	濃縮汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形攪拌機) 11kW	3 基
	機械濃縮汚泥移送ポンプ (一軸ネジ式定量ポンプ) φ 150×24m ³ /h×49m×7.5kW	2 台 (予備 1 台)
	定量フィーダー (容積式定量フィーダー) 0.1~0.4 L/min×0.2kW	2 台
	薬品溶解タンク (鋼板製円筒立型) 有効容量 1.5m ³	2 基
	薬品溶解タンク用攪拌機 (立軸 2 段プロペラ形) 0.75kW	2 台
	薬品供給ポンプ (一軸ネジ式定量ポンプ) φ 20×1.5~4.5 L/min×20m×0.4kW	2 台 (予備 1 台)

III 峡東流域下水道

設備名称	構造及び能力	現有設備
脱水設備	汚泥受槽 幅5.6m×長6.0m×深 約3.0m 約100m ³	1 槽
	幅5.8m×長6.0m×深 約4.8m 約160m ³	1 槽
	汚泥受槽攪拌機（立軸2段パドル形攪拌機） 7.5kW	2 基
	給泥ポンプ（一軸ネジ式定量ポンプ） φ100×（5～17）m ³ /h×20m×5.5kW	1 台
	φ100×（5～15）m ³ /h×20m×5.5kW	2 台
	汚泥脱水機（二重円筒加圧脱水機） 77.0kg-DS/m ² ・h×ろ過面積5m ² 動力（総合）9.2kW	1 基
	汚泥脱水機（遠心脱水機横型） 10m ³ /h 動力（駆動用／差動用）55kW／22kW	2 基
	No.1 ケーキコンベヤ（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.6m×長17.8m 輸送量35m ³ /h×1.5kW	1 台
	No.2 ケーキコンベヤ（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.6m×長17.8m 輸送量28t/h×1.5kW	1 台
	No.3 ケーキコンベヤ（傾斜トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.6m×長39.6m 輸送量36m ³ /h×3.7kW／0.4kW	1 台
	No.4 ケーキコンベヤ（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.6m×長8.9m 輸送量35m ³ /h×1.5kW	1 台
	No.5 ケーキコンベヤ（スクリュコンベヤ（傾斜式）） φ350×長5.2m 輸送量3.6t/h×2.2kW	1 台
	No.6 ケーキコンベヤ（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.6m×長7.0m 輸送量30.0t/h×0.75kW	1 台
	No.7 ケーキコンベヤ（スクリュコンベヤ（傾斜式）） φ315×長5.4m 輸送量4.5m ³ /h×2.2kW	1 台
	脱水ケーキホッパー（鋼板製角形カットゲート） 容量 8m ³	1 基
	容量 10m ³	1 基
	脱水機洗浄水ポンプ（片吸込渦巻ポンプ） φ50×0.2m ³ /min×45m×3.7kW	2 台（予備1台）
	定量フィーダー（容積式定量フィーダー） 1～4L/min×0.4kW	2 台
	薬品溶解タンク（鋼板製円筒立型） 有効容量 11m ³	2 基
	薬品溶解タンク用攪拌機（立軸2段パドル形） 5.5kW	2 台
	薬品供給ポンプ（一軸ネジ式定量ポンプ） φ50×（1～3）m ³ /h×20m×1.5kW	1 台
	φ50×（1～3）m ³ /h×25m×1.5kW	2 台

III 峡東流域下水道

設 備 名 称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
脱 臭 設 備	汚泥濃縮機棟 脱臭ファン（F R P 製ターボファン） φ 300×30m ³ /min×3.7kW φ 300×20m ³ /min×1.5kW 活性炭吸着塔（カートリッジ式三層吸着塔） 処理風量 60m ³ /min	1 台 1 台 1 塔
	汚泥棟 脱臭ファン（F R P 製ターボファン） φ 500×45m ³ /min×3.7kW 活性炭吸着塔（カートリッジ式三層吸着塔） 処理風量 90m ³ /min	1 台 1 塔
	生物脱臭棟（重力濃縮系） 脱臭ファン（F R P 製ターボファン） φ 250×20m ³ /min×2.2kW 生物脱臭塔（カートリッジ式） 処理風量 20m ³ /min	1 台 1 塔
	脱塩素設備（チオ硫酸ナトリウム注入設備）	1 式
	汚泥処理生物脱臭棟 脱臭ファン（F R P 製ターボファン） φ 400×45m ³ /min×2.2kW 生物脱臭塔（カートリッジ式） 処理風量 90m ³ /min	1 台 1 塔
そ の 他 設 備	トラックスケール（マルチロードセル方式） 秤量30 t 幅3,000mm×長12,000mm	1 基

III 峡東流域下水道

表 3 - 7 峡東浄化センター電気設備概要

設 備 名 称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W × 6, 600 V / 50 Hz × 1 回 線 受 電 設 備 容 量 4, 466 kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定 格 電 圧 7, 200 V 定 格 電 流 600 A 定 格 遮 断 電 流 12. 5 kA	1 式
変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 動力用 3 φ 3 W × 6, 600 V / 420 V × 500 kVA " 3 φ 3 W × 6, 600 V / 420 V × 400 kVA " 3 φ 3 W × 6, 600 V / 420 V × 300 kVA " 3 φ 3 W × 6, 600 V / 210 V × 200 kVA 電灯用 1 φ 3 W × 6, 600 V / 210 V - 105 V × 150 kVA " 1 φ 3 W × 6, 600 V / 210 V - 105 V × 50 kVA	6 台 1 台 1 台 1 台 1 台 1 台
高圧進相コンデンサ	3 φ 3 W × 6, 600 V × 106 kvar 3 φ 3 W × 6, 600 V × 79. 8 kvar 3 φ 3 W × 6, 600 V × 53. 2 kvar 3 φ 3 W × 6, 600 V × 26. 6 kvar	1 台 1 台 1 台 1 台
交流無停電電源装置	管理本館 200Ah × 54セル 制御弁式鉛蓄電池 (長寿命形) 水 処 理 100Ah × 54セル 制御弁式鉛蓄電池 (長寿命形) 汚 泥 棟 150Ah × 54セル 制御弁式鉛蓄電池 (長寿命形)	1 式 1 式 1 式
非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 661kW (900PS) 3 φ 3 W × 6, 600 V × 750 kVA 588kW (800PS) 3 φ 3 W × 6, 600 V × 625 kVA 始動用直流電源装置 600Ah × 12セル 制御弁式据置鉛蓄電池 (長寿命形) 600Ah × 12セル 制御弁式据置鉛蓄電池 (長寿命形)	1 台 1 台 1 式 1 式
中 央 監 視 設 備	L C D 装置 大型スクリーン 大型スクリーンコントローラ プリンタ ハードコピー オフライン処理装置	4 台 1 式 1 台 4 台 1 台 1 式
遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (親局) 帯域品目 3. 4kHz × 4 線式 保守用電話切替式 テレメータ装置 (親局) 帯域品目 3. 4kHz × 2 線式 保守用電話切替式 符号品目 50 b / s	3 台 12 台 2 台
付 帯 設 備	構内電話設備 屋内消火栓設備 自動火災警報設備 非常放送設備 T V 共聴設備 避雷設備	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式

III 峽東流域下水道

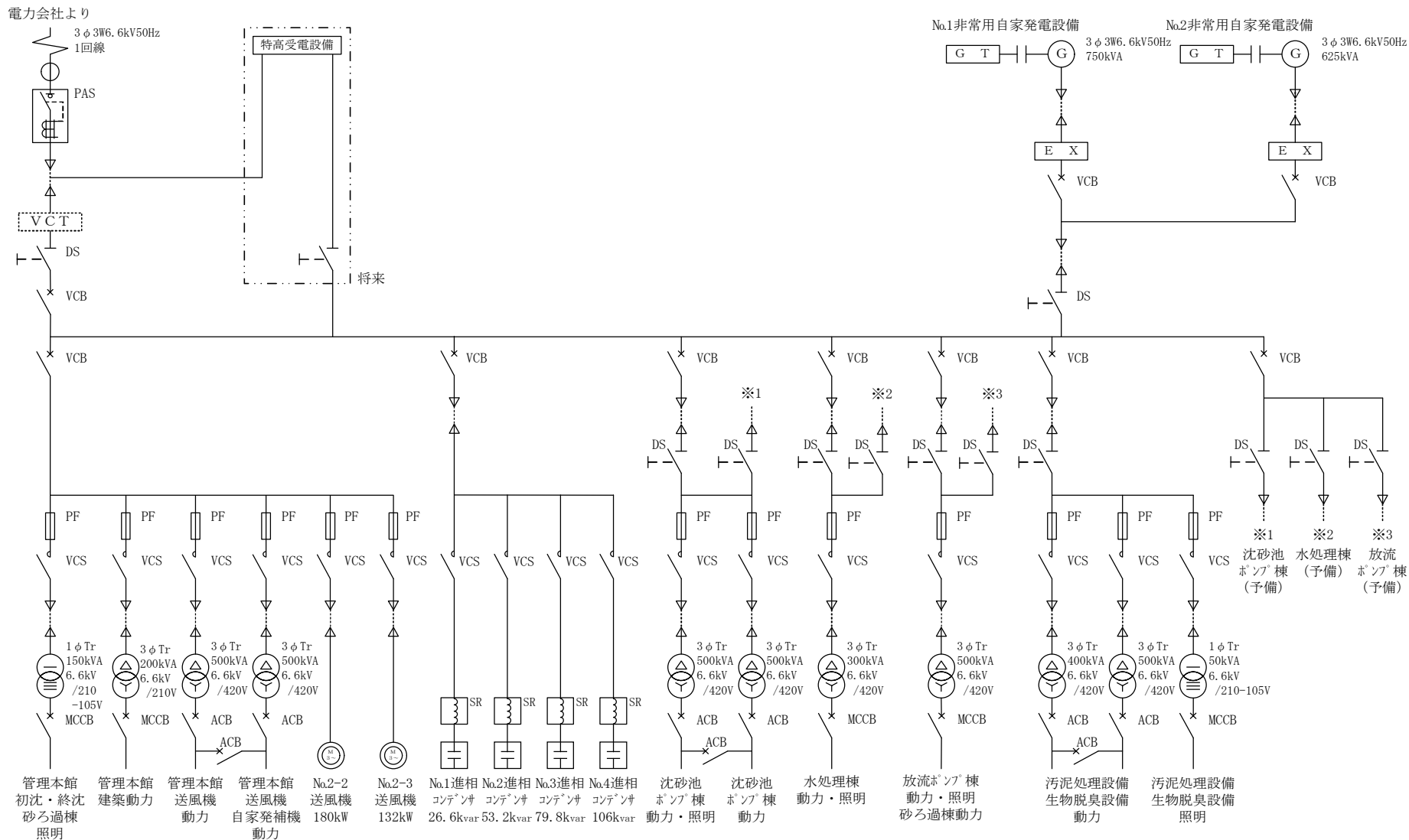


図3-4 峡東浄化センター単線結線図

III 峡東流域下水道

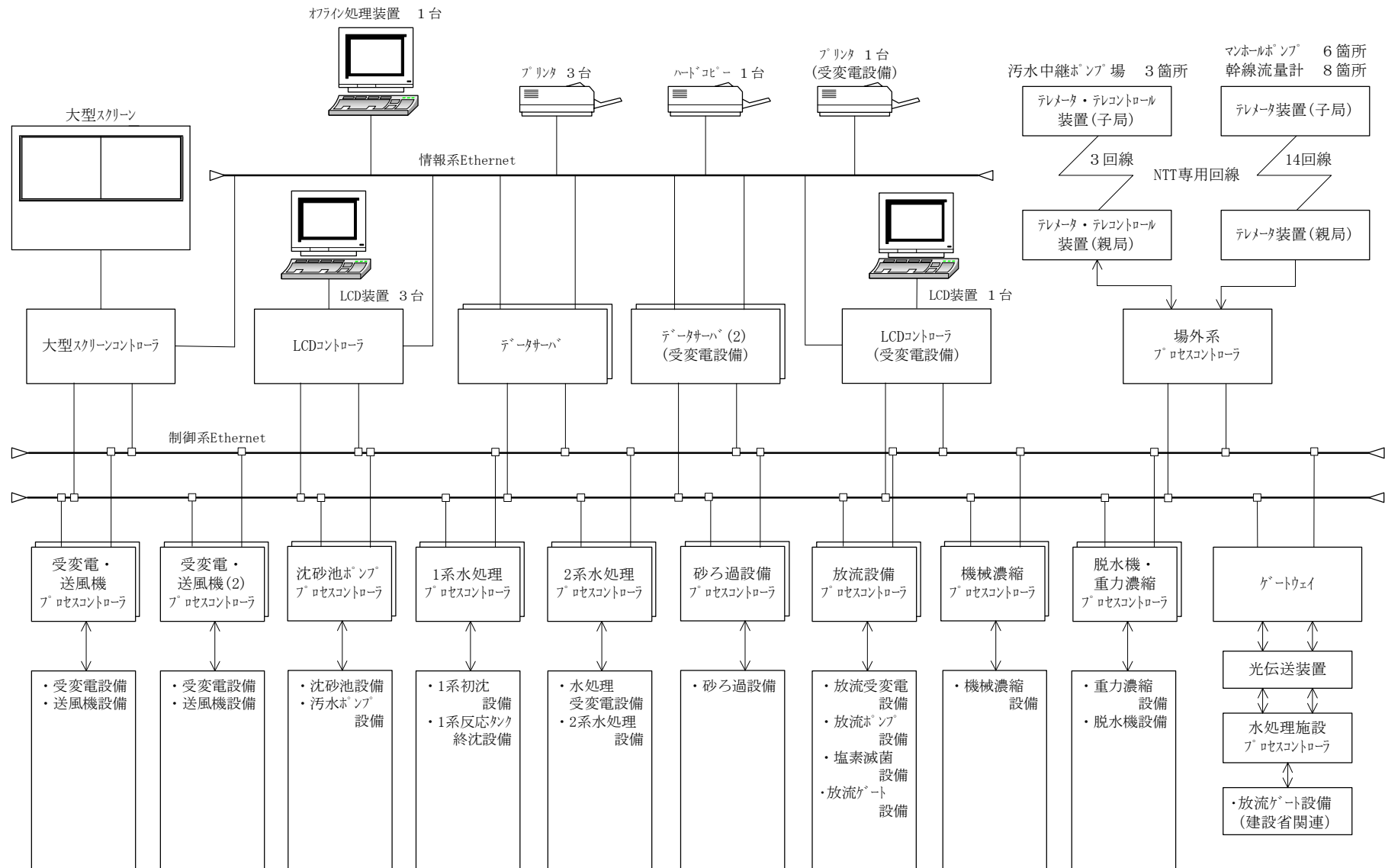


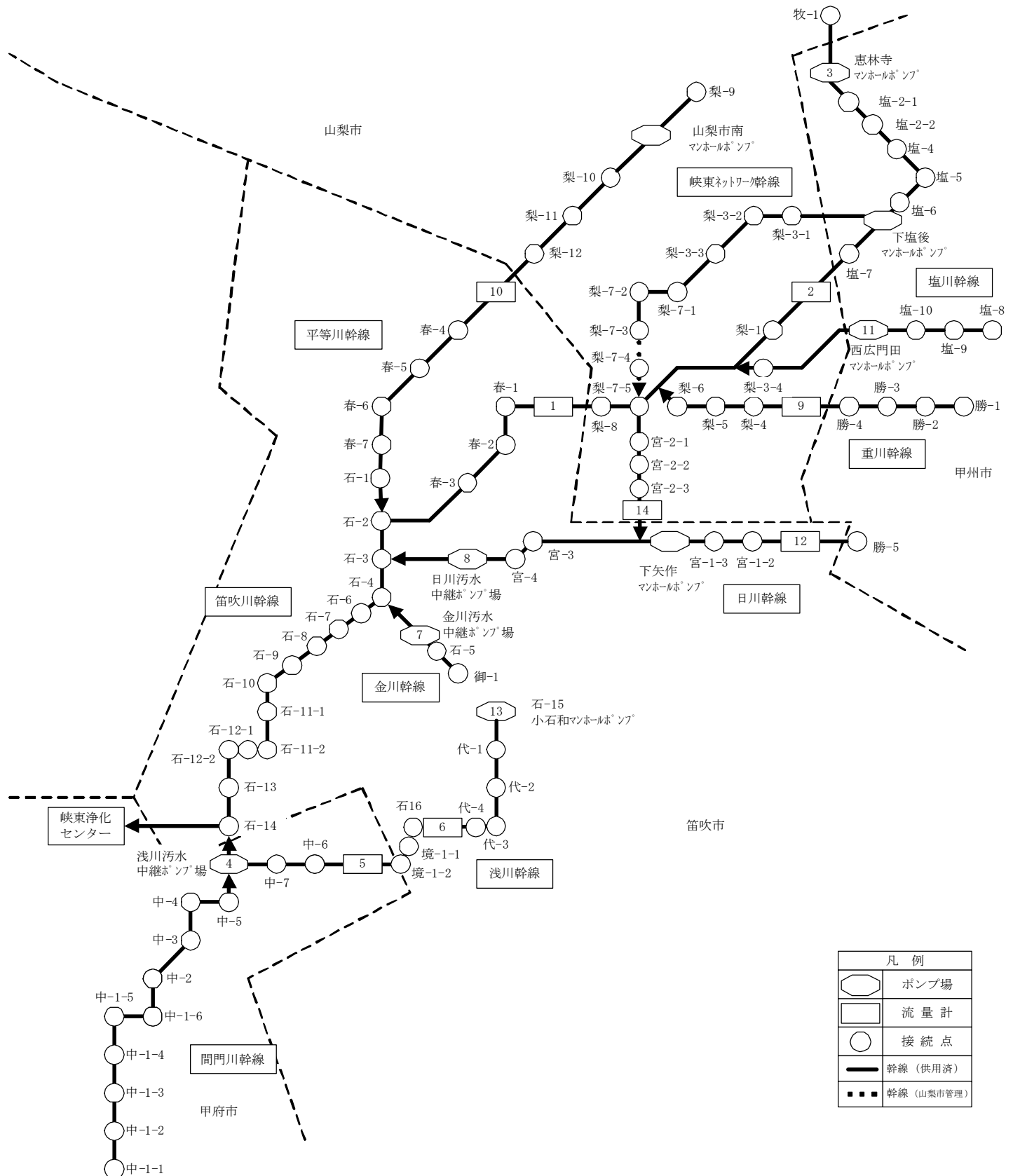
図 3 - 5 峡東浄化センターシステム系統図

III 峽東流域下水道

②中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計

中継ポンプ場は、全体計画3箇所全てが整備されており、幹線は、全体計画延長 63.7 kmの内 61.8 kmが供用開始している。また、中継ポンプ場の流量計を含めた幹線流量計設置数は14箇所となっている。

流域幹線系統図を図３－６に、流域関連公共下水道接続概要を表３－８に、中継ポンプ場の建築構造物概要を表３－９に、機械設備概要を表３－１０に、電気設備概要を表３－１１に、単線結線図を図３－７～図３－９に、幹線概要を表３－１２に、幹線付帯設備概要を表３－１３に、幹線流量計測設備概要を表３－１４に示す。



※峡東ネットワーク幹線の一部は山梨市から移管予定。

図 3-6 流域幹線系統図

表 3 - 8 流域関連公共下水道接続概要

幹線名称	処理分区名	供用開始年月日	処理区域面積 (ha)	処理区域人口 (人)	接続市町名
笛吹川幹線	塩-2-1	平成22年 3月31日	6.16	134	甲州市
	塩-2-2	平成22年 3月31日	9.56	148	
	塩-4	平成 元年 7月 1日	5.87	174	
	塩-5	平成 元年 7月 1日	85.35	2,285	
	塩-6	平成 元年 7月 1日	85.70	3,270	
	塩-7	平成 元年 7月 1日	136.51	2,791	
	梨-1	平成 8年 4月 1日	21.85	767	山梨市
	梨-7-5	平成 元年 7月 1日	103.34	2,539	
	梨-8	平成 元年 7月 1日	110.43	2,455	
	牧-1	平成10年 4月 1日	120.66	1,423	笛吹市
	春-1	平成 5年 3月31日	19.78	426	
	春-2	平成20年 7月31日	23.08	454	山梨市
		平成 5年 3月31日	18.09	331	笛吹市
	春-3	平成 元年 4月 1日	129.38	3,296	笛吹市
	石-2	平成23年 3月31日	5.16	378	
	石-3	平成 4年 7月31日	17.50	420	
	石-4	平成 3年 4月30日	43.70	1,485	
	石-6	平成 元年 7月 1日	70.27	2,050	
	石-7	平成 元年 7月 1日	55.12	1,284	
	石-8	平成 5年11月16日	84.74	1,503	
	石-9	平成18年 3月31日	20.16	0	
	石-10	平成17年 3月31日	44.17	530	
	石-11-1	平成17年 3月31日	8.87	389	
	石-11-2	平成17年 3月31日	21.17	641	
	石-12-1	平成19年 3月31日	19.55	788	
	石-12-2	平成 4年12月29日	20.49	881	
	石-13	平成 2年 7月31日	23.60	601	
	石-14	平成12年 6月14日	3.43	57	
浅川幹線	石-15	平成17年 3月31日	29.97	870	笛吹市
	石-16	平成31年 3月31日	1.20	0	
	代-1	平成 8年 4月 1日	147.03	2,454	
	代-2	平成 8年 4月 1日	80.34	1,904	
	代-3	平成 6年 4月 1日	23.42	580	
	代-4	平成 6年 4月 1日	94.39	1,963	
	境-1-1	平成19年 3月31日	8.02	0	
	境-1-2	平成 5年 7月 1日	210.34	3,325	甲府市
	中-6	平成 5年 7月 1日	20.37	392	
重川幹線	中-7	平成 5年 7月 1日	3.20	54	山梨市
	梨-4	平成 7年10月 1日	26.14	498	
	梨-5	平成 7年 4月 1日	7.25	111	
	梨-6	平成14年 3月30日	2.94	0	甲州市
	勝-1	平成13年 4月 1日	41.88	1,061	
	勝-2	平成10年 4月 1日	23.91	358	
	勝-3	平成 5年 4月 1日	120.15	2,859	
日川幹線	勝-4	平成 5年 4月 1日	5.80	6	甲州市
	勝-5	平成 6年 4月 1日	44.32	1,024	
	宮-1-2	平成10年 4月 1日	42.34	760	
	宮-1-3	平成 9年 4月 1日	44.09	577	
	宮-3	平成 5年 7月 1日	82.42	1,397	
金川幹線	宮-4	平成 5年 7月 1日	248.19	3,564	笛吹市
	御-1	平成 6年 4月 1日	287.07	6,639	
金川幹線	石-5	平成21年 3月31日	18.13	468	笛吹市

III 峡東流域下水道

幹線名称	処理分区名	供用開始年月日	処理区域面積 (ha)	処理区域人口 (人)	接続市町名
間門川幹線	中－１－１	平成 ８年 ６月 １日	74.80	1,296	甲府市
	中－１－２	平成 ８年 ６月 １日	6.53	104	
	中－１－３	平成 10年 ７月 １日	7.83	74	
	中－１－４	平成 ９年 ６月 １日	8.44	72	
	中－１－５	平成 ７年 ４月 １日	70.34	737	
	中－１－６	平成 ７年 ４月 １日	8.44	117	
			36.80	410	笛吹市
	中－２	平成 ９年 ６月 １日	12.50	388	甲府市
			1.30	12	笛吹市
	中－３	平成 ８年 ４月 １日	7.81	154	甲府市
	中－４	平成 ８年 ４月 １日	11.38	190	
	中－５	平成 ５年 ７月 １日	30.18	637	笛吹市
			6.20	2	
平等川幹線	梨－９	平成 16年 ３月 31日	34.81	722	山梨市
	梨－10	平成 ７年 10月 １日	60.09	269	
	梨－11	平成 ７年 ４月 １日	60.37	1,003	
	梨－12	平成 ７年 ４月 １日	29.43	822	
	春－４	令和 ３年 ３月 31日	2.40	23	笛吹市
		平成 ９年 ３月 31日	14.84	553	
	春－５	平成 ９年 ３月 31日	27.19	680	
	春－６	平成 ８年 ３月 31日	20.58	510	
	春－７	平成 ６年 ３月 31日	49.73	1,245	
	石－１	平成 25年 ３月 31日	3.84	93	
塩川幹線	塩－８	平成 元年 ７月 １日	75.66	1,573	甲州市
	塩－９	平成 元年 ７月 １日	44.53	878	
	塩－10	平成 元年 ７月 １日	12.41	158	
	梨－３－４	平成 10年 ４月 １日	12.00	285	山梨市
峡東ネットワーク幹線	梨－３－１	平成 11年 ８月 １日	9.17	206	山梨市
	梨－３－２	平成 11年 ８月 １日	22.08	687	
	梨－３－３	平成 11年 ８月 １日	19.22	672	
	梨－７－１	平成 11年 ８月 １日	40.71	1,273	
	梨－７－２	平成 ９年 12月 １日	31.59	1,170	
	梨－７－３※１	平成 ９年 ４月 １日	33.78	930	
	梨－７－４※１	平成 ９年 ４月 １日	30.28	686	
	宮－２－１	平成 25年 ３月 31日	4.12	115	
	宮－２－２	平成 11年 12月 15日	26.70	731	
	宮－２－３	平成 11年 12月 15日	64.58	1,309	

※処理区域内面積及び人口は、令和 8 年 4 月 1 日現在の値を示す。

※１ 峡東ネットワーク幹線の一部は山梨市から移管予定。

III 峡東流域下水道

表 3－9 中継ポンプ場建築構造物概要

ポンプ場名称	構 造 及 び 概 要
日 川 汚 水 中継ポンプ場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 241㎡ 延床面積 474㎡ ポンプ室、電気室、ゲート機械室、自家発電機室、換気機械室、その他
金 川 汚 水 中継ポンプ場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 240㎡ 延床面積 377㎡ 機械室、発電機室、搬出入室、電気室、換気機械室、その他
浅 川 汚 水 中継ポンプ場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 357㎡ 延床面積 775㎡ スクリーン・脱臭機室、ゲート室、電気室、自家発電機室、搬出室、 換気ファン室、その他

III 峡東流域下水道

表 3 - 1 0 中継ポンプ場機械設備概要

ポンプ場名称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
日 川 汚 水 中継ポンプ場	流入ゲート（鋳鉄製電動角形） 幅0.5m×高0.6m×0.75kW	2 門
	ポンプ井連絡ゲート（鋳鉄製手動角形） 幅0.6m×高0.6m	1 門
	粗目スクリーン（手掻きバースクリーン） 幅1m×高2.1m×目幅100mm	2 基
	細目スクリーン（裏掻式自動スクリーン） 幅1m×高2.5m×目幅20mm×0.4kW	1 基
	し渣洗浄機（機械攪拌式） 処理能力0.4m ³ /h×目幅10mm×2.2kW+0.75kW	1 基
	し渣搬出機（ベルトコンベヤ） 幅0.6m×機長4.5m×1.5kW	1 基
	し渣脱水機（スクリュース式） 処理能力0.4m ³ /h×2.2kW+0.4kW	1 基
	給水装置（圧力タンク付自動給水ユニット） φ40×0.15m ³ /min×4.0kg/cm ² ×3.7kW×2	1 基
	活性炭吸着塔 処理風量20m ³ /min	1 塔
	脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ200×20m ³ /min×1.96kPa×2.2kW	1 台
	汚水ポンプ（吸込スクリュース付水中汚水ポンプ） φ200×4m ³ /min×20m×22kW	1 台
	φ200×7m ³ /min×19.5m×37kW	1 台
金 川 汚 水 中継ポンプ場	主流入ゲート（鋳鉄製電動角形） 幅0.8m×高0.6m×0.75kW	1 門
	流入ゲート（鋳鉄製電動角形） 幅0.5m×高0.5m×0.4kW	2 門
	ポンプ井連絡ゲート（鋳鉄製手動角形） 幅0.5m×高0.5m	1 門
	バイパススクリーン（手掻き式バースクリーン） 幅0.8m×高2.0m×目幅20mm	1 基
	自動除塵機（脱水機構付ドラム状スクリーン） 幅0.8m×高2.0m×目幅20mm×1.5kW	1 基
	給水装置（圧力タンク付自動給水ユニット） φ32×0.1m ³ /min×20m×1.5kW×2	1 基
	活性炭吸着塔 処理風量12m ³ /min	1 塔
	脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ225×12m ³ /min×2kPa×1.5kW	1 台
	汚水ポンプ（吸込スクリュース式着脱装置付水中汚水ポンプ） φ150×2.8m ³ /min×20m×18.5kW	2 台

III 峡東流域下水道

ポンプ場名称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
浅 川 汚 水 中継ポンプ場	流入ゲート（鋳鉄製電動角形） 幅0.5m×高0.5m×0.75kW	2 門
	ポンプ井連絡ゲート（鋳鉄製手動角形） 幅0.5m×高0.5m	1 門
	バイパススクリーン（手掻き式バースクリーン） 幅0.8m×高3.2m×目幅100mm	1 基
	細目自動除塵機（間欠式前面掻き揚げ形） 幅0.8m×高3.2m×目幅20mm×0.75kW	1 基
	し渣洗浄機（機械攪拌式） 処理能力0.5m ³ /h×目幅6mm×2.2kW+0.75kW	1 基
	し渣搬送機（トラフ形ベルトコンベヤ） 幅0.5m×機長5.0m×0.75kW	1 基
	し渣脱水機（スクリーン式） 処理能力0.5m ³ /h×2.2kW	1 基
	給水装置（圧力タンク付自動給水ユニット） φ40×0.165m ³ /min×0.755MPa×2.2kW×2	1 基
	活性炭吸着塔 処理風量24m ³ /min	1 塔
	脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ200×24m ³ /min×3.5kPa×5.5kW	1 台
	汚水ポンプ（吸込スクリーン式着脱装置付水中汚水ポンプ） φ200×5m ³ /min×30m×45kW	3 台

III 峡東流域下水道

表 3-1-1 中継ポンプ場電気設備概要

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
日 川 汚 水 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V/50Hz×1 回線 受電設備容量 250kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V/420V×250kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×440V×20kvar 3 φ 3 W×440V×10kvar	1 台 1 台
	交流無停電 電 源 設 備	ミニUPS 2kVA	1 台
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 180kW(245PS) 3 φ 3 W×420V×200kVA 始動用直流電源装置 200Ah×12セル 陰極吸収式シール形鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 防犯設備	1 式 1 式
金 川 汚 水 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V/50Hz×1 回線 受電設備容量 150kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V/210V×150kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×210V×20kvar 3 φ 3 W×210V×10kvar	1 台 1 台
	交流無停電 電 源 設 備	ミニUPS 3kVA	1 台
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 125kW(170PS) 3 φ 3 W×210V×125kVA 始動用直流電源装置 150Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 防犯設備	1 式 1 式

III 峡東流域下水道

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現有設備
浅 川 汚 水 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V/50Hz×1回線 受電設備容量 400kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 16kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V/420V×400kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420V×15kvar 3 φ 3 W×420V×10kvar 3 φ 3 W×420V×5kvar	1 台 1 台 1 台
	交流無停電 電 源 設 備	50Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池	1 台
	非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 353kW(480PS) 3 φ 3 W×420V×300kVA 始動用直流電源装置 400Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池 (長寿命形)	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3.4kHz×4線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	自動火災警報設備 インターホン設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

III 峡東流域下水道

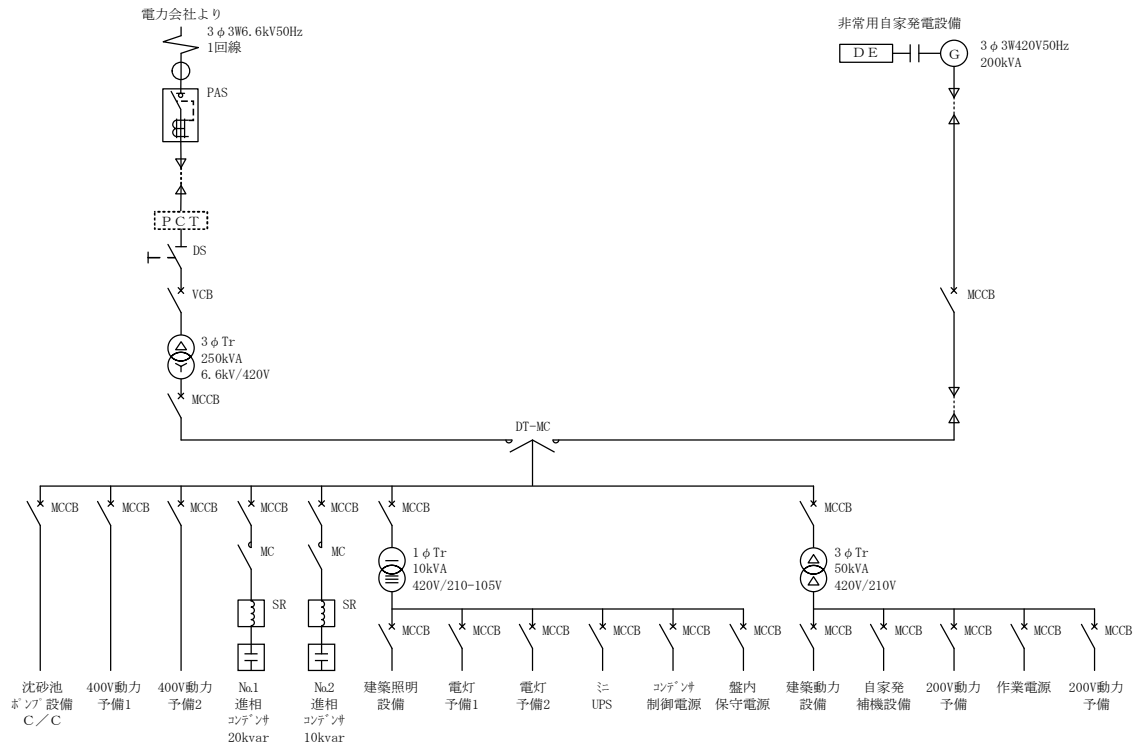


図 3 - 7 日川汚水中継ポンプ場単線結線図

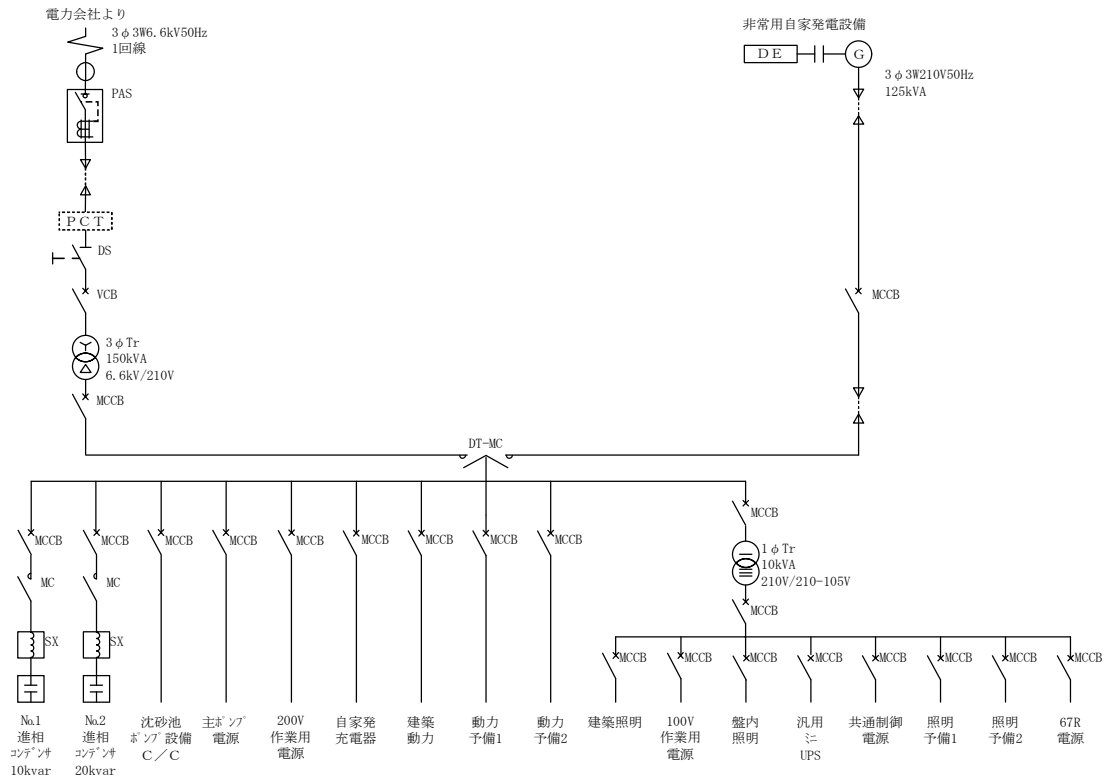


図 3 - 8 金川汚水中継ポンプ場単線結線図

III 峡東流域下水道

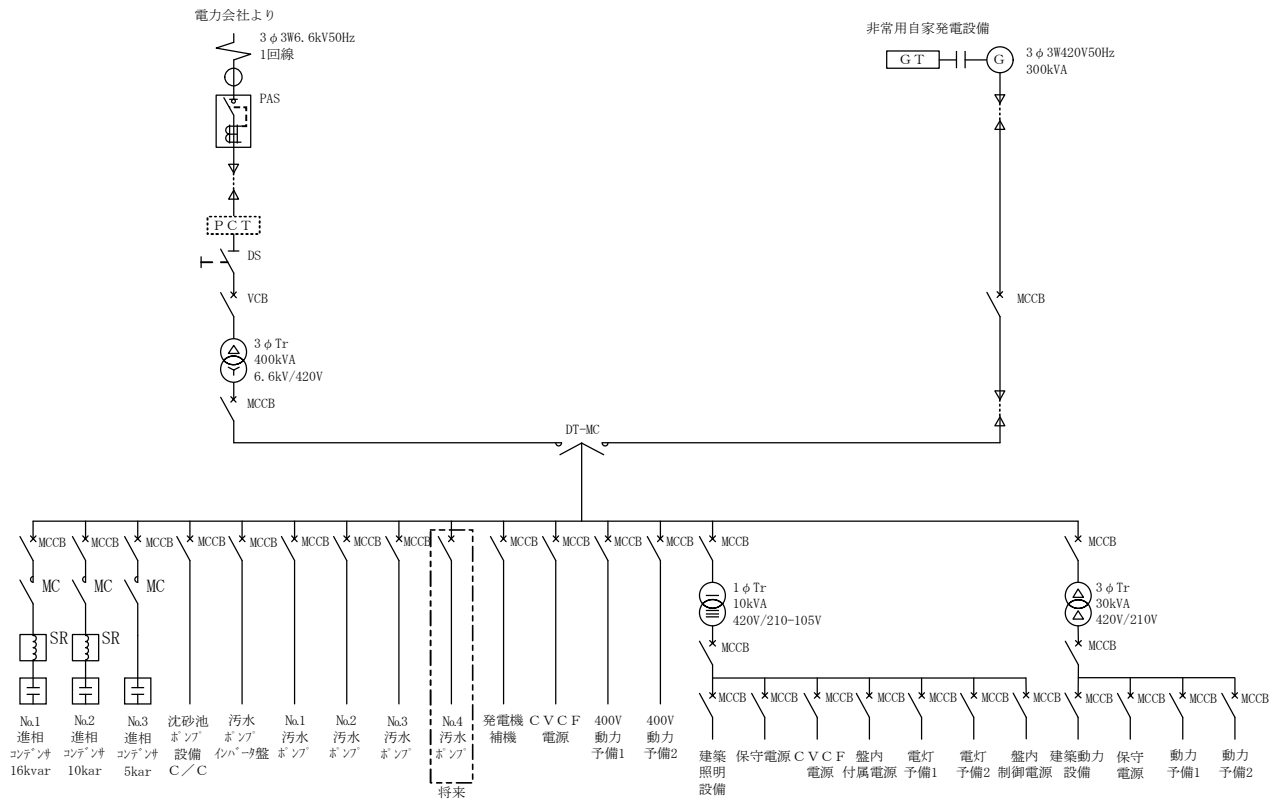


図 3 - 9 浅川汚水中継ポンプ場単線結線図

III 峡東流域下水道

表 3－1 2 幹線概要

幹 線 名 称	供 用	
	管 径 (mm)	延 長 (m)
笛 吹 川 幹 線	200 ～ 1,800	21,661
浅 川 幹 線	150 ～ 800	6,832
重 川 幹 線	350 ～ 600	3,004
日 川 幹 線	200 ～ 1,650	7,548
金 川 幹 線	250 ～ 800	1,716
間 門 川 幹 線	300 ～ 1,000	4,733
平 等 川 幹 線	200 ～ 1,000	6,356
塩 川 幹 線	200 ～ 600	3,419
峡 東 ネットワーク 幹 線	250 ～ 500	6,551
合 計		61,820

※供用管径及び延長は、令和 8 年 4 月 1 日現在の値を示す。

※供用延長は、県への管理移管を計画している公共管を含まない。

III 峡東流域下水道

表 3－13 幹線付帯設備概要

幹線名称	設備名称	仕様及び形式	現有設備
笛吹川幹線	恵林寺マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 100 \times 1.2 \text{ m}^3 / \text{min} \times 10 \text{ m} \times 5.5 \text{ kW}$	2 台
	鍛冶屋橋水管橋	笛吹川横断部 管径 350mm	72.569m
	緊急時切替ゲート	幅1.1m×高さ1.1m	1 門
	桑戸橋制水ゲート設備	右岸 幅1.4m×高さ1.3m 左岸 幅1.4m×高さ1.3m	1 門 1 門
浅川幹線	白井河原橋水管橋	笛吹川横断部 管径 350mm×2条	279.858m
	御成橋水管橋	渋川横断部 管径 350mm×2条	23.565m
	稲子田橋水管橋	藤沢川横断部 管径 200mm	4.40 m
	舟形橋水管橋	天川横断部 管径 150mm	65.16 m
	小石和マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 150 \times 3.2 \text{ m}^3 / \text{min} \times 22 \text{ m} \times 22 \text{ kW}$	2 台
重川幹線	鴨居寺橋伏越	重川横断部 管径 600mm	125.111m
日川幹線	笛吹橋水管橋	笛吹川横断部 管径 350mm×2条	178.650m
	下田川水管橋	下田川横断部 管径 350mm×2条	10.367m
	下矢作マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 150 \times 3.72 \text{ m}^3 / \text{min} \times 16 \text{ m} \times 22 \text{ kW}$	2 台
金川幹線	鶴飼橋水管橋	笛吹川横断部 管径 250mm×2条	237.000m
	長塚橋水管橋	下平井川横断部 管径 250mm×2条	7.900m
平等川幹線	山梨市南 マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 150 \times 2.280 \text{ m}^3 / \text{min} \times 14 \text{ m} \times 11 \text{ kW}$	2 台
塩川幹線	西広門田 マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 150 \times 1.885 \text{ m}^3 / \text{min} \times 15 \text{ m} \times 11 \text{ kW}$	2 台
峡東ネットワーク幹線	下塩後マンホールポンプ	水中汚水ポンプ $\phi 100 \times 2.0 \text{ m}^3 / \text{min} \times 11.5 \text{ m} \times 7.5 \text{ kW}$	2 台
	重川橋水管橋	重川横断部 管径 400mm×1条	158.380m
	分水ゲート	管径 300mm 管径 350mm	1 門 1 門
	日川橋伏越 ルート切替ゲート	日川横断部 管径 350mm 管径 500mm 幅0.8m×高さ1.3m	158.498m 1 門

III 峡東流域下水道

表 3－1 4 幹線流量計測設備概要

流 量 計 番 号	設 備 名 称	管 径 (mm)	流量計口径 (mm)	最大目盛 (m ³ /h)	形 式
1	山梨市 1 流量計	900	900	1,000	超音波式
2	塩山 1 流量計	700	594	400	超音波式
3	牧丘町流量計 (恵林寺マンホールポンプ)	—	150	200	電磁式
4	中道町流量計 (浅川汚水中継ポンプ場)	—	350	1,000	電磁式
5	境川村流量計	700	700	250	超音波式
6	八代町流量計	600	600	250	超音波式
7	御坂町流量計 (金川汚水中継ポンプ場)	—	250	500	電磁式
8	一宮町流量計 (日川汚水中継ポンプ場)	—	350	1,400	電磁式
9	勝沼 1 流量計	400	400	200	超音波式
1 0	山梨市 2 流量計	350	350	250	P B F、圧力式
1 1	塩山 2 流量計 (西広門田マンホールポンプ)	—	200	300	電磁式
1 2	勝沼 2 流量計	300	300	90	P B F、圧力式
1 3	石和町流量計 (小石和マンホールポンプ)	—	150	480	電磁式
1 4	山梨市 3 流量計	500	500	800	面速式
備 考	流量計番号は図 3－6 流域幹線系統図中の設備番号を示す。				

2 施設運転管理状況

(1) 機械設備運転管理状況

①各設備の運転状況等

主要機器の運転状況を表3-15に、し渣及び沈砂搬出状況を表3-16に、薬品・給水・燃料使用状況を表3-17に示す。また、中継ポンプ場運転状況を表3-18に示す。

各設備については、下記のとおり運転を行った。

ア) 沈砂池ポンプ設備

沈砂池、スクリーンについてはNo.2水路を使用し、除塵設備は1日5回の運転を行った。除砂設備は通常運転せず、1週間～1箇月毎の定期点検運転のみとした。

汚水ポンプについては流入水量にあわせて揚水量を設定し、一定流量にて運転を行った。揚水量は汚水ポンプ1台運転で1,850 m³/hを通常時の上限とし、12月8日までNo.1汚水ポンプを主機として運転を行ったが、12月8日以降は1週間毎にNo.1～3汚水ポンプを切替運転とした。

イ) 最初沈殿池設備

使用池数は2池とした。

汚泥掻寄機は連続運転とし、初沈汚泥ポンプは1時間に1回の定期的な汚泥引き抜き運転を行った。また、スカムスキマーは1日2回の定期運転を行った。なお、No.1-3～No.2-2 最初沈殿池のスカムスキマーは故障のため、当該池を使用する際は1週間毎に人力でスカムをスカムスキマーに流し込む対応を行った。

ウ) 反応タンク設備

使用池数は5池とした。

使用各池に設置されている水中攪拌機は連続運転とした。

反応タンクは曝気倍率（DO補正）制御とし、送風機は1台で吐出圧一定制御による運転を行った。なお、No.1-1 送風機は振動監視装置の不良、No.2-2 送風機は吐出量が大きいため、予備機とした。

エ) 最終沈殿池設備

使用池数は9月29日まで5池とし、9月29日以降は6池とした。なお、7月22日から28日は透視度改善のため、9月5日から8日は大雨対応のため、一時的に6池とした。

汚泥掻寄機は連続運転とし、返送汚泥ポンプは返送率一定制御による連続運転とした。余剰汚泥ポンプはMLSSの状況をみながらタイマーによる自動引き抜き運転を行った。また、スカムスキマーは1時間毎の定期運転を行った。

オ) 塩素滅菌設備

次亜塩注入ポンプは注入率一定制御により1台連続運転を行った。

カ) 放流ポンプ設備

放流河川水位が上昇したときの非常設備であり、通常はバイパスさせて自然流下による放流を行った。本年度は河川水位上昇に伴う放流ポンプの強制放流はなかった。

キ) 機械汚泥濃縮設備

No.3 ベルト濃縮機を主機とし、No.2 遠心濃縮機と組み合わせて1～2台で運転を行った。

No.1 遠心濃縮機はNo.1 濃縮汚泥受槽攪拌機の故障により隔週もしくは週1回の低速洗浄による管理運転を行った。

No.2 遠心濃縮機は使用しない期間中、週1回の低速洗浄による管理運転を行ったが、12月20

III 峡東流域下水道

日に実負荷運転の停止時の低速洗浄中に駆動機インバータ故障が発生し、2月から使用頻度を抑える形で月1回の実負荷による管理運転を行った。

投入汚泥は余剰汚泥のみとし、給泥量一定制御で余剰汚泥引き抜き量に合わせて運転を行った。

なお、12月22日に機械濃縮汚泥移送配管と重力濃縮汚泥移送配管が合流した後の配管内でMAP（リン酸マグネシウムアンモニウム）による閉塞が発生し、機械濃縮汚泥と重力濃縮汚泥が汚泥棟へ移送できず脱水ができない事態となったが、24日に配管内の高圧洗浄を実施して閉塞が解消し、移送を再開した。

ク) 重力汚泥濃縮設備

最初沈殿池より送泥された生汚泥を希釈濃縮法により重力濃縮を行った。

ケ) 汚泥脱水設備

脱水機はNo.1汚泥脱水機を主機とし、No.3及びNo.4遠心脱水機は週1回の実負荷または低速洗浄による管理運転を行った。

No.1薬品供給ポンプのコンバータの故障に伴って、昨年度にNo.4薬品供給ポンプのコンバータと入れ替えを行い、No.4遠心脱水機が使用不可能な状態となる代わりに主機であるNo.1汚泥脱水機を使用可能な状態としていたが、6月17日に復旧した。No.1汚泥脱水機は10月22日にNo.1汚泥供給ポンプのコンバータの故障により使用不可能な状態となったが、10月23日から3月16日までNo.4汚泥供給ポンプのコンバータと入れ替えを行い、No.4遠心脱水機が使用不可能な状態となる代わりに主機であるNo.1汚泥脱水機を使用可能な状態とした。なお、3月16日の復旧までNo.4遠心脱水機は週1回の低速洗浄による管理運転を行った。No.1汚泥脱水機は2月20日に圧入圧センサの故障により実負荷運転が不可能となったため、以降はNo.3遠心脱水機を主機として運転を行い、No.1汚泥脱水機は3月から週1回の洗浄による管理運転を行った。

コ) 脱臭設備

沈砂池ポンプ棟、汚泥棟、汚泥濃縮機棟、生物脱臭棟及び汚泥処理生物脱臭棟のいずれも24時間連続運転とした。

サ) 関連中継ポンプ場

日川汚水中継ポンプ場はNo.1汚水ポンプを主機とし、ポンプ井水位による間欠運転を行った。

浅川及び金川汚水中継ポンプ場は汚水ポンプの可変速運転によるポンプ井水位一定制御の運転を行った。

各マンホールポンプはポンプ井水位による間欠運転を行った。

シ) 伏越設備

鴨居寺橋伏越設備は1箇月に1回のフラッシング及び1年に1回の清掃を行った。

日川橋伏越設備は1年に1回の清掃を行った。

②未使用機器の保守

未使用機器は定期点検時に保守運転を実施した。また、予備機のある機器については1週間から1箇月毎の周期で切替運転とした。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表3-19に示す。

III 峡東流域下水道

表 3－1 5 主要機器運転状況

(単位：時間)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
No. 1 汚水ポンプ	718.6	743.1	717.2	733.9	690.6	719.0	739.6	716.2	341.0	167.9	174.9	104.4	6,566.4
No. 2 汚水ポンプ	0.2	0.3	0.3	1.2	6.7	0.3	0.4	0.2	230.5	277.2	171.4	354.4	1,043.1
No. 3 汚水ポンプ	0.2	0.3	0.3	0.2	42.8	5.9	2.2	3.0	170.9	296.6	322.8	284.3	1,129.5
No. 1 初沈汚泥ポンプ	515.1	603.4	601.1	359.2	614.2	592.5	581.9	575.3	499.4	470.8	356.7	310.1	6,079.7
No. 2 初沈汚泥ポンプ	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1	1.3	0.1	0.6	0.1	23.9	59.1	113.8	200.5
No. 1 初期用送風機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No. 2 初期用送風機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No. 1-1 送風機	0.4	0.2	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	1.3	0.4	0.3	0.4	0.3	4.8
No. 1-2 送風機	719.1	743.3	719.0	220.3	166.0	521.8	743.0	718.4	743.1	742.7	668.9	743.4	7,449.0
No. 2-2 送風機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
No. 2-3 送風機	0.5	0.4	0.4	515.9	575.4	197.7	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	1,292.3
No. 1-1 返送汚泥ポンプ	635.7	741.5	675.6	731.6	630.5	715.4	564.0	701.5	567.7	722.9	497.1	734.6	7,918.1
No. 1-2 返送汚泥ポンプ	713.8	694.5	714.6	602.7	737.2	324.6	742.2	541.1	739.3	607.6	663.9	593.6	7,675.1
No. 1-3 返送汚泥ポンプ	13.6	6.4	21.7	85.6	24.0	392.4	154.0	140.1	127.0	104.1	123.9	120.3	1,313.1
No. 2-1 返送汚泥ポンプ	21.5	733.1	48.7	722.7	48.2	706.2	11.9	636.9	10.1	637.4	35.9	709.5	4,322.1
No. 2-2 返送汚泥ポンプ	709.1	13.9	682.4	30.6	731.1	27.5	732.2	83.0	733.1	106.1	633.9	34.5	4,517.4
No. 1-1 余剰汚泥ポンプ	3.0	256.2	13.6	242.6	5.4	227.4	5.4	190.9	2.8	197.1	11.6	242.6	1,398.6
No. 1-2 余剰汚泥ポンプ	248.7	5.2	249.3	6.7	236.5	4.1	222.2	27.6	230.0	37.5	205.8	12.0	1,485.6
No. 2-1 余剰汚泥ポンプ	1.3	131.3	6.8	118.9	2.2	110.1	2.2	95.0	1.3	98.4	5.8	125.9	699.2
No. 2-2 余剰汚泥ポンプ	120.9	2.1	117.4	2.6	111.6	1.7	110.2	13.6	111.2	18.5	106.9	6.1	722.8
No. 1 次亜塩注入ポンプ	719.9	743.9	718.0	732.0	741.8	719.3	742.6	719.9	742.9	743.7	669.6	743.9	8,737.5
No. 2-1 次亜塩注入ポンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
No. 2-2 次亜塩注入ポンプ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.8	1.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	3.2
No. 1 放流ポンプ	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.4
No. 2 放流ポンプ	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.4
No. 3 放流ポンプ	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.4
No. 1 遠心濃縮機	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	106.8	380.9	159.3	0.0	0.0	647.0
No. 2 遠心濃縮機	249.6	248.1	216.9	195.9	277.8	182.5	127.2	33.1	383.3	0.0	1.6	212.9	2,128.9
No. 3 ベルト濃縮機	711.8	733.3	709.8	717.4	600.0	666.6	710.8	709.4	128.7	634.3	643.1	521.7	7,486.9
No. 1 汚泥脱水機	404.1	504.0	467.9	516.9	486.5	454.8	469.3	398.1	473.4	483.2	320.5	0.0	4,978.7
No. 3 遠心脱水機	125.2	17.2	16.4	27.4	23.9	22.5	49.1	108.0	27.5	19.7	164.4	557.0	1,158.3
No. 4 遠心脱水機	0.0	0.0	5.1	19.9	11.4	13.1	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.1	69.4
No. 1 非常用発電機	0.2	0.2	0.2	2.8	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	0.2	0.2	5.8
No. 2 非常用発電機	0.2	0.2	0.2	1.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	0.2	0.2	4.1

表 3－1 6 し 渣 及 び 沈 砂 搬 出 状 況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
し 渣 搬 出 量 (水処理系) (kg)	158	73	114	123	118	68	146	91	87	129	127	108	1,342
し 渣 搬 出 量 (汚泥処理系) (kg)	1,620	1,728	823	570	731	998	997	1,316	2,660	1,295	757	566	14,061
沈砂搬出量 (kg)	0	0	0	307	0	0	0	0	0	0	73	0	380

表 3－1 7 薬品・給水・燃料使用状況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
薬品	固形塩素剤 (kg)	0	0	0	6	0	3	3	0	0	0	0	12
	次亜塩素酸ナトリウム (L)	13,956	14,628	14,419	14,911	14,716	14,805	14,445	13,666	13,212	12,985	12,041	167,215
	高分子凝集剤(機械濃縮系) (kg)	174.8	170.2	138.0	202.4	163.3	202.4	201.8	193.2	41.4	232.3	213.9	2,092.4
	高分子凝集剤(脱水機系) (kg)	1,875.0	1,905.0	1,695.0	1,950.0	1,740.0	1,695.0	1,665.0	1,650.0	1,740.0	1,860.0	1,860.0	21,825.0
	消臭剤 1 液(重力濃縮系) (L)	600	680	649	799	930	889	975	906	718	740	626	9,211
	消臭剤 2 液(脱水機系1) (L)	547	550	782	1,207	1,228	1,180	1,135	723	667	500	378	9,326
	消臭剤 3 液(脱水機系2) (L)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給水	上水 (m³)	88	124	95	145	111	102	97	100	106	110	92	1,266
	砂ろ過水 (m³)	46,636	47,470	42,228	46,329	39,887	40,156	40,779	40,735	33,717	38,564	41,848	507,738
燃料	重油 (L)	50	53	55	789	50	51	53	665	1,585	2,175	1,483	7,927

表 3－1 8 中継ポンプ場運転状況

(単位：時間)

ポンプ場名称	項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
日川汚水中継ポンプ場	No. 1 汚水ポンプ	226.5	232.2	228.5	238.6	235.4	244.1	247.9	229.2	232.4	232.7	213.0	228.9	2,789.4
	No. 2 汚水ポンプ	0.3	0.8	0.4	0.5	0.4	1.2	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	非常用発電機	0.1	1.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	1.1	0.1	0.2	0.1	0.1	3.3
金川汚水中継ポンプ場	No. 1 汚水ポンプ	263.8	269.0	168.8	284.2	241.6	260.1	205.9	419.5	527.3	531.0	487.6	526.5	4,185.3
	No. 2 汚水ポンプ	251.6	258.5	377.2	270.6	317.4	291.3	386.5	89.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2,242.9
	非常用発電機	0.1	1.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	1.1	0.1	0.3	0.1	0.1	3.3
浅川汚水中継ポンプ場	No. 1 汚水ポンプ	333.4	171.2	272.1	298.1	240.9	225.2	195.8	214.2	157.3	250.1	139.1	284.9	2,782.3
	No. 2 汚水ポンプ	160.8	321.2	196.8	244.1	162.7	286.4	223.5	287.8	194.3	239.8	213.3	157.9	2,688.6
	No. 3 汚水ポンプ	189.8	225.6	238.6	201.3	304.3	198.3	288.3	180.7	345.0	212.3	285.1	260.1	2,929.4
	非常用発電機	0.2	1.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.1	0.2	0.3	0.2	0.2	4.3

III 峡東流域下水道

表 3－19 機器故障状況（機械関連）

機 器 名 称	内 容 及 び 原 因	処 置 及 び 対 応
管理本館 倉庫（7）換気扇	換気扇が動作しない状況が確認された。 原因は換気扇の故障によるものであった。	換気扇の交換を実施した。
水処理施設 No.1 初沈汚泥ポンプ	軸部からの汚泥漏れとオイル量の減少が確認された。 原因はポンプ部の経年劣化によるものであった。	ポンプ部の交換を実施した。
砂ろ過棟 No.1 原水送水ポンプ	吐出配管のフランジ部から漏水が確認された。 原因は吐出配管の構造及びパッキンの経年劣化によるものであった。	吐出配管及びパッキンの交換を実施した。
砂ろ過棟 No.1 洗浄水送水ポンプ	電流値が高い状況が確認された。 原因はポンプ部の経年劣化によるものであった。	ポンプ部の交換を実施した。
砂ろ過棟 No.2 洗浄水送水ポンプ	過負荷の警報が発生した。 原因はポンプ部の経年劣化によるものであった。	ポンプ部の交換を実施した。
重力濃縮棟 No.1 濃縮汚泥移送ポンプ	封水断の警報が発生した。 原因はフローゲージの近接スイッチの動作不良によるものであった。	フローゲージの交換を実施した。
重力濃縮棟 散水管	重力濃縮汚泥スクリーンの洗浄水が出ない状況が確認された。 原因は散水管及びバルブへのスケールの堆積と経年劣化によるものであった。	散水管及びバルブの交換を実施した。
汚泥濃縮機棟 No.3 ベルト濃縮機	整流装置が回転していない状況が確認された。 原因は整流装置の減速機の故障によるものであった。	減速機の交換を実施した。
汚泥濃縮機棟 No.3 ベルト濃縮機	凝集装置から異音と振動が確認された。 原因は凝集装置の減速機の故障によるものであった。	減速機の交換を実施した。
汚泥濃縮機棟 No.2 空気源装置	圧縮機とタンクを繋ぐ配管から空気漏れが確認された。 原因は配管の経年劣化によるものであった。	配管の交換を実施した。
汚泥処理生物脱臭棟 汚泥処理 生物脱臭装置	散水流量の低下が確認された。 原因はストレーナ用のゲートバルブの弁体の破損によるものであった。	ゲートバルブの交換を実施した。

注）令和7年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

III 峡東流域下水道

(2) 電気設備運転管理状況

①電力使用状況

施設の受電電圧は、峡東浄化センター、日川、金川及び浅川汚水中継ポンプ場は高圧 6,600V、恵林寺、下矢作、西広門田、山梨市南、小石和及び下塩後マンホールポンプは、低圧 200V（動力）及び 100V（照明）である。

峡東浄化センター、日川、金川及び浅川汚水中継ポンプ場の使用電力量と流入下水量の表とグラフをそれぞれ表 3-20～表 3-23、図 3-10～図 3-13 に示す。

浄化センターの使用電力量は、263～321 千 kWh/月の間で推移し、年間として 3,563 千 kWh/年となり、昨年度と比較してほとんど変化がなかった。

浄化センターの原単位電力量と最大需用電力の表とグラフをそれぞれ表 3-24、図 3-14、図 3-15 に示す。

原単位電力量は 0.343～0.368kWh/m³の間で推移した。

最大需要電力は、468～523kW の間で推移した。

浄化センターの契約電力は、電力会社との協議による契約電力決定方式により、年間を通じて 550kW であった。

ポンプ場の契約電力は、日川、金川及び浅川汚水中継ポンプ場は実量制による契約電力決定方式により、それぞれ 32～36kW、22～36kW 及び 103～143kW で推移した。

マンホールポンプの契約電力は、設備容量による契約電力決定方式により、恵林寺、下矢作、西広門田、山梨市南、小石和及び下塩後マンホールポンプは、それぞれ 14kW、25kW、25kW、25kW、46kW 及び 17kW である。

②非常用発電設備運転状況

浄化センターでは、保守点検として、1 箇月に 1 回約 10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回約 50 分間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 1,130kWh であった。

また、7 月に落雷による停電があり、発電機 1 台で 1 時間 42 分間の運転を行い、総発電電力量は 610kWh であった。

日川、金川及び浅川汚水中継ポンプ場では、保守点検として、1 箇月に 1 回約 5～10 分間の無負荷運転と、6 箇月に 1 回約 60 分間の実負荷運転を実施し、総発電電力量はそれぞれ 41kWh、22.3kWh 及び 121kWh であった。

なお、金川汚水中継ポンプ場では 5 月に停電があったが瞬時停電のため発電機給電に切り替わらなかった。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表 3-25 に示す。

III 峡東流域下水道

表 3-20 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	287,376	302,592	294,000	321,024	320,136	306,696	295,680	281,832	296,904	289,344	263,256	304,104	3,562,944	296,912
流入下水量	822,777	865,536	858,164	900,801	883,132	887,891	860,022	817,509	845,671	817,900	749,281	826,423	10,135,107	844,592

表 3-21 使用電力量と流入下水量（日川汚水中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	8,490	9,969	9,637	9,983	10,006	9,981	10,301	8,667	8,803	8,939	8,072	8,712	111,560	9,297
流入下水量	79,671	81,900	80,733	85,682	84,184	87,344	87,305	80,547	81,568	81,628	74,574	80,042	985,178	82,098

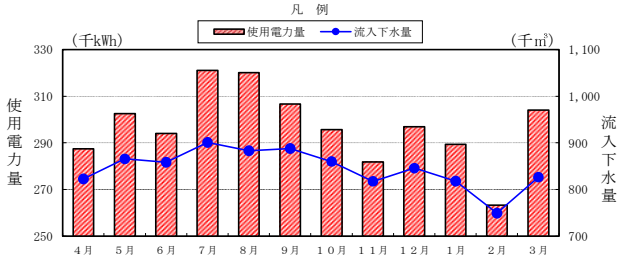


図 3-10 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

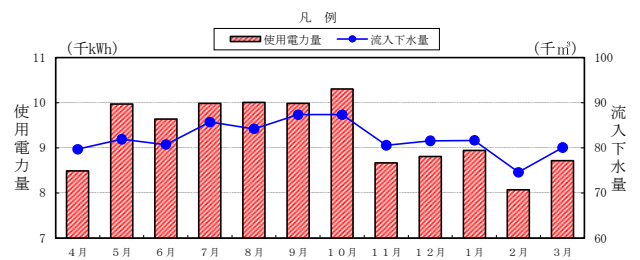


図 3-11 使用電力量と流入下水量（日川汚水中継ポンプ場）

表 3-22 使用電力量と流入下水量（金川汚水中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	5,438	6,933	6,969	7,138	7,174	7,218	7,430	5,350	5,841	6,225	5,827	6,290	77,833	6,486
流入下水量	40,014	41,005	40,423	42,153	41,524	42,479	43,427	41,784	43,828	43,417	39,754	42,770	502,578	41,882

表 3-23 使用電力量と流入下水量（浅川汚水中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	25,545	31,029	30,873	31,982	30,383	31,042	30,960	26,858	26,566	26,706	24,547	26,377	342,868	28,572
流入下水量	158,873	168,548	163,118	170,991	160,130	165,255	162,841	156,410	161,310	161,466	148,454	160,228	1,937,624	161,469

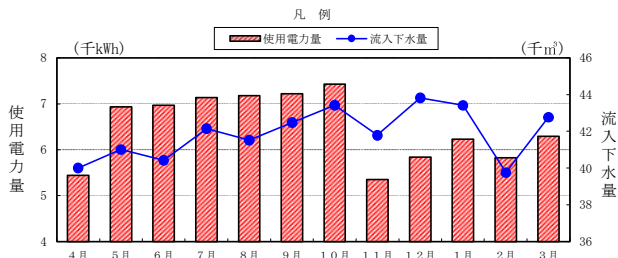


図 3-12 使用電力量と流入下水量（金川汚水中継ポンプ場）

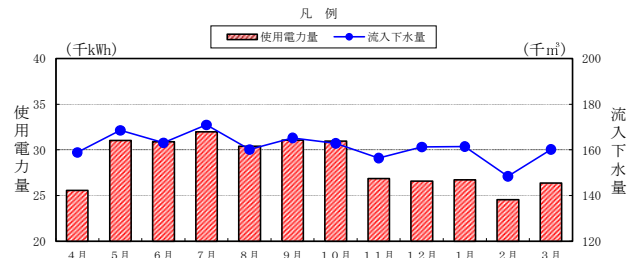


図 3-13 使用電力量と流入下水量（浅川汚水中継ポンプ場）

表 3-24 原単位電力量と最大需要電力（浄化センター）

(単位: 上段 kWh/m³, 下段 kW)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
原単位電力量	0.349	0.350	0.343	0.356	0.363	0.345	0.344	0.345	0.351	0.354	0.351	0.368	0.352
最大需要電力	492	480	514	523	523	494	470	487	487	468	478	502	493

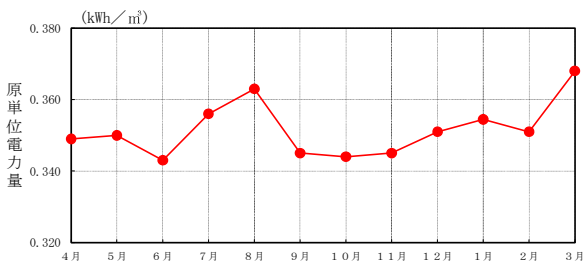


図 3-14 原単位電力量（浄化センター）

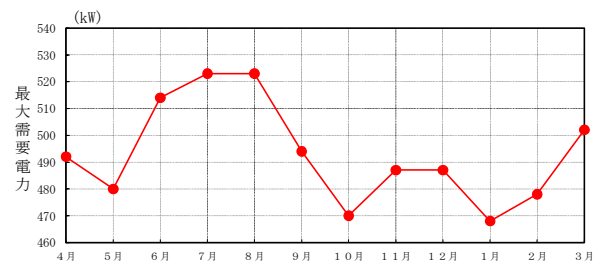


図 3-15 最大需要電力（浄化センター）

表 3 - 2 5 機器故障状況（電気関連）

機器名称	内容及び原因	処置及び対応
汚泥棟 No.1 汚泥供給ポンプ インバータ	V V V F 故障が発生した。 原因はコンバータの不良によるものであった。	コンバータの修理を実施した。
汚泥濃縮機棟 No.1 機械濃縮設備 コントロールセンタ	伝送異常が発生した。 原因はリピータの不良によるものであった。	リピータの交換を実施した。
沈砂池ポンプ棟 沈砂池設備 コントロールセンタ	伝送異常が発生した。 原因はリピータの不良によるものであった。	リピータの交換を実施した。
金川汚水中継ポンプ場 ミニUPS 装置	ミニUPS 装置のバッテリー異常が発生した。 原因は蓄電池の経年劣化によるものであった。	ミニUPS 本体の交換を実施した。
金川汚水中継ポンプ場 黒煙除去装置	入口圧力異常が発生した。 原因は逆洗用バルブのダイヤフラムの経年劣化によるものであった。	ダイヤフラムの交換を実施した。
日川幹線 勝沼2 流量計	流量値が低下する現象が発生した。 原因は圧力式水位センサの不良によるものであった。	圧力式水位センサの交換を実施した。

注) 令和7年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

3 水質及び汚泥管理状況

(1) 水質管理状況

①水質試験結果

水質試験結果を表 3-26～表 3-29、図 3-16～図 3-17 に示す。

流入水質は、年間平均 BOD が 160mg/L、SS が 170mg/L であった。

放流水は、年間を通じて安定して良好な水質で推移した。

②幹線調査結果

幹線調査結果を表 3-30 に示す。

地点⑭で砒素及びその化合物が、地点⑭でふっ素及びその化合物が、地点⑮で亜鉛含有量が、地点⑫、⑬で溶解性鉄含有量が検出されたが、下水道排除基準を超過することはなかった。

③反応タンク試験結果及び生物試験結果

反応タンク運転状況、反応タンク試験結果及び生物試験結果を表 3-31～表 3-34 に、反応タンクの管理状況を図 3-18～図 3-19 に示す。

反応タンクは最終沈殿池の脱室による沈殿汚泥の浮上対策、活性汚泥のグラニュール化対策、送風機の省エネルギー運転を目的として年間を通じて単段式嫌気好気法による硝化抑制運転を行った。

SVI は、120～300mL/g の間で推移し、数値の高い時期において固液分離障害が生ずることはなかった。

BOD-SS 負荷は、0.09～0.19kg/kg・日の間で推移した。

活性汚泥微生物は微生物の種類も多く、活性汚泥微生物の割合も高く良好な状態であった。

④通日試験結果

通日試験結果を表 3-35～表 3-38、図 3-20～図 3-35 に示す。

流入水負荷は、12:00 頃と 22:00 から 0:00 頃にピークが見られ、2:00 から 6:00 頃にかけて減少する傾向が見られた。

放流水は、水質変動が小さく安定して良好なものであった。

(2) 汚泥管理状況

汚泥処理運転状況を表 3-39 に、汚泥試験測定結果を表 3-40～表 3-42 に示す。

最初沈殿池で発生する生汚泥は重力濃縮槽へ投入し、最終沈殿池で発生する余剰汚泥はベルト型濃縮機を主機として濃縮し、両者を合わせた混合濃縮汚泥の濃度は年間平均で 3.04% となった。

脱水は、二重円筒加圧型脱水機を主機として処理を行った。

脱水ケーキ発生量は、年間 7,008.57 t、含水率は年間平均値で 74.4% となった。なお、脱水ケーキは 56% をセメント原料、44% を肥料原料として全量有効活用した。

III 峡東流域下水道

(3) その他管理状況

①放流河川調査結果

放流河川調査結果を表 3-43～表 3-44 に示す。

浄化センター放流口の直上流にあたる白井河原橋地点、直下流にあたる中道橋地点ともにほぼ同程度の水質であった。

②臭気測定結果

臭気測定結果（敷地境界）を表 3-45 に示す。

敷地境界においては、規制値以下の結果であった。

III 峡東流域下水道

表 3－2 6 日常試験分析結果（流入水）

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	21.0	23.0	24.5	26.0	27.0	27.5	26.0	23.0	21.0	19.0	18.0	20.0	27.5
	最小	19.0	21.0	22.0	25.0	26.0	26.0	23.5	21.0	19.0	17.0	16.0	17.5	16.0
	平均	19.9	21.9	23.3	25.6	26.8	26.8	25.0	22.1	20.0	17.9	17.3	18.7	22.1
水素イオン濃度	最大	7.35	7.16	7.17	7.19	7.28	7.14	7.20	7.29	7.25	7.25	7.41	7.23	7.41
	最小	7.06	6.99	7.00	6.95	6.90	6.92	7.00	7.10	7.11	7.13	7.12	7.02	6.90
	平均	7.16	7.09	7.07	7.06	7.04	7.03	7.08	7.17	7.16	7.19	7.19	7.12	7.11
透 視 度 (cm)	最大	4.5	4.0	4.0	4.0	4.5	4.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0
	最小	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5
	平均	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5	3.7	3.7	3.6	3.8	3.4	3.3	3.5	3.5
浮遊物質 (mg/L)	最大	260	210	200	230	190	190	210	220	220	240	220	230	260
	最小	140	120	140	140	130	140	130	150	130	150	150	150	120
	平均	180	170	170	180	160	160	170	180	170	180	180	190	170
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	190	200	190	190	180	160	200	220	170	190	190	200	220
	最小	170	140	140	120	130	140	120	150	130	170	150	130	120
	平均	180	170	150	150	150	150	150	190	150	180	160	170	160
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	110	99	96	110	96	95	97	98	99	110	110	100	110
	最小	79	71	72	72	69	75	71	75	74	78	81	77	69
	平均	92	83	84	86	85	82	85	87	84	87	90	91	86
大腸菌数 (CFU/mL)	最大	51,000	43,000	39,000	41,000	52,000	53,000	39,000	57,000	39,000	42,000	44,000	42,000	57,000
	最小	26,000	31,000	20,000	27,000	21,000	16,000	18,000	18,000	24,000	21,000	15,000	22,000	15,000
	平均	36,000	36,000	31,000	33,000	39,000	31,000	27,000	44,000	31,000	29,000	27,000	31,000	33,000

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表 3－2 7 日常試験分析結果（放流水）

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	22.0	23.0	25.5	27.0	28.0	28.0	26.0	23.0	21.0	19.0	19.0	20.5	28.0
	最小	18.5	21.5	23.0	25.0	27.0	26.0	23.0	21.0	19.5	17.0	17.0	18.0	17.0
	平均	20.2	22.5	24.1	26.4	27.3	27.1	25.1	22.0	20.0	17.8	17.8	19.2	22.5
水素イオン濃度	最大	7.22	7.03	6.95	6.98	7.01	7.05	6.99	7.00	6.94	6.96	6.99	7.00	7.22
	最小	6.88	6.85	6.82	6.88	6.91	6.86	6.84	6.89	6.83	6.87	6.83	6.88	6.82
	平均	6.96	6.93	6.89	6.94	6.96	6.94	6.94	6.93	6.88	6.92	6.94	6.95	6.93
透 視 度 (cm)	最大	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	最小	>100	95	95	90	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	90
	平均	>100	100	100	100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	100
浮遊物質 (mg/L)	最大	2.9	3.2	2.2	3.2	3.3	3.2	4.0	2.8	3.1	2.8	3.1	4.0	4.0
	最小	1.7	1.8	<1.0	<1.0	1.2	1.1	<1.0	1.2	1.2	1.4	1.9	1.8	<1.0
	平均	2.2	2.3	1.5	2.0	1.9	1.8	2.1	2.0	2.1	1.7	2.5	2.7	2.1
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	2.5	2.6	2.7	2.9	3.3	2.3	3.5	2.4	2.6	2.1	2.8	2.7	3.5
	最小	1.8	1.1	2.0	2.2	2.2	1.6	1.7	1.6	2.0	1.5	1.7	2.2	1.1
	平均	2.2	2.0	2.2	2.6	2.6	2.0	2.4	2.1	2.3	1.8	2.2	2.5	2.2
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	10	9.8	10	10	10	9.5	10	10	11	10	11	11	11
	最小	8.5	8.3	7.8	8.3	8.3	7.6	8.1	8.5	8.3	8.4	9.0	8.9	7.6
	平均	9.5	9.2	8.8	9.1	9.0	8.6	9.2	9.1	9.5	9.1	10	9.8	9.2
大腸菌数 (CFU/mL)	最大	1	12	0	1	3	1	1	1	0	1	0	0	12
	最小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平均	0	2	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

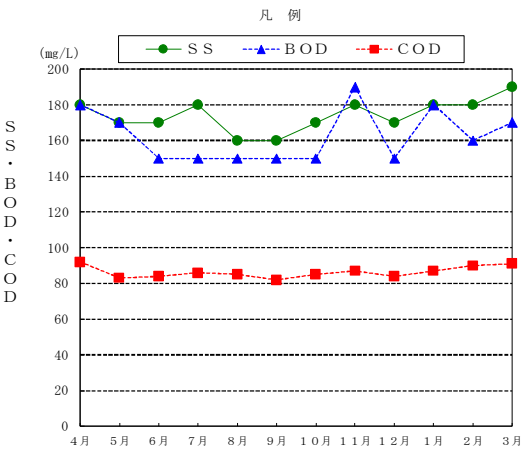


図 3－1 6 流入水の水質変化

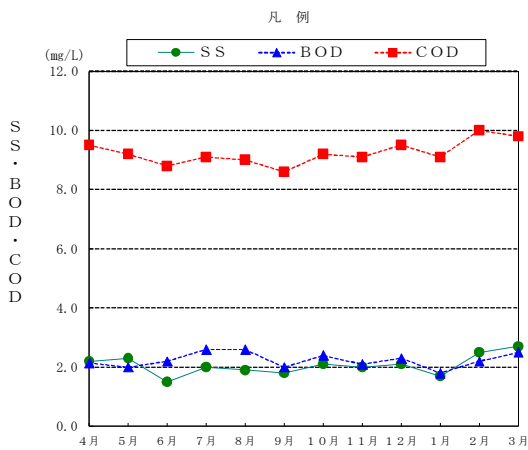


図 3－1 7 放流水の水質変化

III 峡東流域下水道

表 3-28 (1) 精密試験分析結果 (流入水-1)

測定項目	単位	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
実施日	—	3	17	8	22	5	19	3	17	7	21	4	17	2	16
水温	℃	19.0	20.0	21.0	22.5	22.5	23.5	25.0	25.5	27.0	27.0	27.5	27.0	26.0	25.0
透視度	cm	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0
水素イオン濃度	—	7.15	7.12	7.03	7.13	7.15	7.09	7.09	7.01	7.09	6.93	7.05	7.04	7.04	7.16
蒸発残留物	mg/L	750	710	440	650	640	650	660	510	600	690	470	460	350	680
強熱残留物	mg/L	310	320	160	290	290	300	340	220	260	310	180	170	170	320
溶解性物質	mg/L	550	510	290	470	490	480	520	340	460	530	350	300	230	460
浮遊物質	mg/L	180	200	210	150	150	150	150	160	130	170	170	150	130	180
アルカリ度	mg/L	135	140	137	140	136	142	148	122	133	137	138	131	126	140
生物化学的酸素要求量	mg/L	170	180	200	140	140	140	160	160	130	180	160	140	130	150
化学的酸素要求量	mg/L	100	98	99	80	76	81	88	73	74	86	95	78	71	92
アンモニア性窒素含有量	mg/L	15.0	16.3	16.9	15.7	15.2	14.2	15.2	12.9	15.1	15.6	12.2	13.9	13.7	14.2
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	0.07	0.05	0.09	0.06	0.03	0.07	<0.02	0.06	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.06
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.71	0.48	0.66	0.47	0.45	0.54	0.46	0.47	0.42	0.34	0.38	0.46	0.32	0.36
有機性窒素含有量	mg/L	14.5	14.4	11.8	11.2	11.5	10.7	10.7	12.5	10.6	12.4	14.2	10.2	9.02	11.8
窒素含有量	mg/L	30.3	31.2	29.5	27.3	27.2	25.5	26.3	25.9	26.1	28.3	26.8	24.6	23.1	26.4
磷酸イオン態リン含有量	mg/L	3.62	3.53	4.84	4.01	4.08	2.86	3.98	2.73	3.48	4.05	3.86	3.25	3.58	3.98
リン含有量	mg/L	6.15	6.46	7.59	6.24	6.26	4.96	6.09	5.01	5.32	6.31	6.10	5.19	5.22	6.64
大腸菌数	CFU/mL	32,000	51,000	43,000	31,000	39,000	37,000	33,000	28,000	21,000	45,000	53,000	31,000	27,000	39,000
よう素消費量	mg/L	13	11	9	15	12	16	13	12	17	15	20	17	17	20
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	7	9	8	8	8	8	9	7	9	8	10	9	7	9
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	—	—
鉄含有量	mg/L	0.30	0.25	0.32	0.23	0.24	0.19	0.25	0.29	0.19	0.17	0.28	0.29	0.22	0.29
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.12	<0.10	0.15	0.12	0.11	<0.10	<0.10	0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.20
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
カドミウム及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.014	0.014	0.013	0.012	0.012	0.013	0.012	0.012	0.011	0.013	0.011	0.012	0.011	0.014
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機リン化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	—	—	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.11	<0.10	0.14	0.11	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	<0.10	<0.10
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	15.8	16.8	17.6	16.2	15.7	14.8	15.7	13.4	15.5	15.9	12.6	14.4	14.0	14.6
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—

III 峡東流域下水道

表 3－28（2） 精密試験分析結果（流入水－2）

測定項目	単位	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—	6	20	4	18	8	22	5	19	5	18	—	—	—
水温	℃	23.0	22.0	21.0	20.0	18.5	18.0	17.0	17.5	18.0	18.5	27.5	17.0	22.2
透視度	cm	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	3.0	2.5	3.0	3.0	3.0	4.0	2.5	3.5
水素イオン濃度	—	7.23	7.21	7.18	7.18	7.22	7.20	7.18	7.22	7.10	7.14	7.23	6.93	7.12
蒸発残留物	mg/L	700	630	650	690	640	700	690	700	660	490	750	350	620
強熱残留物	mg/L	320	310	310	320	330	260	310	220	310	190	340	160	270
溶解性物質	mg/L	500	440	500	530	440	480	510	520	500	300	550	230	450
浮遊物質量	mg/L	220	170	160	150	160	210	190	180	190	220	220	130	170
アルカリ度	mg/L	138	138	143	141	143	141	140	140	140	140	148	122	138
生物化学的酸素要求量	mg/L	200	170	160	140	190	170	150	190	180	160	200	130	160
化学的酸素要求量	mg/L	88	90	79	74	81	93	83	96	97	97	100	71	86
アンモニア性窒素含有量	mg/L	12.6	13.8	15.1	13.6	15.4	16.2	16.3	15.1	18.3	16.1	18.3	12.2	14.9
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	0.04	0.05	0.06	0.05	0.06	0.05	0.04	0.09	0.07	0.09	0.09	<0.02	0.05
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.51	0.58	0.48	0.42	0.76	0.65	0.71	0.66	0.63	0.57	0.76	0.32	0.52
有機性窒素含有量	mg/L	8.49	11.5	12.6	10.5	8.60	12.1	14.4	15.2	10.8	13.1	15.2	8.49	11.8
窒素含有量	mg/L	21.6	25.9	28.3	24.5	24.8	29.0	31.4	31.0	29.8	29.9	31.4	21.6	27.3
磷酸イオン態磷含有量	mg/L	3.37	3.05	2.91	2.84	3.08	2.81	3.50	3.25	3.44	4.10	4.84	2.73	3.51
磷含有量	mg/L	6.59	5.29	5.24	5.11	5.44	5.77	5.85	5.27	6.03	6.93	7.59	4.96	5.88
大腸菌数	CFU/mL	48,000	57,000	39,000	24,000	42,000	25,000	30,000	44,000	42,000	35,000	57,000	21,000	37,000
よう素消費量	mg/L	14	14	10	12	9	10	9	10	8	11	20	8	13
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	7	9	7	7	8	9	14	9	10	14	14	7	9
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.23	0.20	0.27	0.15	0.20	0.23	0.19	0.22	0.20	0.26	0.32	0.15	0.24
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.15	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.20	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.013	0.015	0.017	0.020	0.014	0.014	0.013	0.013	0.014	0.014	0.020	0.011	0.013
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機磷化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.13	0.14	<0.10	0.13	0.11	0.15	0.13	0.14	0.11	0.13	0.15	<0.10	<0.10
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	13.2	14.4	15.6	14.1	16.2	16.9	17.0	15.8	19.0	16.8	19.0	12.6	15.5
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

III 峡東流域下水道

表 3－29（1） 精密試験分析結果（放流水－1）

測 定 項 目	単位	水質基準	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月	
実施日	—		3	17	8	22	5	19	3	17	7	21	4	17	2	16
水温	℃		18.5	20.5	22.0	23.0	23.0	24.5	26.0	26.0	27.0	27.5	28.0	27.0	26.0	25.5
透視度	cm		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	6.96	6.95	6.91	6.92	6.88	6.87	6.95	6.94	6.94	6.92	6.93	6.88	6.84	6.94
蒸発残留物	mg/L		510	490	240	490	440	450	470	320	450	470	280	260	270	440
強熱残留物	mg/L		310	320	180	280	260	290	290	200	270	300	210	140	170	310
溶解性物質	mg/L		500	490	240	480	410	420	460	310	450	440	280	240	250	420
浮遊物質質量	mg/L	40(30)	2.3	2.1	1.8	2.2	2.1	1.1	<1.0	1.3	1.4	3.3	2.4	1.1	<1.0	4.0
アルカリ度	mg/L		138	140	134	143	133	133	141	124	135	140	130	133	126	134
生物化学的酸素要求量	mg/L	10(10)	1.8	2.5	1.9	2.3	2.0	2.0	2.2	2.9	2.2	3.3	2.3	1.6	1.7	3.5
化学的酸素要求量	mg/L		9.6	10	9.1	9.7	10	8.7	9.0	8.5	9.3	10	9.1	7.6	8.5	10
アンモニア性窒素含有量	mg/L		16.1	15.9	15.8	17.0	13.2	12.7	12.9	12.3	15.0	16.6	11.6	10.6	11.4	12.6
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.10	0.11	0.08	<0.02	0.17	0.16	0.05	0.04	0.03	<0.02	0.36	0.37	0.66	0.54
硝酸性窒素含有量	mg/L		0.13	0.20	0.19	<0.16	0.28	0.18	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	0.25	0.21
有機性窒素含有量	mg/L		1.71	1.50	0.66	1.22	0.74	2.21	0.74	1.98	0.69	0.60	1.94	1.27	1.56	1.11
窒素含有量	mg/L		18.0	17.7	16.8	18.2	14.3	15.2	13.8	14.5	15.7	17.2	14.1	12.3	13.8	14.4
磷酸イオン態磷含有量	mg/L		0.74	0.24	0.21	1.78	2.59	0.46	0.92	0.64	1.56	3.97	1.44	0.22	1.14	2.11
磷含有量	mg/L		0.91	0.45	0.37	2.02	2.85	0.57	1.05	0.78	1.80	4.30	1.66	0.31	1.30	2.42
大腸菌数	CFU/mL	300	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
よう素消費量	mg/L		6	<5	<5	8	8	8	5	6	8	<5	5	6	7	6
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	—	—
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
クロム含有量	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	0.012	0.012	0.011	0.012	0.012	0.011	0.010	0.010	0.010	0.012	0.009	0.009	0.010	0.011
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機磷化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	0.10	<0.10	0.11	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	6.67	6.67	6.59	6.80	5.73	5.42	5.21	4.96	6.03	6.64	5.00	4.61	5.47	5.79
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—

III 峡東流域下水道

表3-29 (2) 精密試験分析結果(放流水-2)

測定項目	単位	水質基準	11月		12月		1月		2月		3月		最大	最小	平均
実施日	—		6	20	4	18	8	22	5	19	5	18	—	—	—
水温	℃		23.0	21.5	20.5	20.0	18.0	18.0	17.5	17.5	18.5	19.5	28.0	17.5	22.4
透視度	cm		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8~8.6	6.89	6.98	6.91	6.85	6.91	6.87	6.92	6.94	6.96	6.92	6.98	6.84	6.92
蒸発残留物	mg/L		450	430	420	470	460	460	480	480	460	270	510	240	420
強熱残留物	mg/L		280	270	270	280	300	320	280	250	290	170	320	140	260
溶解性物質	mg/L		440	430	420	460	440	450	470	470	380	250	500	240	400
浮遊物質量	mg/L	40(30)	2.0	1.8	1.9	2.1	1.9	1.5	2.2	2.5	3.0	2.0	4.0	1.1	1.9
アルカリ度	mg/L		128	129	133	133	135	136	141	148	145	146	148	124	136
生物化学的酸素要求量	mg/L	10(10)	2.2	2.2	2.0	2.0	1.5	1.9	1.7	2.2	2.7	2.3	3.5	1.5	2.2
化学的酸素要求量	mg/L		9.4	9.5	9.1	11	9.1	9.2	11	9.8	10	10	11	7.6	9.5
アンモニウム性窒素含有量	mg/L		12.9	11.0	11.7	11.7	14.0	14.5	15.6	18.7	16.6	18.1	18.7	10.6	14.1
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.50	0.60	0.38	0.52	0.40	0.37	0.25	0.11	0.10	0.03	0.66	<0.02	0.25
硝酸性窒素含有量	mg/L		0.37	0.50	0.19	0.63	0.22	0.32	0.32	0.24	0.22	0.26	0.63	<0.16	0.20
有機性窒素含有量	mg/L		1.09	1.06	2.78	2.40	0.17	2.43	1.44	1.21	1.56	1.30	2.78	0.17	1.39
窒素含有量	mg/L		14.8	13.1	15.0	15.2	14.8	17.6	17.6	20.2	18.5	19.7	20.2	12.3	15.9
磷酸イオン態磷含有量	mg/L		0.62	0.97	0.20	1.14	0.28	0.78	0.90	0.16	0.82	0.19	3.97	0.16	1.00
磷含有量	mg/L		0.78	1.16	0.33	1.31	0.42	0.90	1.09	0.35	1.10	0.43	4.30	0.31	1.19
大腸菌数	CFU/mL	300	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
よう素消費量	mg/L		8	7	<5	5	<5	<5	<5	6	<5	<5	8	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.50	—	—	—	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	0.010	0.012	0.013	0.014	0.013	0.013	0.012	0.011	0.012	0.012	0.014	0.009	0.011
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機磷化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	0.11	0.13	0.14	<0.10	0.13	0.13	0.13	0.11	0.12	0.11	0.14	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	6.03	5.50	5.25	5.83	6.22	6.49	6.81	7.83	6.96	7.53	7.83	4.61	6.09
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

III 峡東流域下水道

表 3－3 0 （ 1 ） 幹線調査分析結果－ 1

測定項目		単位	排除基準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
採水月日				5月14日	5月14日	5月14日	5月15日	5月15日	5月14日	5月14日	
採水時刻				9:35	9:55	10:20	8:55	9:25	10:40	11:00	
政 令 処 理 定 め 難 る 物 質 質 量 条 例 で 定 め る 物 質 其 他	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	有機燐化合物	mg/L	不検出	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
	鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	トリクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	チウラム	mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	
	シマジン	mg/L	0.03	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	
	チオベンカルブ	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	
	ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
	フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	
	銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	溶解性マンガ含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	
	クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	
条 例 で 定 め る 物 質	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380	24.9	25.0	16.1	17.5	27.6	13.1	12.1	
	生物化学的酸素要求量	mg/L	600	190	260	220	220	310	230	84	
	浮遊物質質量	mg/L	600	150	240	190	210	310	200	68	
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	30	14	12	14	18	17	7	6	
	水素イオン濃度	—	5～9	7.37	7.08	7.04	7.23	7.26	6.91	7.16	
	水温	℃	45	22.0	20.0	22.0	21.0	21.0	20.0	20.0	
	よう素消費量	mg/L	220	17	22	13	15	20	17	10	
そ の 他	色	—		微黄濁	微黄濁	微白濁	微黄濁	微黄濁	微黄濁	微黄濁	
	化学的酸素要求量	mg/L		96	140	120	110	150	120	48	
備 考	番号 幹線名	上流市名									
	① 笛吹川幹線	山梨市									
	② 笛吹川幹線	山梨市、甲州市									
	③ 塩川幹線	甲州市									
	④ 平等川幹線	山梨市									
	⑤ 笛吹川幹線	山梨市、甲州市									
	⑥ 重川幹線	甲州市									
	⑦ 日川幹線	甲州市									
	⑧ 笛吹川幹線	(欠番)									
	※⑧は、市町村合併により欠番としている。										

III 峡東流域下水道

表 3-30 (2) 幹線調査分析結果-2

測定項目			単位	排除基準	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
採水月日								5月15日	5月15日	5月14日	5月15日
採水時刻								10:25	10:50	8:40	9:55
政令で定める困難な物質	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出					<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	シアン化合物	mg/L	0.1					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	有機燐化合物	mg/L	不検出					<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	鉛及びその化合物	mg/L	0.1					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	六価クロム化合物	mg/L	0.05					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	砒素及びその化合物	mg/L	0.05					<0.005	<0.005	0.016	<0.005
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005					<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀化合物	mg/L	不検出					<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003					<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	トリクロロエチレン	mg/L	0.1					<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.1					<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	ジクロロメタン	mg/L	0.2					<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	四塩化炭素	mg/L	0.02					<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04					<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1					<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4					<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3					<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06					<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02					<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	チウラム	mg/L	0.06					<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
	シマジン	mg/L	0.03					<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	チオベンカルブ	mg/L	0.2					<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	ベンゼン	mg/L	0.1					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	セレン及びその化合物	mg/L	0.1					<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	ほう素及びその化合物	mg/L	10					<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
	ふっ素及びその化合物	mg/L	1					<0.10	<0.10	0.10	<0.10
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.5					<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	フェノール類含有量	mg/L	1					<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
	銅含有量	mg/L	1					<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
	亜鉛含有量	mg/L	1					<0.10	<0.10	<0.10	0.12
	溶解性鉄含有量	mg/L	1					0.11	0.10	<0.10	<0.10
	溶解性マンガン含有量	mg/L	1					<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
	クロム含有量	mg/L	0.5					<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	条例で定める物質	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380				21.7	21.1	9.60	25.7
		生物化学的酸素要求量	mg/L	600				270	240	140	230
		浮遊物質	mg/L	600				290	260	160	200
ノルマルヘキサン抽出物質含有量		mg/L	30				7	15	8	26	
水素イオン濃度		—	5～9				7.15	7.27	7.20	7.58	
水温		℃	45				21.0	21.0	22.0	20.0	
よう素消費量		mg/L	220				16	20	17	25	
その他	色	—					微黄濁	微黄濁	微黄濁	微黄濁	
	化学的酸素要求量	mg/L					150	130	93	130	
備考	番号	幹線名	上流市名								
	⑨	日川幹線	(欠番)								
	⑩	金川幹線	(欠番)								
	⑪	浅川幹線	(欠番)								
	⑫	浅川幹線	笛吹市								
	⑬	浅川幹線	笛吹市、甲府市								
	⑭	笛吹川幹線	全市								
	⑮	峡東ネットワーク幹線	山梨市								
※⑨～⑮は、市町村合併により欠番としている。											

III 峡東流域下水道

表 3 - 3 1 反応タンク運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
流 入 下 水 量 (m ³ /日)	最大	30,107	30,735	30,638	33,192	29,767	42,978	29,901	30,515	28,691	29,362	28,139	27,519	42,978
	最小	25,431	26,038	26,305	26,516	26,413	26,665	25,805	25,244	24,467	25,218	24,579	25,320	24,467
	平均	27,426	27,921	28,605	29,058	28,488	29,596	27,743	27,250	27,280	26,384	26,760	26,659	27,767
反応タンク 流入水量 (m ³ /日)	最大	33,730	34,757	34,361	36,547	33,453	46,364	32,885	33,979	31,968	32,820	31,377	31,372	46,364
	最小	29,070	29,985	30,019	29,692	29,557	30,346	28,908	28,454	27,475	28,158	28,212	28,705	27,475
	平均	31,014	31,595	32,197	32,314	31,919	33,078	31,212	30,763	30,393	29,611	30,177	30,174	31,206
返 送 汚 泥 量 (m ³ /日)	最大	17,510	17,844	17,852	18,860	17,353	22,465	17,076	17,635	16,612	17,057	16,297	16,304	22,465
	最小	15,104	15,585	15,609	15,288	15,347	15,715	15,033	14,784	14,285	14,648	14,662	14,925	14,285
	平均	16,115	16,414	16,727	16,742	16,536	17,081	16,237	15,994	15,803	15,404	15,690	15,690	16,204
返 送 汚 泥 率 (%)	最大	52.3	52.1	52.1	52.0	52.1	52.1	52.5	52.2	52.3	52.6	52.2	52.2	52.6
	最小	51.6	51.3	51.5	51.3	50.6	48.5	51.9	51.5	51.8	51.8	51.8	51.6	48.5
	平均	52.0	51.9	52.0	51.8	51.8	51.7	52.0	52.0	52.0	52.0	52.0	52.0	51.9
余 剩 汚 泥 量 (m ³ /日)	最大	638	628	666	635	674	639	673	681	705	687	573	630	705
	最小	432	443	418	343	380	369	379	378	125	396	437	401	125
	平均	588	580	575	552	533	530	506	502	505	515	528	566	540
送 風 量 (m ³ /日)	最大	58,783	57,228	52,179	59,099	57,243	63,579	54,515	54,422	62,722	51,666	50,925	52,233	63,579
	最小	43,190	46,360	44,624	42,636	42,706	48,922	45,552	45,808	46,996	42,441	41,813	41,445	41,445
	平均	51,255	52,025	48,646	50,519	47,839	54,633	50,977	49,325	51,186	45,686	46,986	47,392	49,714
送 風 倍 率 (倍)	最大	1.9	1.8	1.6	2.0	1.9	1.9	1.8	1.8	2.1	1.8	1.8	1.8	2.1
	最小	1.4	1.4	1.3	1.3	1.4	1.3	1.5	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3
	平均	1.7	1.6	1.5	1.6	1.5	1.7	1.6	1.6	1.7	1.5	1.6	1.6	1.6
滞 留 時 間 (H r)	最大	11.6	11.2	11.2	11.3	11.4	11.1	11.6	11.8	12.2	11.9	11.9	11.7	12.2
	最小	10.0	9.7	9.8	9.2	10.0	7.2	10.2	9.9	10.5	10.2	10.7	10.7	7.2
	平均	10.8	10.6	10.4	10.4	10.5	10.2	10.8	10.9	11.1	11.4	11.1	11.1	10.8

III 峡東流域下水道

表3-32 反応タンク試験結果(1)

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	22.0	23.5	25.5	27.0	28.0	28.0	26.5	23.0	21.5	19.0	19.5	20.5	28.0
	最小	19.0	21.5	22.0	25.0	27.0	26.5	24.0	21.5	19.5	17.5	17.0	18.5	17.0
	平均	20.3	22.5	24.0	26.3	27.4	27.4	25.3	22.3	20.3	18.0	18.0	19.3	22.6
p H	ML	最大	7.14	7.07	6.96	6.97	6.99	6.92	6.88	6.85	6.87	6.96	6.96	7.14
		最小	6.87	6.81	6.85	6.80	6.85	6.81	6.73	6.69	6.75	6.81	6.80	6.69
		平均	6.97	6.92	6.90	6.89	6.92	6.87	6.86	6.81	6.79	6.81	6.88	6.88
	RS	最大	7.12	7.00	6.98	6.97	6.96	6.97	6.95	6.93	6.93	6.94	6.98	7.02
		最小	6.89	6.84	6.80	6.81	6.85	6.79	6.82	6.79	6.78	6.82	6.79	6.78
		平均	6.99	6.91	6.90	6.89	6.93	6.89	6.88	6.89	6.85	6.89	6.92	6.95
DO (mg/L)	最大	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4
	最小	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	平均	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
MLSS (mg/L)	最大	1,560	1,520	1,590	1,580	1,540	1,500	1,490	1,500	1,650	1,680	1,650	1,590	1,680
	最小	1,360	1,360	1,330	1,310	1,340	1,310	1,360	1,370	1,380	1,600	1,520	1,500	1,310
	平均	1,460	1,440	1,400	1,450	1,420	1,420	1,430	1,440	1,480	1,640	1,580	1,540	1,480
MLVSS (mg/L)	最大	1,240	1,170	1,260	1,250	1,240	1,190	1,190	1,220	1,380	1,390	1,310	1,260	1,390
	最小	1,050	1,050	1,020	1,030	1,060	1,040	1,070	1,080	1,110	1,280	1,190	1,150	1,020
	平均	1,130	1,110	1,100	1,150	1,140	1,130	1,130	1,150	1,200	1,310	1,260	1,200	1,170
MLVSS/MLSS (%)	最大	79.7	78.0	80.2	80.9	81.1	81.3	80.4	82.6	83.7	84.7	80.5	79.8	84.7
	最小	76.0	75.9	75.8	78.0	77.8	78.7	78.4	78.8	79.8	78.2	77.4	76.9	75.8
	平均	77.3	76.9	78.4	79.4	80.1	79.9	79.3	79.9	80.9	80.0	79.4	77.9	79.1
SV30 (%)	ML	最大	29	27	32	34	41	45	36	42	38	36	30	20
		最小	23	22	24	28	31	34	31	36	28	30	20	18
		平均	27	24	27	31	37	38	34	39	32	32	26	19
	RS	最大	97	96	97	98	99	99	99	99	98	99	97	90
		最小	88	87	90	91	94	93	94	96	93	91	82	79
		平均	93	92	93	96	97	97	98	97	96	92	86	95
SVI (mL/g)	ML	最大	200	180	210	220	290	300	260	290	250	220	190	130
		最小	160	160	170	200	210	230	220	250	180	180	130	120
		平均	180	170	190	220	260	270	240	270	220	190	170	210
	RS	最大	320	260	290	310	330	330	320	320	270	300	280	240
		最小	210	210	230	200	250	220	230	230	210	180	200	180
		平均	250	240	250	270	280	280	270	270	250	230	230	210
BOD-SS 負 荷 (kg/kg・日)	最大	0.18	0.17	0.16	0.16	0.16	0.15	0.15	0.18	0.19	0.16	0.15	0.16	0.19
	最小	0.15	0.16	0.13	0.10	0.12	0.11	0.14	0.15	0.16	0.14	0.09	0.09	0.09
	平均	0.17	0.16	0.15	0.14	0.15	0.14	0.15	0.17	0.18	0.15	0.13	0.14	0.15
SRT(日)	平均	8.9	8.6	9.5	9.2	9.0	9.4	10.5	10.6	10.5	9.9	9.6	8.8	9.5

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表3-33 反応タンク試験結果(2)

項 目		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		最大	最小	平均	
酸素利用速度 Rr (mg/L・H)	—	11.7	18.4	19.6	17.9	18.5	22.8	17.0	18.4	24.8	16.9	32.1	29.1	26.2	33.5	18.0	15.5	20.7	13.0	12.8	18.1	16.8	19.3	32.3	17.2	33.5	11.7	20.4	
	ATU	9.7	14.6	17.7	15.3	15.2	19.4	16.0	15.7	21.6	13.7	23.6	15.9	19.1	24.0	10.1	13.4	14.3	10.5	10.3	10.7	13.7	14.4	15.6	15.4	24.0	9.7	15.4	
酸素利用速度 係数Kr (mg/g・H)	—	8.2	13.0	13.2	12.7	13.1	17.4	12.6	12.1	16.8	16.9	19.4	22.9	17.8	22.3	13.3	10.0	14.5	8.9	7.8	10.8	11.2	11.6	11.1	10.5	22.9	7.8	13.7	
	ATU	6.8	10.3	12.0	10.8	10.8	14.8	11.8	10.3	14.6	8.4	14.3	12.6	13.0	16.0	7.5	8.7	10.0	7.2	6.3	6.4	9.1	8.7	9.5	9.4	16.0	6.3	10.4	
備 考		ATU添加量10mg/L、酸素利用速度係数はMLSSによる。																											

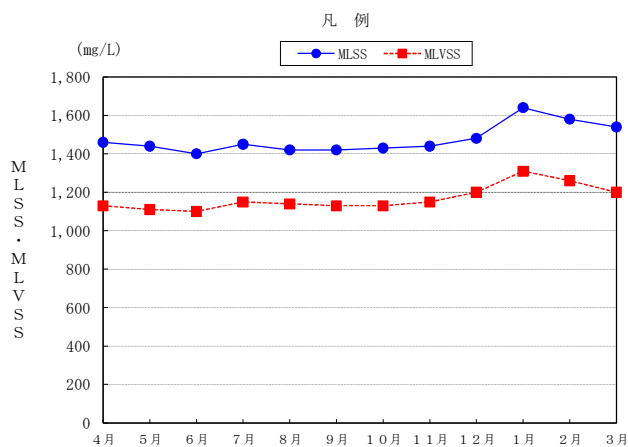


図3-18 反応タンクの管理状況(1)

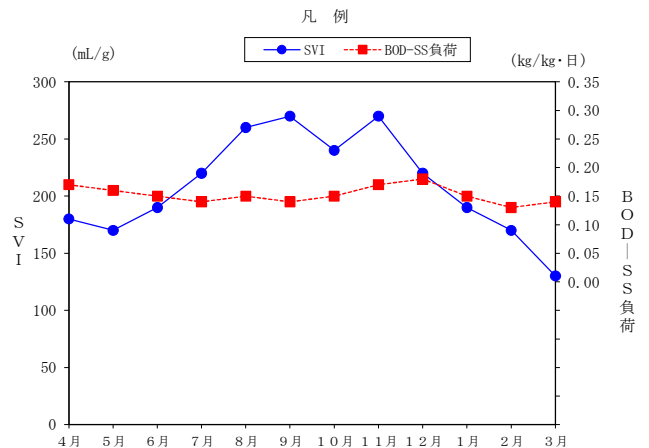


図3-19 反応タンクの管理状況(2)

III 峡東流域下水道

表 3-34 反応タンク生物試験結果

(単位：個/cm³)

分類及び生物名				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	最大	最小	平均	
原生動物	鞭毛虫類	動物性	Bodo・Monas		10								30		20	30	0	5	
		植物性	Peranema				10	10	20		40	10				40	0	8	
	繊毛類	原口目	Prorodon	60	90	260	10	100	30	80		40	50	70	100	260	0	74	
		異毛目	Spirostomum	100	10	70	60		20		20	80	10	40	170	170	0	48	
			Stentor					10								10	0	1	
			Blepharisma						50	10		70	20		10	70	0	13	
			Metopus									30				30	0	3	
		膜口目	Colpidium		240	230	160	40	370	130	150	160	110	120	360	370	0	173	
			Paramecium						10					50		50	0	5	
		裸口目	Chilodonella		10	20	20									20	0	4	
			Amphileptus	50					10	10		10		10	20	50	0	9	
			Trachelophyllum			70	10				20	20		100		100	0	18	
			Colepus								20	10				130	130	0	13
			Litonotus	130	230	240	140	130	50	280	120	40	90	60	520	520	40	169	
		虫類	下毛目	Aspidisca	690	360	200	550	540	780	500	520	450	1,270	910	790	1,270	200	630
				Euplotes										40			40	0	3
	縁毛目		Vorticella	620	250	560	100	80	50	210	370	800	300	1,450	1,770	1,770	50	547	
			Epistylis	1,240	1,290	320	140	200	430	120	450	120	2,190	1,070	2,000	2,190	120	798	
			Carchesium		270											270	0	23	
			Opercuralia	620		270						220				620	0	93	
			Vaginicola									40	20			40	0	5	
	吸管虫目		Podophrya										10		10	10	0	2	
			Tokophrya	10	50	60		20		30				10		60	0	15	
			Acineta	10			30	10	20		10	10		10		30	0	8	
		Multifasciculatum		10	20	90					10	30			90	0	13		
	キルトホリ目	Trochilia		140		260									260	0	33		
	根足虫類	有殻	Arcella	460	330	160	140	130	430	710	400	650	1,060	1,690	2,860	2,860	130	752	
			Euglypha						10		10	10				10	0	3	
			torinama										20			20	0	2	
			Pyxidicula				10									10	0	1	
		無殻	Amoeba	10	30		50	20	30			70	60	70	20	30	70	0	33
後生動物	輪虫類	Lepadella	130	230	240	140	130	50	280	120	40	90	60	520	520	40	169		
		Rotaria	100	40	110	90	90	190	180	90	60	20	50	20	190	20	87		
	腹毛類	Chaetonotus	20	50	80	130	110	40	120	170	130		40	70	170	0	80		
	線虫類	Diplogaster			20	10	10	10	10	10		20		10	20	0	8		
その他の生物数			10					20							20	0	3		
総生物数			4,260	3,640	2,930	2,150	1,630	2,620	2,690	2,580	3,030	5,480	5,760	9,410	9,410	1,630	3,848		
活性汚泥生物数			4,110	3,120	2,350	1,750	1,420	2,120	2,270	2,170	2,740	5,130	5,460	8,470	8,470	1,420	3,426		
活性汚泥性生物(%)			96.5	85.7	80.2	81.4	87.1	80.9	84.4	84.1	90.4	93.6	94.8	90.0	96.5	80.2	87.4		

III 峡東流域下水道

表 3-3 5 流入水及び放流水の経時変化(4/8~4/10)

流入水							
採水時間	流入量 ($\text{m}^3/\text{2hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/8 10:00	3,358	270	907	220	739	110	369
12:00	3,388	240	813	250	847	130	440
14:00	2,776	180	500	190	527	110	305
16:00	2,591	160	415	170	440	84	218
18:00	2,490	230	573	230	573	130	324
20:00	2,905	150	436	160	465	92	267
22:00	3,477	150	522	170	591	87	302
4/9 0:00	3,467	170	589	200	693	92	319
2:00	2,424	150	364	190	461	100	242
4:00	1,677	110	184	110	184	62	104
6:00	1,476	140	207	390	576	160	236
8:00	2,057	130	267	170	350	84	173

放流水							
採水時間	放流量 ($\text{m}^3/\text{2hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/9 10:00	2,419	5.1	12.3	1.7	4.1	9.9	23.9
12:00	2,801	4.1	11.5	2.3	6.4	10	28.0
14:00	2,799	5.5	15.4	1.8	5.0	9.8	27.4
16:00	2,523	4.4	11.1	2.5	6.3	9.4	23.7
18:00	2,092	4.1	8.6	2.8	5.9	9.8	20.5
20:00	2,064	3.6	7.4	2.7	5.6	10	20.6
22:00	2,109	3.3	7.0	2.5	5.3	11	23.2
4/10 0:00	2,256	2.7	6.1	2.5	5.6	11	24.8
2:00	2,403	2.5	6.0	2.7	6.5	11	26.4
4:00	2,125	2.5	5.3	2.5	5.3	11	23.4
6:00	1,992	2.4	4.8	2.3	4.6	11	21.9
8:00	2,128	2.4	5.1	2.5	5.3	10	21.3

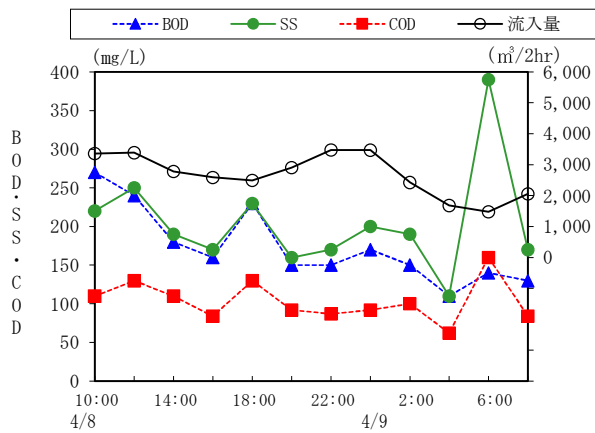


図 3-2 0 流入水濃度の経時変化 (4/8~4/9)

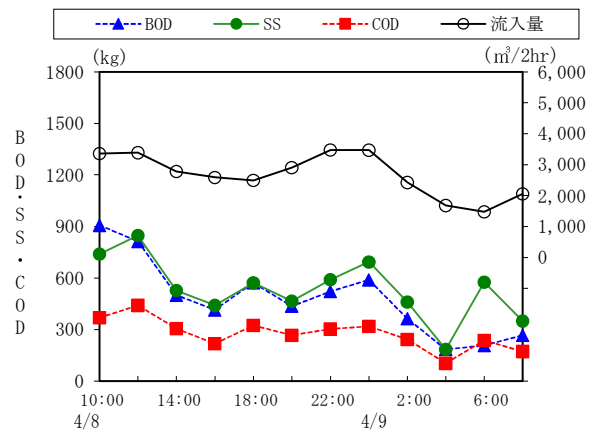


図 3-2 1 流入水負荷量の経時変化 (4/8~4/9)

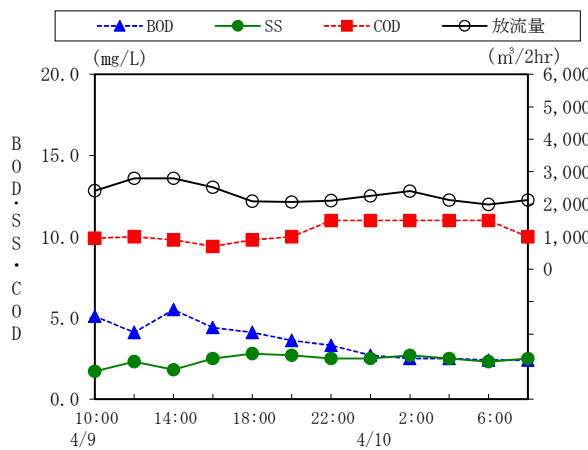


図 3-2 2 放流水濃度の経時変化 (4/9~4/10)

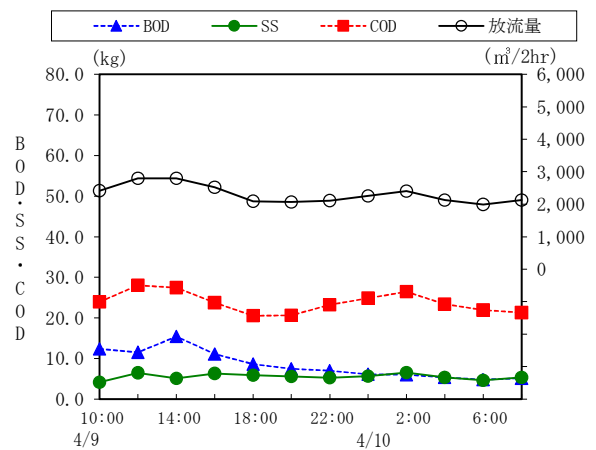


図 3-2 3 放流水負荷量の経時変化 (4/9~4/10)

III 峡東流域下水道

表 3-3 6 流入水及び放流水の経時変化(8/19～8/21)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/19 10:00	3,261	180	587	180	587	110	359
12:00	3,188	250	797	220	701	120	383
14:00	2,748	190	522	170	467	94	258
16:00	2,694	140	377	140	377	83	224
18:00	2,459	150	369	140	344	85	209
20:00	3,007	180	541	170	511	94	283
22:00	3,471	200	694	180	625	91	316
8/20 0:00	3,526	170	599	150	529	77	272
2:00	2,465	140	345	130	320	65	160
4:00	1,689	130	220	120	203	68	115
6:00	1,440	100	144	160	230	78	112
8:00	1,916	110	211	140	268	77	148

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/20 10:00	2,619	2.9	7.6	1.6	4.2	9.7	25.4
12:00	2,879	3.2	9.2	2.1	6.0	8.7	25.0
14:00	2,668	5.8	15.5	1.5	4.0	9.0	24.0
16:00	2,083	3.2	6.7	1.9	4.0	8.3	17.3
18:00	2,242	3.2	7.2	1.2	2.7	8.9	20.0
20:00	2,250	3.2	7.2	2.0	4.5	9.0	20.3
22:00	2,227	3.7	8.2	2.4	5.3	9.6	21.4
8/21 0:00	2,164	3.5	7.6	2.2	4.8	9.6	20.8
2:00	2,254	4.2	9.5	3.0	6.8	10	22.5
4:00	2,184	3.8	8.3	2.6	5.7	9.9	21.6
6:00	1,912	3.7	7.1	3.0	5.7	9.9	18.9
8:00	1,813	4.4	8.0	2.9	5.3	10	18.1

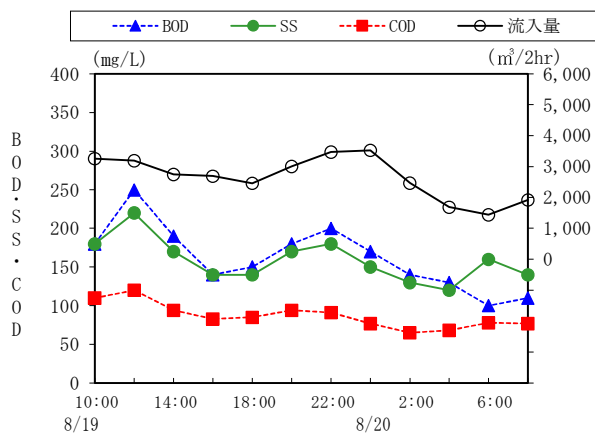


図 3-2 4 流入水濃度の経時変化 (8/19～8/20)

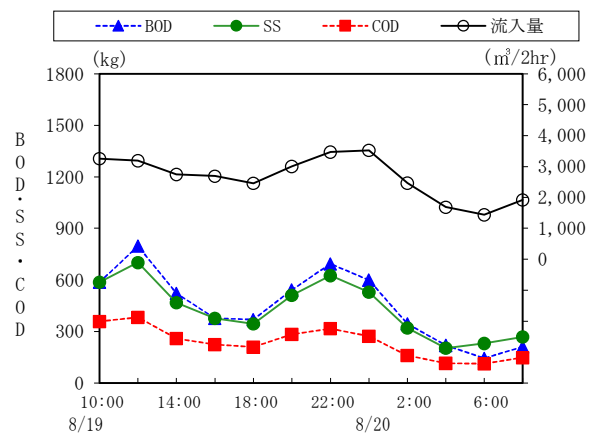


図 3-2 5 流入水負荷量の経時変化 (8/19～8/20)

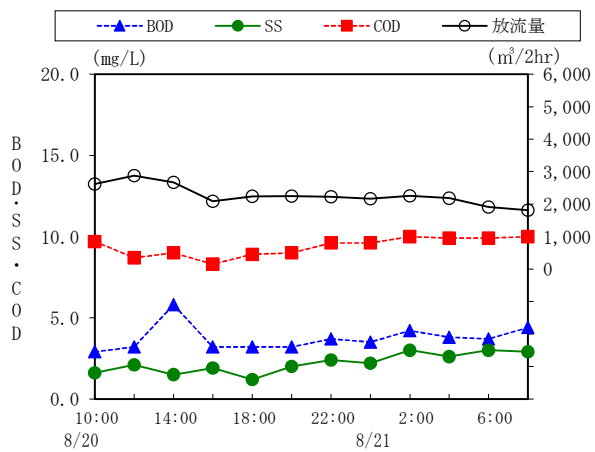


図 3-2 6 放流水濃度の経時変化 (8/20～8/21)

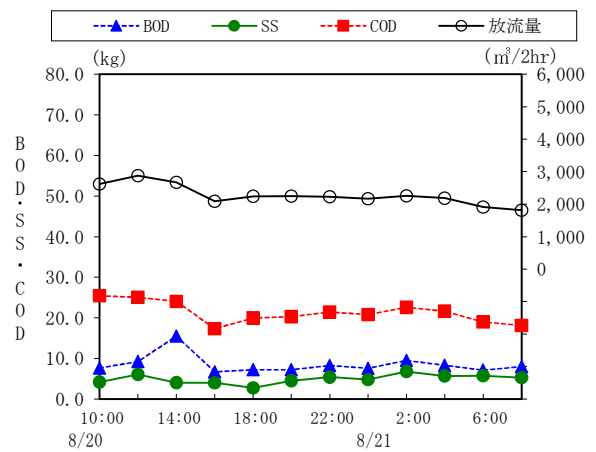


図 3-2 7 放流水負荷量の経時変化 (8/20～8/21)

III 峡東流域下水道

表 3-3 7 流入水及び放流水の経時変化(11/11~11/13)

流入水							
採水時間	流入量 ($\text{m}^3/\text{2hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/11 10:00	3,241	200	648	190	616	100	324
12:00	3,205	220	705	240	769	110	353
14:00	2,584	190	491	220	568	110	284
16:00	2,432	180	438	180	438	92	224
18:00	2,393	140	335	160	383	77	184
20:00	2,874	150	431	180	517	93	267
22:00	3,430	180	617	180	617	92	316
11/12 0:00	3,400	150	510	160	544	68	231
2:00	2,303	140	322	140	322	67	154
4:00	1,589	100	159	100	159	52	83
6:00	1,325	91	121	92	122	49	65
8:00	1,821	200	364	320	583	140	255

放流水							
採水時間	放流量 ($\text{m}^3/\text{2hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/12 10:00	2,464	2.9	7.1	1.6	3.9	9.1	22.4
12:00	2,646	2.9	7.7	1.1	2.9	8.6	22.8
14:00	2,639	2.4	6.3	1.9	5.0	9.0	23.8
16:00	2,859	2.4	6.9	2.4	6.9	9.1	26.0
18:00	2,207	2.4	5.3	2.0	4.4	9.7	21.4
20:00	2,232	3.3	7.4	2.0	4.5	9.5	21.2
22:00	2,400	2.9	7.0	2.5	6.0	11	26.4
11/13 0:00	2,517	3.0	7.6	2.5	6.3	9.8	24.7
2:00	2,570	2.9	7.5	2.8	7.2	10	25.7
4:00	1,965	2.9	5.7	3.0	5.9	10	19.7
6:00	1,704	2.6	4.4	2.6	4.4	10	17.0
8:00	1,982	2.7	5.4	2.9	5.7	10	19.8

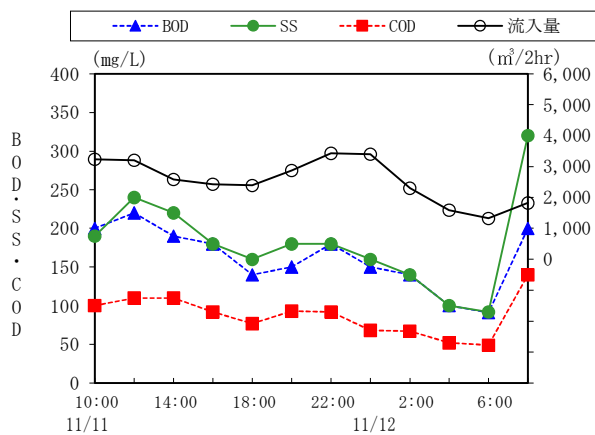


図 3-28 流入水濃度の経時変化(11/11~11/12)

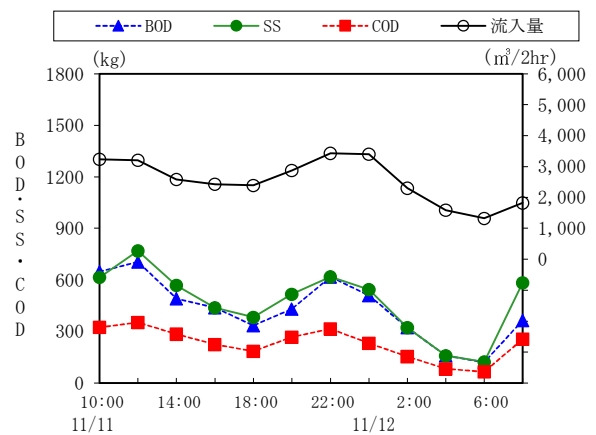


図 3-29 流入水負荷量の経時変化(11/11~11/12)

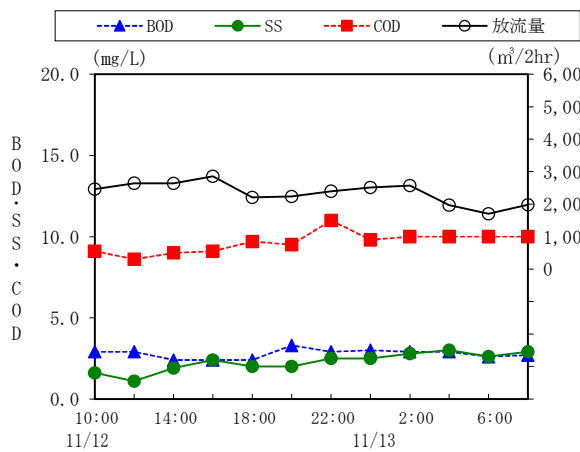


図 3-30 放流水濃度の経時変化(11/12~11/13)

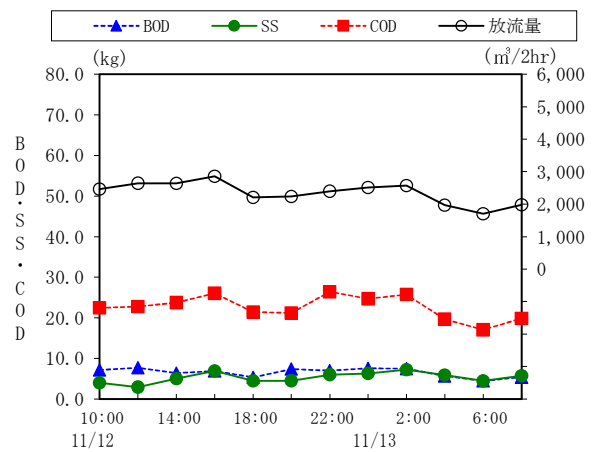


図 3-31 放流水負荷量の経時変化(11/12~11/13)

III 峡東流域下水道

表 3-3 8 流入水及び放流水の経時変化(2/17~2/19)

流入水							
採水時間	流入量 ($\text{m}^3/\text{2hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/17 10:00	3,060	200	612	200	612	110	337
12:00	2,990	210	628	240	718	120	359
14:00	2,529	200	506	210	531	100	253
16:00	2,398	190	456	190	456	100	240
18:00	2,326	180	419	180	419	98	228
20:00	2,912	190	553	210	612	98	285
22:00	3,421	210	718	220	753	95	325
2/18 0:00	3,421	180	616	190	650	87	298
2:00	2,424	180	436	180	436	76	184
4:00	1,609	160	257	180	290	72	116
6:00	1,320	120	158	160	211	67	88
8:00	1,602	140	224	150	240	73	117

放流水							
採水時間	放流量 ($\text{m}^3/\text{2hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/18 10:00	2,768	2.9	8.0	2.3	6.4	11	30.4
12:00	2,858	3.8	10.9	1.9	5.4	11	31.4
14:00	2,398	3.3	7.9	2.4	5.8	10	24.0
16:00	2,145	2.7	5.8	3.0	6.4	10	21.5
18:00	2,092	2.9	6.1	2.7	5.6	10	20.9
20:00	2,144	2.8	6.0	2.6	5.6	10	21.4
22:00	2,295	3.0	6.9	3.1	7.1	11	25.2
2/19 0:00	2,427	3.1	7.5	3.0	7.3	11	26.7
2:00	2,330	3.0	7.0	3.3	7.7	11	25.6
4:00	1,940	2.8	5.4	3.0	5.8	11	21.3
6:00	1,500	2.6	3.9	2.7	4.1	11	16.5
8:00	1,906	2.5	4.8	3.1	5.9	11	21.0

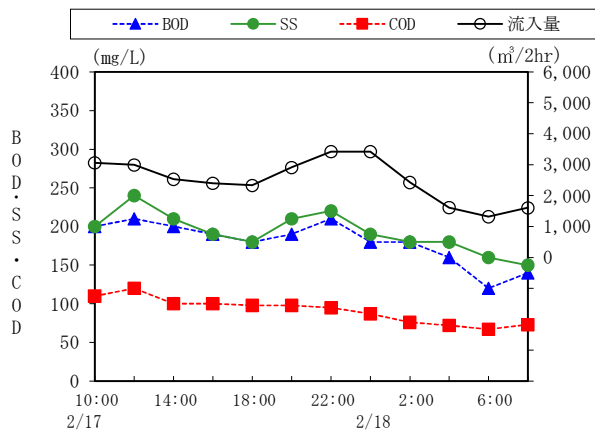


図 3-3 2 流入水濃度の経時変化 (2/17~2/18)

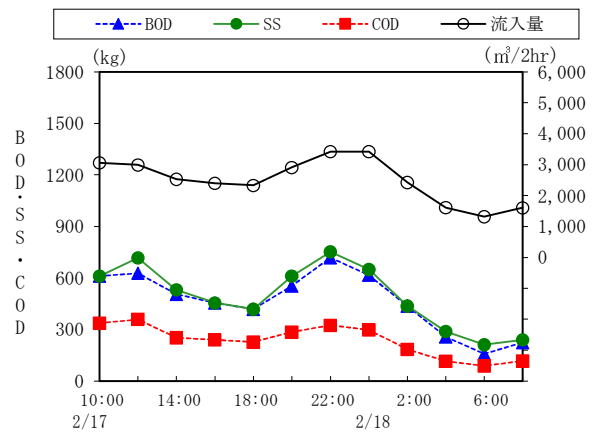


図 3-3 3 流入水負荷量の経時変化 (2/17~2/18)

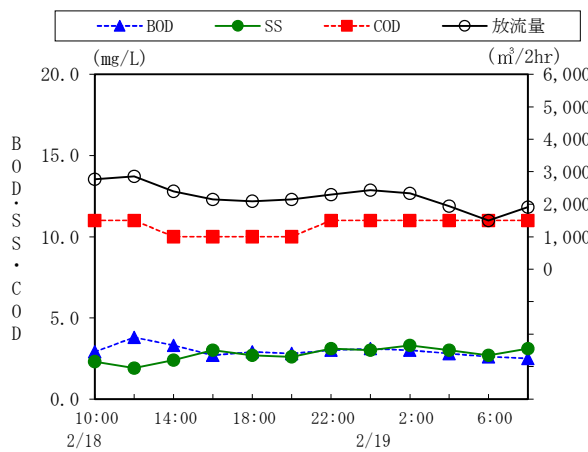


図 3-3 4 放流水濃度の経時変化 (2/18~2/19)

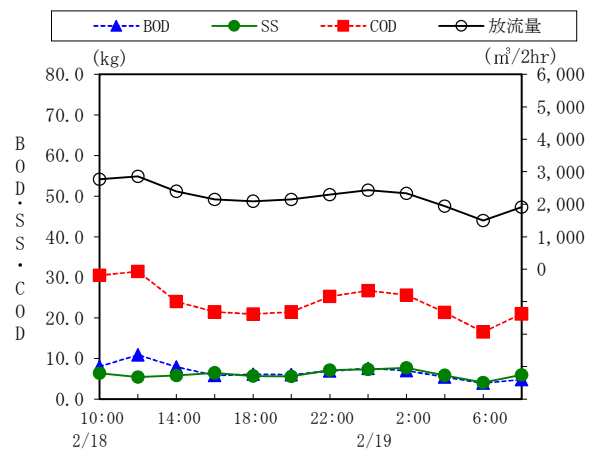


図 3-3 5 放流水負荷量の経時変化 (2/18~2/19)

III 峡東流域下水道

表 3－3 9 污泥处理運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均	計
生 汚 泥	固 形 分 (%)	0.53	0.43	0.41	0.73	0.39	0.40	0.45	0.45	0.54	0.57	0.67	0.72	0.73	0.39	0.52	—
	引 拔 量 (m³)	23,590	28,619	28,666	16,595	29,600	28,170	27,606	26,951	23,689	22,023	17,940	18,622	29,600	16,595	24,339	292,071
	固形物量 (kg)	125,508	122,087	117,239	121,049	116,574	112,625	123,778	121,694	128,041	124,880	120,506	134,115	134,115	112,625	122,341	1,468,096
重縮 力汚 濃泥	固 形 分 (%)	2.48	2.62	2.49	2.25	2.34	2.27	2.15	2.57	2.46	2.64	2.51	2.60	2.64	2.15	2.45	—
	引 拔 量 (m³)	4,057.7	4,058.1	4,183.5	4,785.3	4,412.4	4,191.3	4,572.1	4,000.3	4,166.9	3,918.4	3,815.4	4,306.6	4,785.3	3,815.4	4,205.7	50,468.0
	固形物量 (kg)	100,800	106,306	104,107	107,489	103,420	95,253	98,093	102,904	102,566	103,250	95,582	111,776	111,776	95,253	102,629	1,231,546
余 剩 汚 泥	固 形 分 (%)	0.38	0.39	0.35	0.39	0.40	0.39	0.36	0.37	0.38	0.44	0.42	0.42	0.44	0.35	0.39	—
	引 拔 量 (m³)	17,646	17,988	17,235	17,105	16,518	15,896	15,680	15,060	15,654	15,976	14,777	17,531	17,988	14,777	16,422	197,066
	固形物量 (kg)	67,103	70,662	60,179	66,297	66,514	61,828	56,817	55,367	59,092	70,238	62,465	73,427	73,427	55,367	64,166	769,989
機縮 械汚 濃泥	固 形 分 (%)	4.21	4.13	3.99	3.98	4.15	4.08	4.02	4.03	4.06	4.10	4.41	4.23	4.41	3.98	4.12	—
	引 拔 量 (m³)	1,416.4	1,551.3	1,338.4	1,452.8	1,420.7	1,382.7	1,302.8	1,245.9	1,389.5	1,507.0	1,307.1	1,508.0	1,551.3	1,245.9	1,401.9	16,822.6
	固形物量 (kg)	59,637	64,087	53,343	57,845	58,965	56,458	52,360	50,256	56,382	61,846	57,616	63,813	64,087	50,256	57,717	692,608
高 分 子 凝 集 剤	濃 度 (%)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	—
	供 給 量 (m³)	134.68	130.04	102.48	141.41	116.08	140.76	141.92	135.21	27.89	159.08	147.48	110.44	159.08	27.89	123.96	1,487.47
	薬注率(%)No.3濃縮機	0.34	0.35	0.32	0.40	0.38	0.36	0.32	0.32	0.39	0.35	0.30	0.28	0.40	0.28	0.34	—
脱 水 機	固 形 分 (%)	3.19	3.22	3.00	2.75	2.85	2.85	2.64	2.96	3.00	3.18	3.16	3.13	3.22	2.64	2.99	—
	供 給 量 (m³)	5,033.0	5,294.1	5,244.7	6,008.7	5,701.5	5,327.4	5,690.2	5,172.4	5,300.6	5,193.7	4,845.5	5,608.7	6,008.7	4,845.5	5,368.4	64,420.5
	固形物量 (kg)	160,451	170,394	157,450	165,332	162,384	151,712	150,449	153,156	158,947	165,097	153,195	175,593	175,593	150,449	160,347	1,924,160
高 分 子 凝 集 剤	濃 度 (%)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	—
	供 給 量 (m³)	589.59	601.31	528.72	616.18	548.35	523.56	533.99	524.35	554.59	607.11	586.25	704.94	704.94	523.56	576.58	6,918.94
	薬注率(%)No.1脱水機	1.08	1.06	1.00	1.11	1.01	1.03	1.04	1.00	1.04	1.10	1.11	—	1.11	1.00	1.05	—
	薬注率(%)No.3脱水機	1.16	1.09	1.05	1.22	1.06	1.10	1.30	1.12	1.18	1.19	1.23	1.21	1.30	1.05	1.16	—
	薬注率(%)No.4脱水機	—	—	1.16	1.16	1.25	1.11	1.17	—	—	—	—	1.12	1.25	1.11	1.16	—
脱 水 ケ ー キ	含 水 率 (%)	75.3	74.0	73.6	74.0	74.0	74.0	74.1	74.2	74.4	74.4	75.0	75.6	75.6	73.6	74.4	—
	ケーキ量(t)	627.98	604.57	544.31	595.10	569.33	536.38	565.60	572.23	575.07	589.63	569.99	658.38	658.38	536.38	584.05	7,008.57
	固形物量 (kg)	155,111	157,188	143,698	154,726	148,026	139,459	146,490	147,635	147,218	150,945	142,498	160,645	160,645	139,459	149,470	1,793,639

III 峡東流域下水道

表 3－40 汚泥中試験、汚泥返流水試験分析結果

項 目			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均
汚泥中試験	重力汚泥濃縮	水素イオン濃度	5.21	5.33	5.16	4.88	5.37	5.02	5.02	5.42	5.23	5.21	5.57	5.26	5.57	4.88	5.22
		固形分 (%)	3.17	2.79	2.85	2.57	2.40	2.63	2.47	2.98	3.11	3.20	3.06	3.03	3.20	2.40	2.86
		有機分 (%)	91.4	91.0	90.7	90.5	90.6	91.5	91.3	92.0	91.8	92.4	92.0	92.4	92.4	90.5	91.5
	機械汚泥濃縮	水素イオン濃度	5.81	5.79	5.85	5.74	6.07	5.83	5.69	6.08	5.87	5.87	5.92	5.97	6.08	5.69	5.87
		固形分 (%)	4.52	4.18	4.15	4.09	4.10	4.04	4.01	4.11	4.08	4.22	4.32	3.97	4.52	3.97	4.15
		有機分 (%)	75.0	74.6	76.9	78.3	78.6	78.9	77.8	79.6	78.7	78.2	77.4	76.1	79.6	74.6	77.5
	脱水機供給汚泥	水素イオン濃度	5.07	5.20	5.11	5.14	5.31	5.16	5.22	5.10	5.30	5.65	5.60	5.44	5.65	5.07	5.28
		固形分 (%)	3.29	3.18	3.06	2.76	2.81	2.83	2.69	2.91	3.07	3.24	3.13	3.11	3.29	2.69	3.01
		有機分 (%)	84.4	84.1	85.8	85.7	86.3	86.6	87.2	88.0	87.5	87.2	86.7	87.1	88.0	84.1	86.4
	脱水ケーキ	含水率 (%)	74.5	74.0	72.9	74.3	75.1	74.0	73.5	74.6	74.1	73.7	75.1	75.3	75.3	72.9	74.3
		有機分 (%)	90.4	92.7	90.4	90.9	91.4	91.6	92.3	92.3	92.3	92.4	91.4	92.1	92.7	90.4	91.7
汚泥返流水試験	重力分離濃縮	水素イオン濃度	6.31	6.50	6.34	5.93	6.30	6.38	6.38	6.44	6.14	6.51	6.36	6.29	6.51	5.93	6.32
		アルカリ度 (mg/L)	142	143	164	125	133	137	138	140	126	159	159	167	167	125	144
		浮遊物質 (mg/L)	160	130	100	220	90	110	130	130	230	180	190	170	230	90	150
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	380	340	360	500	230	270	320	270	530	320	420	460	530	230	370
		化学的酸素要求量 (mg/L)	130	100	110	170	83	83	98	89	170	110	130	130	170	83	120
	機械分離濃縮	水素イオン濃度	7.29	7.33	7.10	7.23	7.23	7.14	7.01	7.11	6.99	7.20	7.24	7.19	7.33	6.99	7.17
		アルカリ度 (mg/L)	136	135	137	136	137	119	127	128	129	131	138	151	151	119	134
		浮遊物質 (mg/L)	240	430	510	690	300	240	180	520	180	690	270	430	690	180	390
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	160	280	400	440	200	250	190	420	240	560	180	280	560	160	300
		化学的酸素要求量 (mg/L)	100	160	180	250	190	87	84	180	78	210	93	120	250	78	140
	脱水分離濃縮	水素イオン濃度	5.33	5.41	5.05	5.05	5.15	5.04	4.95	5.26	5.33	5.36	5.19	5.25	5.41	4.95	5.20
		アルカリ度 (mg/L)	255	371	194	179	182	165	147	249	226	374	320	353	374	147	251
		浮遊物質 (mg/L)	570	470	420	430	290	420	480	720	440	690	900	1,400	1,400	290	600
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	1,800	2,800	2,600	2,200	2,300	2,400	2,600	2,000	2,200	2,500	3,200	2,900	3,200	1,800	2,500
		化学的酸素要求量 (mg/L)	590	590	710	570	480	500	590	660	610	640	820	1,000	1,000	480	650

III 峡東流域下水道

表 3－4 1 汚泥測定結果（溶出試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機燐化合物	mg/L	—	<0.1	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素又はその化合物	mg/L	0.020	0.033	0.025	0.021	0.033	0.020	0.025
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
銅又はその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.23	0.27	0.64	0.16	0.64	0.16	0.33
鉄	mg/L	1.5	2.3	1.0	1.3	2.3	1.0	1.5
マンガン	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	<0.004	—	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.04	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	<0.003	—	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.05	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 3－4 2 汚泥測定結果（含有試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム	mg/kg	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
シアン化合物	mg/kg	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0
鉛	mg/kg	5.3	7.7	5.9	3.3	7.7	3.3	5.6
六価クロム	mg/kg	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40
ひ素	mg/kg	9.6	10	10	6.1	10	6.1	8.9
水銀	mg/kg	0.08	0.14	0.14	0.20	0.20	0.08	0.14
銅	mg/kg	120	140	110	130	140	110	130
ニッケル	mg/kg	11	15	8.4	7.8	15	7.8	11
亜鉛	mg/kg	450	700	510	320	700	320	500
鉄	mg/kg	1,600	2,300	1,500	1,400	2,300	1,400	1,700
マンガン	mg/kg	33	38	32	32	38	32	34
クロム	mg/kg	9.0	13	11	8.1	13	8.1	10

III 峡東流域下水道

表 3－4 3 放流河川調査結果 河川名：笛吹川（採水地点 中道橋[放流口下流約800m]）

項 目		単 位	4/10	5/21	6/17	7/10	8/20	9/11	10/9	11/13	12/11	1/21	2/12	3/12	最大	最小	平均
一般	採水時刻		9:45	9:35	9:40	9:40	9:35	9:40	9:35	9:45	9:35	9:35	9:30	9:40	—	—	—
	水温	℃	13.0	19.5	20.0	25.0	25.5	24.0	21.0	10.5	7.0	5.0	5.0	10.0	25.5	5.0	15.5
	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
生活環境項目	水素イオン濃度	—	7.53	7.56	7.58	7.70	7.67	7.42	7.55	7.46	7.48	7.43	7.37	7.33	7.70	7.33	7.51
	溶存酸素量	mg/L	10	9.1	9.7	8.9	8.9	8.5	9.1	11	12	12	12	11	12	8.5	10
	生物化学的酸素要求量	mg/L	2.0	2.6	1.4	2.8	2.4	1.4	2.7	1.8	2.2	1.9	1.9	2.7	2.8	1.4	2.2
	化学的酸素要求量	mg/L	3.1	3.2	3.0	3.5	3.6	3.1	3.1	2.6	2.8	2.3	2.4	3.8	3.8	2.3	3.0
	浮遊物質	mg/L	6.7	9.2	8.2	4.7	4.1	8.2	5.2	3.1	2.4	2.2	3.1	7.4	9.2	2.2	5.4
	大腸菌数	CFU/mL	1	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1
	窒素含有量	mg/L	2.34	1.87	1.23	2.07	1.88	1.13	1.63	1.98	2.25	3.24	2.61	3.31	3.31	1.13	2.13
	磷含有量	mg/L	0.07	0.07	0.07	0.19	0.15	0.11	0.14	0.11	0.08	0.11	0.06	0.11	0.19	0.06	0.11
	アンモニア性窒素含有量	mg/L	0.69	0.50	0.35	0.83	0.94	0.35	0.51	0.67	0.79	1.10	1.04	1.40	1.40	0.35	0.76
特殊項目	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	0.04	0.04	0.02	0.04	0.05	0.03	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.07	0.02	0.05
	硝酸性窒素含有量	mg/L	1.20	1.05	0.70	0.94	0.70	0.67	0.93	1.14	1.32	1.78	1.25	1.43	1.78	0.67	1.09
	磷酸イオン態磷含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	0.15	0.13	0.08	0.10	0.09	0.06	0.09	<0.05	0.05	0.15	<0.05	0.06

表 3－4 4 放流河川調査結果 河川名：笛吹川（採水地点 白井河原橋[放流口上流約500m]）

項 目		単 位	4/10	5/21	6/17	7/10	8/20	9/11	10/9	11/13	12/11	1/21	2/12	3/12	最大	最小	平均
一般	採水時刻		9:25	9:20	9:25	9:20	9:20	9:25	9:20	9:30	9:20	9:25	9:20	9:25	—	—	—
	水温	℃	12.0	19.0	20.0	25.0	25.0	23.5	20.5	10.5	6.5	5.0	4.0	9.0	25.0	4.0	15.0
	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
生活環境項目	水素イオン濃度	—	7.58	7.57	7.64	7.91	7.80	7.60	7.70	7.54	7.46	7.35	7.31	7.38	7.91	7.31	7.57
	溶存酸素量	mg/L	11	9.4	9.9	9.2	9.3	8.6	9.5	11	12	13	13	11	13	8.6	11
	生物化学的酸素要求量	mg/L	1.2	1.9	1.1	1.0	1.1	1.2	1.1	0.9	0.9	1.2	1.2	1.4	1.9	0.9	1.2
	化学的酸素要求量	mg/L	2.9	3.0	3.3	3.1	2.9	2.9	2.9	1.7	2.2	1.9	1.9	3.0	3.3	1.7	2.6
	浮遊物質	mg/L	6.0	8.6	6.7	5.0	3.0	9.3	5.3	3.0	2.4	2.5	2.7	7.8	9.3	2.4	5.2
	大腸菌数	CFU/mL	0	1	0	6	1	4	2	1	1	4	0	1	6	0	2
	窒素含有量	mg/L	1.46	0.90	0.67	0.79	0.81	0.93	0.95	1.23	1.32	2.04	1.08	0.87	2.04	0.67	1.09
	磷含有量	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
	アンモニア性窒素含有量	mg/L	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16
特殊項目	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	硝酸性窒素含有量	mg/L	1.24	0.90	0.67	0.79	0.62	0.89	0.95	1.23	1.32	1.81	0.78	0.59	1.81	0.59	0.98
	磷酸イオン態磷含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 3－4 5 臭気測定結果

項 目	敷地境界		規 制 値
採取年月日	令和7年8月18日	令和8年2月12日	
採取時刻	10:05	10:07	
臭気指数	<10	<10	13

IV 釜無川流域下水道

IV 釜無川流域下水道

1 整備状況

(1) 全体計画及び現況

釜無川流域下水道は、平成5年4月の供用開始より33年目を迎えている。

全体計画処理水量は144,419 m³/日、事業計画水量は128,464 m³/日(水洗化水量は80,552 m³/日)であり、幹線は77.0 kmが供用開始となっている。移管予定幹線を除いた管理延長は76.4 kmである。

供用開始区域内の面積は5,718.03ha、人口は186,547人となっており、流入下水量は令和7年度平均で53,009 m³/日である。

釜無川流域下水道の全体計画及び現況を表4-1に、釜無川流域下水道事業計画図を図4-1に、関連公共下水道市別水洗化状況を表4-2に、市別流入下水量を表4-3に示す。

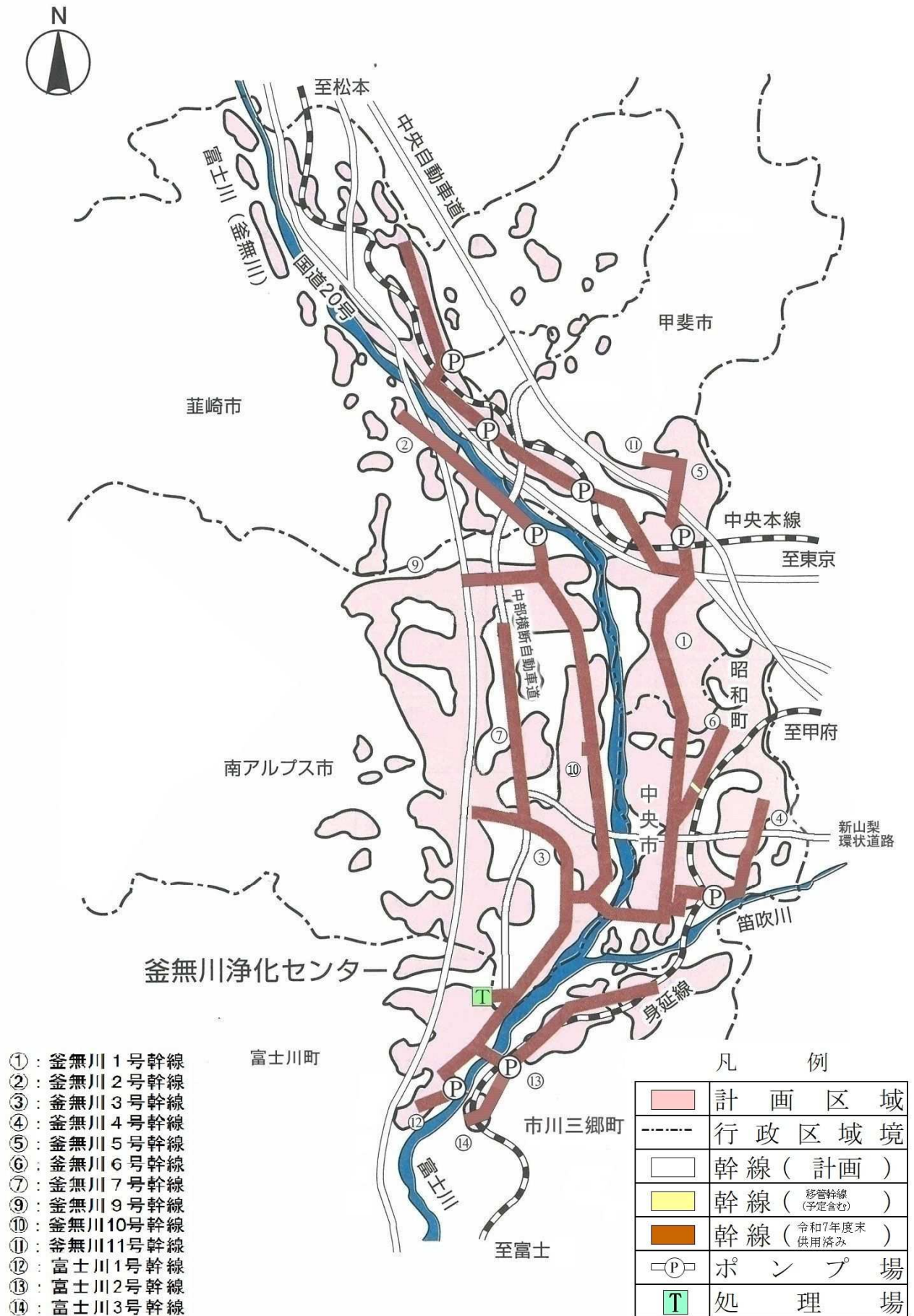
表4-1 全体計画及び現況

市町村名 項 目	全体計画 (計画年次:昭和61年～令和17年)		事業計画 (計画年次:昭和61年～令和11年)		供用開始区域	
	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	面 積 (ha)	人 口 (人)
菰 崎 市	1,254.6	21,800	1,018.8	18,498	875.03	18,733
南アルプス市	2,446.0	55,520	1,945.0	44,760	1,513.79	46,191
甲 斐 市	1,835.2	67,340	1,701.8	65,345	1,336.01	60,152
中 央 市	857.6	28,433	701.3	28,128	620.66	21,872
市 川 三 郷 町	520.2	9,810	513.2	10,542	427.17	10,323
富 士 川 町	534.3	10,030	515.0	10,518	427.53	11,602
昭 和 町	659.2	20,130	659.2	20,358	517.84	17,674
合 計	8,107.1	213,063	7,054.4	198,149	5,718.03	186,547
計画処理水量 (日最大)	144,419 m ³ ／日		128,464 m ³ ／日 (水洗化水量 80,552 m ³ ／日)		—	
下水排除方式	分流式					
処 理 方 式	標準活性汚泥法					
幹 線 延 長	77.0 km		77.0 km		管理延長 76.4 km	
ポンプ場数	8 箇所		8 箇所		8 箇所	

※供用開始区域の面積、人口及び幹線延長は、令和8年4月1日現在の値を示す。

※供用開始区域の幹線延長は、県への管理移管を計画している公共管を含まない。

IV 釜無川流域下水道



※釜無川 6 号幹線の一部は昭和町から移管予定である。

図 4 - 1 釜無川流域下水道事業計画図

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－2 関連公共下水道市町別水洗化状況

市町名	項目	令和 7 年 度 末			普及率 B/A (%)	水洗化率 C/B (%)	接続戸数 累計 (戸)
		行政人口	処理区域 内人口	水洗化人口			
		A (人)	B (人)	C (人)			
韭 崎 市		27,366	18,733	18,077	68.5	96.5	8,208
南アルプス市		71,745	46,191	37,945	64.4	82.1	15,462
甲 斐 市		76,054	60,152	53,660	79.1	89.2	26,710
中 央 市		30,332	21,872	19,678	72.1	90.0	9,254
市川三郷町		11,748	10,323	9,018	87.9	87.4	4,019
富 士 川 町		13,663	11,602	10,400	84.9	89.6	4,625
昭 和 町		19,112	17,674	16,779	92.5	94.9	7,663
計		250,020	186,547	165,557	74.6	88.7	75,941

注1) 行政人口は、令和 8 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳の人口を示す。

注2) 処理区域内人口は、供用開始区域内人口を表し、令和 8 年 4 月 1 日公示分を含む。

注3) 市川三郷町の行政人口については、旧六郷町行政人口分を除いた人口を示す。

注4) 昭和町の行政人口については、甲府市公共下水道処理区域分を除いた人口を示す。

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－3 市町別流入下水水量

(単位：m³)

市町名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
菰崎市	163, 868	176, 907	193, 087	209, 808	204, 527	183, 919	162, 938	155, 757	159, 428	159, 070	145, 086	158, 117	2, 072, 512	172, 709
南アルプス市	352, 362	370, 791	361, 228	382, 317	371, 529	380, 053	365, 979	366, 456	375, 305	374, 906	326, 731	346, 829	4, 374, 486	364, 541
甲斐市	460, 676	478, 190	498, 924	539, 556	515, 617	519, 081	498, 571	483, 072	486, 339	480, 428	434, 760	484, 625	5, 879, 839	489, 987
中央市	194, 742	205, 939	215, 646	224, 427	206, 947	217, 182	213, 971	208, 108	211, 711	206, 128	183, 992	205, 228	2, 494, 021	207, 835
市川三郷町	86, 433	91, 817	93, 575	100, 716	95, 717	102, 356	92, 132	88, 423	92, 658	91, 342	79, 901	85, 925	1, 100, 995	91, 750
富士川町	102, 069	115, 584	112, 210	131, 187	121, 494	118, 375	123, 396	110, 011	117, 052	116, 196	107, 936	119, 145	1, 394, 655	116, 221
昭和町	156, 113	166, 416	174, 982	185, 008	171, 833	172, 093	166, 484	165, 421	172, 249	171, 980	158, 989	170, 163	2, 031, 731	169, 311
合 計	1, 516, 263	1, 605, 644	1, 649, 652	1, 773, 019	1, 687, 664	1, 693, 059	1, 623, 471	1, 577, 248	1, 614, 742	1, 600, 050	1, 437, 395	1, 570, 032	19, 348, 239	1, 612, 353
日平均	50, 542	51, 795	54, 988	57, 194	54, 441	56, 435	52, 370	52, 575	52, 088	51, 615	51, 336	50, 646	年間日平均	53, 009

IV 釜無川流域下水道

(2) 施設整備状況

令和7年度末の状況については、以下のとおりである。

①釜無川浄化センター

水処理使用可能池数としては、最初沈殿池4／7池、反応タンク8／14池、最終沈殿池4／7池となっており、処理能力は74,000 m³／日である。

釜無川浄化センターの全体平面図を図4-2に、フローシートを図4-3に、建築構造物概要を表4-4に、水処理機械設備概要を表4-5に、汚泥処理機械設備概要を表4-6に、電気設備概要を表4-7に、単線結線図を図4-4に、システム系統図を図4-5に示す。

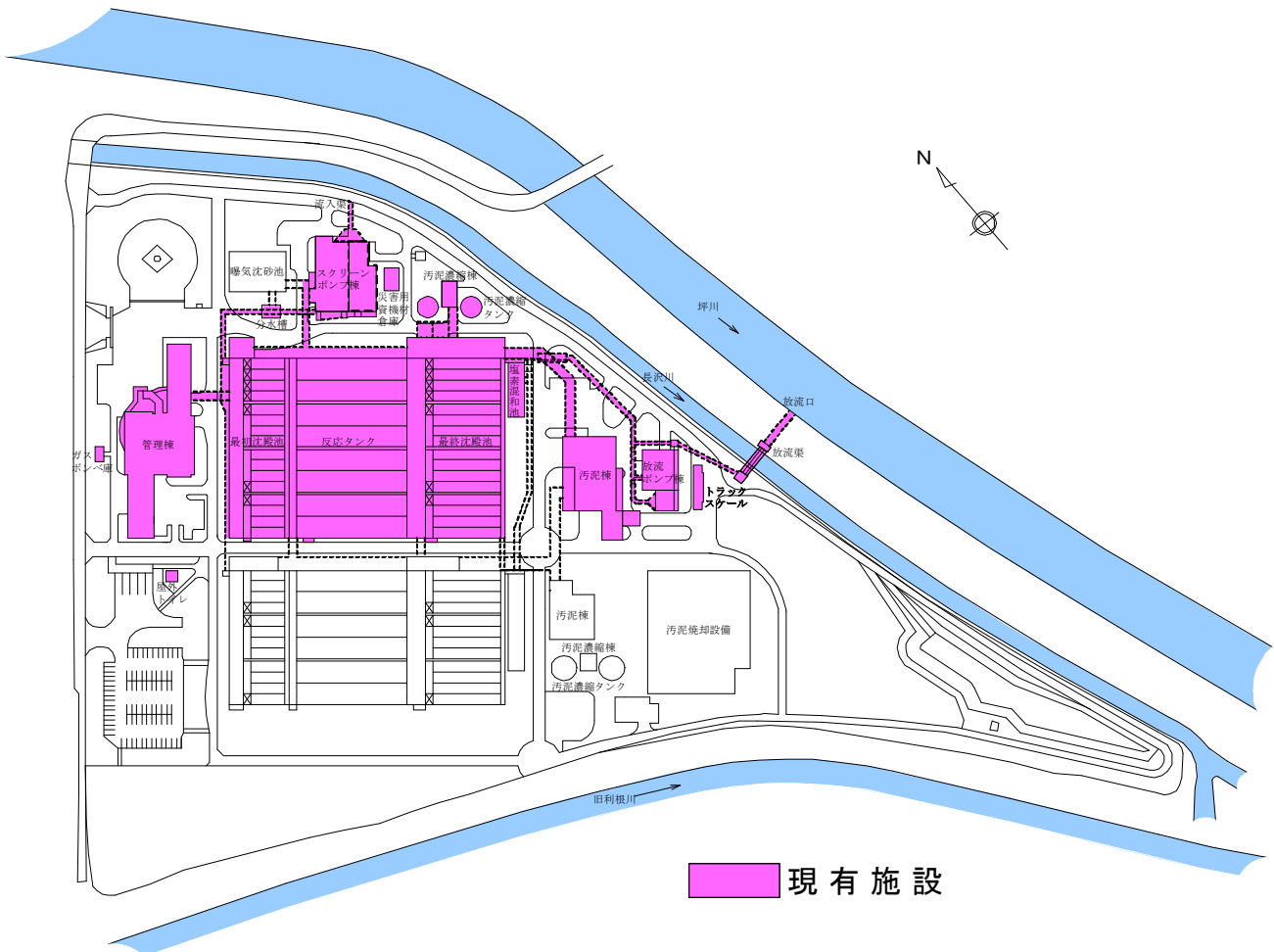


図4-2 釜無川浄化センター全体平面図

IV 釜無川流域下水道

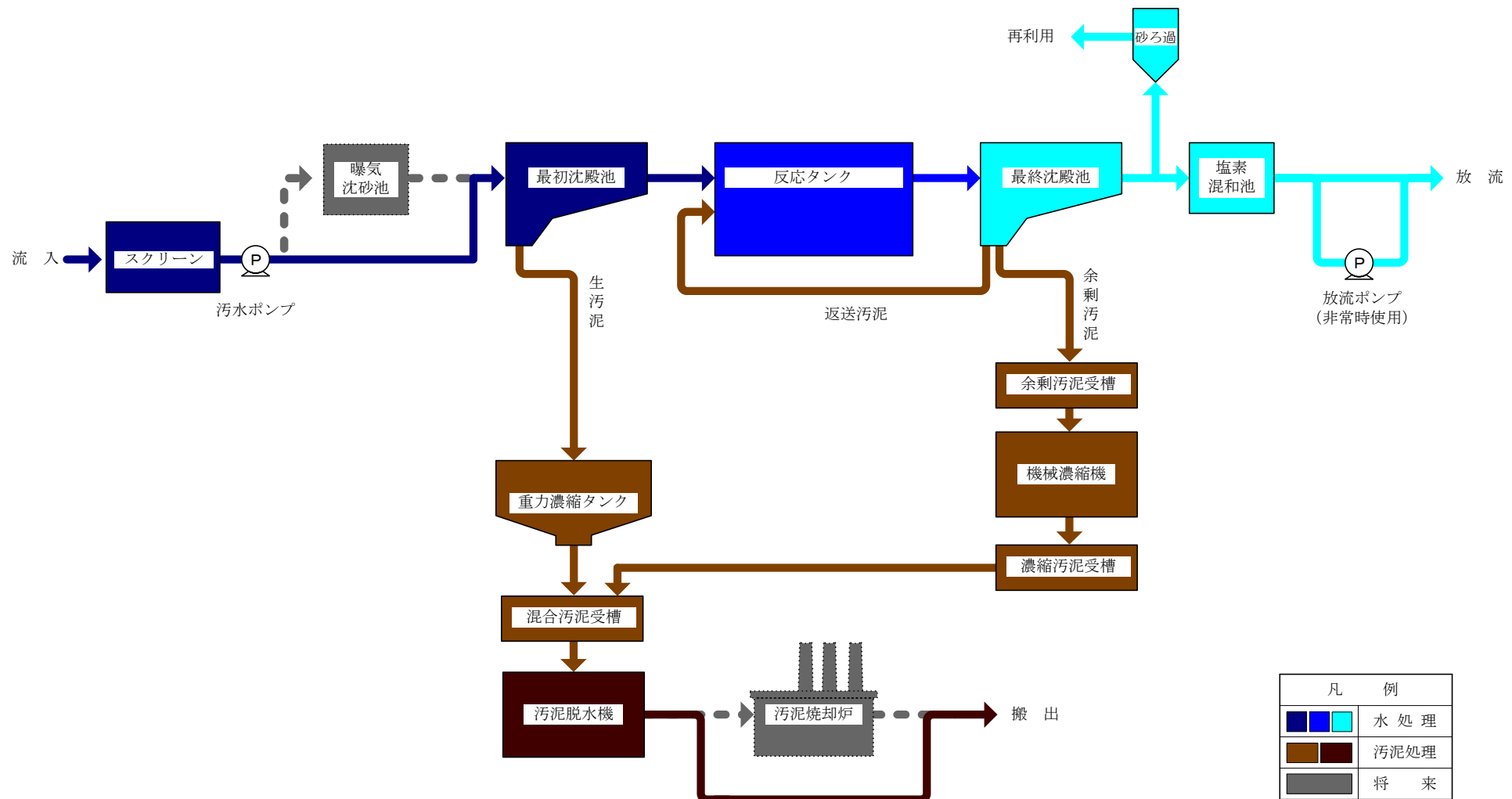


図 4 - 3 釜無川浄化センターフローシート

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－4 釜無川浄化センター建築構造物概要

施設名称	構造及び概要
管 理 本 館	R C造 地下1階、地上3階 建築面積 2,184㎡ 延床面積 3,866㎡ ブロー室、自家発電機室、電気室、水質試験室、監視室、事務室、会議室、その他
スクリーン ポンプ棟	R C造 地下2階、地上2階 建築面積 914㎡ 延床面積 2,694㎡ スクリーン機械室、ポンプ室、ポンプモーター室、脱臭機室、し渣搬出室、電気室 その他
最初沈殿池 電気室	R C造 地下1階、地上2階 建築面積 156㎡ 延床面積 285㎡ 電気室、その他
最終沈殿池 搬入室	R C造 地下1階、地上1階 建築面積 103㎡ 延床面積 117㎡ 搬入室、その他
最終沈殿池 電気室	R C造 地下1階、地上1階 建築面積 281㎡ 延床面積 264㎡ 電気室、次亜塩注入室、その他
放流ポンプ棟	R C造 地下1階、地上1階 建築面積 378㎡ 延床面積 370㎡ ポンプ室、電気室、その他
汚泥濃縮棟	R C造 地下1階、地上2階 建築面積 106㎡ 延床面積 263㎡ 脱臭機室、換気ファン室、排気ファン室、ポンプ室、スクリーン室、搬出室、その他
汚 泥 棟	R C造 地下1階、地上2階 建築面積 1,304㎡ 延床面積 3,251㎡ ポンプ室、電気室、薬品注入機室、脱臭機室、濃縮機室、搬出室、監視室、脱水機室、 生物脱臭室、その他

IV 釜無川流域下水道

表 4－5 釜無川浄化センター水処理機械設備概要

設 備 名 称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
スクリーン ポンプ設備	幅 2 m×深 約 1 m×長18.9m (1 水路当たり) スクリーン水路流入ゲート (角形外ネジ式鋳鉄製) 幅1.2m×高1.2m×3.7kW 水中サンドポンプ (揚砂用) $\phi 100 / \phi 80 \times 0.5 \text{ m}^3 / \text{min} \times 15 \text{ m} \times 5.5 \text{ kW}$ 粗目スクリーン (手掻き) 幅 2 m×据付高 4 m×目幅100mm 細目スクリーン 水路幅 2 m×目幅20mm 細目スクリーン自動除塵機 (回転アーム式間欠式自動除塵機) 幅 2 m×深 4 m×1.5kW No.1スクリーンかす搬出機 (トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長12.3m 輸送量 $29 \text{ m}^3 / \text{h} \times 20.5 \text{ m} / \text{min} \times 1.5 \text{ kW}$ 機上用スクリーンかす搬出機 (トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長4.1m×0.8m 輸送量 $29 \text{ m}^3 / \text{h} \times 20.5 \text{ m} / \text{min} \times 1.5 \text{ kW}$ 沈砂・し渣混合洗浄装置 (横軸型側面攪拌式) 処理能力 $2 \text{ m}^3 / \text{h} \times \text{槽寸法} 1.2 \text{ m} \times 2 \text{ m} \times 1.5 \text{ m}$ 初沈スカム分離機 (回転ドラム式スクリーン) $2.8 \text{ m}^3 / \text{min} \times 1.5 \text{ kW}$ No.2スクリーンかす搬出機 (トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長12.9m×2.2m 輸送量 $29 \text{ m}^3 / \text{h} \times 20.5 \text{ m} / \text{min} \times 1.5 \text{ kW}$ スクリーンかす脱水機 (スクリュープレス式) $2 \text{ t} / \text{h} \times 7.5 \text{ kW} + 0.4 \text{ kW}$ No.3スクリーンかす搬出機 (ワイヤーロープ式スキップホイスト) $0.2 \text{ m}^3 \times 2.2 \text{ kW}$ スクリーンかすホッパー (角形電動開閉式) 容量 $7 \text{ m}^3 \times 1.5 \text{ kW} \times 2$ ポンプ井水中攪拌機 (フリクト水中ミキサー) $9 \text{ m}^3 / \text{min} \times 2 \text{ kW}$ 攪拌能力 100 m^3 汚水ポンプ (立軸渦巻斜流ポンプ) $\phi 400 \times 21 \text{ m}^3 / \text{min} \times 17.5 \text{ m} \times 90 \text{ kW}$ $\phi 600 \times 41 \text{ m}^3 / \text{min} \times 16.5 \text{ m} \times 160 \text{ kW}$	2 水路 2 門 1 台 2 基 2 基 2 基 1 台 1 台 1 基 1 基 1 台 1 基 1 基 1 基 2 台 2 台 (予備 1 台)
分水槽設備	幅6.8m×長7.5m×深 約4.05m 約206.55 m^3 分配槽可動堰 (鋳鉄製外ネジ式可動堰) 幅0.8m×高0.8m (ストローク) 0.8m 幅1.0m×高0.8m (ストローク) 0.8m	1 槽 4 門 1 門
最初沈殿池 設備	幅 5 m×長19m×深 3 m×4 水路 1,140 m^3 (1 池当たり) 初沈汚泥掻寄機 (チェーンフライト式 (ノッチ式)) 幅5.0m×機長14.7m× $0.61 \text{ m} / \text{min} \times 0.4 \text{ kW}$ (1 水路 1 駆動) 初沈汚泥掻寄機 (メイン) (フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅5.0m×2×機長14.65m× $0.6 \text{ m} / \text{min} \times 0.75 \text{ kW}$ (2 水路 1 駆動) 幅5.0m×2×機長14.5m× $0.6 \text{ m} / \text{min} \times 0.75 \text{ kW}$ (2 水路 1 駆動) 初沈汚泥掻寄機 (クロス) (フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅3.7m×機長15.85m× $0.6 \text{ m} / \text{min} \times 0.4 \text{ kW}$ (1 水路 1 駆動) 幅3.7m×機長15.7m× $0.6 \text{ m} / \text{min} \times 0.4 \text{ kW}$ (1 水路 1 駆動) スカムスキマー (電動回転パイプスキマー) $\phi 300 \times 4,600 \text{ mm} \times 0.2 \text{ kW}$ (1 水路 1 駆動) $\phi 300 \times 4,550 \text{ mm} \times 0.2 \text{ kW}$ (1 水路 1 駆動) 生汚泥ポンプ (スクリュウ型汚泥ポンプ) $\phi 100 \times 1 \text{ m}^3 / \text{min} \times 11 \text{ m} \times 3.7 \text{ kW}$	4 池 4 基 2 基 4 基 1 基 2 基 4 基 12 基 2 台 (予備 1 台)

IV 釜無川流域下水道

設備名称	構造及び能力	現有設備
反応タンク設備	幅10.3m×長56.7m×深5.5m 3,116m ³ (1池当たり) (ステップエアレーション可)	8 池
	No.1-1反応タンク水中ミキサー(昇降式水中ミキサー) 2.8kW	2 台
	No.1-1反応タンク散気装置 全面式散気装置(固定式散気板) 酸素供給量2,370kg O ₂ /日・池	60 枚
	No.1-2反応タンク散気装置 水中機械曝気機(軸流オープン型) 送風量6.25Nm ³ /min×5.5kW	2 台
	全面式散気装置(固定式散気板) 散気量30~50L/min/枚	360 枚
	No.2-1反応タンク散気装置 水中機械曝気機(軸流オープン型) 送風量6.0Nm ³ /min×5.5kW	2 台
	全面式散気装置(固定式散気板) 散気量30~50L/min/枚	360 枚
	No.2-2反応タンク散気装置 水中機械曝気機(軸流オープン型) 送風量6.0Nm ³ /min×5.5kW	2 台
	全面式散気装置(固定式散気板) 散気量30~50L/min/枚	360 枚
	No.3-1~No.4-2反応タンク散気装置 水中機械曝気機(軸流オープン型) 送風量4.1Sm ³ /min×5.5kW 送風量4.0Sm ³ /min×5.5kW	1台×4池 2台×4池
	全面式散気装置(固定式散気板) 酸素供給量56kg O ₂ /h・槽	78枚×4池
	消泡水ポンプ(渦巻ポンプ) φ80/φ65×0.6m ³ /min×34m×7.5kW φ125/φ100×1.8m ³ /min×32m×18.5kW	2 台 1 台
送風機設備	送風機(単段増速ターボブロワ) φ250/φ200×69m ³ /min×58.7kPa×110kW	2 台
	φ350/φ300×140m ³ /min×63.6kPa×220kW	1 台 (予備1台)
	φ350/φ300×140m ³ /min×66.6kPa×220kW	1 台

IV 釜無川流域下水道

設 備 名 称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
最終沈殿池 設 備	幅5m×長37m×深3m×4水路 2,220m ³ (1池当たり) 終沈汚泥掻寄機 (ノッチチェーン式) 幅5.0m×機長32.6m×0.3m/min×0.4kW (1水路1駆動) 終沈汚泥掻寄機(メイン) (フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅5.0m×機長32.6m×0.3m/min×0.4kW (1水路1駆動) 幅5.0m×2×機長32.2m×0.3m/min×0.75kW (2水路1駆動) 幅5.0m×2×機長32.7m×0.3m/min×0.75kW (2水路1駆動) 終沈汚泥掻寄機(クロス) (フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅3.7m×機長15.25m×0.3m/min×0.4kW (1水路1駆動) 幅3.7m×機長15.7m×0.3m/min×0.4kW (1水路1駆動) スカムスキマー (電動回転パイプスキマー) φ300×4,550mm×0.2kW (1水路1駆動) 返送汚泥ポンプ (吸込スクリュウ付汚泥ポンプ) φ150×3.3m ³ /min×4m×5.5kW φ250×6.5m ³ /min×4m×7.5kW φ250×6.5m ³ /min×4m×11kW 余剰汚泥ポンプ (吸込スクリュウ付汚泥ポンプ) φ100×1m ³ /min×12m×5.5kW φ100×1m ³ /min×15m×5.5kW	4 池 3 基 1 基 2 基 4 基 1 基 2 基 16 基 2 台 3 台 (予備2台) 4 台 (予備2台) 2 台 (予備1台) 4 台 (予備1台)
塩 素 滅 菌 設 備	塩素混和池 幅4m×53m×3m 636m ³ (1池当たり) 次亜塩注入ポンプ (一軸偏心ねじマグネットカップリング式ポンプ) φ15×(0.0181~1.77) L/min×0.2MPa×0.4kW 次亜塩注入ポンプ (ダイヤフラム制御定量式) φ25×(~2.21) L/min×0.5MPa×0.2kW 砂ろ過次亜塩注入ポンプ (一軸偏心ねじマグネットカップリング式ポンプ) φ15×(0.0032~0.290) L/min×0.2MPa×0.4kW 次亜塩貯留タンク 容量 3m ³ 容量 10m ³	1 池 1 台 2 台 (予備1台) 1 台 1 基 1 基
用 水 設 備	給水系圧力給水ユニット (加圧式自動給水ポンプユニット) 最大使用量3.0m ³ /min×使用圧力0.33~0.45MPa×18.5kW×2 散水系圧力給水ユニット (加圧式自動給水ポンプユニット) 最大使用量1.7m ³ /min×使用圧力0.33~0.48MPa×11kW×2 砂ろ過水槽 幅6.8m×長7.95m×深 約3.8m 約205m ³ (1槽当たり) 砂ろ過塔 (移床式上向流連続砂ろ過器) 800m ³ /日 原水送水ポンプ (片吸込渦巻ポンプ) φ80/φ65×0.84m ³ /min×15m×3.7kW	1 台 1 台 2 槽 2 塔 3 台 (予備1台)
放 流 設 備	放流ポンプ (立軸斜流ポンプ) φ400×21m ³ /min×4.5m×30kW φ600×41m ³ /min×4.5m×45kW 制水門 (鋼板製スライドゲート) 幅1.8m×高0.9m	2 台 2 台 (予備1台) 2 門
脱 臭 設 備	スクリーンポンプ棟脱臭ファン (耐蝕ターボファン) φ375×55m ³ /min×2.5kPa×5.5kW スクリーンポンプ棟活性炭吸着塔 (FRP製上向流式角形吸着塔) カートリッジ式三層吸着 110m ³ /min	2 台 1 塔

IV 釜無川流域下水道

表 4-6 釜無川浄化センター汚泥処理機械設備概要

設備名称	構造及び能力	現有設備
重力濃縮設備	重力濃縮タンク φ10m×深 約4m 約314m ³ (1槽当たり)	2 槽
	汚泥掻寄機 (円形中央駆動懸垂式) φ10m×水深4m×周速度2.0m/min×0.4kW	2 基
	汚泥スクリーン (回転ドラム式スクリーン) 1 m ³ /min×0.4kW	1 基
	スクリーンかす脱水機 (スクリュープレス式) 処理能力 0.25 t/h×2.2kW+0.4kW	1 基
	スクリーンかすホッパー (電動開閉式鋼鉄製) 容量 2.0m ³ ×0.75kW×2	1 基
	濃縮汚泥移送ポンプ (一軸偏心ねじポンプ) φ125×0.4m ³ /min×20m×5.5kW	2台 (予備1台)
機械濃縮設備	汚泥スクリーン (回転ドラム式スクリーン) 処理能力 120m ³ /h×0.75kW	1 基
	スクリーンかす脱水機 (スクリュープレス式) 処理量0.25 t/h×2.2kW+0.4kW	1 基
	スクリーンかす搬出機 (傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長3.3m×0.85m 輸送量36 t/h×20.5m/min×1.5kW	1 基
	遠心濃縮機 (横軸連続遠心濃縮機) 処理能力25m ³ /h×45kW/7.5kW	3基 (予備1基)
	濃縮機給泥ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) φ150×(12.5~37.5) m ³ /h×20m×15kW	3台 (予備1台)
	濃縮汚泥移送ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) φ150×25m ³ /h×10m×5.5kW	2台 (予備1台)
	余剰汚泥受槽 幅6m×長5m×深 約2.5m 約75m ³ (1槽当たり)	1 槽
	余剰汚泥受槽攪拌機 (立軸2段パドル形) 5.5kW	1 基
	濃縮汚泥受槽 幅6m×長5m×深 約2.5m 約75m ³ (1槽当たり)	3 槽
	濃縮汚泥受槽攪拌機 (立軸2段パドル形) 7.5kW	3 基
脱水設備	混合汚泥受槽 φ5m×深 約2.135m 約42m ³ (1槽当たり)	1 槽
	幅6m×長8m×深 約2.5m 約120m ³ (1槽当たり)	1 槽
	混合汚泥受槽攪拌機 (立軸2段パドル形) 5.5kW	1 基
	11kW	1 基
	汚泥脱水機給泥ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) φ100×(7.5~22.5) m ³ /h×20m×5.5kW	2台 (予備1台)
	遠心汚泥脱水機 (横型遠心脱水機) 処理能力15m ³ /h×55kW/22kW	1 基
	遠心汚泥脱水機 (直胴型遠心脱水機) 処理能力15m ³ /h×30kW/7.5kW	1 基
	No.1 ケーキ搬出機 (水平トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長3.0m 輸送量36t/h×1.5kW	1 台
	No.2 ケーキ搬出機 (水平トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長4.3m 輸送量36t/h×1.5kW	1 台
	No.3 ケーキ搬出機 (傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長7.0m×1.1m 輸送量36t/h×1.5kW	1 台

IV 釜無川流域下水道

設備名称	構造及び能力	現有設備
脱水設備	No.4 ケーキ搬出機（傾斜トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長17.5m×3.6m 輸送量36t/h×1.5kW	1 台
	No.5 ケーキ搬出機（傾斜トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長28.1m×5.5m 輸送量38t/h×3.7kW	1 台
	No.6 ケーキ搬出機（傾斜トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長3.0m×0.78m 輸送量36t/h×1.5kW	1 台
	No.7 ケーキ搬出機（水平トラフ形ベルトコンベヤ） 幅600mm×長4.0m 輸送量36t/h×0.75kW	1 台
	脱水ケーキホッパー（鋼板製角形カットゲート） 容量 10m ³	2 基
	薬品定量供給機（容積式定量フィーダー） 1～4 L/min×0.4kW	2 台
	薬品溶解タンク（鋼板製立円筒立形） 容量 8 m ³	2 基
	薬品溶解タンク用攪拌機（立軸2段プロペラ形） 3.7kW	2 台
	薬品供給ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ50×19～58 L/min×20m×1.5kW	2 台（予備1台）
脱臭設備	汚泥濃縮棟	
	脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ200×20m ³ /min×3.1kPa×3.7kW	1 台
	生物脱臭塔（FRP製充填式生物脱臭塔） 処理風量 20m ³ /min	1 塔
	活性炭吸着塔（FRP製上向流式角形吸着塔） 処理風量 20m ³ /min	1 塔
	汚泥棟	
	脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ300×40m ³ /min×2.5kPa×3.7kW	2 台
	φ450×80m ³ /min×1.96kPa×5.5kW	1 台
	活性炭吸着塔（カートリッジ式三層吸着塔） 処理風量 80m ³ /min	1 塔
	生物脱臭塔（FRP製充填式生物脱臭塔） 処理風量 80m ³ /min	1 塔
その他設備	トラックスケール（マルチロードセル方式） 秤量30t 幅3,000mm×長12,000mm	1 基

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－7 釜無川浄化センター電気設備概要

設 備 名 称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6, 600 V／50Hz×1 回線 受電設備容量 4, 668kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7, 200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12. 5kA	1 式
変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 プラント設備用 3 φ 3 W×6, 600 V／420 V×750kVA 3 φ 3 W×6, 600 V／420 V×500kVA 3 φ 3 W×6, 600 V／420 V×300kVA 3 φ 3 W×6, 600 V／420 V×200kVA 建築付帯動力用 3 φ 3 W×6, 600 V／210 V×200kVA 3 φ 3 W×6, 600 V／210 V×100kVA 電灯用 1 φ 3 W×6, 600 V／210 V－105 V×200kVA 1 φ 3 W×6, 600 V／210 V－105 V×50kVA	1 台 3 台 3 台 2 台 1 台 1 台 1 台 2 台
高圧進相コンデンサ	3 φ 3 W×6, 600 V×50kvar 3 φ 3 W×6, 600 V×40kvar 3 φ 3 W×6, 600 V×25kvar	2 台 2 台 1 台
直 流 電 源 装 置	管 理 本 館 100Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
交流無停電電源装置	管 理 本 館 400Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池 終沈電気室 200Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池 汚 泥 棟 150Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式 1 式 1 式
非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 772kW(1, 050PS) 3 φ 3 W×6, 600 V×875kVA 始動用直流電源装置 500Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池 500Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	2 台 1 式 1 式
中 央 監 視 設 備	場内系監視装置 場外系監視装置 プリンタ ハードコピー E N S 装置	3 台 2 台 3 台 1 台 2 台
遠 方 監 視 制 御 設 備	ポンプ場用コントローラ テレメータ・テレコントロール装置（親局） 帯域品目3. 4kHz×4 線式 保守用電話切替式 テレメータ装置（親局） 帯域品目3. 4kHz×2 線式 保守用電話切替式 符号品目 50 b／s×2 線式	2 台 6 台 8 台 3 台
付 帯 設 備	構内電話設備 屋内消火栓設備 自動火災警報設備 非常放送設備 T V 共聴設備 気象観測設備（雨量、風向風速） エレベーター設備	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式

IV 釜無川流域下水道

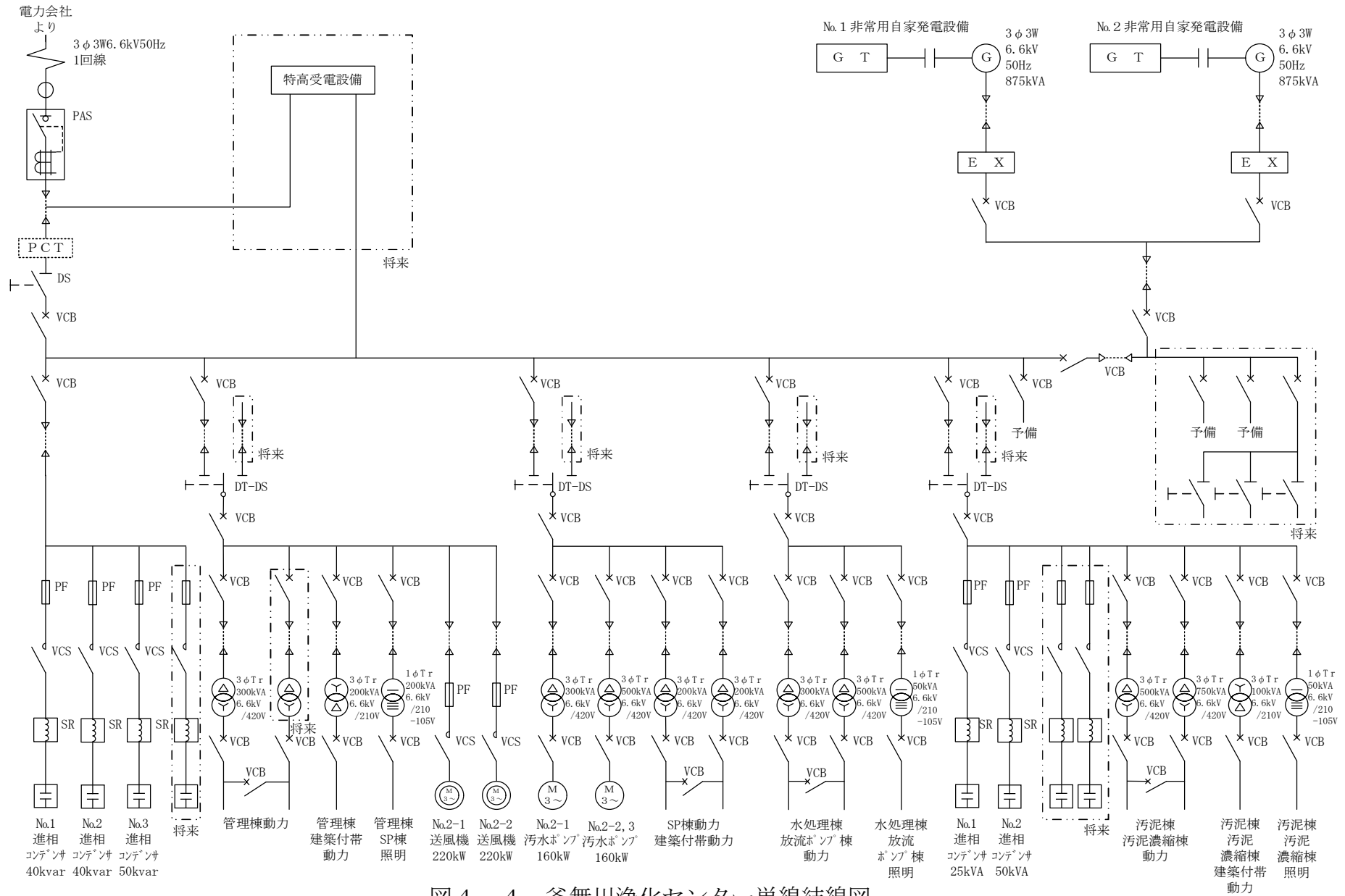


図 4-4 釜無川浄化センター単線結線図

IV 釜無川流域下水道

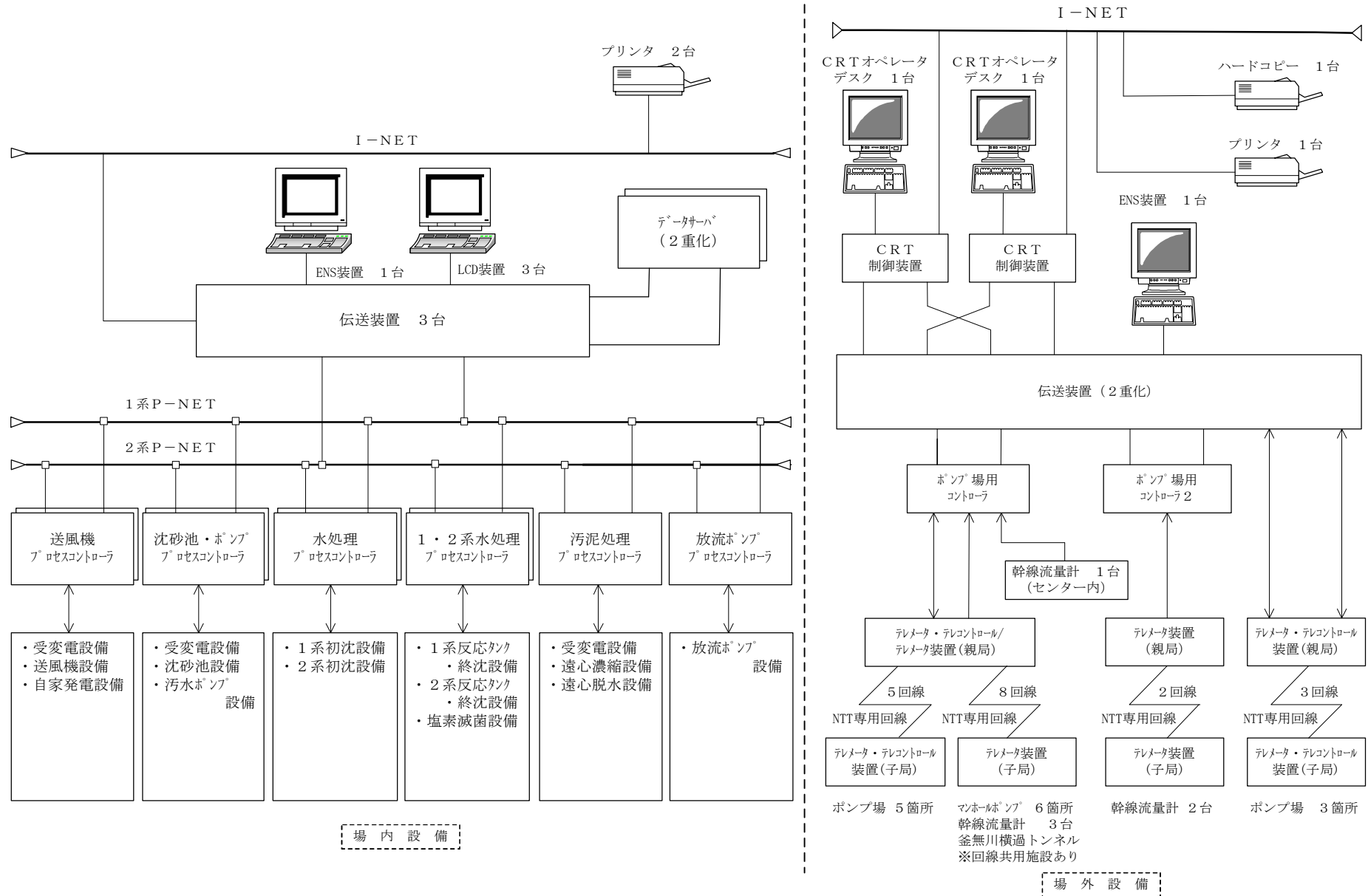


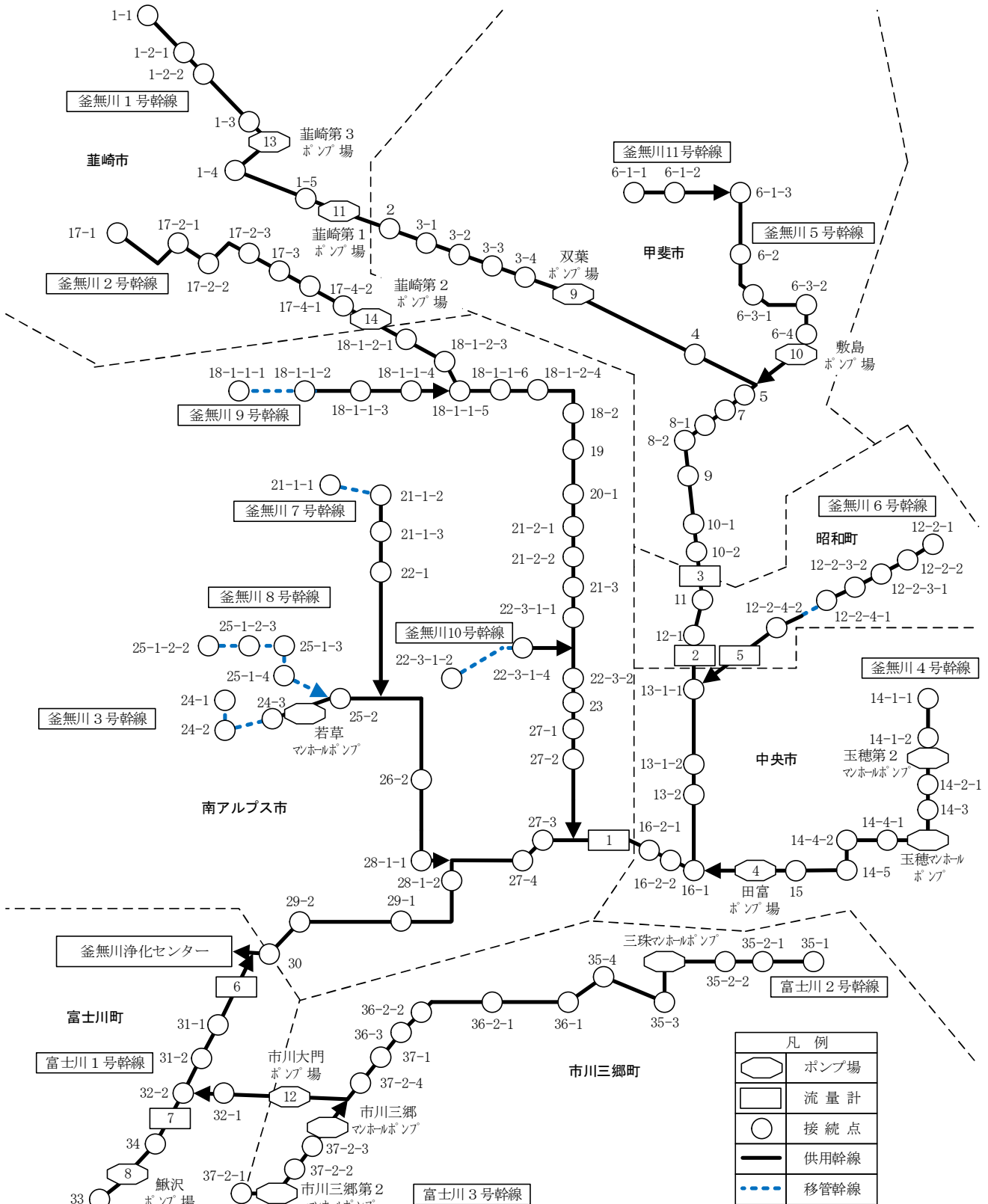
図4-5 釜無川浄化センターシステム系統図

IV 釜無川流域下水道

②中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計

中継ポンプ場は、全体計画8箇所全てが整備されており、幹線は、全体計画延長77.0km全てが供用開始している。また、中継ポンプ場の流量計を含めた幹線流量計設置数は14箇所となっている。

流域幹線系統図を図4-6に、流域関連公共下水道接続概要を表4-8に、中継ポンプ場の建築構造物概要を表4-9に、機械設備概要を表4-10に、電気設備概要を表4-11に、単線結線図を図4-7～図4-14に、幹線概要を表4-12に、幹線付帯設備概要を表4-13に、幹線流量計測設備概要を表4-14に示す。



※釜無川3号、7号、9号及び10号幹線の一部並びに釜無川8号幹線の全部は南アルプス市に移管済み、釜無川6号幹線の一部は昭和町から移管予定。

図4-6 流域幹線系統図

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－8 流域関連公共下水道接続概要

幹線名称	処理分区名	供用開始年月日	処理区域 面積 (ha)	処理区域内 人口 (人)	接続市町名
釜無川 1 号幹線	第 1－1	平成 11 年 3 月 31 日	38.36	1,077	韮崎市
	第 1－2－1		48.79	1,614	
	第 1－2－2		38.08	790	
	第 1－3	平成 8 年 4 月 1 日	82.95	1,752	
	第 1－4		229.80	4,692	
	第 1－5		73.72	1,287	
	第 2	平成 9 年 5 月 1 日	60.68	1,401	甲斐市
	第 3－1		27.31	848	
	第 3－2	平成 7 年 10 月 1 日	51.27	1,641	
	第 3－3		51.54	2,033	
	第 3－4	平成 18 年 3 月 31 日	36.76	662	
	第 4	平成 9 年 4 月 1 日	114.56	5,172	
	第 5	平成 14 年 3 月 29 日	27.72	1,197	
	第 7	平成 12 年 3 月 31 日	41.46	2,221	
	第 8－1	平成 6 年 4 月 1 日	8.47	220	
	第 8－2		129.78	5,138	
	第 9	平成 11 年 4 月 1 日	21.19	990	
	第 10－1	平成 5 年 4 月 1 日	229.81	11,665	
	第 10－2		122.87	5,900	
	第 11	平成 7 年 3 月 31 日	75.94	1,118	昭和町
	第 12－1－1	平成 5 年 4 月 1 日	53.30	2,734	
	第 13－1－1	平成 25 年 6 月 30 日	40.45	62	中央市
	第 13－1－2	平成 5 年 4 月 1 日	140.45	5,946	
	第 13－2	平成 6 年 4 月 1 日	15.82	529	
	第 16－1	平成 8 年 4 月 1 日	40.03	1848	
	第 16－2－1	平成 29 年 6 月 30 日	10.45	547	
	第 16－2－2	平成 16 年 3 月 17 日	33.36	1,200	南アルプス市
	第 27－3	平成 12 年 3 月 31 日	26.80	1,850	
	第 27－4	平成 11 年 4 月 1 日	24.03	931	
	第 28－1－2	平成 26 年 4 月 1 日	19.87	341	
	第 29－1	平成 17 年 3 月 31 日	46.88	1,170	
	第 29－2	平成 5 年 4 月 1 日	254.30	6,867	
	第 30	平成 11 年 4 月 1 日	5.00	37	富士川町
	第 30	平成 5 年 4 月 1 日	86.99	2,088	
釜無川 2 号幹線	第 17－1	平成 19 年 3 月 31 日	15.25	634	韮崎市
	第 17－2－1		7.23	284	
	第 17－2－2		58.44	1,445	
	第 17－2－3		22.17	413	
	第 17－3		26.90	883	
	第 17－4－1		0.20	3	
	第 17－4－2	平成 20 年 3 月 31 日	233.14	3,859	南アルプス市
	第 18－1－1－5	平成 13 年 3 月 31 日	10.31	251	
	第 18－1－1－6		2.20	8	
	第 18－1－2－1	平成 23 年 4 月 1 日	6.29	62	
	第 18－1－2－3	平成 14 年 9 月 1 日	37.00	1,419	
	第 18－1－2－4	平成 13 年 3 月 31 日	15.31	497	
	第 18－2	平成 10 年 4 月 1 日	13.84	326	
	第 19		58.71	1,706	
	第 20－1	平成 12 年 6 月 30 日	16.32	799	
	第 21－2－1	平成 16 年 3 月 31 日	36.41	1,197	
	第 21－2－2	平成 15 年 3 月 25 日	38.54	1,063	
	第 21－3	平成 14 年 3 月 31 日	23.82	489	
	第 22－3－1－1	令和 7 年 1 月 20 日	11.10	26	
	第 22－3－2	平成 24 年 4 月 1 日	32.13	909	
	第 23	平成 31 年 3 月 31 日	11.29	136	
	第 27－1	平成 17 年 3 月 31 日	10.99	467	
	第 27－2	平成 12 年 3 月 31 日	4.23	230	
釜無川 3 号幹線	第 24－3	平成 8 年 4 月 1 日	154.68	6,217	南アルプス市
	第 25－2	平成 8 年 4 月 1 日	160.03	3,430	
	第 26－2	平成 7 年 4 月 1 日	134.37	5,780	

Ⅳ 釜無川流域下水道

幹線名称	処理区分名	供用開始年月日	処理区域面積 (ha)	処理区域人口 (人)	接続市町名
釜無川3号幹線	第28-1-1	平成8年8月1日	20.57	787	南アルプス市
釜無川4号幹線	第14-1-1	平成16年9月1日	42.06	1,981	昭和町
	第14-1-1	平成10年4月1日	36.97	2,185	中央市
	第14-1-2		17.48	594	
	第14-2-1	平成16年3月31日	17.82	582	
	第14-3	平成9年4月1日	15.68	8	
	第14-4-1	平成7年4月1日	5.92	76	
	第14-4-2	平成17年3月31日	104.10	3,056	
	第14-5	平成7年4月1日	49.78	309	
釜無川5号幹線	第15	平成7年4月1日	82.08	4,567	甲斐市
	第6-2	平成12年3月31日	42.17	2,257	
	第6-3-1	平成7年10月1日	34.93	1,720	
	第6-3-2		146.96	7,905	
釜無川6号幹線※1	第6-4		8.43	560	昭和町
	第12-1-2	平成5年4月1日	8.70	747	
	第12-1-2	平成5年4月1日	9.57	360	
	第12-2-1	平成16年3月31日	31.46	1,541	
	第12-2-1	平成10年10月1日	161.30	6,236	
	第12-2-2		25.80	543	
	第12-2-3-1	平成16年9月1日	35.09	653	
	第12-2-3-2	平成25年9月1日	39.34	1,082	
	第12-2-3-1	平成18年3月31日	15.50	1,257	
	第12-2-4-1	令和4年8月18日	4.57	39	
釜無川7号幹線	第12-2-4-2	平成5年4月1日	71.74	2,541	昭和町
	第21-1-2	平成10年4月1日	124.79	3,011	南アルプス市
	第21-1-3		72.23	1,925	
釜無川9号幹線	第22-1	平成22年4月1日	1.30	16	
	第18-1-1-2	平成19年4月1日	43.84	1,271	南アルプス市
	第18-1-1-3	平成16年3月31日	39.94	1,259	
釜無川10号幹線	第18-1-1-4	平成14年9月1日	17.04	634	
	第22-3-1-4	平成26年4月1日	39.63	1,080	南アルプス市
釜無川11号幹線	第6-1-1	平成19年3月31日	60.07	2,263	甲斐市
	第6-1-2	平成23年3月31日	18.39	1,136	
	第6-1-3	平成19年3月31日	54.68	2,425	
富士川1号幹線	第31-1	平成5年4月1日	44.50	1,337	富士川町
	第31-2	平成6年4月1日	55.09	1,736	
	第32-2	平成8年4月1日	146.93	4,034	
	第33	平成8年6月1日	59.72	1,329	
	第34	平成7年4月1日	19.90	785	
富士川2号幹線	第32-1	平成26年3月31日	1.80	0	富士川町
	第35-1	平成20年4月1日	0.70	3	中央市
	第35-1	平成14年3月29日	79.73	921	市川三郷町
	第35-2-1	平成11年11月1日	15.50	327	
	第35-2-2		11.70	214	
	第35-3	平成10年4月1日	87.70	1,887	
	第35-4	平成11年4月1日	0.91	17	
	第36-1	平成9年11月1日	11.18	658	
	第36-2-1	平成13年3月31日	3.90	100	
	第36-2-2	平成9年11月1日	65.10	1,638	
	第36-3		72.81	2,191	
	第37-1	平成14年3月31日	35.46	1,303	
	第37-2-4	平成13年3月31日	11.68	418	
富士川3号幹線	第37-2-1	平成19年3月31日	12.60	293	富士川町
	第37-2-1	平成27年3月31日	1.80	124	市川三郷町
	第37-2-2	平成19年3月31日	20.81	353	
	第37-2-3	平成18年3月31日	8.82	172	

※処理区域内面積及び人口は、令和8年4月1日現在の値を示す。

※1 釜無川6号幹線の一部は昭和町から移管予定。

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－9 中継ポンプ場建築構造物概要

ポンプ場名称	構 造 及 び 概 要
葦 崎 第 1 ポ ン プ 場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 189m ² 延床面積 657m ² 沈砂池機械室、自家発電機室、脱臭機室、ゲート室、電気室、換気機械室、その他
葦 崎 第 2 ポ ン プ 場	R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 250m ² 延床面積 363m ² 沈砂機械室、自家発電機室、脱臭機室、電気室、換気機械室、その他
葦 崎 第 3 ポ ン プ 場	R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 187m ² 延床面積 458m ² スクリーン室、自家発電機室、脱臭機室、ゲート室、電気室、その他
双 葉 ポ ン プ 場	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 362m ² 延床面積 673m ² ポンプ室、自家発電機室、スクリーン室、換気ファン室、電気室、その他
敷 島 ポ ン プ 場	R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 314m ² 延床面積 507m ² ポンプ室、スクリーン室、電気室、自家発電機室、換気ファン室、その他
田 富 ポ ン プ 場	R C 造 地下 2 階、地上 1 階 建築面積 336m ² 延床面積 714m ² 沈砂池機械室、自家発電機室、ゲート室、電気室、換気機械室、その他
市 川 大 門 ポ ン プ 場	R C 造 地下 2 階、地上 2 階 建築面積 327m ² 延床面積 1,190m ² ポンプ室、沈砂池機械室、自家発電機室、ゲート室、電気室、脱臭換気機械室、換気機械室、その他

IV 釜無川流域下水道

表 4-10 中継ポンプ場機械設備概要

ポンプ場名称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
葦 崎 第 1 ポ ン プ 場	流入ゲート（角形外ねじ式） $0.4\text{m} \times 0.6\text{m} \times 0.75\text{kW}$ 細目スクリーン自動除塵機（裏がき連続式） $\text{幅 } 1\text{m} \times \text{深 } 2.5\text{m} \times \text{目幅 } 20\text{mm} \times 3\text{m} / \text{min} \times 0.4\text{kW}$ し渣搬出機（トラフ形ベルトコンベヤ） $\text{幅 } 500\text{mm} \times \text{長 } 7\text{m} \quad \text{輸送量 } 20\text{m} / \text{min} \times 1.5\text{kW}$ し渣脱水機（スクリュープレス式） $\text{処理能力 } 0.25\text{t} / \text{h} \times 2.2\text{kW} + 0.4\text{kW}$ 揚砂ポンプ（水中ポンプ） $\phi 80 \times 0.8\text{m}^3 / \text{min} \times 19\text{m} \times 7.5\text{kW}$ 沈砂分離機（円筒式満流形） $\text{処理能力 } 0.8\text{m}^3 / \text{min}$ 汚水ポンプ（吸込スクリュウ付水中汚水ポンプ） $\phi 200 \times 3.9\text{m}^3 / \text{min} \times 14.5\text{m} \times 22\text{kW}$ $\phi 250 \times 6.6\text{m}^3 / \text{min} \times 14.5\text{m} \times 30\text{kW}$ 排泥ポンプ（吸込スクリュウ付水中汚水ポンプ） $\phi 80 \times 0.5\text{m}^3 / \text{min} \times 12\text{m} \times 3.7\text{kW}$ 脱臭ファン（FRP製ターボファン） $\phi 210 \times 23\text{m}^3 / \text{min} \times 2.0\text{kPa} \times 2.2\text{kW}$ 活性炭吸着塔（立型活性炭吸着塔） $\text{処理風量 } 23\text{m}^3 / \text{min}$ 水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 2.0kW	2 門 1 基 1 基 1 基 1 台 1 基 2 台 1 台（予備 1 台） 1 台 1 台 1 塔 2 台
葦 崎 第 2 ポ ン プ 場	流入ゲート（外ねじ式） $0.4\text{m} \times 0.6\text{m} \times 0.75\text{kW}$ 粗目スクリーン $\text{幅 } 0.8\text{m} \times \text{深 } 2.4\text{m} \times \text{目幅 } 100\text{mm}$ バイパス水路スクリーン $\text{幅 } 0.8\text{m} \times \text{深 } 2.6\text{m} \times \text{目幅 } 40\text{mm}$ しさ破碎机（回転スクリーン付 2 軸差動回転式破碎机） $\text{破碎容量 } 10.5\text{m}^3 / \text{min} \times 2.2\text{kW} + 0.4\text{kW}$ 汚水ポンプ（吸込スクリュウ付水中汚水ポンプ） $\phi 200 \times 4.5\text{m}^3 / \text{min} \times 23\text{m} \times 37\text{kW}$ $\phi 200 \times 5.3\text{m}^3 / \text{min} \times 24.5\text{m} \times 45\text{kW}$ 脱臭ファン（耐食性片吸込ターボファン） $\phi 225 \times 11\text{m}^3 / \text{min} \times 2.16\text{kPa} \times 1.5\text{kW}$ 活性炭吸着塔（立型カートリッジ式） $\text{処理風量 } 11\text{m}^3 / \text{min}$	2 門 1 基 1 基 1 基 2 台 1 台（予備 1 台） 1 台 1 塔
葦 崎 第 3 ポ ン プ 場	流入ゲート（外ねじ式） $0.6\text{m} \times 0.6\text{m} \times 0.75\text{kW}$ 粗目スクリーン $\text{幅 } 0.9\text{m} \times \text{深 } 2\text{m} \times \text{目幅 } 100\text{mm}$ 破碎机（立形二軸差動回転式） $\text{破碎容量 } 3.2\text{m}^3 / \text{min} \times 3.7\text{kW}$ 汚水ポンプ（吸込スクリュウ付水中汚水ポンプ） $\phi 200 \times 3.2\text{m}^3 / \text{min} \times 9.0\text{m} \times 11\text{kW}$	2 門 2 基 1 基 2 台（予備 1 台）

Ⅳ 釜無川流域下水道

ポンプ場名称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
葦 崎 第 3 ポ ン プ 場	脱臭ファン（F R P製ターボファン） φ 225×12m ³ /min×2.06kPa×1.5kW 活性炭吸着塔（立型カートリッジ式） 処理風量 12m ³ /min 水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 0.9kW	1 台 1 塔 1 台
双 葉 ポ ン プ 場	流入ゲート（角形外ねじ式） 0.4m×0.4m 細目スクリーン除塵機（間欠式） 幅1.5m×深4.5m×目幅30mm×1.5kW スクリーンかす搬出機（トラフ形ベルトコンベヤ） 幅500mm×長7m 輸送量20m ³ /min×0.75kW 揚砂ポンプ（水中ポンプ） φ 80×0.5m ³ /min×20m×3.7kW 沈砂分離機（円筒式満流形） 処理能力 0.5m ³ /min スクリーンかす脱水機（スクリュースプレス式） 処理能力 0.3m ³ /h×2.2kW 汚水ポンプ（横軸吸込スクリュース付汚水ポンプ） φ 250/φ 150×5.5m ³ /min×62m×132kW φ 300/φ 250×10m ³ /min×62m×190kW 脱臭ファン（F R P製ターボファン） φ 300×22m ³ /min×2.0kPa×2.2kW 活性炭吸着塔（立型カートリッジ式） 処理風量 22m ³ /min 水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 2.0kW 1.5kW	2 門 1 基 1 基 1 台 1 基 1 基 2 台 1 台（予備1台） 1 台 1 塔 1 台 1 台
敷 島 ポ ン プ 場	流入ゲート（角形外ねじ式） 0.4m×0.6m×0.75kW 細目スクリーン除塵機（間欠式） 幅 1 m×深2.2m×目幅30mm×1.5kW スクリーンかす搬出機（トラフ形ベルトコンベヤ） 幅500mm×長8.1m×1.5m 輸送量20.5m ³ /min×1.5kW 揚砂ポンプ（水中サンドポンプ） φ 80×0.5m ³ /min×10m×3.7kW 沈砂・スクリーンかす洗浄機（機械攪拌式） 処理能力 0.5m ³ /h×3.7kW+0.75kW+0.75kW×2 スクリーンかす脱水機（スクリュースプレス式） 処理能力 0.3m ³ /h×2.2kW 汚水ポンプ（水中汚水ポンプ） φ 200×3.3m ³ /min×11m×15kW φ 250×6.0m ³ /min×11m×18.5kW 脱臭ファン（F R P製ターボファン） φ 300×24m ³ /min×2.0kPa×2.2kW 活性炭吸着塔（横型カートリッジ式） 処理風量 24m ³ /min	2 門 1 基 1 基 1 台 1 基 1 基 2 台 1 台（予備1台） 1 台 1 塔

Ⅳ 釜無川流域下水道

ポンプ場名称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
敷 島 ポ ン プ 場	水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 1.5kW 2.0kW	1 台 1 台
田 富 ポ ン プ 場	流入ゲート（外ねじ式） 0.5m×0.5m×0.75kW 粗目スクリーン 幅1m×深1.7m×目幅75mm 自動除塵機（脱水機構付ドラム状自動スクリーン） 外径φ0.78m×長6.2m×目幅25mm×1.5kW 揚砂ポンプ（水中サンドポンプ） φ80×0.5m ³ /min×15m×5.5kW 洗砂分離機（円筒式満流形） 処理能力 0.5m ³ /min 污水ポンプ（吸込スクリュウ付水中污水ポンプ） φ200×4.3m ³ /min×18m×30kW 污水ポンプ（水中污水ポンプ） φ250×6.3m ³ /min×30m×55kW 脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ200×16m ³ /min×1.96kPa×2.2kW 活性炭吸着塔（立型カートリッジ式） 処理風量 16m ³ /min	2 門 2 基 1 基 1 台 1 台 2 台 1 台（予備 1 台） 1 台 1 塔
鰯 沢 ポ ン プ 場	污水ポンプ（水中污水スクリュウ渦巻ポンプ） φ150×2.4m ³ /min×23m×22kW	2 台（予備 1 台）
市 川 大 門 ポ ン プ 場	流入ゲート（外ねじ式） 0.5m×0.75m×0.4kW 細目スクリーン除塵機（間欠式） 幅1m×深2.3m×目幅20mm×1.5kW スクリーンかす搬出機（トラフ形ベルトコンベヤ） 幅500mm×長8.3m 輸送量20.5m ³ /min×1.5kW 揚砂ポンプ（水中サンドポンプ） φ80×0.5m ³ /min×8m×2.2kW 沈砂・スクリーンかす洗浄機（機械攪拌式） 処理能力 1 m ³ /h×2.2kW+1.5kW+0.75kW スクリーンかす脱水機（スクリュウプレス式） 処理能力 1 m ³ /h×5.5kW+0.4kW 污水ポンプ（横軸吸込スクリュウ付污水ポンプ） φ250/φ200×6.2m ³ /min×29m×75kW 脱臭ファン（FRP製ターボファン） φ300×25m ³ /min×2.0kPa×3.7kW 活性炭吸着塔（立型カートリッジ式） 処理風量 25m ³ /min 水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機） 1.2kW	2 門 1 基 1 基 1 台 1 基 1 基 2 台（予備 1 台） 1 台 1 塔 1 台

IV 釜無川流域下水道

表 4-1-1 中継ポンプ場電気設備概要

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
葦 崎 第 1 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V/50Hz×1 回線 受電設備容量 200kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V/420V×200kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420V×10kVA 3 φ 3 W×420V×15kVA	1 台 1 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×9セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 179kW(243PS) 3 φ 3 W×420V×200kVA 始動用直流電源装置 200Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式
葦 崎 第 2 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V/50Hz×1 回線 受電設備容量 300kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V/210V×300kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×210V×10kvar	1 台
	交流無停電 電 源 装 置	ミニUPS 2kVA	1 台
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 221kW(301PS) 3 φ 3 W×210V×200kVA 始動用直流電源装置 150Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置 (子局) 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

IV 釜無川流域下水道

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
葦 崎 第 3 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V／50Hz×1 回線 受電設備容量 100kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V／210V×100kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×210V×5 kvar	2 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 107kW(145PS) 3 φ 3 W×210V×100kVA 始動用直流電源装置 150Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式
双 葉 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V／50Hz×1 回線 受電設備容量 723kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V／420V×500kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420V×20kVA	1 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 662kW(900PS) 3 φ 3 W×6,600V×750kVA 始動用直流電源装置 300Ah×24セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3.4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

IV 釜無川流域下水道

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
敷 島 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V／50Hz×1 回線 受電設備容量 200kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V／420V×200kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420V×10kVA	2 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×9セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 136kW(185PS) 3 φ 3 W×420V×150kVA 始動用直流電源装置 150Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3.4kHz×4線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式
田 富 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600V／50Hz×1 回線 受電設備容量 200kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200V 定格電流 600A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600V／210V×200kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×210V×5kvar 3 φ 3 W×210V×10kvar	2 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×54セル シール形据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ディーゼル発電機 154kW(210PS) 3 φ 3 W×210V×150kVA 始動用直流電源装置 150Ah×12セル シール形据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3.4kHz×4線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

Ⅳ 釜無川流域下水道

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
鰐 沢 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×200 V／50Hz× 1 回線（動力） 契 約 電 力 47kW 受 電 遮 断 器 M C C B 225AF／200AT	1 式
		受 電 方 式 1 φ 2 W×100 V／50Hz× 1 回線（電灯） 契 約 電 流 15A 受 電 遮 断 器 M C C B 50AF／30AT	1 式
	交 流 無 停 電 電 源 装 置	ミニUPS 1kVA	1 台
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ装置（子局） 帯域品目3.4kHz× 2 線式 保守用電話切替式	1 台
市 川 大 門 ポ ン プ 場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6,600 V／50Hz× 1 回線 受電設備容量 500kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7,200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12.5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6,600 V／420 V×500kVA	1 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420 V× 5 kVA	1 台
		3 φ 3 W×420 V×10kVA	1 台
		3 φ 3 W×420 V×15kVA	1 台
	直 流 電 源 装 置	50Ah×54セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 449kW(610PS) 3 φ 3 W×420 V×500kVA 始動用直流電源装置 400Ah×12セル 長寿命制御弁式据置鉛蓄電池	1 台 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3.4kHz× 4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

IV 釜無川流域下水道

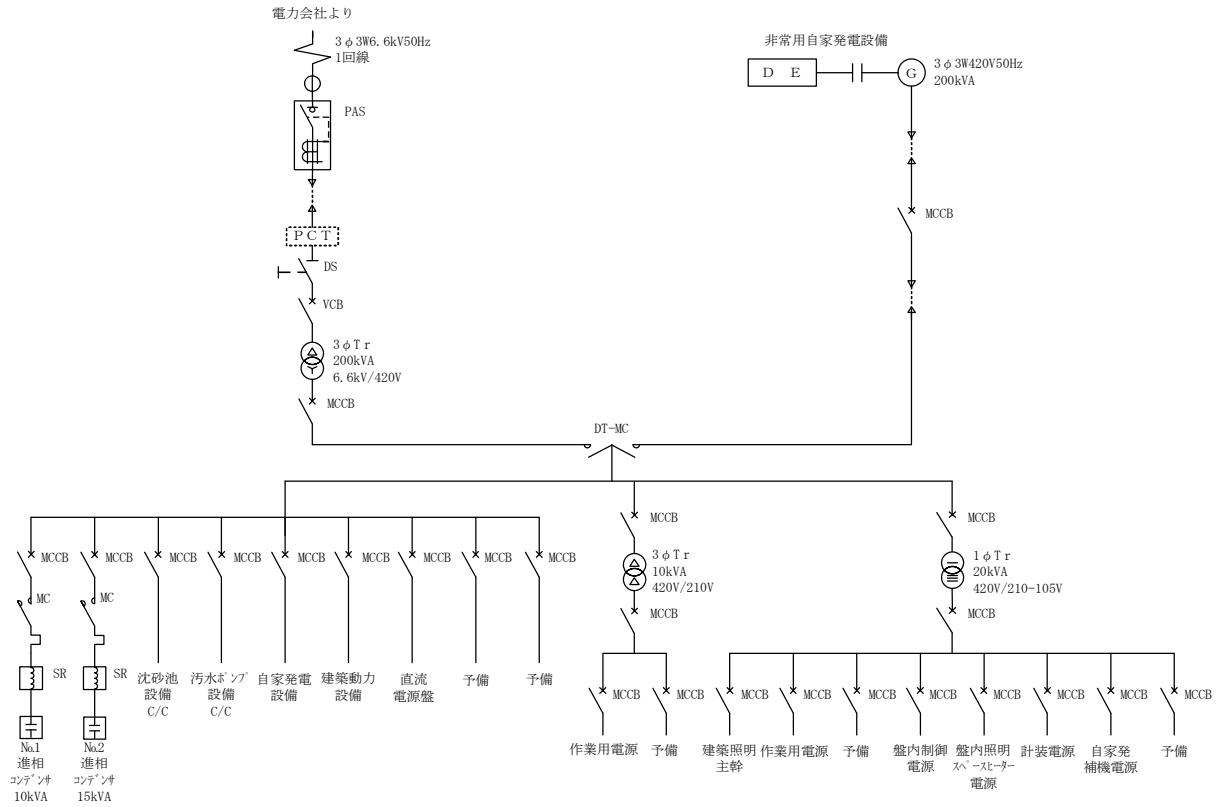


図4-7 葦崎第1ポンプ場単線結線図

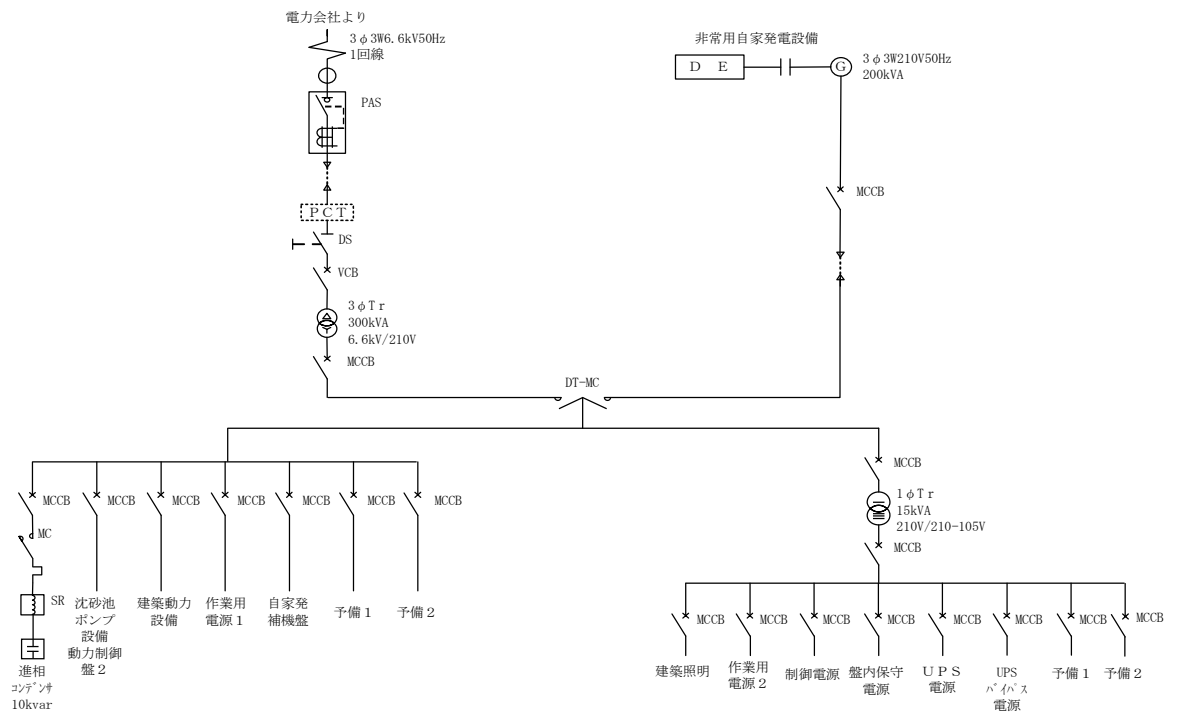


図4-8 葦崎第2ポンプ場単線結線図

IV 釜無川流域下水道

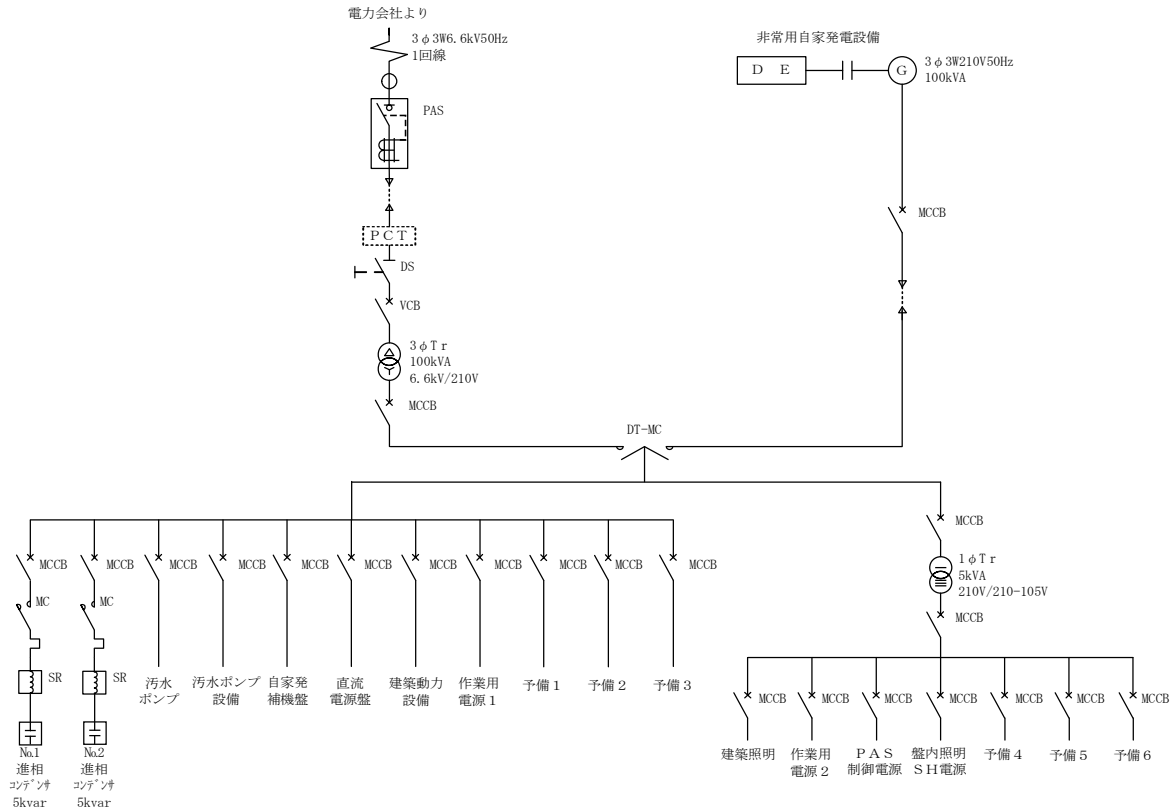


図4-9 荏崎第3ポンプ場単線結線図

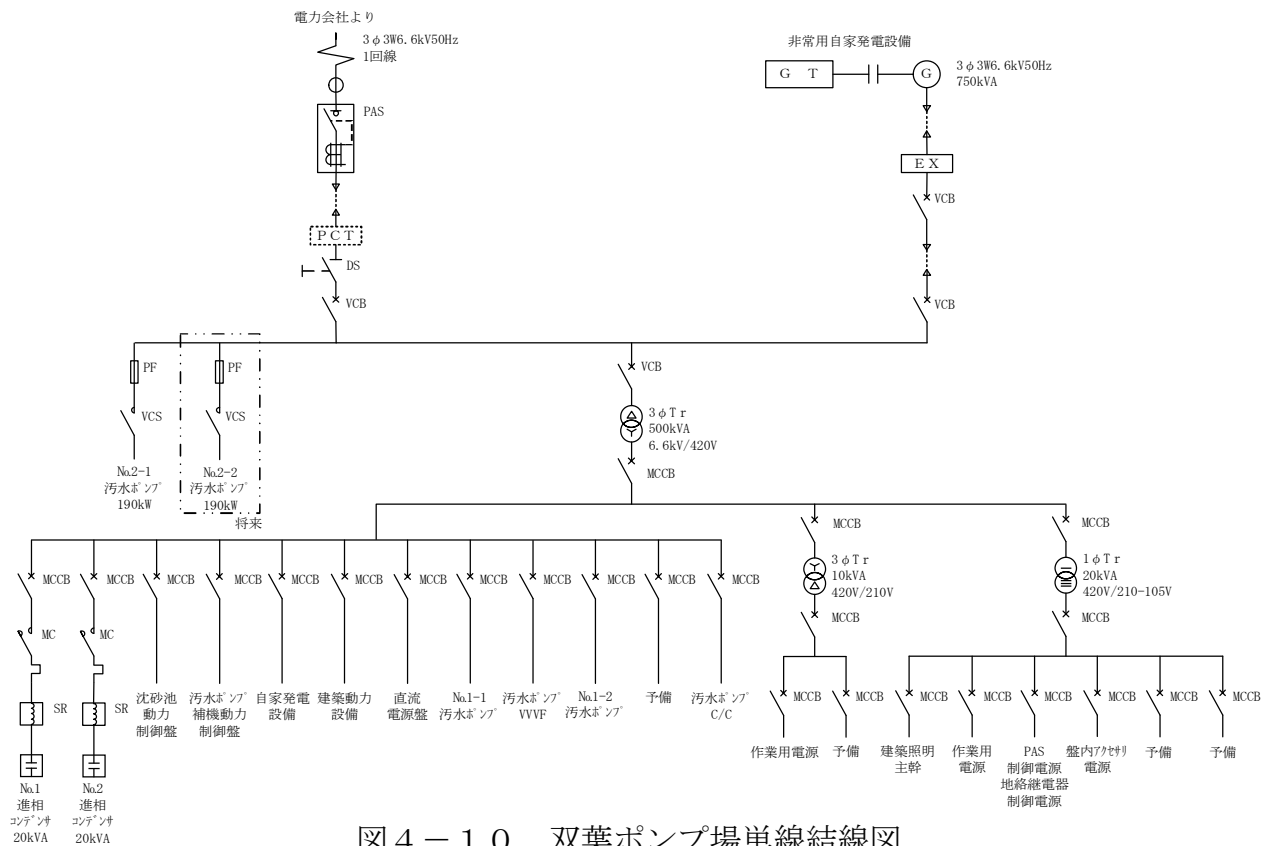


図4-10 双葉ポンプ場単線結線図

IV 釜無川流域下水道

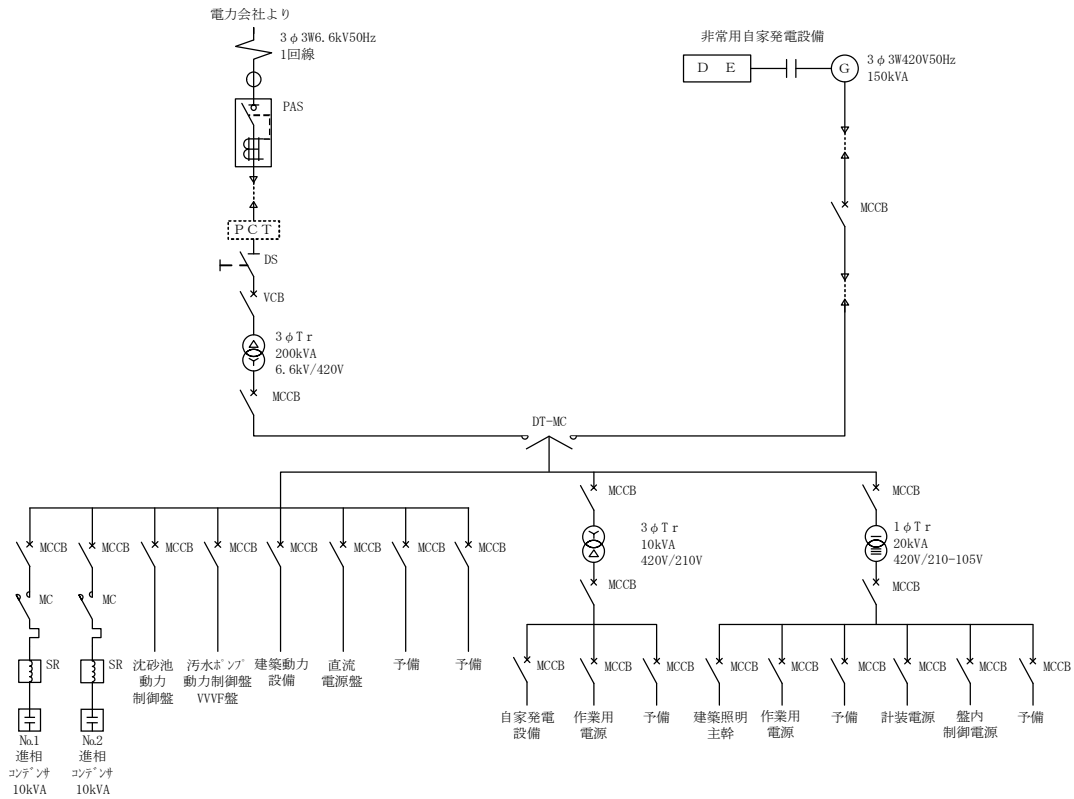


図 4-1-1 敷島ポンプ場単線結線図

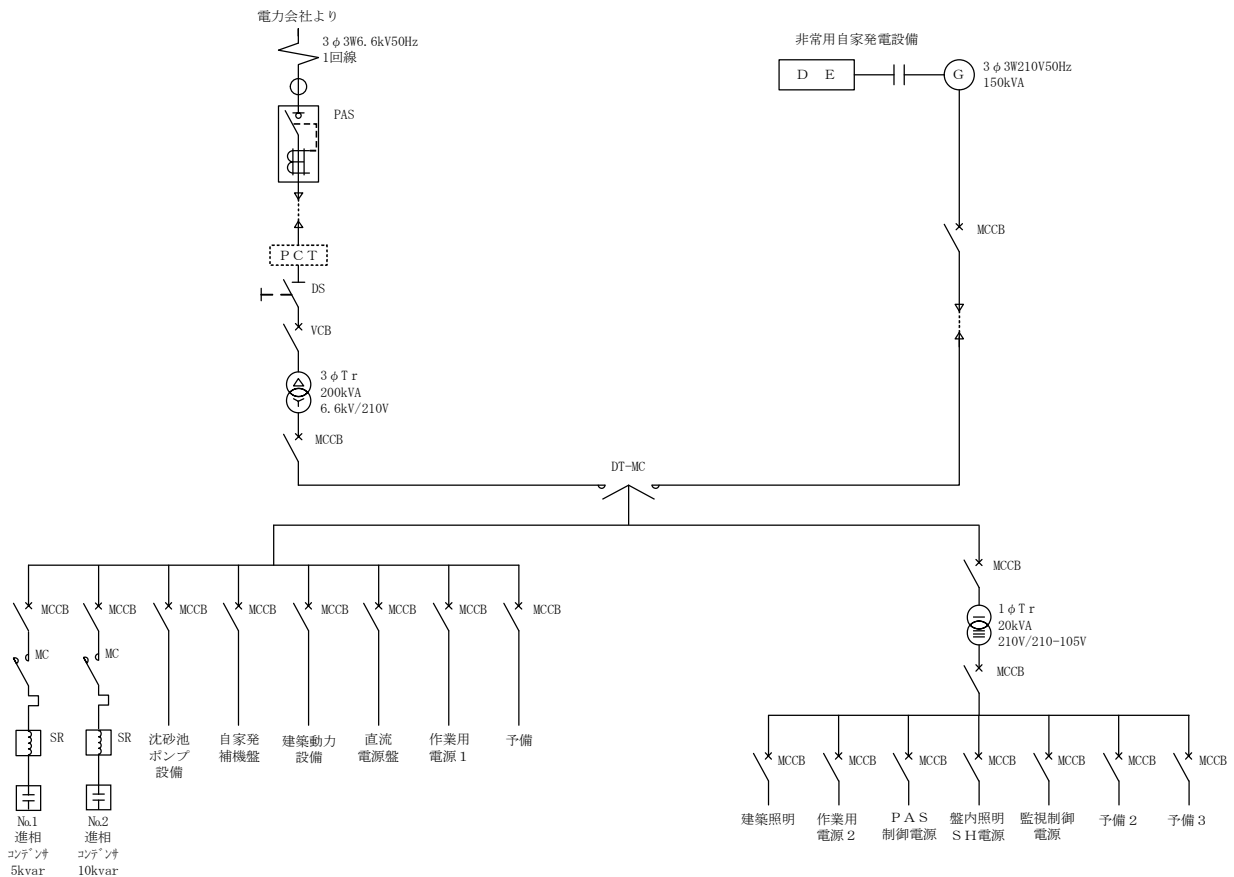


図 4-1-2 田富ポンプ場単線結線図

IV 釜無川流域下水道

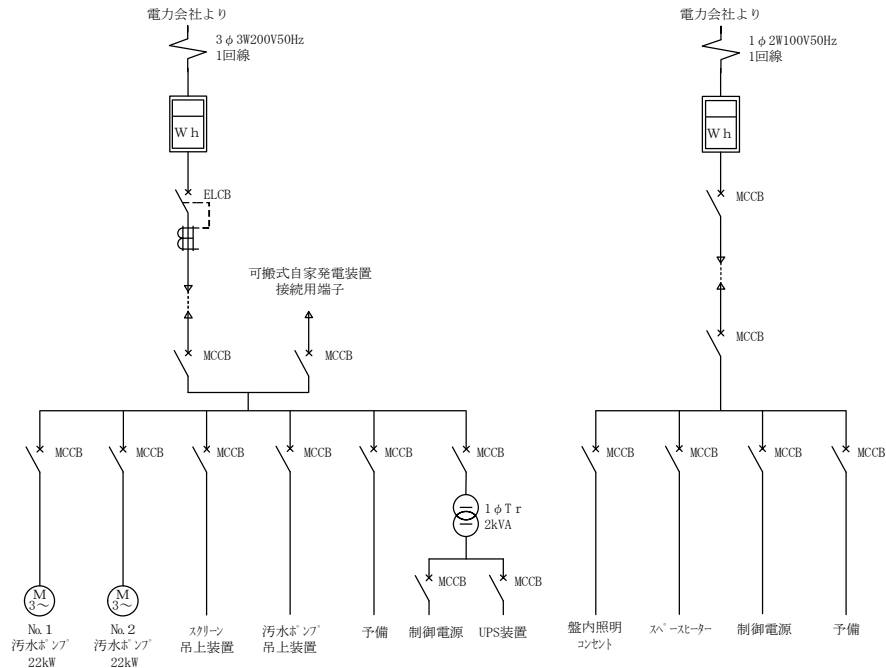


図4-13 鯉沢ポンプ場単線結線図

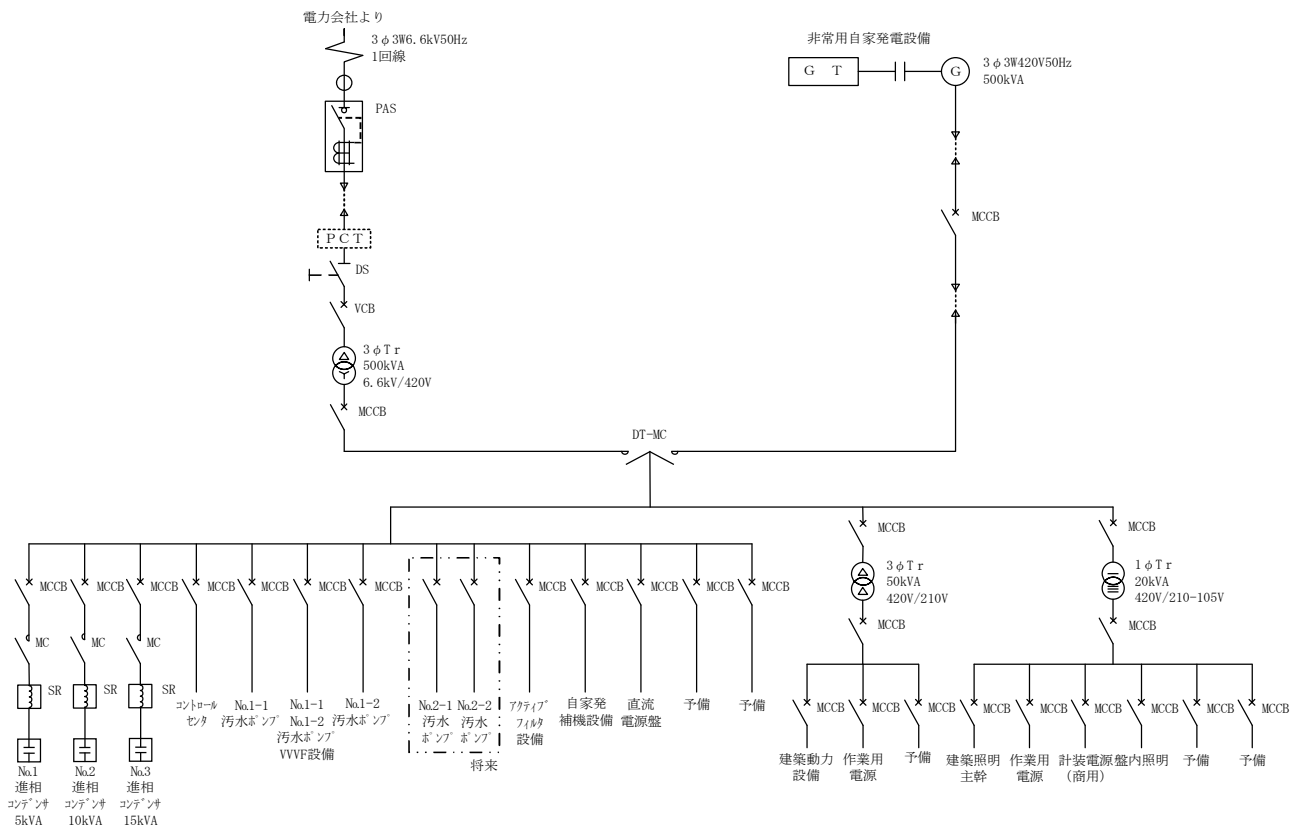


図4-14 市川大門ポンプ場単線結線図

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－1 2 幹線概要

幹 線 名 称	供 用	
	管 径 (mm)	延 長 (m)
釜 無 川 1 号 幹 線	300×2 ～ 2,000	27,480
釜 無 川 2 号 幹 線	300×2 ～ 1,010	15,795
釜 無 川 3 号 幹 線	200 ～ 900	3,964
釜 無 川 4 号 幹 線	250 ～ 1,000	4,710
釜 無 川 5 号 幹 線	300×2 ～ 800	3,127
釜 無 川 6 号 幹 線	600 ～ 1,200	2,403
釜 無 川 7 号 幹 線	350 ～ 400	3,531
釜 無 川 9 号 幹 線	400	1,965
釜 無 川 10 号 幹 線	500	80
釜 無 川 11 号 幹 線	1,000	476
富 士 川 1 号 幹 線	200 ～ 1,200	4,004
富 士 川 2 号 幹 線	200 ～ 1,350	6,634
富 士 川 3 号 幹 線	150 ～ 250	2,200
合 計		76,369

※供用管径及び延長は、令和 8 年 4 月 1 日現在の値を示す。

※供用延長は、県へ管理移管を計画している公共管を含まない。

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－1 3 幹線付帯設備概要

幹 線 名 称	設 備 名 称	仕 様 及 び 形 式	現 有 設 備
釜 無 川 1 号 幹 線	黒沢川横断部水管橋	管径350mm	9.000m
	釜無川横過トンネル	一級河川富士川横断部 管径800mm×2条 照明設備 換気設備 ガス検知器設備 排水ポンプ設備 制水ゲート 富士川 右岸 幅1.65m×高1.65m 左岸 幅1.65m×高1.65m	656.853m 1式 1式 1式 1式 2門 2門
	坪川制水ゲート設備	一級河川坪川横断部 坪川 右岸 幅1.8m×高1.8m 左岸 幅1.8m×高1.8m	1門 1門
釜 無 川 3 号 幹 線	若草マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ150×3.3m ³ /min×11m×15kW	2台
	滝沢川横断部水管橋	管径200mm	50.700m
釜 無 川 4 号 幹 線	玉穂マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ200×4.26m ³ /min×10m×11kW	2台
	玉穂第2マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ150×3.0m ³ /min×6.0m×5.5kW	2台
	山王川横断部水管橋	管径250mm	31.300m
釜 無 川 5 号 幹 線	貢川横断部水管橋	管径300mm×2条	26.429m
釜 無 川 6 号 幹 線	逆流防止ゲート設備	鎌田川 左岸 幅1.02m×高0.875m	1門
富 士 川 1 号 幹 線	旧利根川制水ゲート設備	一級河川旧利根川横断部 旧利根川 右岸 幅1.2m×高1.2m 左岸 幅1.2m×高1.2m	1門 1門
	戸川横断部水管橋	管径200mm	53.000m
富 士 川 2 号 幹 線	東川伏越	管径450mm×2条	118.120m
	富士川横断部水管橋	管径450mm×2条	732.050m
	三珠マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ150×2.4m ³ /min×12m×11kW	2台
	制水ゲート設備	芦川 右岸 φ1.0m 左岸 φ1.0m	1門 1門
富 士 川 3 号 幹 線	市川三郷 マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.64m ³ /min×9.3m×3.7kW	2台
	市川三郷第2 マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ80×0.64m ³ /min×13.8m×5.5kW	2台

IV 釜無川流域下水道

表 4－1 4 幹線流量計測設備概要

流 量 計 番 号	設 備 名 称	管 径 (mm)	流量計口径 (mm)	最大目盛 (m ³ /h)	形 式
1	釜無川 1 号若草町浅原流量計	1,650	1,650	3,000	P B F、圧力式
2	釜無川 1 号田富町布施流量計	1,500	1,500	2,500	P B F、圧力式
3	釜無川 1 号昭和町築地新居流量計	1,200	1,200	4,000	P B F、圧力式
4	田富ポンプ場流量計	—	250 200	700	電磁式
5	釜無川 6 号田富町布施流量計	1,000	1,000	1,000	P B F、圧力式
6	富士川 1 号増穂町長沢流量計	1,200	1,200	1,000	P B F、圧力式
7	富士川 1 号増穂町青柳流量計	450	450	300	P B F、圧力式
8	鰍沢ポンプ場流量計	—	150	400	電磁式
9	双葉ポンプ場流量計	—	350	1,300	電磁式
1 0	敷島ポンプ場流量計	—	250	750	電磁式
1 1	葦崎第 1 ポンプ場流量計	—	250	900	電磁式
1 2	市川大門ポンプ場流量計	—	400	2,000	電磁式
1 3	葦崎第 3 ポンプ場流量計	—	200	700	電磁式
1 4	葦崎第 2 ポンプ場流量計	—	300	1,000	電磁式
備 考	流量計番号は図 4－6 流域幹線系統図中の設備番号を示す。 以下の流量計は本年度で廃止とする。 (廃止年月：流量計番号 3・5・6・7：令和 8 年 2 月)				

2 施設運転管理状況

(1) 機械設備運転管理状況

①各設備の運転状況等

主要機器運転状況を表 4-15 に、し渣及び沈砂搬出状況を表 4-16 に、薬品・給水・燃料使用状況を表 4-17 に、中継ポンプ場運転状況を表 4-18 に示す。

各設備については下記のとおり運転を行った。

ア) スクリーンポンプ設備

スクリーン設備については年度の前半はNo.2 水路を、後半はNo.1 水路を使用した。細目スクリーン自動除塵機の運転は9回/日のタイマー運転を行った。揚砂ポンプは通常は運転せず、1箇月毎の定期点検運転のみとした。

汚水ポンプについては吐出量 2,900 m³/h を通常時の上限とし、ポンプ井水位一定制御による運転を行った。流入水量が多い時間帯については流入ゲートの開度を調整して管内貯留を行った。

汚水ポンプの運転号機は、No.2 号機の1台運転を基本とし、流入水量に応じ、No.1 号機の1台追加や、No.1 号機1台のみの運転を行った。No.2-1, No.2-2 号機及びNo.1-1, No.1-2 号機は1箇月毎の切替運転を行った。

イ) 最初沈殿池設備

年間を通して1.75～2池使用とした。No.4 池の使用に加え、点検等によりNo.1～3池の0.75～1池を切り替えて使用した。

汚泥掻寄機は連続運転を行い、スカムスキマーは4回/日のタイマー運転を行った。生汚泥ポンプは1時間毎の間欠運転を行った。

ウ) 反応タンク設備

4～5月下旬は7池使用とし、5月下旬～3月は6池使用とした。

各槽の水中機械曝気機はコスト縮減のため1槽目については間欠運転とし、3槽目は2台中1台の運転を停止させて運用した。その他の水中機械曝気機については連続運転を行った。

送風機の運転は吐出圧一定制御の連続運転を行い、曝気風量は風量調節弁にて1系ではDO一定制御を、2系ではOR制御を行った。運転号機はNo.2 号機 (No.2-1 またはNo.2-2 号機) の1台運転を基本とし、風量不足時はNo.1 号機 (No.1-1 またはNo.1-2 号機) の1台を追加で運転した。また、No.2 号機 (No.2-1 またはNo.2-2 号機) は、夏季に能力が高いNo.2-2 号機を主機とし、その他の季節及びNo.1 号機は1箇月毎の切替を基本として運転を行った。

エ) 最終沈殿池設備

年間を通して、4池の使用を基本とした。

汚泥掻寄機は連続運転とし、スカムスキマーは4回/日のタイマー運転を行った。返送汚泥ポンプは比率制御により返送率50%の連続運転を行った。余剰汚泥ポンプは汚泥の発生状況にあわせ1時間毎の間欠運転を行った。

オ) 塩素滅菌設備

次亜塩注入ポンプはNo.2 号機を主機とした1台運転で、注入率一定制御により連続運転を行った。

カ) 放流ポンプ設備

放流河川水位が上昇したときの非常設備であり、通常はバイパスさせ自然流下による放流を行った。本年度は河川水位上昇に伴う放流ポンプの強制放流はなかった。

IV 釜無川流域下水道

キ) 機械汚泥濃縮設備

遠心濃縮機は余剰汚泥のみの処理で、濃度一定制御による自動運転とした。運転台数は1台を24時間連続運転とし、夜間を中心として2台目の追加運転を行うことを基本とした。また、凝集剤を添加することによりボウルの回転数を下げて運転を行い、使用電力量の低減を図った。

ク) 重力汚泥濃縮設備

最初沈殿池より送泥された生汚泥を希釈濃縮法により重力濃縮を行った。

年間を通してNo.1タンクを使用した。汚泥掻寄機の運転は連続運転を行った。

ケ) 汚泥脱水設備

汚泥脱水機はいずれも遠心脱水機であり、コンベアの搬送トルクを指標とした制御による自動運転を行った。No.2号機を主機とし、毎日1～2台運転で24時間/日程度運転を行った。

コ) 脱臭設備

スクリーンポンプ棟、汚泥濃縮棟、汚泥棟のいずれの脱臭設備も連続運転を行った。

サ) 関連中継ポンプ場

市川大門ポンプ場、田富ポンプ場、双葉ポンプ場、葦崎第3ポンプ場については、ポンプの可変速運転によりポンプ井水位一定制御の運転を行い、その他のポンプ場、マンホールポンプの汚水ポンプについては、ポンプ井水位制御による運転を行った。

シ) 伏越設備

釜無川横過トンネルは、4～7月下旬はNo.1水路を使用し、7月下旬～9月まではフラッシング時の臭気対策として2条使用とした。その後、10～1月はNo.1水路、2～3月はNo.2水路のそれぞれ1条を使用した。なお、滞泥防止対策としてゲートの開閉により毎週2回のフラッシングを実施した。

②未使用機器の保守

未使用機器は、定期点検時に保守運転を行い、予備機のある機器については、基本的に月1回の切替運転を行った。

マンホールポンプの運転号機については交互切替運転とした。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表4-19に示す。

Ⅳ 釜無川流域下水道

表４－１５ 主要機器運転状況

(単位：時間)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
No.1-1 汚水ポンプ	21.9	36.7	152.0	168.2	148.5	196.9	17.2	65.6	1.2	32.2	2.4	48.7	891.5
No.1-2 汚水ポンプ	26.4	0.4	84.6	41.1	65.6	19.8	155.9	43.6	33.7	10.8	13.1	16.7	511.7
No.2-1 汚水ポンプ	0.3	702.4	109.5	657.6	136.2	674.7	145.1	707.8	731.9	717.4	652.4	214.6	5,449.9
No.2-2 汚水ポンプ	715.5	34.6	598.8	89.5	603.6	34.2	593.1	4.8	0.0	0.0	0.0	501.1	3,175.2
No.1-1 生汚泥ポンプ	28.4	34.5	2.6	68.4	1.8	51.4	0.1	65.5	1.2	138.7	124.5	349.1	866.2
No.1-2 生汚泥ポンプ	578.4	587.4	597.8	548.5	624.3	549.0	621.4	536.2	608.5	480.0	371.9	192.1	6,295.5
No.1-1 送風機	0.8	0.9	4.7	4.2	0.5	4.6	1.0	0.7	1.2	0.9	4.3	7.6	31.4
No.1-2 送風機	0.8	0.9	67.3	224.3	251.3	33.6	2.8	0.7	1.1	0.9	4.2	7.5	595.4
No.2-1 送風機	157.4	554.4	74.4	200.9	84.6	187.6	41.2	705.3	230.6	561.4	104.0	391.4	3,293.2
No.2-2 送風機	561.8	188.8	644.6	542.5	659.2	528.3	701.3	14.1	510.7	178.4	563.6	342.0	5,435.3
No.1-1 返送汚泥ポンプ	163.9	730.1	223.7	711.5	205.0	711.3	167.6	661.3	41.5	636.1	35.8	704.1	4,991.9
No.1-2 返送汚泥ポンプ	715.4	38.3	679.9	232.1	738.5	205.8	731.5	156.5	726.9	125.1	635.2	189.4	5,174.6
No.1-3 返送汚泥ポンプ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	5.5
No.2-1 返送汚泥ポンプ	69.6	730.3	41.8	704.2	17.2	706.0	16.5	636.3	15.2	632.5	36.0	704.1	4,309.7
No.2-2 返送汚泥ポンプ	501.8	13.9	679.6	83.1	733.8	54.0	729.0	93.5	726.9	107.9	634.9	60.3	4,418.7
No.3-1 返送汚泥ポンプ	39.0	730.2	39.9	703.9	10.5	705.3	14.1	633.7	16.0	632.2	35.9	605.4	4,166.1
No.3-2 返送汚泥ポンプ	680.9	13.5	679.4	58.6	733.3	20.0	729.0	88.5	725.7	107.9	635.2	42.6	4,514.6
No.4-1 返送汚泥ポンプ	46.1	730.1	40.4	647.4	25.1	670.1	14.7	627.8	18.2	602.6	36.0	592.9	4,051.4
No.4-2 返送汚泥ポンプ	673.8	13.5	678.9	96.4	718.6	53.1	728.5	92.0	723.6	137.5	635.3	46.9	4,598.1
No.1-1 余剰汚泥ポンプ	11.8	181.7	7.5	156.7	2.2	149.1	3.7	116.5	2.1	124.0	7.1	171.0	933.4
No.1-2 余剰汚泥ポンプ	142.8	2.8	145.6	2.0	160.4	3.7	140.5	18.9	144.2	20.5	133.6	7.8	922.8
No.2-1 余剰汚泥ポンプ	18.1	147.8	6.3	128.8	1.9	119.4	2.5	120.2	2.9	114.0	6.2	161.8	829.9
No.2-2 余剰汚泥ポンプ	122.5	2.5	121.6	1.8	118.6	2.3	138.6	15.9	124.6	16.2	111.6	5.9	782.1
No.3 余剰汚泥ポンプ	108.1	154.9	136.9	141.4	137.9	137.7	152.0	142.8	134.2	135.2	130.5	118.2	1,629.8
No.4 余剰汚泥ポンプ	118.5	105.7	141.6	148.7	153.9	151.7	161.7	146.0	141.7	134.8	129.8	131.2	1,665.3
No.2 次亜塩注入ポンプ	719.6	737.7	718.8	743.6	743.6	719.5	742.5	719.7	741.4	739.1	670.3	740.1	8,735.9
No.3 次亜塩注入ポンプ	0.1	6.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	7.6
No.4 次亜塩注入ポンプ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	1.4
No.1-1 放流ポンプ	0.4	0.5	0.4	0.3	0.4	0.3	0.7	0.4	0.5	0.7	0.4	0.5	5.5
No.1-2 放流ポンプ	0.4	0.4	0.5	0.3	0.3	0.4	0.6	0.3	0.5	0.9	0.4	0.5	5.5
No.2-1 放流ポンプ	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.6	0.3	0.5	0.6	0.4	0.5	5.6
No.2-2 放流ポンプ	0.7	0.9	0.4	0.7	0.4	1.6	0.8	0.5	0.4	0.6	0.7	0.7	8.4
No.1 連心濃縮機	392.5	478.1	348.6	651.2	673.5	672.2	622.1	638.1	616.2	549.6	146.8	453.0	6,241.9
No.2 連心濃縮機	535.9	384.3	519.8	83.5	21.5	204.3	738.4	708.7	705.0	667.6	541.6	304.3	5,414.9
No.3 連心濃縮機	326.8	567.0	483.1	668.7	689.9	479.4	65.0	0.0	0.0	59.1	525.8	629.3	4,494.1
No.1 連心脱水機	113.4	84.3	120.2	85.5	50.6	43.7	63.1	30.5	46.0	64.6	221.9	76.7	1,000.5
No.2 連心脱水機	608.4	666.7	624.7	696.0	696.1	643.0	670.0	674.4	682.1	665.1	509.2	709.8	7,845.5
No.1 非常用発電機	0.1	0.2	1.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	1.1	0.1	2.4	0.1	5.7
No.2 非常用発電機	0.1	0.1	1.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	1.1	0.0	1.2	0.1	4.1

表４－１６ し渣及び沈砂搬出状況

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
し渣搬出量(水処理系) (kg)	2,023	2,405	2,254	2,456	1,547	1,514	2,876	2,425	2,854	3,326	2,905	2,832	29,417
し渣搬出量(汚泥処理系) (kg)	1,234	1,790	915	1,479	605	319	1,161	1,606	1,060	3,005	1,086	2,954	17,214
沈砂搬出量 (kg)	563	542	501	518	462	369	466	653	481	594	711	690	6,550

表４－１７ 薬品・給水・燃料使用状況

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬品	固形塩素剤 (kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	次亜塩素酸ナトリウム (L)	13,550	14,410	14,550	15,410	14,750	14,990	14,570	14,120	14,530	14,540	13,050	172,710
	高分子凝集剤 (kg)	2,355.8	2,413.6	2,475.8	2,341.4	2,180.8	2,082.2	2,157.4	2,115.2	2,183.2	2,430.2	2,897.0	28,093.0
	消臭剤(重力濃縮系) (L)	3,740	3,940	3,920	4,140	4,580	4,220	4,160	4,080	4,120	3,640	3,720	47,940
	消臭剤(脱水機系) (L)	2,130	2,090	1,900	2,030	2,140	2,020	2,010	1,880	1,840	1,530	1,610	22,670
給水	上水 (m³)	148	163	158	160	155	141	69	199	60	75	58	1,444
	砂ろ過水 (m³)	28,236	28,939	27,812	29,605	28,509	28,155	26,646	29,041	27,914	27,921	26,616	336,848
	井戸水 (m³)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料	重油 (L)	38	54	549	30	32	67	44	53	520	25	778	2,224

表４－１８ 中継ポンプ場運転状況

(単位：時間)

ポンプ場名称	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
釜崎第1ポンプ場	No.1-1 汚水ポンプ	30.6	201.2	114.5	361.8	187.4	319.5	10.1	0.3	0.0	0.0	0.0	268.3	1,493.7
	No.1-2 汚水ポンプ	261.9	106.7	250.2	105.0	177.7	120.7	276.2	293.0	298.0	311.8	276.0	51.1	2,528.3
	No.2-1 汚水ポンプ	4.9	5.2	5.4	6.5	4.8	6.3	3.6	3.8	4.9	3.6	3.9	4.5	57.4
	非常用発電機	0.1	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	1.1	0.0	0.1	0.0	2.4
釜崎第2ポンプ場	No.1 汚水ポンプ	5.0	86.5	39.4	131.0	34.0	128.3	9.1	86.7	34.2	90.2	31.8	118.1	794.3
	No.2 汚水ポンプ	131.3	49.8	108.3	50.1	102.3	44.5	113.1	32.4	113.4	32.1	96.6	30.3	904.2
	No.3 汚水ポンプ	0.3	0.5	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.5	0.0	0.1	0.2	2.3
	非常用発電機	1.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	1.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	2.8
釜崎第3ポンプ場	No.1 汚水ポンプ	26.8	248.5	229.7	336.8	99.0	320.8	21.0	0.5	0.0	0.0	0.0	289.5	1,572.6
	No.2 汚水ポンプ	245.2	31.8	143.5	126.0	291.6	126.1	243.3	265.5	312.3	258.2	284.4	26.7	2,354.6
	非常用発電機	0.0	1.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	1.0	0.0	0.1	0.0	0.1	2.5
	No.1-1 汚水ポンプ	14.3	254.0	89.2	400.8	88.6	386.4	12.6	298.1	64.0	238.4	90.6	361.2	2,298.2
双葉ポンプ場	No.1-2 汚水ポンプ	364.1	137.3	343.4	130.0	328.9	122.6	351.8	97.8	352.2	124.7	291.6	77.3	2,721.7
	No.2-1 汚水ポンプ	0.2	0.7	0.6	4.1	7.1	1.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	1.2	15.9
	非常用発電機	0.0	0.2	0.0	1.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.6	0.0	1.0	3.3
	No.1-1 汚水ポンプ	0.3	286.5	120.6	2.6	0.0	1.5	0.1	0.5	0.0	0.0	0.6	377.1	789.8
敷島ポンプ場	No.1-2 汚水ポンプ	412.0	134.6	30.0	1.4	0.1	1.0	0.1	353.1	454.2	469.6	410.8	82.8	2,349.7
	No.2-1 汚水ポンプ	1.5	0.5	234.1	320.3	387.3	342.5	374.4	53.4	4.7	4.7	2.3	5.4	1,731.1
	非常用発電機	0.0	1.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	1.0	0.0	0.1	1.6	1.9	6.0
	No.1-1 汚水ポンプ	156.6	459.0	112.7	301.4	320.0	271.1	160.1	465.1	114.5	474.5	139.1	563.9	3,538.0
田富ポンプ場	No.1-2 汚水ポンプ	409.2	165.1	384.4	201.5	353.0	119.3	497.9	49.4	438.1	277.5	378.7	124.3	3,398.4
	No.2-1 汚水ポンプ	86.2	49.9	99.2	91.8	79.0	137.8	98.2	62.2	66.1	37.2	85.2	36.6	929.4
	非常用発電機	0.1	0.0	1.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	1.1	0.1	0.2	0.0	2.8
	No.1 汚水ポンプ	40.3	38.4	34.2	45.1	32.5	37.2	40.1	35.1	41.1	39.6	34.7	44.2	462.5
鯉沢ポンプ場	No.2 汚水ポンプ	41.1	38.9	35.0	45.8	33.1	38.0	41.6	34.7	40.9	42.8	38.6	43.9	474.4
	No.1-1 汚水ポンプ	37.5	177.1	107.8	157.1	166.4	213.9	62.1	175.9	57.6	171.7	59.5	205.7	1,592.3
	No.1-2 汚水ポンプ	203.0	76.0	132.5	96.7	123.5	57.6	220.5	61.8	164.6	119.6	166.6	58.3	1,480.7
	非常用発電機	0.0	1.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.0	1.1	0.0	0.3	0.0	0.3	3.8

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－19 機器故障状況（機械関連）

機 器 名 称	内 容 及 び 原 因	処 置 及 び 対 応
汚泥棟 スクリーンかす脱水機	油圧ユニットのリリーフバルブよりオイル漏れが発生した。 原因はリリーフバルブの経年劣化によるものであった。	リリーフバルブの交換を実施した。
水処理施設 次亜塩素酸ナトリウム 供給配管	Y型ストレーナから漏洩する状況となった。 原因はY型ストレーナ及び接続部の経年劣化によるものであった。	Y型ストレーナの交換を実施した。
水処理施設 No.2 生物脱臭塔用 給水ポンプ	ポンプのベアリング部より異音がする状況となった。 原因はポンプのベアリングの経年劣化によるものであった。	ポンプのベアリング及びメカニカルシールの交換を実施した。
水処理施設 No.2-2 曝気風量調整弁	作動用空気配管のフィルターレギュレーターよりエア漏れがある状況となった。 原因はフィルターレギュレーターの経年劣化によるものであった。	フィルターレギュレーターの交換を実施した。
水処理施設 散水系給水ユニット	給水ポンプが規定圧になっても止まらず、連続運転してしまう状況となった。 原因は制御タイマーの経年劣化によるものであった。	制御タイマーの交換を実施した。
水処理施設 No.1 及びNo.2 砂ろ過塔	砂ろ過塔の胴体部に小さい穴が開き、漏水する状況となった。 原因は塔胴体内部の摩耗によるものであった。	穴をエポキシパテで塞ぐとともにFRPシートによる部分補強を実施した。
市川大門ポンプ場 脱臭ファン	電動機より異音がする状況となった。 原因は、電動機のベアリングの経年劣化によるものであった。	電動機のベアリングの交換を実施した。
スクリーンポンプ棟 No.1 管廊2 床排水ポンプ	圧力計が故障して動かない状況となった。 原因は圧力計の経年劣化によるものであった。	圧力計の交換を実施した。
水処理施設 No.1 砂ろ過空気源装置	運転中に異音がする状況となった。 原因はアンローダーピストンの経年劣化によるものであった。	アンローダーピストンの交換を実施した。
汚泥棟 生物脱臭用脱臭ファン	電動機より異音がする状況となった。 原因は、電動機のベアリングの経年劣化によるものであった。	電動機のベアリングの交換を実施した。
スクリーンポンプ棟 低圧電気室排気ファン	電動機より異音がする状況となった。 原因は、電動機のベアリングの経年劣化によるものであった。	電動機のベアリングの交換を実施した。

注）令和7年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

IV 釜無川流域下水道

(2) 電気設備運転管理状況

①電力使用状況

施設の受電電圧は、釜無川浄化センター、葦崎第1、葦崎第2、葦崎第3、双葉、敷島、田富及び市川大門ポンプ場は高圧6,600V、鰍沢ポンプ場、若草、玉穂、玉穂第2、三珠、市川三郷及び市川三郷第2マンホールポンプは低圧200V（動力）及び100V（照明）である。

釜無川浄化センター、葦崎第1、葦崎第2、葦崎第3、双葉、敷島、田富、鰍沢及び市川大門ポンプ場の使用電力量と流入下水量の表とグラフをそれぞれ表4-20～表4-28、図4-15～図4-23に示す。

浄化センターの使用電力量は、374～435kWh／月の間で推移し、年間として4,899kWh／年となり昨年度と比較して約1.0％の減少となった。

これは、汚泥処理に関してNo.1脱水機と比べ電力使用量が少ないNo.2脱水機の運転時間が長かったことが要因として考えられる。

浄化センターの原単位電力量と最大需要電力の表とグラフをそれぞれ表4-29、図4-24、図4-25に示す。

原単位電力量は0.240～0.264kWh／m³の間で推移した。

最大需要電力は626～679kWの間で推移した。

浄化センターの契約電力は、電力会社との協議による契約電力決定方式により、年間を通じて701kWとなった。

ポンプ場の契約電力は、葦崎第1、葦崎第2、葦崎第3、双葉、敷島、田富及び市川大門ポンプ場は実量制による契約電力決定方式により、それぞれ43～73kW、36～54kW、18～26kW、189～369kW、56～59kW、81～101kW、69～69kWの間で推移した。また、鰍沢ポンプ場は設備容量による契約電力決定方式により47kWであった。

マンホールポンプの契約電力は、若草、玉穂、玉穂第2、三珠、市川三郷及び市川三郷第2マンホールポンプは、設備容量による契約電力決定方式により、それぞれ33kW、25kW、14kW、25kW、9kW及び13kWであった。

②非常用発電設備運転状況

浄化センターでは、保守点検として、1箇月に1回約5分間の無負荷運転（別途起動スイッチによる起動点検を1年に1回）と6箇月に1回約1時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は820kWhであった。また、2月にNo.1発電機分解点検・整備に伴う試運転（停電なし、発電機運転1時間1分間、停電あり、発電機運転2時間7分）を実施した。なお、停電に伴う運転はなかった。

葦崎第1、葦崎第2、葦崎第3、双葉、敷島、田富及び市川大門ポンプ場では、保守点検として、2箇月に1回（葦崎第1、双葉、敷島、市川大門は別途起動スイッチによる起動点検を1年に1回）約5分間の無負荷運転と6箇月に1回約1時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量はそれぞれ36kWh、22kWh、37kWh、146kWh、36kWh、56kWh及び80kWhであった。また、双葉ポンプ場では、自家発電機修繕に伴う試運転（停電なし、発電機運転4分、停電29分、発電機運転34分、発電電力量57kWh）敷島ポンプ場では、3月に受変電設備精密点検に伴う商用側給電停止による運転（停電2時間52分、発電機運転1時間50分、発電電力量22kWh）を実施した。

なお、停電としては、田富ポンプ場では、1月に電力会社設備への鳥獣の接触による商用受電停電による運転（停電1分間、発電機運転5分間、発電電力量1kWh未満）、市川大門ポンプ場では、1月に電力会社設備トラブルによる商用受電停電による運転（停電2分、発電機運転5分間、発電電力量1kWh未満）を実施した。

IV 釜無川流域下水道

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表 4－30 に示す。

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4-20 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

(単位:上段 kWh, 下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	400,080	415,200	409,848	434,568	431,976	405,960	413,544	393,144	408,336	403,224	374,304	409,008	4,899,192	408,266
流入下水量	1,516,263	1,605,644	1,649,652	1,773,019	1,687,664	1,693,059	1,623,471	1,577,248	1,614,742	1,600,050	1,437,395	1,570,032	19,348,239	1,612,353

表 4-21 使用電力量と流入下水量（荏崎第1ポンプ場）

(単位:上段 kWh, 下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	10,342	11,230	12,618	13,648	13,629	12,336	10,772	10,159	10,876	11,204	10,241	10,796	137,851	11,488
流入下水量	107,416	116,837	132,662	143,620	142,036	124,384	108,729	104,231	105,726	104,773	96,913	104,714	1,392,041	116,003

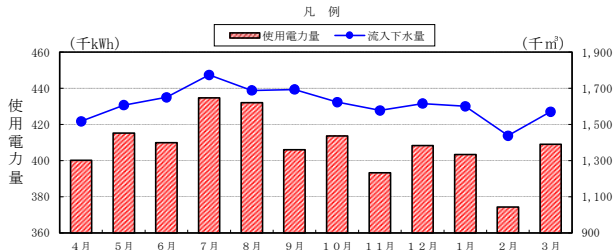


図 4-15 使用電力量と流入下水量（浄化センター）

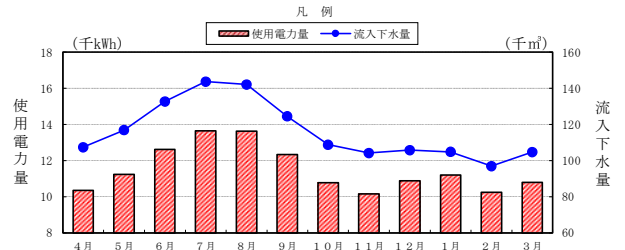


図 4-16 使用電力量と流入下水量（荏崎第1ポンプ場）

表 4-22 使用電力量と流入下水量（荏崎第2ポンプ場）

(単位:上段 kWh, 下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	8,053	7,752	8,356	8,965	9,019	9,227	7,659	7,408	7,316	7,729	7,691	6,836	96,011	8,001
流入下水量	56,452	60,070	60,425	66,188	62,491	59,535	54,209	51,526	53,702	54,297	48,173	53,403	680,471	56,706

表 4-23 使用電力量と流入下水量（荏崎第3ポンプ場）

(単位:上段 kWh, 下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	5,160	5,425	6,092	6,520	6,705	5,980	5,254	5,064	5,200	5,262	4,842	5,190	66,694	5,558
流入下水量	48,594	53,569	65,380	70,321	74,450	60,746	48,301	46,824	47,176	46,932	44,415	46,512	653,220	54,435

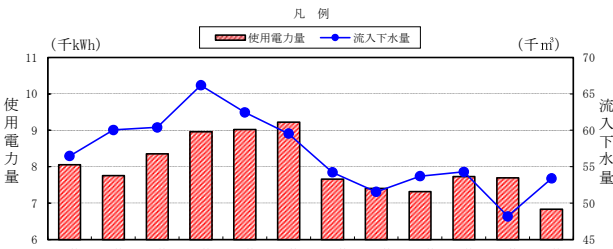


図 4-17 使用電力量と流入下水量（荏崎第2ポンプ場）

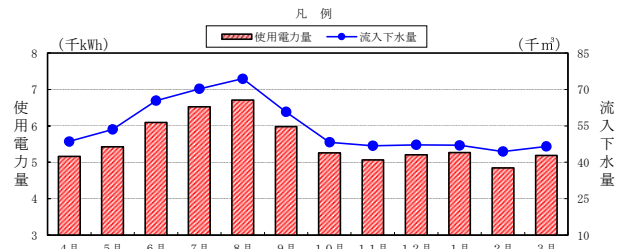


図 4-18 使用電力量と流入下水量（荏崎第3ポンプ場）

表 4-24 使用電力量と流入下水量（双葉ポンプ場）

(単位:上段 kWh, 下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	43,944	42,839	49,314	49,464	49,902	50,404	42,407	43,546	41,314	42,169	43,292	38,294	536,889	44,741
流入下水量	169,209	182,288	197,259	212,076	202,794	188,457	170,786	165,532	167,789	167,234	153,286	168,217	2,144,927	178,744

表 4-25 使用電力量と流入下水量（敷島ポンプ場）

(単位:上段 kWh, 下段 m)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
使用電力量	11,480	11,189	11,773	11,548	11,952	12,157	11,114	11,509	11,208	11,620	11,604	10,375	137,529	11,461
流入下水量	128,539	134,744	145,516	156,672	156,155	153,947	144,220	134,687	134,661	133,124	119,552	131,749	1,673,566	139,464

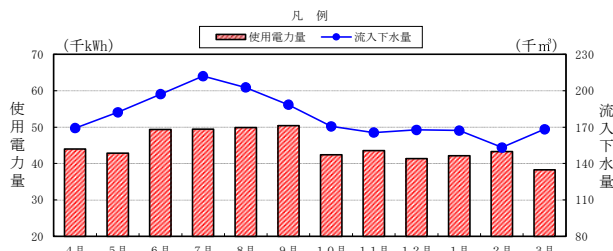


図 4-19 使用電力量と流入下水量（双葉ポンプ場）

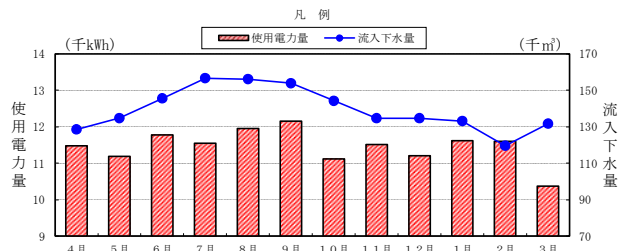


図 4-20 使用電力量と流入下水量（敷島ポンプ場）

Ⅳ 釜無川流域下水道

表4-26 使用電力量と流入下水量（田富ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	14,738	14,217	16,335	15,590	16,843	14,941	15,473	12,331	14,665	13,447	14,264	13,311	176,155	14,680
流入下水量	140,908	148,200	148,963	157,974	149,956	148,655	143,163	137,329	141,980	140,941	127,229	139,872	1,725,170	143,764

表4-27 使用電力量と流入下水量（鯉沢ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	2,008	1,846	1,664	2,000	1,715	1,904	1,602	1,722	1,658	2,089	1,765	1,798	21,771	1,814
流入下水量	12,633	12,639	12,244	13,252	12,498	12,820	12,302	11,939	12,648	12,747	11,496	12,855	150,073	12,506

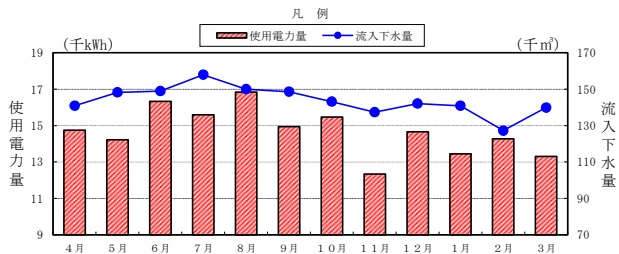


図4-2-1 使用電力量と流入下水量（田富ポンプ場）

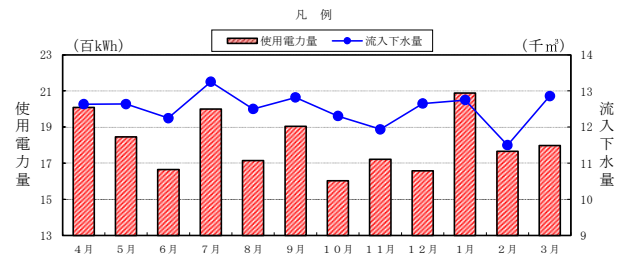


図4-2-2 使用電力量と流入下水量（鯉沢ポンプ場）

表4-28 使用電力量と流入下水量（市川大門ポンプ場）

(単位:上段 kWh,下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	15,208	15,080	16,624	16,543	16,440	17,310	15,342	15,469	14,860	15,747	15,383	13,435	187,441	15,620
流入下水量	89,234	94,904	96,426	103,783	98,645	105,180	95,836	92,305	95,431	94,631	82,547	89,133	1,138,055	94,838

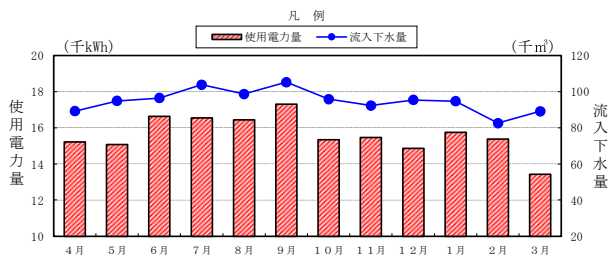


図4-2-3 使用電力量と流入下水量（市川大門ポンプ場）

表4-29 原単位電力量と最大需要電力（浄化センター）

(単位:上段 kWh/m³,下段 kW)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
原単位電力量	0.264	0.259	0.248	0.245	0.256	0.240	0.255	0.249	0.253	0.252	0.260	0.261	0.254
最大需要電力	672	636	667	679	674	672	646	641	626	638	638	655	654

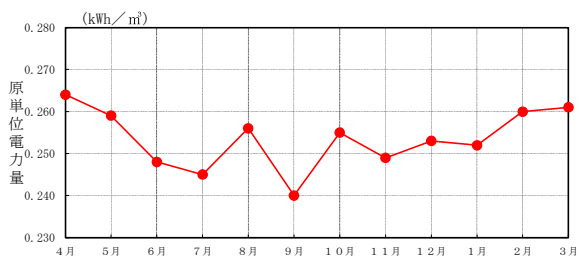


図4-2-4 原単位電力量（浄化センター）

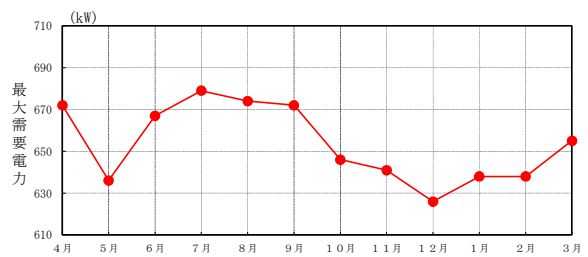


図4-2-5 最大需要電力（浄化センター）

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－3 0 機器故障状況（電気関連）

機器名称	内容及び原因	処置及び対応
玉穂第2 マンホールポンプ ポンプ井水位計	汚水ポンプの不具合対応時に、HHレベルフロートスイッチの動作不良が発見された。 原因はフロートスイッチの経年劣化によるものであった。	フロートスイッチの交換を実施した。
水処理施設 No.2 水中機械曝気機 現場操作盤 No.3 水中機械曝気機 現場操作盤	No.2 水中機械曝気機現場操作盤の盤内コンセントを使用して仮設排水ポンプを運転したが、しばらくしてポンプが停止してしまった。何度かコンセントの抜き差しを行ったが、すぐにポンプが停止してしまった。その後、No.3 水中機械曝気機現場操作盤の盤内コンセントを使用した。同様の状態で使用できない状況が発生した。 原因は盤内コンセント内部の接触不良や焼損によるものであった。	コンセントの交換を実施した。
釜無川横過トンネル 若草町浅原監視局盤	定期点検時に、盤内ファン2台の内1台が停止していることが発見された。 原因は換気ファンの経年劣化によるものであった。	換気ファンの交換を実施した
玉穂マンホールポンプ 汚水ポンプ動力制御盤	巡視点検時に、盤内の交互リレーから異音が生じていることが発見された。 原因は交互リレーの経年劣化によるものであった。	交互リレーの交換を実施した。
双葉ポンプ場 動力主幹盤	受変電設備精密点検時に、動力主幹盤の盤内アクセサリ電源MCCBの2次側回路の絶縁不良が発見された。 原因はNo.1 細目スクリーン除塵機内の下部の照明器具の絶縁低下によるものであった。	照明器具の交換を実施した。
田富ポンプ場 自家発電燃料流量計	定期点検時に、自家発電燃料流量計の表示部に「BATT」が表示していることが発見された。 原因は流量計の内部電池の劣化によるものであった。	内部電池の交換を実施した。
汚泥棟 No.1 遠心濃縮機 インバータ盤	情報処理計装設備保守点検業務委託によるNo.1 遠心濃縮機インバータ装置の定期点検後の試運転にてNo.1 遠心濃縮機を運転したところ、「インバータ故障」が発生してNo.1 遠心濃縮機が停止した。再度起動させても同様に故障が発生し、No.1 遠心濃縮機が運転不能となった。 原因は点検時の配線誤接続に伴う駆動機インバータ内直流回路のダイオードユニットと限流抵抗器の断線によるものであった。	駆動機、差動機各インバータの内部基板等の各種部品の交換を実施した。
韭崎第1ポンプ場 計装監視盤	定期点検時に、No.1－2汚水ポンプの運転時間が進んでおらず、運転時間計が動作していないことが発見された。 原因は運転時間計の故障であった。	運転時間計の交換を実施した。
双葉ポンプ場 自家発電機	始動中に「始動失敗」及び「排気温度低下」の警報が発生し、始動できない状況となった。 原因はエアアシストポンプの故障によるものであった。	エアアシストポンプの交換を実施した。

注）令和7年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

3 水質及び汚泥管理状況

(1) 水質管理状況

①水質試験結果

水質日常試験及び精密試験結果を表4-31～表4-34、図4-26～図4-27に示す。

流入水は、年間平均BODが150mg/L、SSが190mg/Lであった。流入水の汚濁濃度は概ね安定していた。

放流水は、概ね年間を通じて良好な水質であった。

②幹線調査結果

幹線調査結果を表4-35に示す。

特に検出される測定項目はなく、下水道排除基準を超過することはなかった。

③反応タンク試験結果及び生物試験結果

反応タンク運転状況、反応タンク試験結果及び生物試験結果を表4-36～表4-39に、反応タンクの管理状況を図4-28～図4-29に示す。

反応タンクは6池の使用とし、硝化抑制運転により処理を行った。さらにバルキング抑制を目的として年間を通して単段式嫌気好気法により運転を行った。

MLSSは、流入負荷や窒素処理の状況等を考慮し、1,400～1,650mg/Lの範囲で目標値を設定した。このような中で、MLSSは、1,340～1,790mg/Lの間を推移し、年間平均で1,530mg/Lとなった。

SVIは、120～200mL/gの間を推移した。沈降性は年間を通し概ね良好であった。

BOD-SS負荷は月間平均で0.12～0.25kg/kg・日、SRTは月間平均で4.5～6.1日で推移した。

活性汚泥中の微生物は、年間を通して活性汚泥性生物数の総数に変動があったが、割合については高く推移した。

④通日試験結果

通日試験結果を表4-40～表4-43、図4-30～図4-45に示す。

流入負荷は、概ね12:00前後と24:00前後に2回のピークが見られた。負荷が最も少ない時間帯は、朝方の6:00～8:00頃であった。

放流水は、概ね安定した良好なものであった。

(2) 汚泥管理状況

汚泥処理運転状況を表4-44に、汚泥試験測定結果を表4-45～表4-47に示す。

生汚泥については重力濃縮槽、余剰汚泥については遠心濃縮機により処理を行った。

重力濃縮槽については、汚泥性状に合わせ、運用上支障がない範囲で高濃度の汚泥となるよう界面管理を行った。この結果、重力濃縮汚泥濃度は年間平均で2.57%となった。

遠心濃縮機は、目標濃度を4.5%に設定し、1台の24時間連続運転を基本として、余剰汚泥発生量に応じて1台を追加運転した。なお、追加運転はピーク電力に配慮し運転を行った。この結果、機械濃縮汚泥濃度は4.65%となった。

脱水は、年間平均濃度3.68%の脱水機供給汚泥を高効率型のNo.2脱水機を基本とした運転により処理を行った。高分子凝集剤は高カチオン系を使用し、脱水ケーキや分離液の状況により薬注率の調整を行った。この結果、脱水ケーキの年間発生量は15,134.22t、含水率は年間平均値で73.9%

IV 釜無川流域下水道

となった。

なお、脱水ケーキは、50%をセメント原料、50%を肥料原料として全量有効利用した。

(3) その他管理状況

①放流河川調査結果

放流河川調査結果を表4-48～表4-49に示す。

放流口上流の坪川橋採水地点と比較し、放流口下流の笹口橋採水地点では全窒素中に占めるアンモニア性窒素の割合が高い状況であった。坪川は年間を通して水量が少なく、河川水に占める放流水の割合が高いため、硝化抑制運転の影響を受けたためと考えられる。

②臭気測定結果

臭気測定結果（敷地境界）を表4-50に示す。

敷地境界においては、規制値以下の結果であった。

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－3 1 日常試験分析結果（流入水）

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	20.5	22.0	24.0	26.0	26.5	27.0	25.5	22.5	21.0	18.0	18.5	27.0
	最小	18.0	19.0	21.5	24.0	25.5	25.5	22.5	21.0	19.0	17.0	16.5	16.5
	平均	19.4	21.1	22.7	25.0	26.2	26.2	24.3	21.7	19.8	17.7	17.4	21.7
水素イオン濃度	最大	7.29	7.24	7.25	7.11	7.14	7.14	7.26	7.20	7.20	7.19	7.23	7.29
	最小	7.14	7.11	7.00	6.97	6.93	7.00	6.98	7.01	7.05	7.04	7.06	6.93
	平均	7.21	7.18	7.06	7.03	7.01	7.05	7.12	7.12	7.14	7.14	7.15	7.11
透 視 度 (cm)	最大	4.5	4.5	4.5	6.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	5.0	6.0
	最小	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	平均	4.1	4.1	4.2	4.4	4.3	4.4	4.2	4.1	4.1	4.0	4.0	4.2
浮遊物質量 (mg/L)	最大	240	230	210	210	210	210	200	200	200	220	240	240
	最小	190	190	180	130	160	170	170	170	170	180	190	130
	平均	210	210	190	180	180	180	180	190	180	200	210	190
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	160	160	160	150	140	140	140	140	150	180	180	180
	最小	150	150	130	110	130	130	130	130	130	160	150	110
	平均	160	160	140	130	140	130	130	140	140	170	160	150
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	110	110	100	91	93	98	100	98	99	100	110	110
	最小	93	86	82	67	81	78	84	88	88	94	97	67
	平均	100	97	90	85	87	86	91	93	94	99	100	94
大腸菌数 (CFU/mL)	最大	88,000	74,000	74,000	68,000	63,000	64,000	78,000	96,000	79,000	62,000	86,000	96,000
	最小	57,000	53,000	39,000	20,000	22,000	50,000	44,000	45,000	62,000	40,000	64,000	20,000
	平均	71,000	62,000	54,000	44,000	36,000	55,000	61,000	70,000	70,000	50,000	74,000	60,000

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表 4－3 2 日常試験分析結果（放流水）

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	21.0	23.0	25.0	26.5	27.5	28.0	26.0	23.0	21.5	19.0	19.0	28.0
	最小	19.0	20.0	22.0	25.0	26.5	26.5	23.5	21.5	19.5	18.0	17.0	17.0
	平均	20.1	22.1	23.8	25.9	27.0	27.1	25.2	22.3	20.4	18.4	18.0	22.5
水素イオン濃度	最大	7.05	7.04	6.95	7.02	7.02	7.05	7.03	6.99	7.00	6.94	6.96	7.05
	最小	6.89	6.90	6.78	6.78	6.80	6.81	6.87	6.78	6.78	6.74	6.77	6.74
	平均	6.98	6.97	6.86	6.95	6.91	6.95	6.96	6.87	6.89	6.85	6.85	6.91
透 視 度 (cm)	最大	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	最小	>100	>100	90	60	80	>100	>100	70	70	80	80	60
	平均	>100	>100	99	94	96	>100	>100	92	84	98	97	96
浮遊物質量 (mg/L)	最大	4.3	3.3	4.2	6.4	3.9	4.3	3.6	4.9	4.9	4.4	4.0	6.4
	最小	2.3	2.4	2.7	2.7	2.5	2.4	2.1	2.2	3.0	2.4	3.0	2.1
	平均	2.9	2.9	3.4	3.5	3.2	3.2	2.9	3.3	4.3	3.1	3.5	3.3
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	2.4	2.6	2.8	2.9	3.3	3.0	3.1	3.3	3.1	3.5	3.3	3.5
	最小	2.0	1.8	2.3	2.4	1.9	2.6	1.9	2.3	2.5	2.1	2.6	1.8
	平均	2.2	2.3	2.6	2.6	2.8	2.8	2.3	2.7	2.9	2.6	3.0	2.7
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	11	11	11	11	12	11	11	12	12	12	12	12
	最小	10	9.8	9.2	8.7	10	9.3	10	9.9	11	10	11	8.7
	平均	11	10	10	10	11	10	11	11	12	11	12	11
大腸菌数 (CFU/mL)	最大	0	0	2	1	1	1	1	2	2	2	0	2
	最小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平均	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

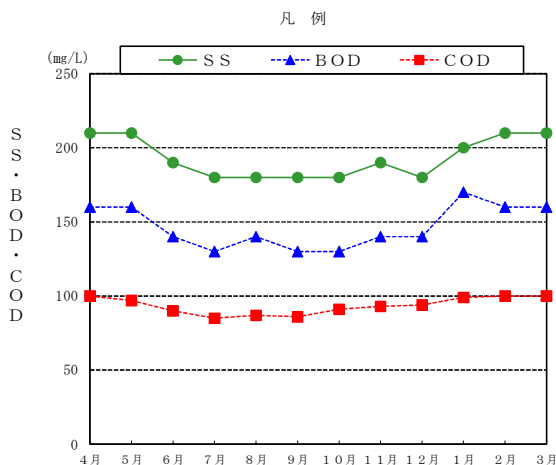


図 4－2 6 流入水の水質変化

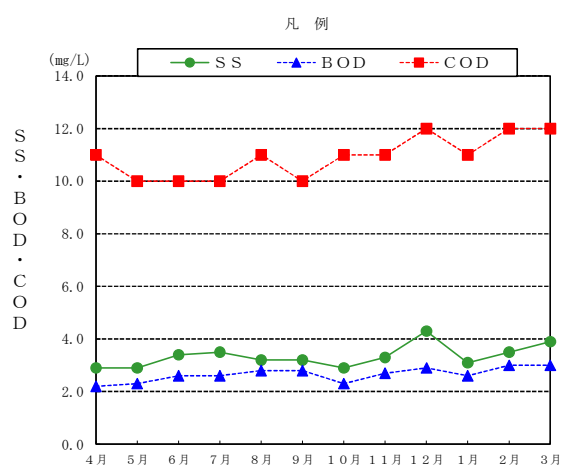


図 4－2 7 放流水の水質変化

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－3 3 （１） 精密試験分析結果（流入水－１）

測 定 項 目	単位	４ 月		５ 月		６ 月		７ 月		８ 月		９ 月		１ ０ 月	
実施日	－	3	17	8	22	5	19	3	17	7	21	4	17	2	16
水温	℃	18.5	19.5	20.5	21.5	22.0	23.0	24.5	25.0	26.5	26.5	27.0	26.5	25.5	24.5
透視度	cm	4.0	4.0	4.0	4.5	4.0	4.5	4.5	4.5	4.0	4.0	4.5	4.5	4.0	4.5
水素イオン濃度	－	7.28	7.26	7.16	7.19	7.11	7.02	7.05	7.11	7.14	7.07	7.01	7.09	7.11	7.11
蒸発残留物	mg/L	540	540	520	510	520	580	490	460	500	510	510	540	480	500
強熱残留物	mg/L	230	250	230	250	210	220	220	200	230	200	270	230	230	210
溶解性物質	mg/L	320	360	320	320	320	320	290	270	310	350	330	340	300	300
浮遊物質量	mg/L	220	190	220	190	190	190	190	170	190	170	180	190	180	190
アルカリ度	mg/L	189	190	188	188	188	173	186	157	189	185	181	174	190	190
生物化学的酸素要求量	mg/L	160	150	160	160	160	140	150	110	140	140	130	130	130	130
化学的酸素要求量	mg/L	110	96	100	96	91	89	89	74	90	86	87	88	86	87
アンモニア性窒素含有量	mg/L	23.8	25.2	24.7	23.3	21.4	21.6	22.3	16.2	21.1	23.7	19.0	18.5	23.7	18.9
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.57	0.47	0.58	0.50	0.56	0.49	0.57	0.48	0.33	0.35	0.53	0.48	0.39	0.36
有機性窒素含有量	mg/L	17.2	14.7	15.6	15.5	15.4	15.0	15.4	13.4	18.2	17.8	10.7	12.6	12.6	18.3
窒素含有量	mg/L	41.6	40.3	40.9	39.4	37.4	37.1	38.3	30.1	39.6	41.8	30.2	31.6	36.6	37.6
磷酸イオン態磷含有量	mg/L	3.33	2.99	3.67	3.26	3.47	3.44	2.87	2.66	4.14	3.91	3.05	4.21	4.32	3.91
磷含有量	mg/L	5.80	5.68	6.38	6.12	5.81	6.05	5.59	4.92	6.61	5.81	5.41	6.76	5.75	6.42
大腸菌数	CFU/mL	51,000	56,000	62,000	53,000	74,000	58,000	56,000	68,000	63,000	22,000	50,000	52,000	58,000	44,000
よう素消費量	mg/L	25	20	26	32	20	27	28	25	27	29	36	33	30	28
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	17	17	24	17	16	21	17	17	15	22	23	19	24	20
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.19	0.18	0.22	0.21	0.32	0.17	0.24	0.27	0.24	0.19	0.32	0.29	0.12	0.14
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.12	0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.0005	－	－	－	－	－
有機磷化合物	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.1	－	－	－	－	－
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	－	－	<0.0005	－	－	－	－	－	<0.0005	－	－	－	－	－
ジクロロメタン	mg/L	－	－	<0.02	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
四塩化炭素	mg/L	－	－	<0.002	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
1,2-ジクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.004	－	－	－	－	－
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.04	－	－	－	－	－
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.001	－	－	－	－	－
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.006	－	－	－	－	－
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
チウラム	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.006	－	－	－	－	－
シマジン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.003	－	－	－	－	－
チオベンカルブ	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
ベンゼン	mg/L	－	－	<0.01	－	－	－	－	－	<0.01	－	－	－	－	－
セレン及びその化合物	mg/L	－	－	<0.01	－	－	－	－	－	<0.01	－	－	－	－	－
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	24.4	25.7	25.3	23.8	22.0	22.1	22.9	16.7	21.4	24.0	19.5	19.0	24.1	19.3
1,4-ジオキサン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.05	－	－	－	－	－

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－3 3 （2） 精密試験分析結果（流入水－2）

測 定 項 目	単位	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—	6	20	4	18	8	22	5	19	5	18	—	—	—
水温	℃	22.5	21.5	21.0	19.5	18.0	18.0	17.5	17.5	18.0	18.5	27.0	17.5	21.8
透視度	cm	4.0	4.5	4.0	4.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.2
水素イオン濃度	—	7.14	7.15	7.09	7.11	7.17	7.15	7.20	7.23	7.18	7.21	7.28	7.01	7.14
蒸発残留物	mg/L	510	480	480	460	540	520	530	560	470	540	580	460	510
強熱残留物	mg/L	240	240	240	210	240	250	250	260	220	220	270	200	230
溶解性物質	mg/L	300	290	290	330	340	300	290	320	290	260	360	260	310
浮遊物質量	mg/L	190	200	190	180	210	210	200	240	190	220	240	170	200
アルカリ度	mg/L	185	183	192	185	192	194	183	190	191	191	194	157	186
生物化学的酸素要求量	mg/L	140	130	130	140	160	170	160	180	170	170	180	110	150
化学的酸素要求量	mg/L	90	90	90	90	100	94	97	110	97	100	110	74	93
アンモニア性窒素含有量	mg/L	16.4	25.3	24.8	23.3	25.8	25.1	25.8	26.1	24.8	25.3	26.1	16.2	22.8
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.19	0.30	0.59	0.55	0.73	0.60	0.55	0.68	0.64	0.60	0.73	0.19	0.50
有機性窒素含有量	mg/L	26.6	12.3	15.3	15.4	16.9	15.9	15.9	19.5	15.4	16.4	26.6	10.7	15.9
窒素含有量	mg/L	43.3	37.9	40.7	39.2	43.4	41.5	42.2	46.3	40.8	42.3	46.3	30.1	39.2
磷酸イオン態磷含有量	mg/L	4.25	2.91	3.68	2.92	3.58	3.10	3.75	4.33	3.37	4.21	4.33	2.66	3.56
磷含有量	mg/L	6.33	5.41	6.51	5.67	6.74	5.79	6.37	7.60	6.24	7.15	7.60	4.92	6.12
大腸菌数	CFU/mL	61,000	96,000	62,000	78,000	53,000	44,000	67,000	86,000	75,000	79,000	96,000	22,000	61,000
よう素消費量	mg/L	20	20	22	20	33	17	21	20	19	18	36	17	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	20	17	15	14	21	23	26	19	17	18	26	14	19
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.16	0.12	0.26	0.30	0.27	0.18	0.18	0.23	0.18	0.17	0.32	0.12	0.21
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	<0.10	<0.10	0.12	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機磷化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	<0.0005	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.002	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	16.6	25.6	25.4	23.8	26.5	25.7	26.4	26.8	25.4	25.9	26.8	16.6	23.3
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－3 4 （1） 精密試験分析結果（放流水－1）

測 定 項 目	単位	水質基準	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月	
実施日	—		3	17	8	22	5	19	3	17	7	21	4	17	2	16
水温	℃		19.0	20.5	21.5	23.0	23.0	24.0	25.5	25.5	27.0	27.0	28.0	27.0	26.0	25.5
透視度	cm		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	80	>100	90	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8～8.6	6.96	6.96	6.91	7.04	6.83	6.82	6.97	6.96	7.02	6.94	6.81	6.97	6.89	6.93
蒸発残留物	mg/L		280	290	270	250	270	260	280	230	230	270	260	270	250	260
強熱残留物	mg/L		220	230	220	210	210	200	200	170	170	180	210	210	210	210
溶解性物質	mg/L		270	280	260	240	260	250	260	220	220	270	250	270	240	240
浮遊物質質量	mg/L	40(30)	4.2	2.7	3.3	3.2	3.1	3.2	3.3	5.0	3.4	3.5	3.4	2.4	3.2	3.6
アルカリ度	mg/L		186	180	172	172	165	158	172	141	170	160	162	162	172	173
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	2.4	2.0	1.8	2.3	2.7	2.3	2.8	2.4	2.6	3.2	2.6	2.6	1.9	2.0
化学的酸素要求量	mg/L		11	11	10	10	11	9.2	10	9.3	10	11	10	9.9	10	11
アンモニア性窒素含有量	mg/L		22.0	22.4	22.1	21.2	17.8	18.1	18.8	13.8	18.7	21.3	15.8	16.5	21.8	21.8
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.20	0.15	0.34	0.25	0.38	0.31	0.27	0.05	0.11	0.31	0.31	0.11	0.29	0.13
硝酸性窒素含有量	mg/L		<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	0.20	0.16	<0.16	<0.16	0.20	0.23	0.18	0.39	<0.16	0.19
有機性窒素含有量	mg/L		0.84	1.02	1.66	0.74	0.73	0.94	0.56	0.80	0.68	1.44	2.84	0.53	1.12	0.32
窒素含有量	mg/L		23.2	23.6	24.2	22.4	19.1	19.5	19.8	14.8	19.7	23.3	19.1	17.6	23.3	22.4
磷酸イオン態磷含有量	mg/L		0.23	0.35	0.23	0.31	0.30	0.30	0.34	0.36	0.35	0.28	0.36	0.43	0.45	0.52
磷含有量	mg/L		0.40	0.52	0.40	0.49	0.46	0.47	0.51	0.59	0.55	0.54	0.54	0.57	0.54	0.61
大腸菌数	CFU/mL	300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
よう素消費量	mg/L		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	6	5	7	6	6	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
有機磷化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	9.00	9.11	9.18	8.73	7.70	7.71	7.79	5.57	7.79	9.06	6.81	7.10	9.01	9.04
1,4-ジオキササン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	—	—

Ⅳ 釜無川流域下水道

表4-34 (2) 精密試験分析結果 (放流水-2)

測定項目	単位	水質基準	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—		6	20	4	18	8	22	5	19	5	18	—	—	—
水温	℃		23.0	22.0	21.5	20.0	18.5	18.5	18.0	18.0	18.5	19.5	28.0	18.0	22.5
透視度	cm		>100	>100	80	85	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	80	97
水素イオン濃度	—	5.8~8.6	6.88	6.80	6.78	6.85	6.87	6.77	6.79	6.89	6.88	6.84	7.04	6.77	6.89
蒸発残留物	mg/L		260	260	270	260	270	280	280	280	250	300	300	230	270
強熱残留物	mg/L		200	210	220	200	230	240	210	210	190	200	240	170	210
溶解性物質	mg/L		260	260	260	250	250	260	270	270	240	260	280	220	250
浮遊物質量	mg/L	40(30)	3.0	2.8	4.6	4.8	3.2	3.3	3.6	3.7	3.3	4.3	5.0	2.4	3.5
アルカリ度	mg/L		175	176	188	183	190	188	180	185	185	188	190	141	174
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	2.5	2.6	2.9	2.9	2.1	2.2	2.6	3.2	2.8	3.0	3.2	1.8	2.5
化学的酸素要求量	mg/L		10	11	12	12	12	11	11	11	11	11	12	9.2	11
アンモニア性窒素含有量	mg/L		17.6	22.3	23.1	23.0	24.4	24.2	24.2	25.0	23.1	24.7	25.0	13.8	21.0
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.04	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.38	<0.02	0.14
硝酸性窒素含有量	mg/L		0.53	0.38	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	0.53	<0.16	<0.16
有機性窒素含有量	mg/L		1.10	2.22	1.41	1.41	2.22	0.72	1.83	0.89	2.17	2.17	2.84	0.32	1.27
窒素含有量	mg/L		19.3	24.9	24.5	24.4	26.6	24.9	26.1	25.9	25.2	26.9	26.9	14.8	22.5
磷酸イオン態磷含有量	mg/L		0.49	0.35	0.65	0.55	0.42	0.40	0.52	0.62	0.55	0.69	0.69	0.23	0.42
磷含有量	mg/L		0.66	0.56	0.92	0.79	0.62	0.59	0.75	0.85	0.75	0.74	0.92	0.40	0.60
大腸菌数	CFU/mL	300	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0
よう素消費量	mg/L		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	7	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機磷化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	7.61	9.30	9.24	9.20	9.76	9.68	9.68	10.0	9.24	9.88	10.0	5.57	8.63
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－3 5 （ 1 ） 幹線調査分析結果－ 1

測定項目		単位	排除基準	①	②	③	④	⑤	⑥
	採水月日			5月14日			5月14日	5月14日	
	採水時刻			9:30			10:05	10:35	
政 令 処 理 定 規 め 難 る 物 質 質 条 例 で 定 め 可 能 な 物 質 そ の 他 備 考	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001			<0.001	<0.001	
	シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01			<0.01	<0.01	
	有機燐化合物	mg/L	不検出	<0.1			<0.1	<0.1	
	鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01			<0.01	<0.01	
	六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01			<0.01	<0.01	
	砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005			<0.005	<0.005	
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005			<0.0005	<0.0005	
	アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	<0.0005			<0.0005	<0.0005	
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005			<0.0005	<0.0005	
	トリクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.002			<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005			<0.0005	<0.0005	
	ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02			<0.02	<0.02	
	四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002			<0.002	<0.002	
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004			<0.004	<0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	<0.02			<0.02	<0.02	
	シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	<0.04			<0.04	<0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001			<0.001	<0.001	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	<0.006			<0.006	<0.006	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	<0.002			<0.002	<0.002	
	チウラム	mg/L	0.06	<0.006			<0.006	<0.006	
	シマジン	mg/L	0.03	<0.003			<0.003	<0.003	
	チオベンカルブ	mg/L	0.2	<0.02			<0.02	<0.02	
	ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01			<0.01	<0.01	
	セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01			<0.01	<0.01	
	ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0			<1.0	<1.0	
	ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10			<0.10	<0.10	
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	<0.05			<0.05	<0.05	
	フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50			<0.50	<0.50	
	銅含有量	mg/L	1	<0.10			<0.10	<0.10	
	亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10			<0.10	<0.10	
	溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10			<0.10	<0.10	
	溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10			<0.10	<0.10	
	クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05			<0.05	<0.05	
条 例 で 定 め 可 能 な 物 質	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380	26.7			31.5	31.0	
	生物化学的酸素要求量	mg/L	600	210			180	180	
条 例 で 定 め 可 能 な 物 質	浮遊物質質量	mg/L	600	280			290	310	
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	30	23			21	21	
条 例 で 定 め 可 能 な 物 質	水素イオン濃度	—	5～9	7.18			7.15	7.12	
	水温	℃	45	20.0			21.5	21.5	
条 例 で 定 め 可 能 な 物 質	よう素消費量	mg/L	220	36			34	34	
	色	—		微黄濁			微黄濁	微黄濁	
条 例 で 定 め 可 能 な 物 質	化学的酸素要求量	mg/L		130			140	130	
	備考	番号 幹線名 上流市町名 ① 釜無川1号幹線 菰崎市 ② 釜無川1号幹線 (欠番) ③ 釜無川5号幹線 (欠番) ④ 釜無川1号幹線 菰崎市、甲斐市 ⑤ 釜無川1号幹線 菰崎市、甲斐市、昭和町 ⑥ 釜無川4号幹線 (欠番) ※②、③、⑥は、市町村合併により欠番としている。							

IV 釜無川流域下水道

表 4 - 3 5 (2) 幹線調査分析結果 - 2

測定項目				単位	排除基準	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
採水月日						5月15日	5月15日	5月15日		5月15日		5月14日	
採水時刻						9:55	9:25	8:35		10:30		9:10	
政令処理で困難な物質 条で定める物質 その他備考	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001		<0.001		<0.001		<0.001	
		シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01		<0.01		<0.01
	有機燐化合物	mg/L	不検出	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1		<0.1		<0.1	
	鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01		<0.01		<0.01	
	六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01		<0.01		<0.01	
	砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005		<0.005		<0.005		<0.005	
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005		<0.0005		<0.0005	
	アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005		<0.0005		<0.0005	
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005		<0.0005		<0.0005	
	トリクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002		<0.002		<0.002	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005		<0.0005		<0.0005	
	ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02		<0.02		<0.02	
	四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002		<0.002		<0.002	
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004	<0.004	<0.004		<0.004		<0.004		<0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02		<0.02		<0.02	
	シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	<0.04	<0.04	<0.04		<0.04		<0.04		<0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001	<0.001	<0.001		<0.001		<0.001		<0.001	
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006		<0.006		<0.006		<0.006	
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002		<0.002		<0.002	
	チウラム	mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006		<0.006		<0.006		<0.006	
	シマジン	mg/L	0.03	<0.003	<0.003	<0.003		<0.003		<0.003		<0.003	
	チオベンカルブ	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02		<0.02		<0.02	
	ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01		<0.01		<0.01	
	セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01		<0.01		<0.01		<0.01	
	ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0		<1.0		<1.0		<1.0	
	ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10		<0.10		<0.10		<0.10	
	1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05		<0.05		<0.05		<0.05	
	フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50		<0.50		<0.50		<0.50	
	銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10		<0.10		<0.10		<0.10	
	亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10		<0.10		<0.10		<0.10	
	溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10		<0.10		<0.10		<0.10	
	溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10		<0.10		<0.10		<0.10	
	クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05		<0.05		<0.05		<0.05	
	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380	36.7	34.1	26.5		32.0		35.4			
	生物化学的酸素要求量	mg/L	600	210	170	140		150		220			
	浮遊物質質量	mg/L	600	260	200	150		180		310			
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	30	25	17	18		19		24			
	水素イオン濃度	—	5～9	7.19	7.07	7.44		7.38		7.17			
	水温	℃	45	21.5	21.0	20.5		19.5		19.0			
	よう素消費量	mg/L	220	37	35	30		36		40			
	色	—		微黄濁	微黄濁	微黄濁		微黄濁		微黄濁			
	化学的酸素要求量	mg/L		130	110	94		110		170			
	番号	幹線名	上流市町名										
	⑦	釜無川1号幹線	葦崎市、甲斐市、昭和町、中央市										
	⑧	釜無川1号幹線	葦崎市、甲斐市、昭和町、中央市、南アルプス市、富士川町										
	⑨	富士川1号幹線	市川三郷町、富士川町										
	⑩	富士川1号幹線	(欠番)										
	⑪	富士川2号幹線	市川三郷町										
	⑫	富士川2号幹線	(欠番)										
	⑬	釜無川2号幹線	葦崎市										
	※⑩、⑫は、市町村合併により欠番としている。												

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－3 6 反応タンク運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
流 入 下 水 量 (m ³ /日)	最大	55,210	56,451	58,724	82,108	58,337	73,101	55,287	61,094	54,616	55,461	53,211	54,660	82,108
	最小	47,048	48,832	52,386	52,587	48,903	51,504	49,425	48,869	49,528	48,347	48,171	46,121	46,121
	平均	50,542	51,795	54,988	57,194	54,441	56,435	52,370	52,575	52,088	51,615	51,336	50,646	53,009
反応タンク 流入水量 (m ³ /日)	最大	58,790	60,090	62,480	84,400	61,980	76,790	58,880	65,030	58,200	59,180	56,970	58,620	84,400
	最小	50,420	52,600	56,150	56,410	52,660	55,350	53,200	52,800	53,050	51,760	51,950	49,680	49,680
	平均	54,143	55,513	58,610	60,912	58,151	60,171	56,077	56,357	55,678	55,158	55,050	54,317	56,684
返 送 汚 泥 量 (m ³ /日)	最大	29,336	29,927	31,400	41,623	31,692	42,241	29,677	32,612	29,662	29,968	28,338	29,883	42,241
	最小	26,272	26,887	28,311	28,279	27,421	28,042	27,311	27,481	26,927	26,096	26,526	25,142	25,142
	平均	27,359	28,113	29,622	30,474	29,458	30,451	28,480	28,532	27,983	27,884	27,678	27,590	28,639
返 送 汚 泥 率 (%)	最大	52.3	51.2	51.4	50.6	52.1	55.0	51.4	52.2	51.0	51.3	51.1	53.6	55.0
	最小	49.4	49.5	49.5	49.3	49.8	49.9	50.0	49.9	49.8	50.1	49.4	47.8	47.8
	平均	50.5	50.6	50.5	50.0	50.7	50.6	50.8	50.6	50.3	50.6	50.3	50.8	50.5
余 剩 汚 泥 量 (m ³ /日)	最大	1,300	1,329	1,457	1,440	1,454	1,357	1,440	1,440	1,320	1,308	1,443	1,380	1,457
	最小	950	1,271	952	214	991	1,260	1,166	1,178	1,077	1,020	1,114	990	214
	平均	1,189	1,316	1,290	1,313	1,299	1,307	1,342	1,299	1,226	1,201	1,262	1,297	1,279
送 風 量 (m ³ /日)	最大	149,900	137,600	141,700	155,500	151,900	148,000	144,300	132,700	157,900	158,500	140,600	141,700	158,500
	最小	117,000	116,600	118,100	120,800	122,400	107,400	119,600	112,800	118,500	110,800	115,300	109,400	107,400
	平均	134,497	127,058	130,387	133,052	135,952	128,853	133,416	122,097	133,948	127,674	127,893	125,377	130,046
送 風 倍 率 (倍)	最大	2.8	2.6	2.5	2.7	2.5	2.6	2.6	2.4	2.8	2.9	2.7	2.6	2.9
	最小	2.2	1.9	1.9	1.6	2.1	1.5	2.2	1.8	2.1	2.1	2.1	2.1	1.5
	平均	2.5	2.3	2.2	2.2	2.3	2.1	2.4	2.2	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3
滞 留 時 間 (H r)	最大	10.4	10.0	8.0	8.0	8.5	8.1	8.4	8.5	8.5	8.7	8.6	9.0	10.4
	最小	8.9	7.5	7.2	5.3	7.2	5.8	7.6	6.9	7.7	7.6	7.9	7.7	5.3
	平均	9.7	9.4	8.9	7.4	7.7	7.5	8.0	8.0	8.1	8.1	8.2	8.3	8.3

IV 釜無川流域下水道

表4-37 反応タンク試験結果（1）

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均	
水 温 (℃)	最大	21.0	23.0	25.0	27.0	27.5	28.0	26.0	23.0	21.5	19.0	19.0	20.0	28.0	
	最小	19.0	20.0	22.0	25.0	26.5	26.5	23.5	21.5	19.5	18.0	17.5	19.0	17.5	
	平均	20.2	22.1	23.8	26.0	27.0	27.1	25.2	22.4	20.4	18.4	18.1	19.4	22.5	
p H	ML	最大	6.87	6.89	6.77	6.84	6.84	6.84	6.88	6.80	6.83	6.78	6.83	6.82	6.89
		最小	6.77	6.75	6.64	6.68	6.66	6.70	6.68	6.66	6.65	6.68	6.69	6.68	6.64
		平均	6.83	6.83	6.72	6.77	6.74	6.75	6.79	6.72	6.74	6.73	6.76	6.75	6.76
	RS	最大	6.83	6.85	6.76	6.76	6.79	6.71	6.78	6.73	6.80	6.79	6.78	6.79	6.85
		最小	6.69	6.63	6.57	6.58	6.58	6.57	6.62	6.56	6.57	6.54	6.60	6.57	6.54
		平均	6.76	6.75	6.64	6.66	6.68	6.64	6.70	6.63	6.64	6.66	6.69	6.69	6.69
D O (mg/L)	最大	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	1.0	0.9	0.8	0.8	1.0	
	最小	0.7	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	0.8	0.7	0.5	
	平均	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	
M L S S (mg/L)	最大	1,670	1,530	1,600	1,580	1,660	1,480	1,510	1,650	1,660	1,790	1,740	1,730	1,790	
	最小	1,390	1,340	1,420	1,410	1,360	1,340	1,350	1,400	1,500	1,660	1,610	1,550	1,340	
	平均	1,500	1,440	1,510	1,500	1,460	1,410	1,440	1,510	1,580	1,720	1,680	1,600	1,530	
M L V S S (mg/L)	最大	1,320	1,190	1,280	1,240	1,320	1,170	1,180	1,270	1,320	1,430	1,390	1,380	1,430	
	最小	1,100	1,040	1,120	1,120	1,080	1,060	1,060	1,100	1,200	1,320	1,270	1,220	1,040	
	平均	1,180	1,130	1,190	1,190	1,150	1,110	1,130	1,190	1,260	1,360	1,330	1,280	1,210	
MLVSS/MLSS (%)	最大	79.8	79.3	80.4	80.7	80.2	79.6	80.0	80.1	80.7	80.6	80.5	81.1	81.1	
	最小	77.3	77.3	78.0	77.7	77.9	77.8	77.5	68.1	79.0	77.4	77.9	77.7	68.1	
	平均	78.3	78.7	79.1	79.3	78.9	78.8	78.7	78.2	79.8	79.1	79.2	79.7	79.0	
S V 3 0 (%)	ML	最大	27	26	26	29	32	29	27	30	29	28	24	26	32
		最小	23	23	21	23	26	26	23	25	23	23	19	20	19
		平均	24	24	23	26	27	27	25	28	27	26	21	23	25
	RS	最大	96	96	94	98	98	98	97	98	98	97	92	95	98
		最小	88	81	72	81	91	92	87	93	75	86	73	80	72
		平均	92	92	89	93	95	95	93	96	95	93	86	91	93
S V I (mL/g)	ML	最大	170	180	170	190	200	200	190	190	190	160	140	160	200
		最小	150	150	140	150	180	180	170	180	150	140	120	120	120
		平均	160	170	150	170	190	190	180	180	170	150	130	150	170
	RS	最大	330	340	270	320	340	310	290	320	320	270	260	340	340
		最小	210	210	210	180	220	180	200	200	180	190	210	190	180
		平均	260	250	240	250	280	260	250	250	230	240	230	260	250
BOD-SS 負 荷 (kg/kg・日)	最大	0.17	0.17	0.19	0.19	0.16	0.21	0.20	0.21	0.20	0.22	0.24	0.25	0.25	
	最小	0.12	0.15	0.15	0.15	0.12	0.16	0.15	0.17	0.19	0.19	0.20	0.20	0.12	
	平均	0.15	0.16	0.17	0.16	0.15	0.18	0.18	0.19	0.20	0.20	0.22	0.23	0.18	
S R T (日)	平均	6.1	5.2	4.8	4.6	4.7	4.8	4.5	4.8	4.9	5.1	5.0	4.7	4.9	

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表4-38 反応タンク試験結果（2）

項 目		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		最大	最小	平均
酸素利用速度 Rr (mg/L・H)	—	15.2	17.8	16.0	19.0	21.9	21.1	24.5	27.2	24.1	24.2	22.5	19.7	21.7	21.2	19.1	19.6	22.0	15.4	17.9	24.8	23.6	23.8	24.9	20.2	27.2	15.2	21.1
	ATU	11.2	14.3	14.3	17.6	16.3	17.8	20.2	18.8	20.5	14.3	15.2	14.7	16.0	16.0	15.5	15.4	16.9	14.0	16.0	23.0	22.4	21.7	21.7	16.4	23.0	11.2	17.1
酸素利用速度 係数Kr (mg/g・H)	—	10.8	12.4	11.8	13.2	14.4	11.7	16.0	17.4	15.9	17.1	15.8	15.9	15.0	13.1	14.2	11.3	14.9	9.7	10.4	13.8	13.1	14.2	14.5	11.8	17.4	9.7	13.7
	ATU	7.9	10.0	10.6	12.2	10.7	9.9	13.2	12.1	13.5	10.1	10.7	11.9	11.0	9.9	11.6	8.9	11.5	8.8	9.2	12.8	12.4	12.9	12.6	9.6	13.5	7.9	11.0
備 考		A T U添加量10mg/L、酸素利用速度係数はMLSSによる。																										

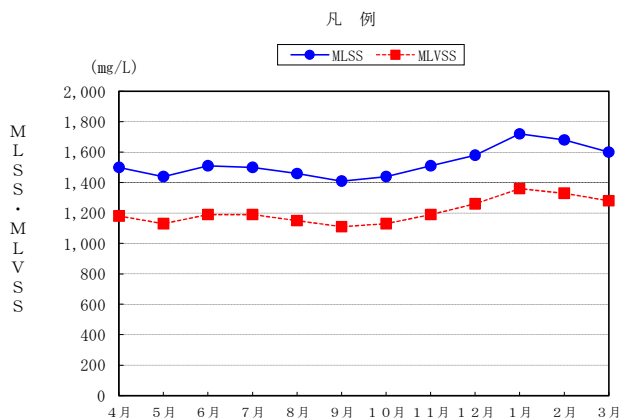


図4-28 反応タンクの管理状況（1）

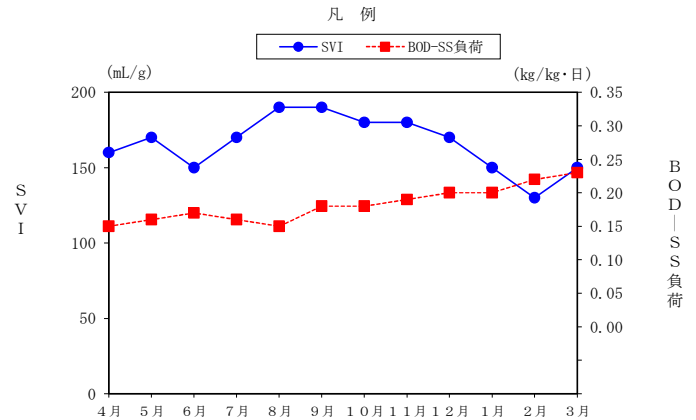


図4-29 反応タンクの管理状況（2）

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－3 9 反応タンク生物試験結果

(単位：個/cm³)

分 類 及 び 生 物 名				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均		
原	鞭 毛 虫 類	動物性	Bodo・Monas	70	110	70	30	110	40	30	60	50	70	120	50	120	30	68		
		植物性	Peranema	20	170	160	70	80	60	100	80	190	60	140	200	200	20	111		
			Entoshiphon	100	20	40		40	50		10	30	40	50	30	100	0	34		
生	纖 毛 虫 類	異毛目	Spirostomum	100	210	130	200	130	100	210	200	180	290	350	250	350	100	196		
		裸口目	Chilodonella												10	10	0	1		
			Trachelophyllum	30	180	170	60	70	80	150	160	230	120	250	270	270	30	148		
			Litonotus	40	110	100	30	40	50	100	80	70	100	80	260	260	30	88		
		下毛目	Aspidisca	400	370	390	250	410	290	300	270	390	400	330	430	430	250	353		
			Euplotes								20	20				20	0	3		
			Chaetospira			20			10	20	10	40	50	10		50	0	13		
		ナマ目	Drepanomonas		20	40		10				20				40	0	8		
		縁毛目	Vorticella	440	500	320	250	240	270	370	600	420	820	1,020	1,460	1,460	240	559		
			Epistylis	1,110	2,820	1,950	1,630	1,010	1,360	1,060	2,400	2,780	3,130	2,260	3,640	3,640	1,010	2,096		
		吸管虫目	Tokophrya	20	50		20	20	20	20	10	20	40	40	30	50	0	24		
		物	根 足 虫 類	有 殻	Arcella	230	600	550	350	390	420	320	330	440	460	310	390	600	230	399
					Pyxidicula	580	670	390	360	420	350	430	240	170	310	460	210	670	170	383
無 殻	Amoeba			320	800	460	180	310	300	200	220	290	830	370	410	830	180	391		
後 動 生 物	輪虫類	Lepadella	40	90	140	80	30	10	20	80	10	30	30	10	140	10	48			
		Rotaria	20			20		10	10	30	10				30	0	8			
	腹毛類	Chaetonotus	30	110	200	120	120	70	30	100	10	20	70	120	200	10	83			
そ の 他 の 生 物 数															0	0	0			
総 生 物 数				3,550	6,830	5,130	3,650	3,430	3,490	3,370	4,900	5,370	6,770	5,890	7,770	7,770	3,370	5,013		
活 性 汚 泥 生 物 数				3,070	5,460	4,170	3,280	2,820	2,960	2,790	4,300	4,540	5,590	4,930	6,570	6,570	2,790	4,207		
活 性 汚 泥 性 生 物(%)				86.5	79.9	81.3	89.9	82.2	84.8	82.8	87.8	84.5	82.6	83.7	84.6	89.9	79.9	84.2		

IV 釜無川流域下水道

表 4-40 流入水及び放流水の経時変化(4/8~4/10)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/8 10:00	4,300	140	602	210	903	110	473
12:00	5,940	170	1,010	240	1,426	120	713
14:00	4,790	170	814	240	1,150	120	575
16:00	3,940	180	709	260	1,024	120	473
18:00	3,610	150	542	210	758	110	397
20:00	4,000	200	800	300	1,200	120	480
22:00	5,600	200	1,120	310	1,736	120	672
4/9 0:00	6,880	150	1,032	210	1,445	100	688
2:00	5,950	140	833	190	1,131	89	530
4:00	3,930	120	472	140	550	78	307
6:00	2,420	130	315	180	436	89	215
8:00	2,290	140	321	190	435	92	211

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/9 10:00	4,460	2.7	12.0	2.4	10.7	10	44.6
12:00	5,980	3.0	17.9	3.1	18.5	10	59.8
14:00	5,010	2.7	13.5	2.8	14.0	9.6	48.1
16:00	4,080	2.8	11.4	2.5	10.2	9.6	39.2
18:00	3,760	3.0	11.3	2.8	10.5	10	37.6
20:00	4,050	2.9	11.7	3.2	13.0	11	44.6
22:00	5,800	3.6	20.9	3.6	20.9	11	63.8
4/10 0:00	6,920	3.1	21.5	4.8	33.2	11	76.1
2:00	5,870	3.1	18.2	5.2	30.5	11	64.6
4:00	3,920	2.9	11.4	4.4	17.2	11	43.1
6:00	2,440	2.5	6.1	3.2	7.8	11	26.8
8:00	2,310	2.6	6.0	3.2	7.4	10	23.1

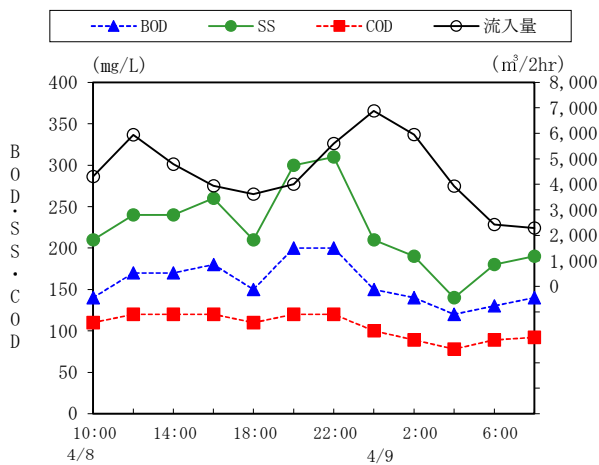


図 4-30 流入水濃度の経時変化(4/8~4/9)

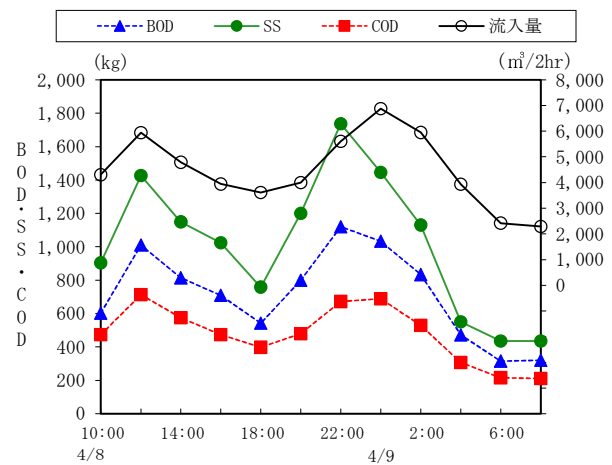


図 4-31 流入水負荷量の経時変化(4/8~4/9)

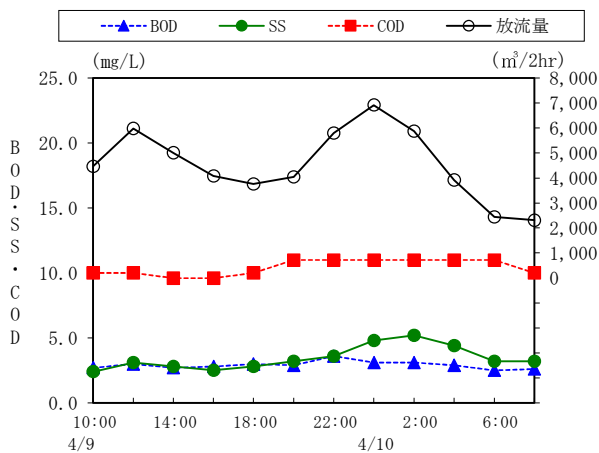


図 4-32 放流水濃度の経時変化(4/9~4/10)

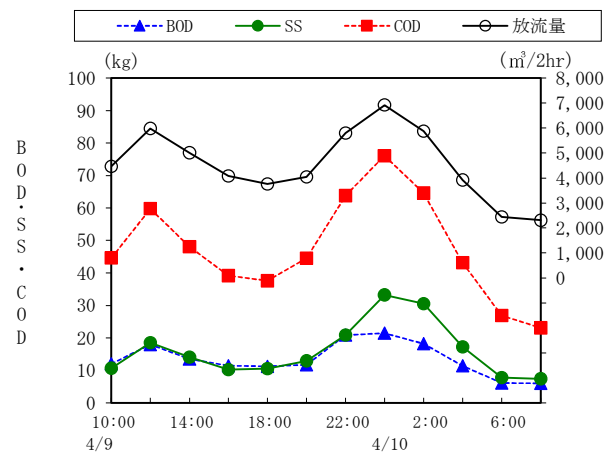


図 4-33 放流水負荷量の経時変化(4/9~4/10)

IV 釜無川流域下水道

表 4-4 1 流入水及び放流水の経時変化(8/12~8/14)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/12 10:00	4,290	120	515	160	686	89	382
12:00	5,880	220	1,294	320	1,882	140	823
14:00	5,160	160	826	210	1,084	110	568
16:00	4,650	160	744	200	930	110	512
18:00	4,360	170	741	190	828	100	436
20:00	4,640	170	789	200	928	98	455
22:00	6,110	170	1,039	200	1,222	96	587
8/13 0:00	6,900	160	1,104	180	1,242	85	587
2:00	5,790	130	753	160	926	81	469
4:00	4,110	140	575	160	658	75	308
6:00	2,670	150	401	150	401	79	211
8:00	2,730	140	382	160	437	79	216

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/13 10:00	4,460	2.2	9.8	2.7	12.0	11	49.1
12:00	6,150	2.0	12.3	2.6	16.0	10	61.5
14:00	5,740	2.1	12.1	2.7	15.5	9.9	56.8
16:00	4,660	2.1	9.8	2.8	13.0	10	46.6
18:00	4,460	2.8	12.5	3.2	14.3	11	49.1
20:00	4,480	2.6	11.6	3.2	14.3	11	49.3
22:00	5,700	2.4	13.7	3.6	20.5	11	62.7
8/14 0:00	6,680	2.5	16.7	4.0	26.7	12	80.2
2:00	6,090	2.9	17.7	4.0	24.4	11	67.0
4:00	4,180	2.4	10.0	3.6	15.0	11	46.0
6:00	2,600	2.4	6.2	2.8	7.3	11	28.6
8:00	3,380	2.3	7.8	2.8	9.5	10	33.8

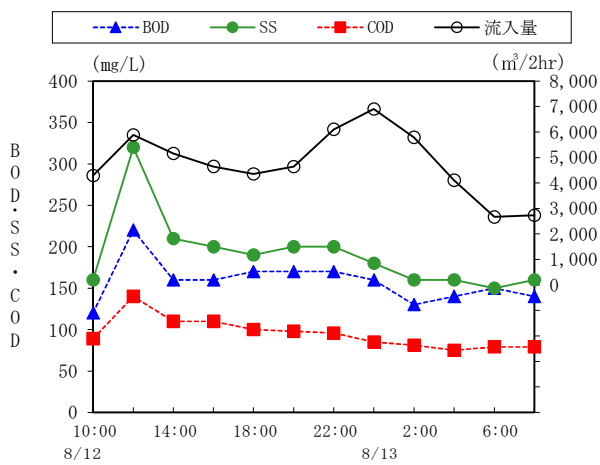


図 4-3 4 流入水濃度の経時変化 (8/12~8/13)

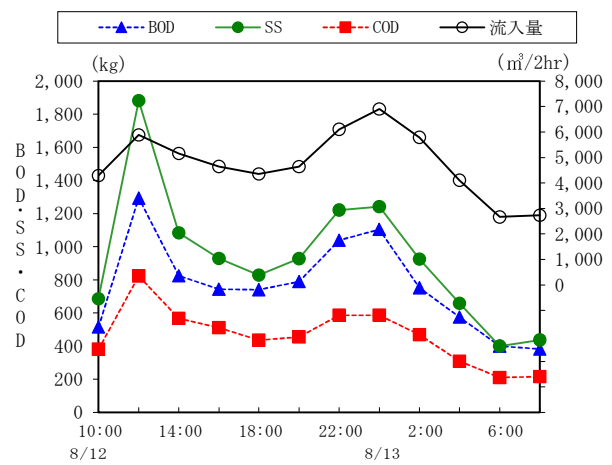


図 4-3 5 流入水負荷量の経時変化 (8/12~8/13)

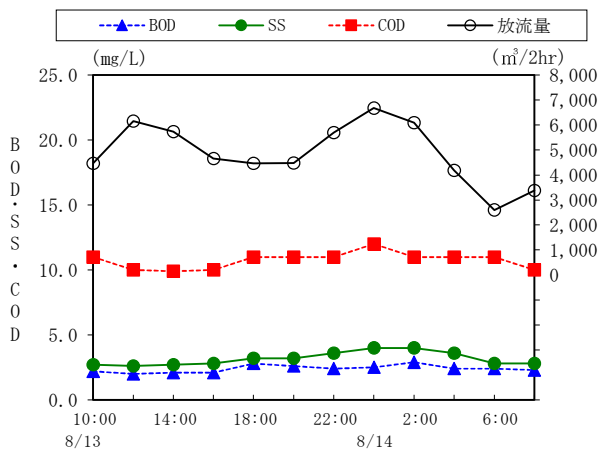


図 4-3 6 放流水濃度の経時変化 (8/13~8/14)

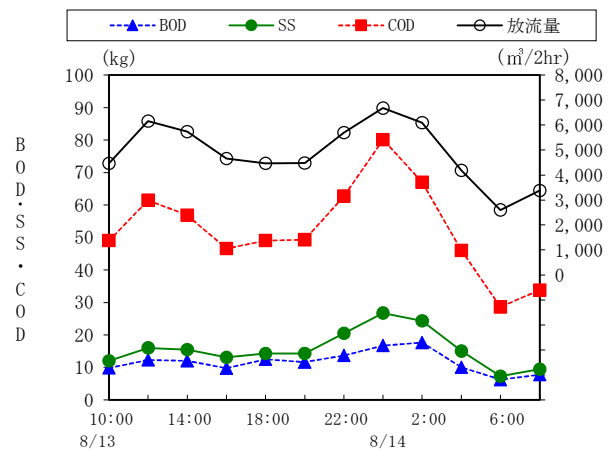


図 4-3 7 放流水負荷量の経時変化 (8/13~8/14)

IV 釜無川流域下水道

表 4-4 2 流入水及び放流水の経時変化(11/11~11/13)

流 入 水							
採 水 時 間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/11 10:00	4,450	150	668	180	801	96	427
12:00	5,890	190	1,119	230	1,355	120	707
14:00	5,020	200	1,004	210	1,054	110	552
16:00	4,110	170	699	200	822	120	493
18:00	3,920	160	627	190	745	100	392
20:00	4,370	170	743	200	874	100	437
22:00	6,050	170	1,029	180	1,089	98	593
11/12 0:00	7,190	150	1,079	180	1,294	90	647
2:00	6,250	130	813	150	938	86	538
4:00	4,150	110	457	140	581	72	299
6:00	2,510	120	301	130	326	76	191
8:00	2,510	130	326	150	377	87	218

放 流 水							
採 水 時 間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/12 10:00	4,580	2.6	11.9	2.5	11.5	11	50.4
12:00	6,160	2.7	16.6	3.5	21.6	10	61.6
14:00	5,130	2.6	13.3	2.9	14.9	11	56.4
16:00	4,010	2.4	9.6	3.1	12.4	10	40.1
18:00	3,760	2.6	9.8	3.6	13.5	11	41.4
20:00	4,520	2.5	11.3	3.6	16.3	11	49.7
22:00	6,090	2.9	17.7	2.8	17.1	11	67.0
11/13 0:00	7,220	3.0	21.7	4.4	31.8	11	79.4
2:00	6,090	3.2	19.5	4.8	29.2	12	73.1
4:00	4,100	3.2	13.1	3.6	14.8	11	45.1
6:00	2,570	2.6	6.7	2.8	7.2	10	25.7
8:00	2,530	2.3	5.8	2.8	7.1	10	25.3

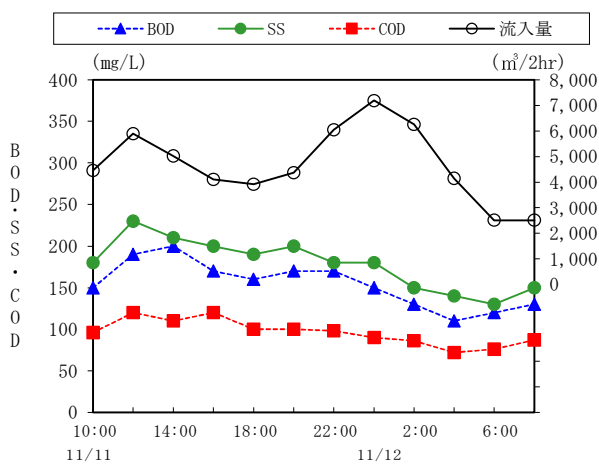


図 4-3 8 流入水濃度の経時変化 (11/11~11/12)

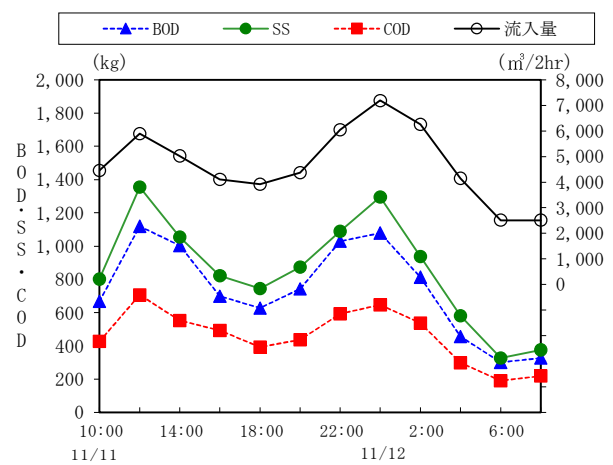


図 4-3 9 流入水負荷量の経時変化 (11/11~11/12)

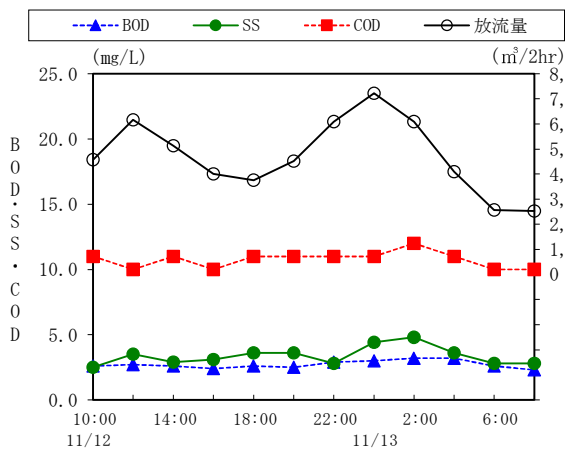


図 4-4 0 放流水濃度の経時変化 (11/12~11/13)

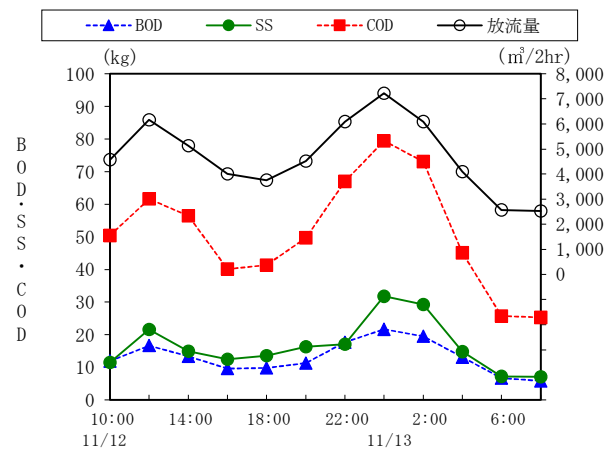


図 4-4 1 放流水負荷量の経時変化 (11/12~11/13)

IV 釜無川流域下水道

表 4-4 3 流入水及び放流水の経時変化(3/11~3/13)

流入水							
採水時間	流入量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
3/11 10:00	4,330	190	823	290	1,256	130	563
12:00	5,800	170	986	220	1,276	120	696
14:00	4,920	160	787	210	1,033	110	541
16:00	4,050	160	648	210	851	110	446
18:00	3,750	170	638	210	788	110	413
20:00	4,270	160	683	210	897	110	470
22:00	5,910	170	1,005	220	1,300	110	650
3/12 0:00	7,070	160	1,131	190	1,343	100	707
2:00	6,130	150	920	150	920	93	570
4:00	3,810	130	495	150	572	84	320
6:00	2,430	120	292	170	413	85	207
8:00	2,470	140	346	170	420	93	230

放流水							
採水時間	放流量 (m ³ /2hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
3/12 10:00	4,020	3.2	12.9	3.2	12.9	12	48.2
12:00	5,730	3.2	18.3	3.9	22.3	11	63.0
14:00	5,120	3.0	15.4	3.4	17.4	10	51.2
16:00	3,910	3.0	11.7	3.8	14.9	11	43.0
18:00	3,840	3.3	12.7	4.4	16.9	11	42.2
20:00	4,130	3.2	13.2	4.4	18.2	12	49.6
22:00	5,580	3.3	18.4	4.8	26.8	12	67.0
3/13 0:00	7,220	3.9	28.2	6.8	49.1	12	86.6
2:00	6,030	4.2	25.3	7.2	43.4	13	78.4
4:00	3,820	3.6	13.8	6.8	26.0	13	49.7
6:00	2,470	3.9	9.6	4.4	10.9	12	29.6
8:00	2,340	3.2	7.5	4.4	10.3	12	28.1

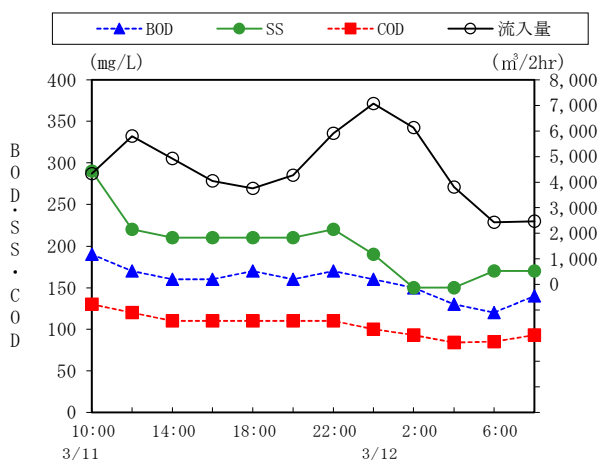


図 4-4-2 流入水濃度の経時変化 (3/11~3/12)

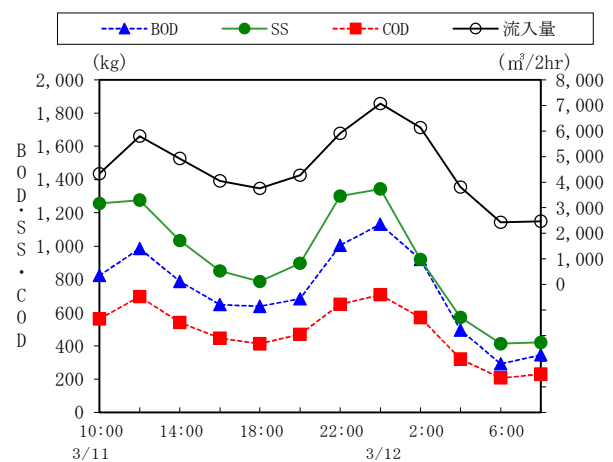


図 4-4-3 流入水負荷量の経時変化 (3/11~3/12)

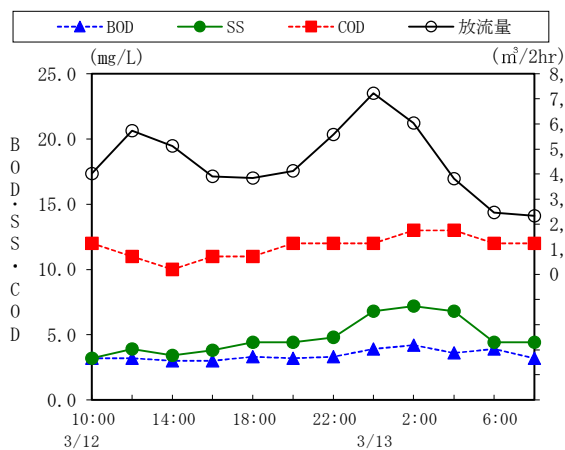


図 4-4-4 放流水濃度の経時変化 (3/12~3/13)

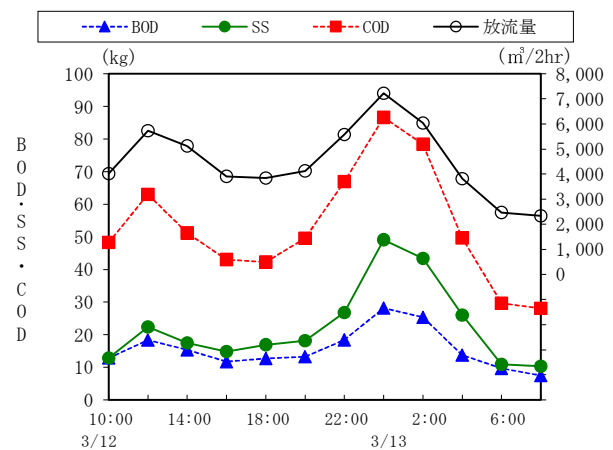


図 4-4-5 放流水負荷量の経時変化 (3/12~3/13)

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－4 4 汚泥処理運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均	計
生汚泥	固 形 分 (%)	0.76	0.78	0.81	0.78	0.70	0.68	0.62	0.63	0.63	0.71	0.76	0.70	0.81	0.62	0.71	—
	引 抜 量 (m³)	26,772	27,304	26,101	26,917	28,589	26,807	28,838	27,228	27,308	26,507	25,475	28,559	28,838	25,475	27,200	326,405
	固形物量 (kg)	203,915	212,386	212,013	210,955	200,269	182,236	177,687	172,139	172,541	187,679	194,499	199,314	212,386	172,139	193,803	2,325,633
重縮力汚濃泥	固 形 分 (%)	2.50	2.51	2.56	2.60	2.47	2.44	2.63	2.71	2.78	2.74	2.58	2.32	2.78	2.32	2.57	—
	引 抜 量 (m³)	7,971.4	8,271.5	8,081.2	7,952.9	7,903.0	7,125.2	6,543.6	6,115.8	5,994.3	7,000.9	7,364.0	8,357.7	8,357.7	5,994.3	7,390.1	88,681.5
	固形物量 (kg)	199,403	207,628	206,787	206,403	195,511	173,970	172,336	165,805	166,573	182,997	189,790	194,061	207,628	165,805	188,439	2,261,264
余剰汚泥	固 形 分 (%)	0.50	0.45	0.46	0.47	0.44	0.44	0.45	0.54	0.53	0.58	0.53	0.50	0.58	0.44	0.49	—
	引 抜 量 (m³)	35,666	40,793	38,694	40,693	40,254	39,218	41,612	38,966	38,009	37,216	35,348	40,211	41,612	35,348	38,890	466,680
	固形物量 (kg)	177,812	185,527	177,946	191,039	178,158	171,995	186,292	181,892	199,872	214,510	185,629	201,773	214,510	171,995	187,704	2,252,445
機縮汚濃泥	固 形 分 (%)	4.65	4.70	4.67	4.45	4.47	4.40	4.71	4.59	4.80	4.82	4.86	4.74	4.86	4.40	4.65	—
	引 抜 量 (m³)	3,579.3	3,631.6	3,548.9	3,831.3	3,538.3	3,516.4	3,669.1	3,633.9	3,747.0	4,062.4	3,467.8	3,903.3	4,062.4	3,467.8	3,677.4	44,129.3
	固形物量 (kg)	166,261	170,663	165,645	170,397	158,332	154,858	172,632	166,700	180,000	195,944	168,414	185,072	195,944	154,858	171,243	2,054,918
脱水機	固 形 分 (%)	3.58	3.63	3.70	3.69	3.61	3.66	3.63	3.65	3.86	3.89	3.76	3.57	3.89	3.57	3.68	—
	供 給 量 (m³)	10,221.7	10,419.0	10,079.3	10,219.5	9,810.8	8,991.9	9,493.7	9,118.5	8,983.1	9,736.0	9,531.9	10,626.0	10,626.0	8,983.1	9,769.3	117,231.4
	固形物量 (kg)	365,664	378,291	372,432	376,800	353,843	328,828	344,968	332,505	346,573	378,941	358,204	379,133	379,133	328,828	359,682	4,316,182
高凝集子剤	濃 度 (%)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	—
	供 給 量 (m³)	1,177.9	1,206.8	1,237.9	1,170.7	1,090.4	1,041.1	1,078.7	1,057.6	1,091.6	1,215.1	1,448.5	1,230.2	1,448.5	1,041.1	1,170.5	14,046.5
	薬注率(%)No.1脱水機	0.98	1.01	0.98	0.99	0.95	0.87	1.01	1.03	1.01	0.98	1.16	1.15	1.16	0.87	1.01	—
	薬注率(%)No.2脱水機	0.58	0.59	0.61	0.59	0.60	0.61	0.60	0.62	0.61	0.62	0.66	0.61	0.66	0.58	0.61	—
脱水ケーキ	含 水 率 (%)	74.2	73.9	73.7	73.8	73.4	72.9	73.6	73.5	74.2	74.7	74.6	74.6	74.7	72.9	73.9	—
	ケーキ量(t)	1,306.17	1,340.93	1,272.51	1,317.26	1,220.50	1,108.22	1,188.39	1,165.69	1,235.89	1,358.87	1,231.48	1,388.31	1,388.31	1,108.22	1,261.19	15,134.22
	固形物量 (kg)	336,992	349,983	334,670	345,122	324,653	300,328	313,735	308,908	318,860	343,794	312,796	352,631	352,631	300,328	328,539	3,942,471

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－4 5 汚泥中試験、汚泥返流水試験分析結果

項 目			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均
汚泥中試験	重力汚泥濃縮	水素イオン濃度	5.67	5.72	5.50	5.46	5.65	5.23	5.28	5.13	5.49	5.48	5.69	5.66	5.72	5.13	5.50
		固形分 (%)	3.44	3.35	3.40	3.56	2.94	3.77	3.38	3.18	3.63	3.47	3.38	3.26	3.77	2.94	3.40
		有機分 (%)	93.2	93.3	93.2	91.6	93.4	92.3	93.5	93.9	94.1	94.1	94.2	93.9	94.2	91.6	93.4
	機械汚泥濃縮	水素イオン濃度	6.51	6.43	6.32	6.37	6.40	6.40	6.41	6.30	6.50	6.38	6.61	6.54	6.61	6.30	6.43
		固形分 (%)	4.64	4.77	4.64	4.32	4.47	4.55	4.60	4.50	4.93	4.92	4.83	4.83	4.93	4.32	4.67
		有機分 (%)	74.8	74.7	74.1	76.8	75.0	73.2	73.3	74.2	75.7	75.3	77.2	76.3	77.2	73.2	75.1
	脱水機供給汚泥	水素イオン濃度	6.17	6.12	5.89	5.83	6.05	5.81	5.78	5.63	5.90	5.91	5.90	5.98	6.17	5.63	5.91
		固形分 (%)	3.47	3.59	3.70	3.74	3.52	3.79	3.69	3.69	4.09	4.00	3.77	3.52	4.09	3.47	3.71
		有機分 (%)	88.2	88.3	88.8	88.6	88.5	88.5	88.5	88.8	89.3	89.2	89.6	90.0	90.0	88.2	88.9
	脱水ケーキ	含水率 (%)	73.6	75.7	72.5	73.8	73.9	72.3	73.1	72.9	73.6	74.6	73.4	74.7	75.7	72.3	73.7
		有機分 (%)	91.1	90.5	91.3	91.6	91.2	92.1	91.8	91.5	91.9	91.8	92.1	92.3	92.3	90.5	91.6
汚泥返流水試験	重力分離濃縮	水素イオン濃度	6.73	6.69	6.66	6.58	6.73	6.35	6.74	6.53	6.55	6.55	6.67	6.67	6.74	6.35	6.62
		アルカリ度 (mg/L)	176	194	150	172	200	180	202	175	171	174	181	231	231	150	184
		浮遊物質 (mg/L)	250	250	290	250	230	430	250	300	280	250	260	260	430	230	280
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	290	340	330	330	330	430	340	380	320	330	330	340	430	290	340
		化学的酸素要求量 (mg/L)	160	170	160	160	150	200	160	180	170	180	160	160	200	150	170
	機械分離濃縮	水素イオン濃度	7.52	7.41	7.32	7.35	7.16	7.24	7.33	7.52	7.34	7.30	7.49	7.53	7.53	7.16	7.38
		アルカリ度 (mg/L)	173	165	146	153	145	152	154	165	167	172	180	182	182	145	163
		浮遊物質 (mg/L)	370	400	350	570	540	480	370	430	580	560	540	460	580	350	470
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	210	250	200	320	320	150	240	280	330	290	290	190	330	150	260
		化学的酸素要求量 (mg/L)	150	160	130	200	200	170	150	170	230	220	220	180	230	130	180
	脱水分離濃縮	水素イオン濃度	6.39	6.43	6.29	6.09	6.29	5.99	6.20	6.00	6.13	6.17	6.40	6.35	6.43	5.99	6.23
		アルカリ度 (mg/L)	405	368	309	351	388	324	418	358	376	411	352	355	418	309	368
		浮遊物質 (mg/L)	560	630	640	600	770	820	810	660	700	720	970	820	970	560	730
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	800	920	860	1,100	1,000	1,300	1,300	1,300	1,200	1,200	1,050	780	1,300	780	1,100
		化学的酸素要求量 (mg/L)	550	550	570	610	620	650	610	690	640	690	690	750	750	550	640

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－4 6 汚泥測定結果（溶出試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機リン化合物	mg/L	—	<0.1	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素又はその化合物	mg/L	<0.005	0.007	<0.005	<0.005	0.007	<0.005	<0.005
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
銅又はその化合物	mg/L	<0.10	0.21	0.11	<0.10	0.21	<0.10	<0.10
亜鉛又はその化合物	mg/L	0.41	0.93	0.85	0.63	0.93	0.41	0.71
鉄	mg/L	0.23	0.77	0.47	0.40	0.77	0.23	0.47
マンガン	mg/L	<0.10	0.11	0.11	0.12	0.12	<0.10	<0.10
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	<0.004	—	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.04	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	<0.003	—	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.05	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 4－4 7 汚泥測定結果（含有試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム	mg/kg	0.52	0.18	0.15	0.16	0.52	0.15	0.25
シアン化合物	mg/kg	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0
鉛	mg/kg	3.8	3.7	0.96	2.0	3.8	0.96	2.6
六価クロム	mg/kg	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40
ひ素	mg/kg	1.5	0.62	0.79	0.80	1.5	0.62	0.93
水銀	mg/kg	0.08	0.08	0.11	0.06	0.11	0.06	0.08
銅	mg/kg	110	440	120	120	440	110	200
ニッケル	mg/kg	3.6	5.3	4.1	5.2	5.3	3.6	4.6
亜鉛	mg/kg	470	600	450	400	600	400	480
鉄	mg/kg	1,100	1,100	830	770	1,100	770	950
マンガン	mg/kg	39	40	34	37	40	34	38
クロム	mg/kg	7.0	3.4	3.2	4.8	7.0	3.2	4.6

Ⅳ 釜無川流域下水道

表 4－4 8 放流河川調査結果 河川名：坪川（採水地点 笹口橋[放流口下流約330m]）

項 目		単 位	4/10	5/21	6/12	7/10	8/15	9/19	10/9	11/13	12/11	1/15	2/12	3/11	最 大	最 小	平 均
一	採水時刻		8:55	9:00	9:00	8:55	8:55	9:00	9:00	8:55	9:00	8:55	9:00	8:55	—	—	—
	水温	℃	18.0	22.5	21.0	26.0	26.5	25.0	25.0	19.0	18.0	11.5	15.5	16.5	26.5	11.5	20.4
般	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
	水素イオン濃度	—	7.16	7.06	7.08	7.13	7.07	7.05	7.12	7.06	7.13	6.82	7.17	7.18	7.18	6.82	7.09
生	溶存酸素量	mg/L	6.9	5.6	5.5	5.0	6.4	5.0	4.6	4.8	5.6	5.5	5.7	6.5	6.9	4.6	5.6
	生物化学的酸素要求量	mg/L	1.5	1.7	1.7	2.7	2.0	1.3	2.8	2.1	2.6	2.2	2.9	2.4	2.9	1.3	2.2
環	化学的酸素要求量	mg/L	8.7	9.8	8.6	10	9.9	8.2	10	9.2	11	11	11	11	11	8.2	9.9
	浮遊物質	mg/L	2.2	3.5	4.0	5.1	3.8	3.9	4.3	4.5	4.7	3.4	4.2	4.2	5.1	2.2	4.0
項	大腸菌数	CFU/mL	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	窒素含有量	mg/L	20.2	20.4	10.9	17.5	19.3	14.3	19.5	17.1	22.4	24.1	26.7	24.6	26.7	10.9	19.8
目	磷含有量	mg/L	0.42	0.44	0.44	0.70	0.62	0.36	0.55	0.58	0.71	0.60	0.74	0.86	0.86	0.36	0.59
	アンモニア性窒素含有量	mg/L	17.9	17.3	9.61	15.8	16.2	12.1	16.5	14.6	19.7	21.8	24.7	22.2	24.7	9.61	17.4
特	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	0.30	0.50	0.40	0.28	0.34	0.36	0.36	0.30	0.30	0.27	0.31	0.38	0.50	0.27	0.34
	硝酸性窒素含有量	mg/L	0.55	0.54	0.42	0.69	1.15	1.08	0.35	1.25	0.54	0.45	0.37	0.49	1.25	0.35	0.66
目	磷酸イオン態磷含有量	mg/L	0.31	0.30	0.28	0.47	0.40	0.34	0.46	0.43	0.49	0.39	0.50	0.58	0.58	0.28	0.41

表 4－4 9 放流河川調査結果 河川名：坪川（採水地点 坪川橋[放流口上流約150m]）

項 目		単 位	4/10	5/21	6/12	7/10	8/15	9/19	10/9	11/13	12/11	1/15	2/12	3/11	最 大	最 小	平 均
一	採水時刻		9:05	9:10	9:10	9:05	9:05	9:10	9:10	9:05	9:10	9:05	9:10	9:05	—	—	—
	水温	℃	13.5	20.0	19.0	23.0	25.0	22.0	20.5	10.5	5.5	2.5	4.5	6.5	25.0	2.5	14.4
般	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
	水素イオン濃度	—	8.28	8.42	7.77	8.97	8.47	7.80	7.94	7.84	7.94	7.63	7.74	7.74	8.97	7.63	8.05
生	溶存酸素量	mg/L	12	12	9.2	12	10	8.9	9.3	11	12	12	12	13	13	8.9	11
	生物化学的酸素要求量	mg/L	0.8	0.8	0.8	1.6	1.0	0.7	1.7	0.6	1.0	1.3	1.3	1.1	1.7	0.6	1.1
環	化学的酸素要求量	mg/L	1.6	1.8	2.4	3.2	2.2	1.9	1.8	2.2	1.4	1.2	2.6	1.6	3.2	1.2	2.0
	浮遊物質	mg/L	1.8	1.7	4.1	7.2	6.7	5.8	4.5	7.9	1.5	1.2	4.7	2.8	7.9	1.2	4.2
項	大腸菌数	CFU/mL	6	5	2	2	2	6	3	4	2	1	1	1	6	1	3
	窒素含有量	mg/L	1.47	1.61	1.21	1.07	1.71	1.45	1.52	0.99	1.60	1.86	2.47	1.70	2.47	0.99	1.56
目	磷含有量	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	0.26	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	0.10	0.19	0.26	<0.06	<0.06
	アンモニア性窒素含有量	mg/L	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	0.17	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	0.17	<0.16	<0.16
特	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.03	0.03	<0.02	0.03	<0.02	<0.02
	硝酸性窒素含有量	mg/L	1.26	1.61	0.87	0.72	1.47	1.22	1.29	0.99	1.60	1.83	1.84	1.70	1.84	0.72	1.37
目	磷酸イオン態磷含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.10	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.10	<0.05	<0.05

IV 釜無川流域下水道

表 4－50 臭気測定結果

項 目	敷地境界		規 制 値
採取年月日	令和7年8月22日	令和8年2月9日	
採取時刻	13:35	13:40	
臭気指数	<10	<10	13

V 桂川流域下水道

1 整備状況

(1) 全体計画及び現況

桂川流域下水道は、平成16年4月の供用開始より22年目を迎えている。

全体計画処理水量は23,759 m³/日、事業計画水量は17,116 m³/日であり、幹線は44.3 kmが供用開始となっている。

供用開始区域内の面積は861.15ha、人口は26,766人となっており、流入下水量は令和7年度平均で7,243 m³/日である。

桂川流域下水道の全体計画及び現況を表5-1に、桂川流域下水道事業計画図を図5-1に、関連公共下水道市別水洗化状況を表5-2に、市別流入下水量を表5-3に示す。

表5-1 全体計画及び現況

項 目 市町村名	全体計画 (計画年次:平成5年～令和13年)		事業計画 (計画年次:平成5年～令和7年)		供用開始区域	
	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	面 積 (ha)	人 口 (人)
富 士 吉 田 市	106.90	3,230	47.08	1,440	38.47	1,370
都 留 市	553.10	14,950	320.00	9,260	257.93	8,220
大 月 市	423.80	9,040	271.80	6,270	173.76	4,248
上 野 原 市	507.80	13,100	360.00	11,030	316.03	10,733
西 桂 町	101.00	2,940	100.43	3,120	74.96	2,195
合 計	1,692.60	43,260	1,099.31	31,120	861.15	26,766
計画処理水量 (日最大)	23,759 m ³ ／日		17,116 m ³ ／日		—	
下水排除方式	分流式					
処 理 方 式	標準活性汚泥法					
幹 線 延 長	47.9 km		46.6 km		管理延長 44.3 km	
ポンプ場数	2 箇所		2 箇所		2 箇所	

※供用開始区域の面積、人口及び幹線延長は、令和8年4月1日現在の値を示す。

V 桂川流域下水道

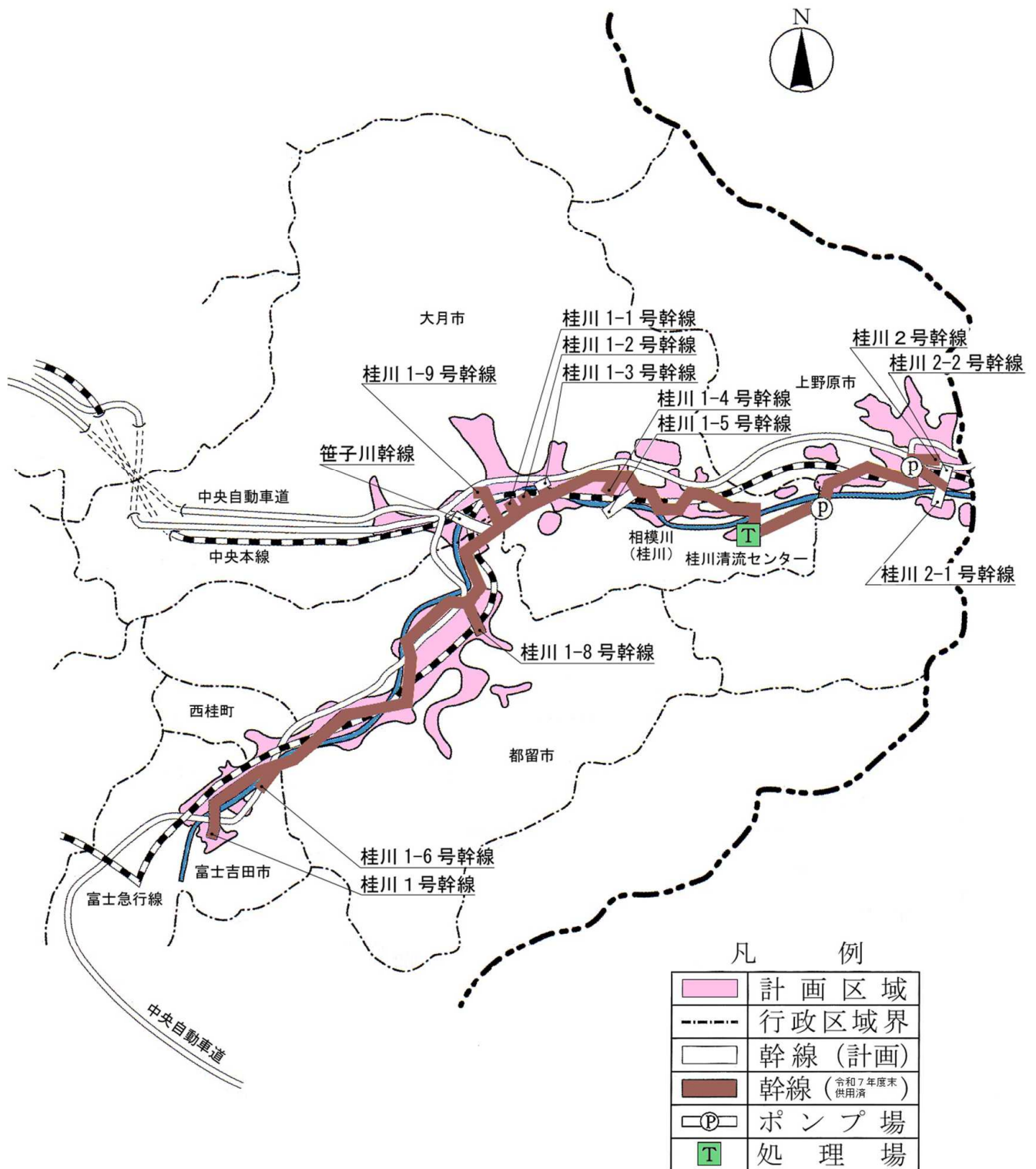


図 5 - 1 桂川流域下水道事業計画図

Ⅴ 桂川流域下水道

表 5－2 関連公共下水道市町別水洗化状況

市町名	項目	令和 7 年 度 末			普及率 B/A (%)	水洗化率 C/B (%)	接続戸数 累計 (戸)
		行政 人口 A (人)	処理区域 内人口 B (人)	水洗化 人口 C (人)			
富 士 吉 田 市		6,688	1,370	901	20.5	65.8	431
都 留 市		27,626	8,220	5,250	29.8	63.9	2,641
大 月 市		20,714	4,248	2,841	20.5	66.9	1,193
上 野 原 市		20,604	10,733	9,026	52.1	84.1	4,201
西 桂 町		3,785	2,195	1,678	58.0	76.4	669
計		79,417	26,766	19,696	33.7	73.6	9,135

注1) 行政人口は、令和 8 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳の人口を示す。

注2) 処理区域内人口は、供用開始区域内人口を表し、令和 8 年 4 月 1 日公示分を含む。

注3) 富士吉田市の行政人口については、富士北麓流域分を除いた人口を示す。

V 桂川流域下水道

表 5－3 市町別流入下水量

(単位：m³)

市町名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
富士吉田市	17, 253	18, 680	15, 119	14, 165	13, 052	13, 742	14, 835	14, 113	17, 620	18, 862	16, 775	16, 682	190, 898	15, 908
都留市	63, 072	67, 119	67, 361	66, 737	63, 897	63, 439	67, 362	66, 942	68, 970	70, 553	64, 913	67, 528	797, 893	66, 491
大月市	24, 091	26, 678	27, 258	26, 701	26, 028	26, 306	27, 642	26, 883	27, 675	29, 437	26, 226	25, 515	320, 440	26, 703
上野原市	96, 568	98, 645	95, 923	98, 173	91, 317	96, 600	96, 282	93, 868	96, 283	94, 989	87, 306	96, 230	1, 142, 184	95, 182
西桂町	18, 333	14, 585	14, 790	16, 686	16, 008	14, 870	15, 917	17, 094	17, 699	15, 346	13, 417	17, 646	192, 391	16, 033
合 計	219, 317	225, 707	220, 451	222, 462	210, 302	214, 957	222, 038	218, 900	228, 247	229, 187	208, 637	223, 601	2, 643, 806	220, 317
日平均	7, 311	7, 281	7, 348	7, 176	6, 784	7, 165	7, 163	7, 297	7, 363	7, 393	7, 451	7, 213	年間日平均	7, 243

V 桂川流域下水道

(2) 施設整備状況

施設整備状況については、令和7年10月までに桂川清流センターにおける水処理施設反応タンク設備が更新され、供用開始している。

令和7年度末の状況については、以下のとおりである。

①桂川清流センター

水処理使用可能池数としては、最初沈殿池1／2池、反応タンク1／2池、最終沈殿池1／2池となっており、処理能力は15,000 m³／日である。

桂川清流センターの全体平面図を図5-2に、フローシートを図5-3に、建築構造物概要を表5-4に、水処理機械設備概要を表5-5に、汚泥処理機械設備概要を表5-6に、電気設備概要を表5-7に、単線結線図を図5-4に、システム系統図を図5-5に示す。

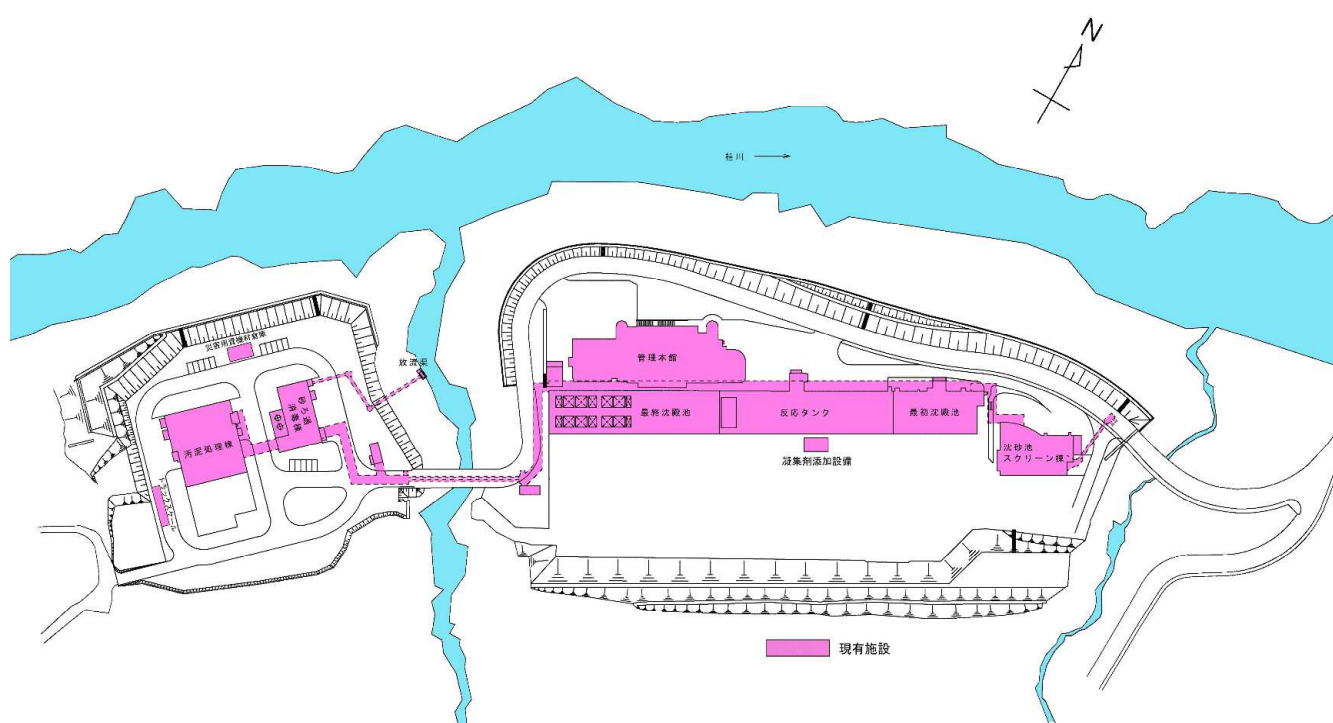


図5-2 桂川清流センター全体平面図

V 桂川流域下水道

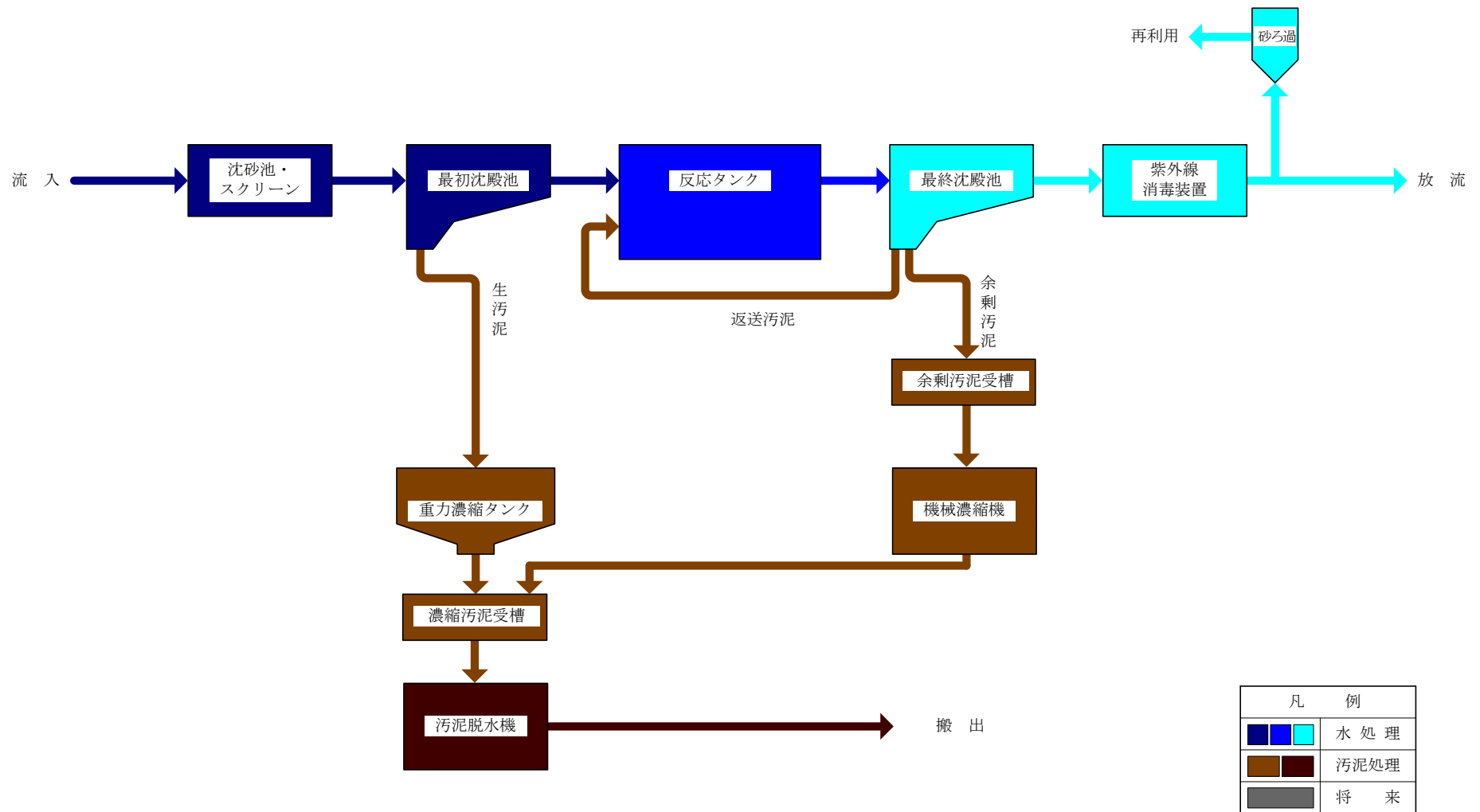


図 5 - 3 桂川清流センターフローシート

表 5 - 4 桂川清流センター建築構造物概要

施 設 名 称	構 造 及 び 概 要
管 理 本 館	R C 造 地下 1 階、地上 3 階 建築面積 1,545m ² 延床面積 4,621m ² 自家発電機室、ブロワー室、中央試験室、事務室、会議室、食堂、展示ホール、電気室、中央管理室、その他
沈 砂 池 スクリーン棟	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 625m ² 延床面積 1,175m ² ポンプ室・脱臭機室、スクリーン室・搬出作業室、電気室、その他
水 処 理	R C 造 地上 2 階 建築面積 307m ² 延床面積 246m ² 階段室、電気室、換気ファン室
砂ろ過・消毒棟	R C 造 地下 1 階、地上 1 階 建築面積 433m ² 延床面積 637m ² 滅菌機室、UV 動力盤室、電気室、その他
汚 泥 処 理 棟	R C 造 地下 1 階、地上 2 階 建築面積 975m ² 延床面積 2,514m ² ポンプ室、電気室、薬品注入機室、脱臭機スペース、遠心濃縮機室、搬出作業室、脱水機室、ホッパー室、その他

表5-5 桂川清流センター水処理機械設備概要

設 備 名 称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
沈 砂 スクリーン 設 備	幅1.5m×深3.0m×長2.3m(1水路当たり) 流入ゲート(角形外ネジ式鋳鉄製) 幅0.8m×高0.8m 粗目スクリーン(バースクリーン) 幅1.5m×据付高3.3m×目幅75mm 揚砂装置(ジェットポンプ式) φ100×1.0m³/min×15m 集砂装置(ジェットノズル式) φ32A×300L/min・個×12個×0.98MPa 加圧水ポンプ(横軸多段渦巻ポンプ) φ150×3.0m³/min×85m×75kW 沈砂分離機(スクリュコンベヤ形受水槽付) 槽容量6.4m³ コンベヤ機長7.5m×3.7kW 沈砂ホッパー(電動開閉式) 容量 7 m³×2.2kW×2 細目自動除塵機(単一レーキ間欠式自動除塵機) 幅1.5m×深3.5m×目幅20mm×1.5kW No.1し渣搬出機(傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長10.2m 輸送量36m³/h×20m/min×1.5kW No.2し渣搬出機(傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長10.8m 輸送量36m³/h×20m/min×1.5kW し渣洗浄機(機械攪拌式) 処理能力1 m³/h×槽寸法0.85m×3.4m×1.5m No.3し渣搬出機(傾斜トラフ形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長3.9m 輸送量36m³/h×20m/min×1.5kW 初沈スカム分離機(回転ドラム式スクリーン) 1.5m³/min×0.75kW し渣脱水機(スクリュプレス式) 1 m³/h×5.5kW+0.4kW No.4し渣搬出機(コルゲートサイド形ベルトコンベヤ) 幅600mm×長5.8m×6.6m×10m/min×1.5kW し渣ホッパー(電動開閉式) 容量 5 m³×0.75kW×2	1 水路 2 門(予備1門) 2 基(予備1基) 1 基 1 基 2 台(予備1台) 1 台 1 基 1 基 1 台 1 台 1 基 1 台 1 基 1 基 1 台 1 基
最 初 沈 殿 池 設 備	幅4.1m×長25.7m×深3m×2水路 632m³(1池当たり) 初沈污泥掻寄機(フライト付ダブルチェーンコンベヤ) 幅4.1m×機長22m×0.62m/min×0.4kW(1水路1駆動) 初沈污泥掻寄機(ノッチチェーン式) 幅4.1m×機長22m×0.63m/min×0.4kW(1水路1駆動) 初沈スカムスキマー(電動回転式パイプスキマー) φ300×4,300mm×0.2kW(1水路1駆動) 生污泥ポンプ(吸込スクリュ付污泥ポンプ) φ100×1 m³/min×9m×3.7kW 初沈スカム移送ポンプ(無閉塞スクリュ渦巻水中ポンプ) φ150×1.5m³/min×12m×5.5kW	1 池 1 基 1 基 2 基 2 台(予備1台) 1 台

V 桂川流域下水道

設 備 名 称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
反 応 タ ン ク 設 備	幅8.6m×長60.4m×深10m 5,049m ³ （1池当たり） （ステップエアレーション可） No.1-1反応タンク散気装置（令和7年10月廃止） 曝気装置（軸流オープン型機械攪拌式） 送風量10.4～11.4Nm ³ /min×11kW 送風量13.1～14.0Nm ³ /min×15kW No.1-2反応タンク散気装置（令和7年10月使用開始） 曝気装置（水中機械式曝気攪拌装置） 送風量8.0m ³ /min×7.5kW 送風量12.0m ³ /min×11kW 送風量9.0m ³ /min×7.5kW 消泡水ポンプ（片吸込渦巻ポンプ） φ150/φ100×2.0m ³ /min×30m×18.5kW	1 池 3 台 2 台 1 台 2 台 2 台 2台（予備1台）
凝 集 剤 添 加 設 備	凝集剤貯留槽（立型円筒型貯留槽） 容量 10m ³ 凝集剤注入ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ15×0.092～0.888L/min×0.2MPa×0.4kW アルカリ剤貯留槽（立型円筒型貯留槽） 容量 4m ³ アルカリ剤注入ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ15×0.046～0.446L/min×0.2MPa×0.4kW	1 基 2台（予備1台） 1 基 2台（予備1台）
送 風 機 設 備	送風機（歯車増速式単段ターボブロワ） φ250/φ200×61m ³ /min×60.8kPa×100kW	2台（予備1台）
最 終 沈 殿 池 設 備	幅4.1m×長（上層50.3m+下層64.0m）×深3.5m×2水路 3,279m ³ （1池当たり） 終沈污泥掻寄機（上層階用）（フライト付ダブルチェーンコンベヤ） 幅4.1m×機長46.3m×0.3m/min×0.4kW（1水路1駆動） 終沈污泥掻寄機（下層階用）（フライト付ダブルチェーンコンベヤ） 幅4.1m×機長66.0m×0.3m/min×0.75kW（1水路1駆動） 終沈スカムスキマー（上層階用）（電動回転式パイプスキマー） φ300×4,300mm×0.2kW（1水路1駆動） 終沈スカムスキマー（下層階用）（電動回転式パイプスキマー） φ300×2,400mm×0.2kW（1水路1駆動） 返送污泥ポンプ（吸込スクリュウ付污泥ポンプ） φ300/φ250×10.6m ³ /min×10m×30kW 余剰污泥ポンプ（吸込スクリュウ付污泥ポンプ） φ100×1m ³ /min×10m×5.5kW 終沈スカム移送ポンプ（無閉塞スクリュウ渦巻水中ポンプ） φ150×1.5m ³ /min×15m×7.5kW	1 池 2 基 2 基 2 基 2 基 2台（予備1台） 2台（予備1台） 1 台
紫 外 線 消 毒 設 備	幅0.5m×長1.8m×深1.2m 1.1m ³ （1水路当たり） 紫外線消毒装置（低圧水銀ランプ） 処理水量 15,000m ³ /日 φ29mm×U字型ランプ長1.29m×1.3kW/本×18本	2水路 2基（予備1基）
用 水 設 備	砂ろ過棟給水ユニット（圧力式給水ユニット） 最大使用量1.7m ³ /min×使用圧力0.49～0.57MPa×15kW×2 水処理系給水ユニット（圧力式給水ユニット） 最大使用量1.4m ³ /min×使用圧力0.49～0.74MPa×11kW×2	1 台 1 台

Ⅴ 桂川流域下水道

設 備 名 称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
用 水 設 備	砂ろ過水槽 幅2.7m×長5.6m×深約3.0m 約45m ³ （1槽当たり）	2 槽
	機械用水槽 幅3.4m×長3.5m×深約3.8m 約45m ³ （1槽当たり） 砂ろ過塔（移動式上向流連続砂ろ過塔） 800～1,200m ³ /日 原水ポンプ（片吸込渦巻ポンプ） φ100/φ80×0.9m ³ /min×14m×3.7kW ろ過水移送ポンプ（横軸斜流渦巻きポンプ） φ150/φ100×2.3m ³ /min×21m×15kW	2 槽 1 塔 2台（予備1台） 2台（予備1台）
脱 臭 設 備	沈砂池スクリーン棟脱臭ファン（FRP製片吸込ターボファン） φ375×60m ³ /min×2.16kPa×5.5kW	1 台
	沈砂池スクリーン棟活性炭吸着塔（FRP製上向流式角形吸着塔） カートリッジ式三層吸着 60m ³ /min	1 塔

表5-6 桂川清流センター汚泥処理機械設備概要

設備名称	構造及び能力	現有設備
重力濃縮設備	生汚泥スクリーン（回転ドラム式スクリーン） 1 m ³ /min×0.4kW	1 基
	生汚泥スクリーンかす脱水機（スクリュースプレス式） 処理能力 0.25 t/h×(2.2+0.4)kW	1 基
	汚泥スクリーンかすホッパー（電動開閉式鋼鉄製） 容量 3.0m ³ ×0.75kW×2	1 基
	重力濃縮タンク φ7m×深4m 154m ³ （1槽当たり）	1 槽
	汚泥掻寄機（円形中央駆動懸垂式） φ7m×水深4m×0.4kW	1 基
	重力濃縮汚泥移送ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ100×3.7~11.2m ³ /h×10m×3.7kW	2台（予備1台）
機械濃縮設備	余剰汚泥スクリーン（回転ドラム式スクリーン） 処理能力 1 m ³ /min×0.4kW	1 基
	余剰汚泥スクリーンかす脱水機（スクリュースプレス式） 処理量 0.25 t/h×(2.2+0.4)kW	1 基
	余剰汚泥受槽 幅5m×長5.1m×深約3m 約77m ³ （1槽当たり）	1 槽
	幅5.2m×長5.1m×深約3m 約80m ³ （1槽当たり）	1 槽
	余剰汚泥受槽攪拌機（立軸2段パドル形） 5.5kW	2 基
	遠心濃縮機給泥ポンプ（機械濃縮機共用）（一軸ネジ式ポンプ） φ125×(5~30)m ³ /h×40m×11kW	2 台
	遠心濃縮機（横軸遠心濃縮機）	1 基
	処理能力10m ³ /h×(11+0.09+0.4)kW	
	機械濃縮機（ベルト型ろ過濃縮機） 処理能力10m ³ /h×(0.4+0.2+0.4+1.1+0.75)kW	1 基
	凝集剤溶解タンク（鋼板製円筒立形） 容量 1 m ³	2 基
	凝集剤供給機（容積式定量フィーダー） 0.05~0.2L/min×0.2kW	1 台
	凝集剤溶解タンク攪拌機（立軸2段プロペラ形） 0.75kW	1 台
	凝集剤移送ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ65×0.1m ³ /min×0.04MPa×1.5kW	2台（予備1台）
	凝集剤注入ポンプ（一軸ネジ式ポンプ） φ20×2.0L/min×0.1MPa×0.2kW	2台（予備1台）

V 桂川流域下水道

設 備 名 称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
脱 水 設 備	濃縮汚泥受槽 幅 5 m×長5.1m×深約 3 m 約77m ³ (1槽当たり) 幅5.2m×長5.1m×深約 3 m 約80m ³ (1槽当たり) 濃縮汚泥受槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形) 7.5kW 汚泥脱水機給泥ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) $\phi 75 \times (2.5 \sim 7.5) \text{ m}^3 / \text{h} \times 30 \text{ m} \times 3.7 \text{ kW}$ 遠心脱水機 (高効率型横型遠心脱水機) $5 \text{ m}^3 / \text{h}$ 動力 (22+7.5+0.4)kW 汚泥脱水機 (二重円筒加圧脱水機) 77.0kg-DS/m ² ・h 総合動力8.7kW No.1 脱水ケーキ搬出機 (水平無軸スクリューコンベヤ) $\phi 365 \times 17.5 \text{ m} \times 5.5 \text{ kW}$ No.2 脱水ケーキ搬出機 (水平無軸スクリューコンベヤ) $\phi 365 \times 3.15 \text{ m} \times 3.7 \text{ kW}$ No.3 脱水ケーキ搬出機 (垂直無軸スクリューコンベヤ) $\phi 365 \times 10.0 \text{ m} \times 11 \text{ kW}$ No.4 脱水ケーキ搬出機 (水平無軸スクリューコンベヤ) $\phi 365 \times 16.5 \text{ m} \times 5.5 \text{ kW}$ 脱水ケーキホッパー (鋼板製電動カットゲート) 容量 10m ³ 薬品溶解タンク (鋼板製円筒立形) 容量 6 m ³ 薬品溶解タンク用攪拌機 (立軸 2 段プロペラ形) 3.7kW 薬品供給ポンプ (一軸ネジ式ポンプ) $\phi 32 \times (7.2 \sim 22) \text{ L} / \text{min} \times 40 \text{ m} \times 0.75 \text{ kW}$ 定量フィーダー (容積式定量フィーダー) $(0.68 \sim 2.0) \text{ L} / \text{min} \times 0.4 \text{ kW}$	1 槽 1 槽 2 基 2 台 1 基 1 基 1 台 1 台 1 台 1 台 2 基 2 基 2 台 2 台 2 台
脱 臭 設 備	生物脱臭塔 (充填塔式生物脱臭塔) 処理風量 40m ³ /min 脱臭ファン (F R P 製ターボファン) $\phi 250 \times 40 \text{ m}^3 / \text{min} \times 4.31 \text{ kPa} \times 7.5 \text{ kW}$ 活性炭吸着塔 (三層吸着カートリッジ式) 処理風量 40m ³ /min	1 塔 1 台 1 塔
そ の 他 設 備	返流水槽 幅3.7m×長5.0m×深約4m 約74m ³ (1槽当たり) 返流水槽攪拌機 (立軸 2 段パドル形) 7.5kW 返流水ポンプ (スクリュー遠心汚泥ポンプ) $\phi 200 \times 3.0 \text{ m}^3 / \text{min} \times 32 \text{ m} \times 37 \text{ kW}$ トラックスケール (マルチロードセル方式) 秤量30 t 幅3,000mm×長12,000mm	2 槽 2 基 2 台 (予備 1 台) 1 基

V 桂川流域下水道

表 5－7 桂川清流センター電気設備概要

設 備 名 称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6, 600 V／50Hz×1 回線 受電設備容量 2, 300kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7, 200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12. 5kA	1 式
変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 動力用 3 φ 3 W×6, 600 V／420 V×750kVA 3 φ 3 W×6, 600 V／420 V×500kVA 電灯用 1 φ 3 W×6, 600 V／210 V－105 V×150kVA	2 台 1 台 2 台
高圧進相コンデンサ	3 φ 3 W×6, 600 V× 26. 6kvar 3 φ 3 W×6, 600 V× 53. 2kvar 3 φ 3 W×6, 600 V×106. 4kvar 3 φ 3 W×6, 600 V× 16. 0kvar 3 φ 3 W×6, 600 V× 31. 9kvar	1 台 1 台 1 台 1 台 1 台
直 流 電 源 装 置	管 理 本 館 制 御 用 50Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池 管理本館非常照明用 100Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池 汚泥処理棟非常照明用 50Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池	1 式 1 式 1 式
交流無停電電源装置	管 理 本 館 600Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池 汚泥処理棟 100Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池	1 式 1 式
非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 545kW(741PS) 3 φ 3 W×6, 600 V×625kVA 始動用直流電源装置 300Ah×24セル 制御弁式鉛蓄電池	1 台 1 式
中 央 監 視 設 備	L C D 装置 大型ディスプレイ プリンタ ロガーコントローラ プラントデータサーバ	3 台 2 式 2 台 1 台 1 台
遠 方 監 視 制 御 設 備	場外設備プロセスコントローラ ゲートウェイ装置 テレメータ・テレコントロール装置（親局） 帯域品目3. 4kHz×4 線式 保守用電話切替式 テレメータ装置（親局） 帯域品目3. 4kHz×2 線式 保守用電話切替式	1 台 1 台 4 台 6 台
付 帯 設 備	構内電話設備 屋内消火栓設備 自動火災警報設備 非常放送設備 T V 共聴設備 エレベーター設備	1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式

V 桂川流域下水道

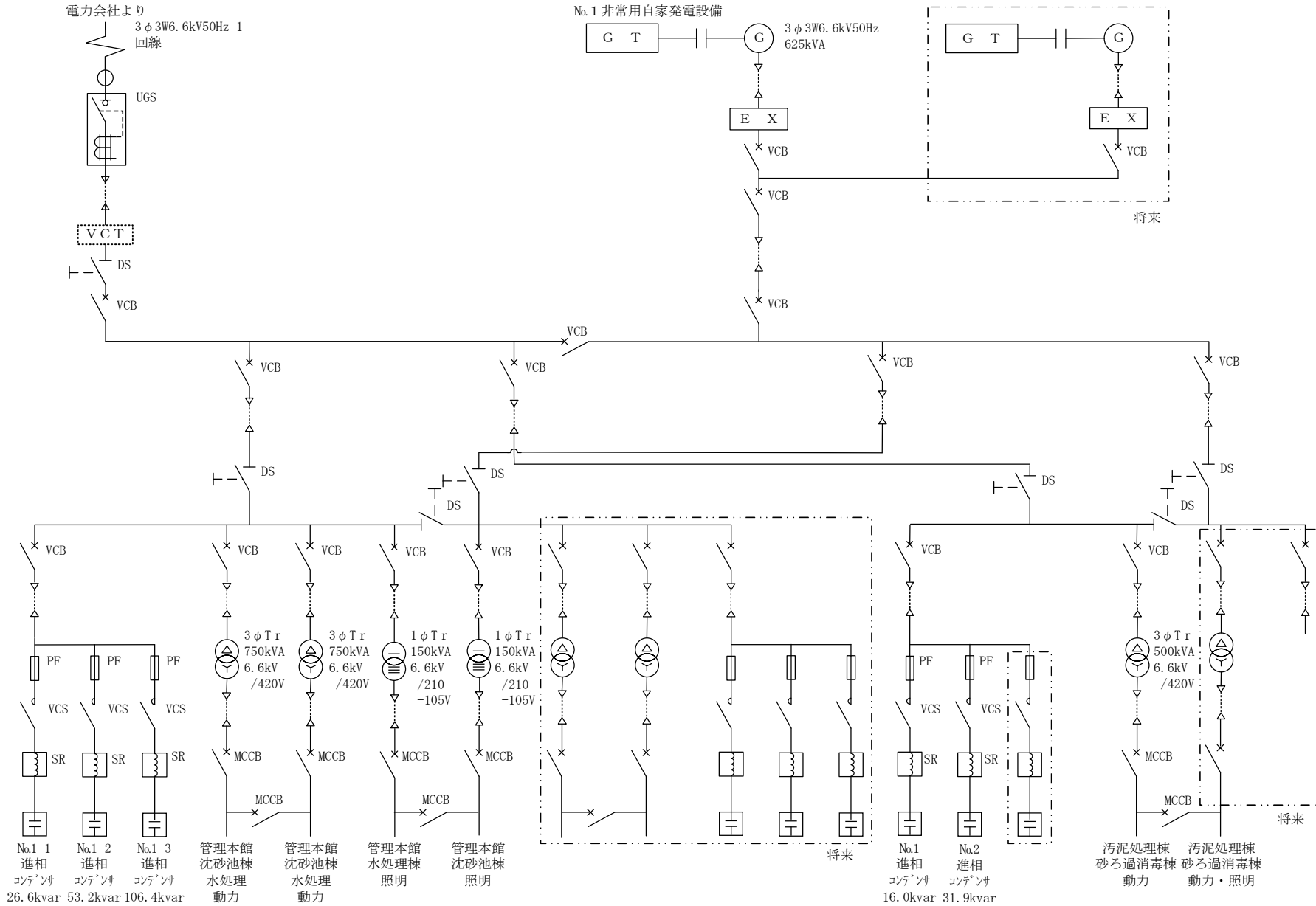


図 5-4 桂川清流センター単線結線図

V 桂川流域下水道

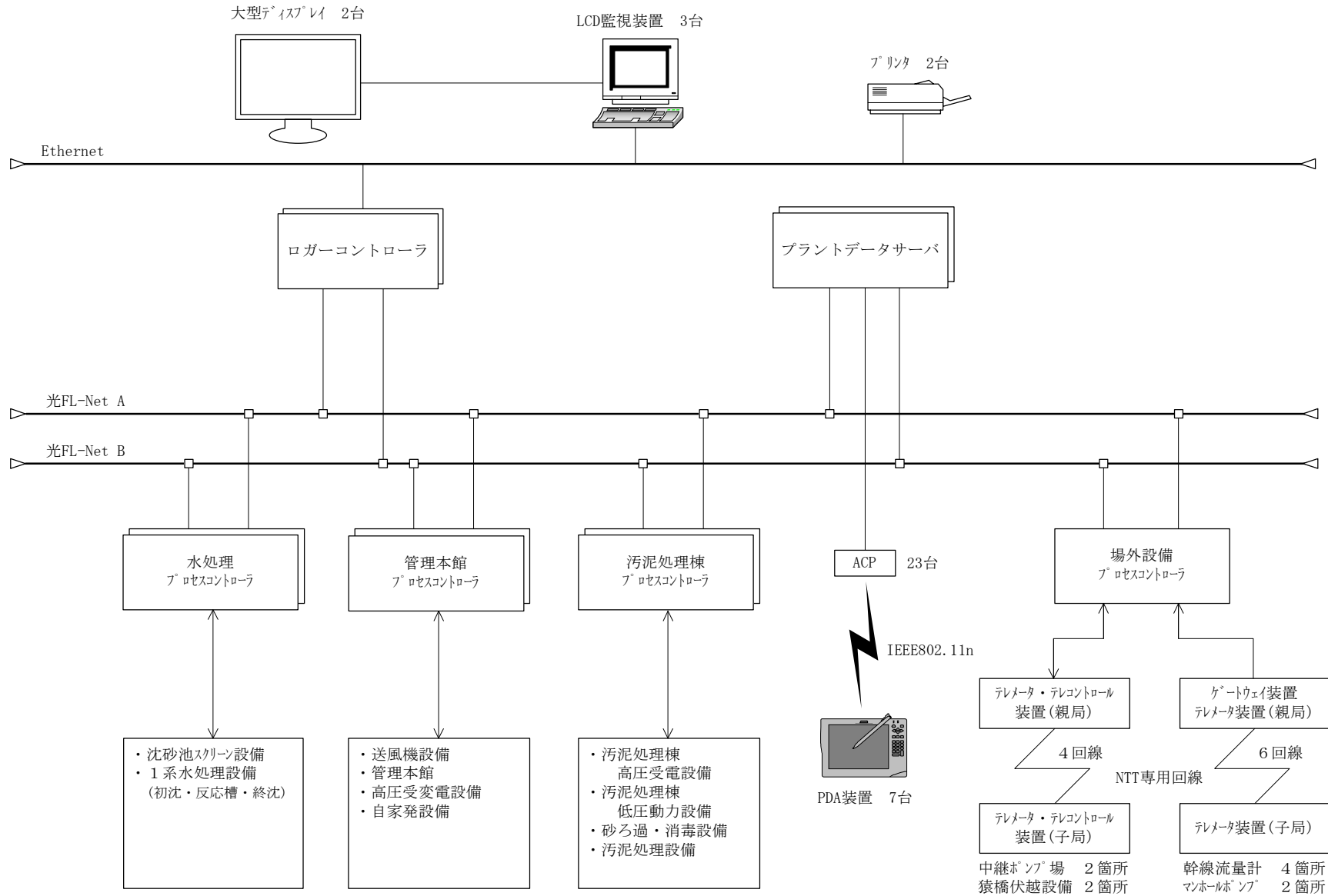


図5-5 桂川清流センターシステム系統図

V 桂川流域下水道

②中継ポンプ場・幹線及び幹線流量計

中継ポンプ場は、全体計画2箇所全てが整備されており、幹線は、全体計画延長47.9kmの内44.3kmが供用開始している。また、中継ポンプ場の流量計を含めた幹線流量計設置数は7箇所となっている。

流域幹線系統図を図5-6に、流域関連公共下水道接続概要を表5-8に、中継ポンプ場の建築構造物概要を表5-9に、機械設備概要を表5-10に、電気設備概要を表5-11に、松留中継ポンプ場単線結線図を図5-7に、川合中継ポンプ場単線結線図を図5-8に、幹線概要を表5-12に、幹線付帯設備概要を表5-13に、幹線流量計測設備概要を表5-14に示す。

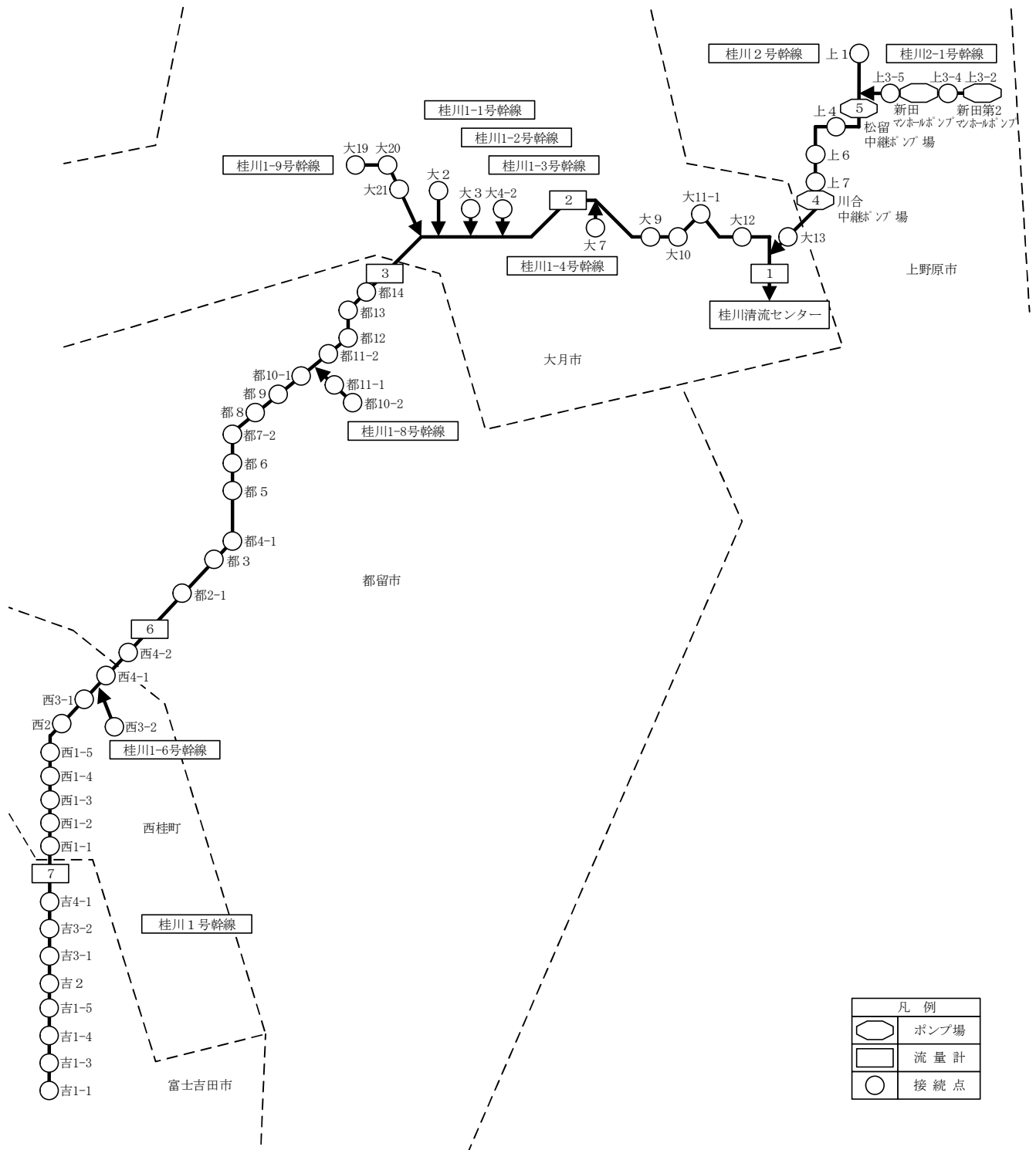


図5-6 流域幹線系統図

V 桂川流域下水道

表 5－8 流域関連公共下水道接続概要

幹線名称	処理区分名	供用開始年月日	処 理 区 域 面 積 (ha)	処 理 区 域 内 人 口 (人)	接続市町名
桂川1号幹線	吉1－1	平成27年 4月 1日	6.91	186	富士吉田市
	吉1－3	平成25年 4月 1日	4.78	103	
	吉1－4	平成25年 4月 1日	2.89	0	
	吉1－5	平成28年 4月 1日	9.98	321	
	吉2	平成20年 4月 1日	7.38	518	
	吉3－1	平成23年 4月 1日	2.38	14	
	吉3－2	平成17年 4月 1日	3.25	160	
	吉4－1	平成17年 4月 1日	0.90	68	
	都2－1	平成22年 4月 1日	2.50	75	都留市
	都3	平成16年 4月 1日	12.49	462	
	都4－1	平成16年 4月 1日	39.02	1,280	
	都5	平成16年 4月 1日	4.46	145	
	都6	平成24年 4月 1日	6.96	234	
	都7－2	平成23年 4月 1日	6.98	376	
	都8	平成19年 4月 1日	31.60	1,051	
	都9	平成16年 4月 1日	19.11	671	
	都10－1	令和 4年 4月 1日	1.61	140	
	都11－2	平成16年 4月 1日	0.30	3	
	都12	平成16年 4月 1日	3.20	167	
	都13	平成16年 4月 1日	31.43	910	
	都14	平成16年 4月 1日	39.09	1,251	
	大9	平成16年 4月 1日	13.50	309	大月市
	大10	平成16年 4月 1日	1.50	42	
	大11－1	平成18年 4月 1日	2.58	51	
	大12	平成21年 4月 1日	2.69	67	
	西1－1	平成18年 4月 1日	0.30	47	西桂町
	西1－2	平成17年 4月 1日	2.80	0	
	西1－3	平成17年 4月 1日	9.20	366	
	西1－4	令和 8年 4月 1日	0.47	60	
	西1－5	平成22年 4月 1日	1.04	21	
	西2	平成25年 4月 1日	13.05	542	
	西3－1	平成17年 4月 1日	3.50	148	
	西4－1	平成17年 4月 1日	20.42	398	
	西4－2	平成16年 4月 1日	7.40	45	
桂川1-1号幹線	大2	平成16年 4月 1日	8.63	227	大月市
桂川1-2号幹線	大3	平成16年 4月 1日	44.99	1,864	大月市
桂川1-3号幹線	大4－2	令和 6年10月 3日	1.51	5	大月市
桂川1-4号幹線	大7	平成19年 4月 1日	47.09	80	大月市
桂川1-6号幹線	西3－2	平成17年 4月 1日	16.78	568	西桂町
桂川1-8号幹線	都10－2	平成28年 7月 1日	23.64	321	都留市
	都11－1	平成16年 4月 1日	35.54	1,134	
桂川1-9号幹線	大19	平成16年 4月 1日	23.66	960	大月市
	大20	平成16年 4月 1日	6.02	158	
	大21	平成16年 4月 1日	9.50	288	

Ⅴ 桂川流域下水道

幹線名称	処理分区名	供用開始年月日	処 理 区 域 面 積 (ha)	処 理 区 域 内 人 口 (人)	接続市町名
桂川 2 号幹線	大 1 3	平成 1 6 年 4 月 1 日	12.09	197	大月市
	上 1	平成 1 6 年 4 月 1 日	160.25	6,193	上野原市
	上 4	平成 1 9 年 1 2 月 1 日	54.00	3,274	
	上 6	平成 1 8 年 4 月 1 日	5.20	171	
	上 7	平成 1 6 年 4 月 1 日	10.60	120	
桂川2-1号幹線	上 3－2	令和 2 年 6 月 1 日	1.81	13	上野原市
	上 3－4	平成 3 0 年 3 月 1 日	6.17	106	
	上 3－5	平成 1 6 年 4 月 1 日	78.00	856	

※処理区域内面積及び人口は、令和 8 年 4 月 1 日現在の値を示す。

表 5－9 中継ポンプ場建築構造物概要

ポンプ場名称	構 造 及 び 概 要
松 留 中継ポンプ場	R C 造 地下 1 階、地上 3 階 建築面積 646㎡ 延床面積 1,333㎡ ポンプ室、スクリーン室、ゲート室、自家発電機室、電気室、その他 (酸素発生機室) R C 造 地上 1 階 建築面積 39㎡ 延床面積 39㎡ 酸素発生機室
川 合 中継ポンプ場	R C 造 地下 1 階、地上 3 階 建築面積 280㎡ 延床面積 678㎡ ポンプ室、流入機械室、発電機室、電気室、その他

表 5－10 中継ポンプ場機械設備概要

ポンプ場名称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
松 留 中継ポンプ場	流入ゲート (角形外ネジ式鉄製) 0.6m×0.6m 粗目スクリーン (手掻式バースクリーン) 水路幅 1.2m×水路深 2.0m×目幅 30mm 細目自動除塵機 (間欠式自動除塵機) 水路幅 1.2m×水路深 2.0m×目幅 30mm×1.5kW No.1 し渣搬出機 (トラフ型ベルトコンベヤ) 幅 500mm×長 6.0m ベルト速度 21m/min×0.75kW No.2 し渣搬出機 (トラフ型ベルトコンベヤ) 幅 500mm×長 4.6m ベルト速度 21m/min×0.75kW 揚砂ポンプ (水中サンドポンプ) $\phi 80 \times 0.5 \text{ m}^3 / \text{min} \times 8.8 \text{ m} \times 3.7 \text{ kW}$ 沈砂・し渣洗浄機 (機械攪拌式) 処理能力 $0.5 \text{ m}^3 / \text{h}$ し渣脱水機 (スクリー方式) 処理能力 $0.5 \text{ m}^3 / \text{h} \times 3.7 \text{ kW}$ ポンプ井水中攪拌機 (水中プロペラ式攪拌機) 2.0kW 汚水ポンプ (横軸片吸込スクリー付無閉塞型渦巻ポンプ) $\phi 200 / \phi 150 \times 3.7 \text{ m}^3 / \text{min} \times 48 \text{ m} \times 75 \text{ kW} \times 2 \text{ 台 (段)}$ 酸素注入設備 (吸着分離方式 (PAS方式)) 酸素注入量 $15 \text{ Nm}^3 / \text{h}$ 脱臭ファン (F R P 製ターボファン) $\phi 300 \times 34 \text{ m}^3 / \text{min} \times 2.3 \text{ kPa} \times 3.7 \text{ kW}$ 活性炭吸着塔 (立型活性炭吸着塔) 処理風量 $34 \text{ m}^3 / \text{min}$	2 門 1 基 1 基 1 台 1 台 1 台 1 基 1 基 4 台 3 組 (予備 1 組) 1 式 1 台 1 塔

V 桂川流域下水道

ポンプ場名称	構 造 及 び 能 力	現 有 設 備
川 合 中継ポンプ場	流入ゲート（角形外ネジ式鋳鉄製） 0.4m×0.4m	2 門
	細目自動除塵機（裏がき式連続自動除塵機）	1 基
	水路幅 0.8m×水路深 3.9m×目幅 20mm×0.75kW	
	し渣搬出機（スクリーコンベヤ式）	1 台
	φ300mm×長 5.0m 輸送量 2.58m ³ /h×0.75kW	
	し渣脱水機（二軸対向スクリー式）	1 基
	処理能力 100L/h×0.75kW	
	ポンプ井水中攪拌機（水中プロペラ式攪拌機）	2 台
	0.9kW	
	汚水ポンプ（横軸片吸込スクリー付無閉塞型渦巻ポンプ）	3 組（予備 1 組）
	φ200/φ150×5.1m ³ /min×35m×55kW×2 台（段）	
	酸素注入設備（吸着分離方式(PAS方式)）	1 式
	酸素注入量 12Nm ³ /h	
	脱臭ファン（片吸込ターボファン）	1 台
	φ225×14m ³ /min×1.96kPa×1.5kW	
	活性炭吸着塔（立型活性炭吸着塔）	1 塔
	処理風量 14m ³ /min	

V 桂川流域下水道

表 5 - 1 1 中継ポンプ場電気設備概要

ポンプ場名称	設備名称	形 式 及 び 仕 様	現 有 設 備
松 留 中継ポンプ場	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6, 600 V / 50Hz×1 回線 受電設備容量 1, 000kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7, 200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12. 5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×500kVA	2 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420 V×31. 9kvar 3 φ 3 W×420 V×21. 3kvar 3 φ 3 W×420 V×53. 2kvar	1 台 1 台 1 台
	交流無停電 電 源 装 置	50Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 390kW(530PS) 3 φ 3 W×6, 600 V×375kVA 始動用直流電源装置 400Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池 400Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池（長寿命形）	2 台 1 式 1 式
	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3. 4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
川 合 中継ポンプ場	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式
	受 電 設 備	受 電 方 式 3 φ 3 W×6, 600 V / 50Hz×1 回線 受電設備容量 1, 000kVA 受 電 遮 断 器 V C B 定格電圧 7, 200 V 定格電流 600 A 定格遮断電流 12. 5kA	1 式
	変 電 設 備	モールド形乾式変圧器 3 φ 3 W×6, 600 V / 420 V×500kVA	2 台
	低 圧 進 相 コンデンサ	3 φ 3 W×420 V×10. 6kvar	3 台
	交流無停電 電 源 装 置	50Ah×54セル 制御弁式鉛蓄電池	1 式
	非 常 用 発 電 設 備	ガスタービン発電機 353kW(480PS) 3 φ 3 W×6, 600 V×300kVA 始動用直流電源装置 400Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池 400Ah×12セル 制御弁式鉛蓄電池（長寿命形）	2 台 1 式 1 式
川 合 中継ポンプ場	遠 方 監 視 制 御 設 備	テレメータ・テレコントロール装置（子局） 帯域品目3. 4kHz×4 線式 保守用電話切替式	1 台
	付 帯 設 備	インターホン設備 自動火災警報設備 防犯設備	1 式 1 式 1 式

V 桂川流域下水道

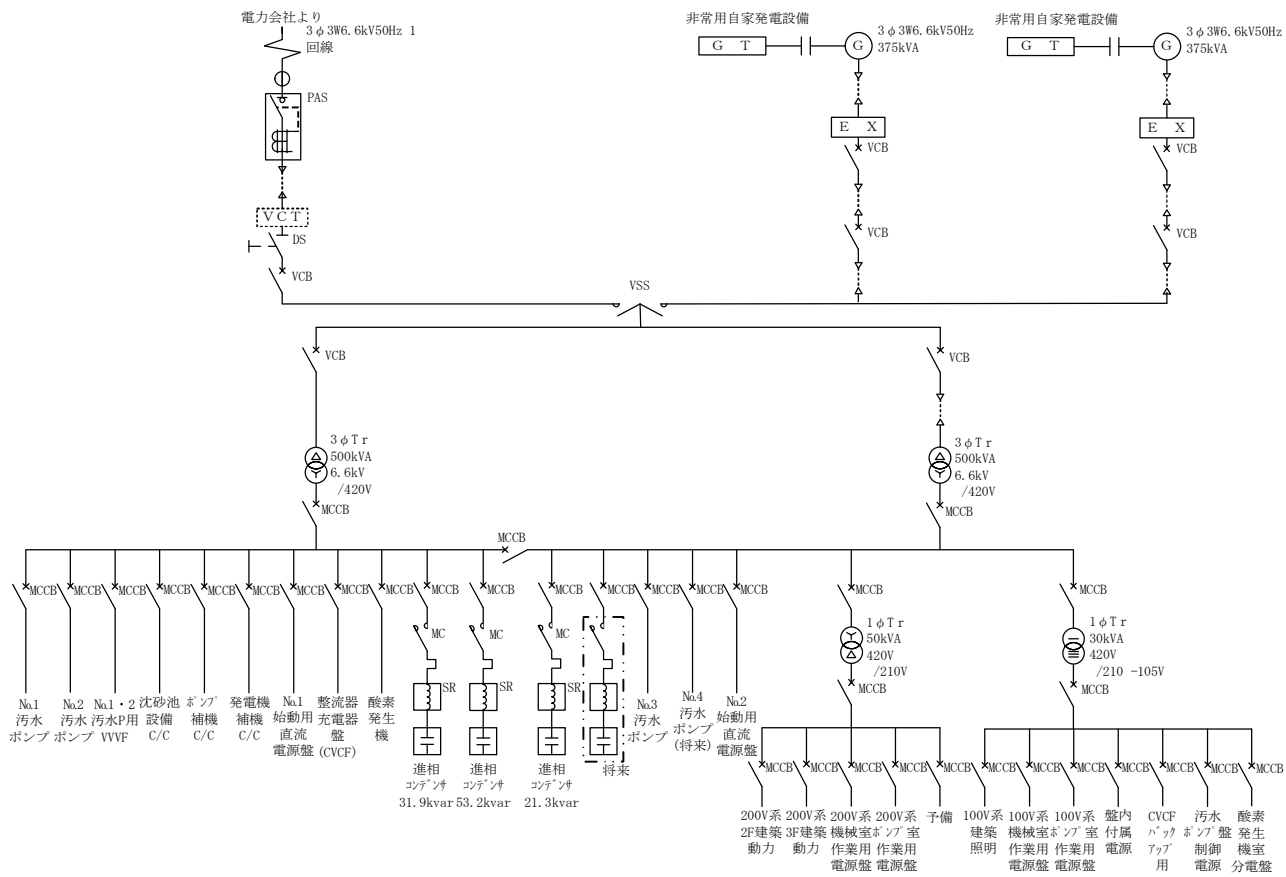


図 5-7 松留中継ポンプ場単線結線図

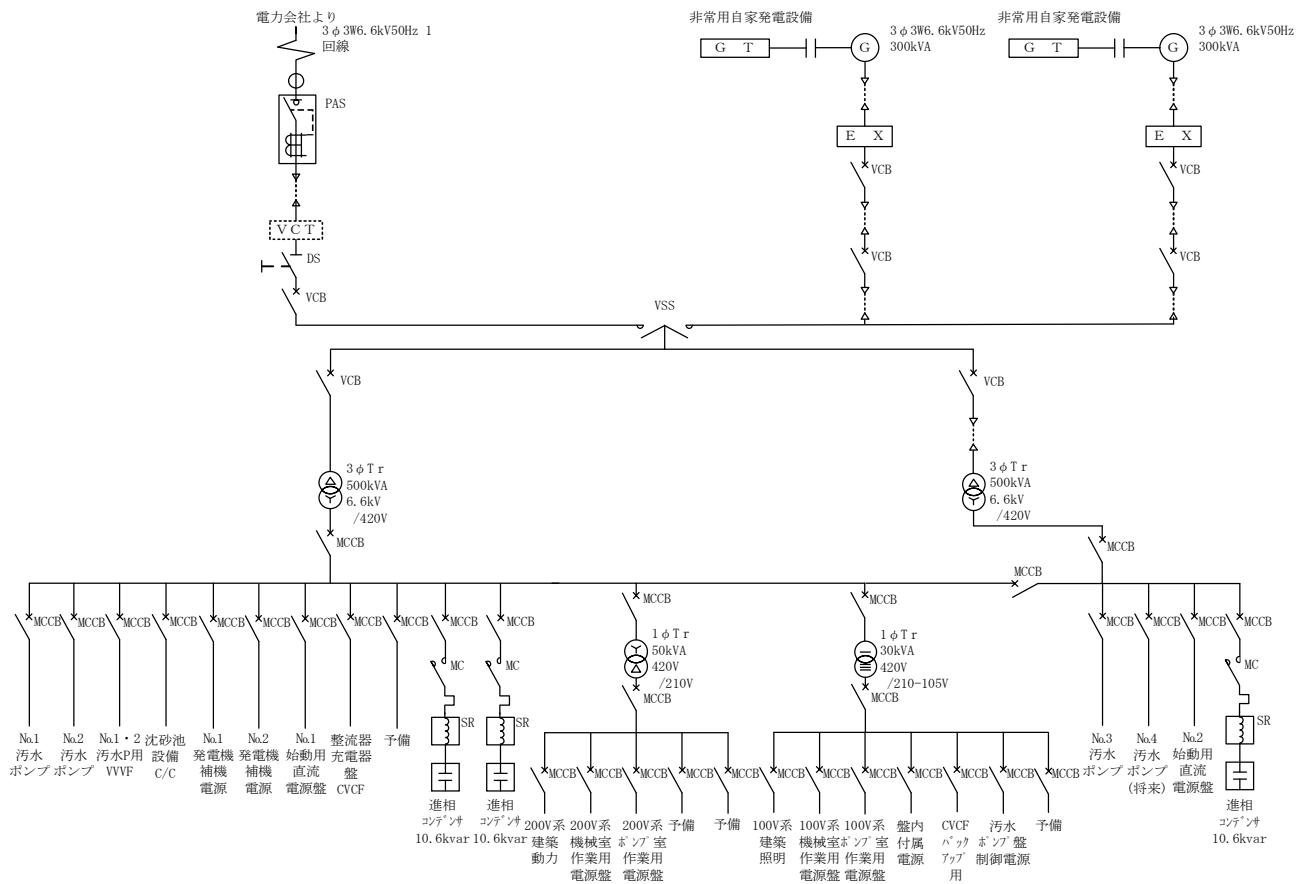


図 5-8 川合中継ポンプ場単線結線図

表 5－1 2 幹線概要

幹 線 名 称	供 用	
	管 径 (mm)	延 長 (m)
桂川 1 号幹線	300 ～ 1,800	33,159
桂川 1-1号幹線	1,800	286
桂川 1-2号幹線	1,800	191
桂川 1-3号幹線	1,800	209
桂川 1-4号幹線	1,800	167
桂川 1-6号幹線	250 ～ 800	107
桂川 1-8号幹線	800	74
桂川 1-9号幹線	1,350 ～ 1,800	1,119
桂川 2 号幹線	250 ～ 900	7,661
桂川 2-1号幹線	150 ～ 700	1,360
合 計		44,333

※供用管径及び延長は、令和 8 年 4 月 1 日現在の値を示す。

表 5－1 3 幹線付帯設備概要

幹 線 名 称	設 備 名 称	仕 様 及 び 形 式	現 有 設 備
桂 川 1 号 幹 線	東橋水管橋	管径 900mm×2 条	55.0m
	金畑橋水管橋	桂川横断部 管径 800mm×2 条	127.5m
	猿橋伏越	桂川横断部 管径 700mm×2 条 300mm×1 条（初期用） 照明設備 換気・脱臭設備 ガス検知器設備 排水ポンプ設備 制水バルブ設備	205.8m 一式 一式 一式 一式 一式
	佐伯水管橋	桂川横断部 管径 600mm×1 条	54.7m
	滝入川水管橋	滝入川横断部 管径 600mm×1 条	17.8m
	小明見水管橋	小佐野川横断部 管径 350mm×1 条	15.5m
桂 川 2 号 幹 線	金畑橋水管橋	管径 500mm×1 条	15.0m
	境橋水管橋	管径 500mm×1 条	24.5m
	大瀧橋水管橋	大保呂川横断部 管径 500mm×1 条	40.0m
	川合下村橋水管橋	管径 500mm×1 条	11.8m
	川合橋水管橋	桂川横断部 管径 600mm×1 条	60.5m
	松留橋水管橋	東電放水路横断部 管径 500mm×1 条	15.1m
	鶴川伏越	鶴川横断部 管径 250mm×2 条	148.3m
桂 川 2－1 号 幹 線	新巖島橋水管橋	鶴川横断部 管径 150mm×1 条	85.0m
	新田マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ100×1.482m ³ /min×24.6m×15kW	2 台
	新田第 2 マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ65×0.504m ³ /min×7.3m×2.2kW	2 台

Ⅴ 桂川流域下水道

表 5－14 幹線流量計測設備概要

流 量 計 番 号	設 備 名 称	管 径 (mm)	流量計口径 (mm)	最大目盛 (m ³ /h)	形 式
1	桂川清流センター流入流量計	1,000	600	1,000	P B F、圧力式
2	猿橋伏越流量計	1,800 (馬蹄形)	1,800 (馬蹄形)	1,000	超音波、圧力式
3	都留市流量計	1,800	450 (初期対応)	500	P B F、圧力式
4	川合中継ポンプ場流量計	—	300	900	電磁式
5	松留中継ポンプ場流量計	—	250	600	電磁式
6	西桂町流量計	1,350	300 (初期対応)	200	P B F、圧力式
7	富士吉田市流量計	600	250 (初期対応)	100	P B F、圧力式
備 考	流量計番号は図 5－6 流域幹線系統図中の設備番号を示す。 以下の流量計は本年度で廃止とする。 (廃止年月：流量計番号 1・3・6・7：令和 8 年 3 月)				

2 施設運転管理状況

(1) 機械設備運転管理状況

①各設備の運転状況等

主要機器運転状況を表 5-15 に、し渣及び沈砂搬出状況を表 5-16 に、薬品・給水・燃料使用状況を表 5-17 に示す。また、中継ポンプ場運転状況を表 5-18 に示す。

各設備については、下記のとおり運転を行った。

ア) 沈砂池スクリーン設備

沈砂池、スクリーン設備については機械設備の整っている No.3 水路を使用した。除砂設備は週 1 回の運転とし、細目自動除塵機は 1 日 1 回の運転とした。

イ) 最初沈殿池設備

使用池数は No.1-1-1 又は No.1-1-2 (0.5 池) の使用を基本とした。

汚泥掻寄機は 24 時間連続運転とした。スカムスキマーは 1 日 1 回の運転とした。生汚泥ポンプは汚泥の発生量に合わせ間欠運転とし、重力濃縮タンクへ移送した。

ウ) 反応タンク設備

使用池数は機械設備の整っている No.1-1 (1 池) の使用とし、令和 7 年 10 月より反応タンク設備の更新に伴い No.1-2 (1 池) の使用とした。水処理は 1 日 3 回の間欠運転とし、反応タンクの DO 値、水質の状況等により運転時間の調整を行った。

曝気装置の運転は、第 1 槽目及び第 3 槽目は嫌気槽として攪拌のみとした。また、第 1 槽目の曝気装置のみ 24 時間連続運転とし、その他の槽は水処理の時間帯に合わせて間欠運転とした。

送風機の運転は吸込風量一定制御とし、水処理の時間帯に合わせて運転を行った。なお、夏季及び冬季の間の電力抑制目的の一環として、5 月中旬～10 月中旬及び 1 月中旬～3 月は吐出量を絞りやすい No.1-1 号機を主機として運転し、月毎の使用号機の切替はしなかった。

凝集剤注入ポンプ及びアルカリ剤注入ポンプは 24 時間連続運転とし、磷除去の状況等により薬注率の調整を行った。

エ) 最終沈殿池設備

使用池数は機械設備の整っている No.1-1-1、No.1-1-2 の 2 水路 (1 池) の使用とした。

汚泥掻寄機は 24 時間連続運転とした。返送汚泥ポンプは水処理の運転に合わせ 1 日 3 回の間欠運転とした。返送汚泥ポンプは流入負荷変動に合わせて比率制御による運転とした。余剰汚泥ポンプは汚泥の発生状況に合わせ間欠運転を行った。スカムスキマーは 1 日 2 回の運転とした。

オ) 紫外線消毒設備

機械設備の整っている 2 水路 6 ユニットのうち 1 水路 2 ユニットを使用し、高出力で 24 時間連続運転とした。また、3 箇月毎に使用水路の切替を行った。

カ) 機械汚泥濃縮設備

No.2 ベルト濃縮機を主機とし、余剰汚泥を処理量 $10 \text{ m}^3/\text{h}$ (定格 $10 \text{ m}^3/\text{h}$) で、汚泥の発生状況に合わせて間欠運転を行った。No.1 遠心濃縮機は週 1 回の管理運転 (低速洗浄) を基本とし、月 1 回の頻度で実負荷運転を行った。

キ) 重力汚泥濃縮設備

最初沈殿池より送泥された生汚泥を希釈濃縮法により重力濃縮を行った。汚泥掻寄機の運転は連続運転とした。

V 桂川流域下水道

ク) 汚泥脱水設備

No.2 二重円筒加圧脱水機を主機とし、圧入圧一定制御により処理量 $5 \text{ m}^3/\text{h}$ 程度（定格 $5 \text{ m}^3/\text{h}$ ）で、汚泥の発生量に合わせて間欠運転を行った。No.1 遠心脱水機は夏季に隔週1回の管理運転（実負荷運転）とし、トルク一定制御により処理量 $5 \text{ m}^3/\text{h}$ 程度（定格 $5 \text{ m}^3/\text{h}$ ）で、汚泥の発生量に合わせて間欠運転を行った。その他季については、1週間毎に実負荷運転と洗浄運転を交互に行った。

ケ) 脱臭設備

沈砂池スクリーン棟及び汚泥処理棟の脱臭設備については24時間連続運転とした。

コ) 関連中継ポンプ場

松留中継ポンプ場及び川合中継ポンプ場については、直列2段ポンプのうち後段ポンプのみ可変速運転で、ポンプ井水位による間欠運転を行った。

各マンホールポンプについては、ポンプ井水位による間欠運転を行った。

サ) 伏越設備

猿橋伏越設備は初期用 $\phi 300\text{mm}$ の管1条のみの使用とした。なお、管路内の滞泥防止対策として、1日1回のフラッシングを行った。ドライアップポンプは月1回の保守運転を行った。

②未使用機器の保守

未使用機器は定期点検時に保守運転を実施した。予備機のある機器については1週間毎ないし1箇月毎の交互切替運転とした。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表5-19に示す。

Ⅴ 桂川流域下水道

表 5－1 5 主要機器運転状況

(単位：時間)

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
No. 1 生活污水ポンプ	3.7	218.2	10.7	220.2	2.9	210.3	2.5	212.1	2.6	222.8	10.4	212.0	1,328.4
No. 2 生活污水ポンプ	213.6	3.5	205.3	4.6	214.1	2.6	219.7	3.7	222.8	2.6	191.1	10.7	1,294.3
No. 1-1 送風機	28.3	286.1	521.4	540.5	538.4	521.5	295.5	0.5	0.5	303.5	487.6	541.0	4,064.8
No. 1-2 送風機	495.8	254.8	0.5	0.7	0.5	1.1	250.9	522.4	539.3	237.3	0.5	0.5	2,304.3
No. 1-1 返送汚泥ポンプ	11.5	577.0	30.8	579.0	11.5	557.3	11.2	561.5	7.6	576.5	30.3	558.9	3,513.1
No. 1-2 返送汚泥ポンプ	557.6	11.7	538.0	8.8	575.3	11.8	581.8	8.9	581.3	11.7	500.5	30.5	3,417.9
No. 1 余剰汚泥ポンプ	1.0	43.0	1.9	36.1	0.7	33.4	0.7	32.7	0.6	30.1	1.0	38.6	219.8
No. 2 余剰汚泥ポンプ	40.8	1.1	34.7	1.9	34.8	0.7	34.6	0.6	37.3	0.7	32.2	2.5	221.9
No. 1 紫外線消毒装置	394.3	744.0	631.5	323.0	0.7	4.1	570.0	580.9	480.5	253.3	669.6	429.9	5,081.8
No. 2 紫外線消毒装置	325.8	0.1	88.7	421.6	744.0	719.9	202.9	139.6	263.9	490.8	0.2	315.7	3,713.2
No. 1 遠心濃縮機	2.9	12.7	9.3	8.6	9.8	8.6	9.0	9.2	8.6	8.5	9.0	9.8	106.0
No. 2 機械濃縮機	187.3	191.8	159.1	170.0	154.4	158.5	162.0	149.1	153.8	142.5	148.0	180.5	1,957.0
No. 1 遠心脱水機	19.9	29.6	32.7	20.2	31.2	29.8	20.0	36.2	33.4	18.7	17.9	32.7	322.3
No. 2 汚泥脱水機	215.1	212.3	204.1	212.2	170.1	193.1	184.8	171.7	184.9	189.8	195.1	213.5	2,346.7
No. 1 非常用発電機	0.2	0.2	1.1	1.3	3.6	1.4	0.2	0.2	1.1	0.2	0.6	1.1	11.2

表 5－1 6 し 渣 及 び 沈 砂 搬 出 状 況

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
し 渣 搬 出 量 (水処理系) (kg)	676.8	0.0	0.0	0.0	624.7	0.0	0.0	0.0	0.0	734.7	0.0	0.0	2,036.2
し 渣 搬 出 量 (汚泥処理系) (kg)	537.4	0.0	0.0	0.0	372.0	0.0	0.0	0.0	0.0	390.6	0.0	0.0	1,300.0
沈砂搬出量 (kg)	749.8	0.0	0.0	0.0	1,017.3	0.0	0.0	0.0	0.0	738.8	0.0	0.0	2,505.9

表 5－1 7 薬品・給水・燃料使用状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
薬品	高分子凝集剤(機械濃縮系) (kg)	38.0	36.0	34.0	36.0	32.0	32.0	32.0	34.0	38.0	26.0	36.0	44.0	418.0
	高分子凝集剤(脱水機系) (kg)	378.0	396.0	432.0	378.0	324.0	360.0	288.0	270.0	378.0	324.0	360.0	450.0	4,338.0
	消臭剤(機械濃縮系) (L)	290	280	285	310	305	295	295	290	300	295	265	295	3,505
	消臭剤(脱水機系) (L)	80	80	235	330	385	465	310	220	95	65	65	85	2,415
	PAC (L)	7,405	8,408	8,067	9,265	8,330	7,420	8,853	8,040	7,827	7,468	6,764	7,846	95,693
	苛性ソーダ (L)	3,041	3,438	3,287	3,774	3,439	3,077	3,605	3,324	3,269	3,079	2,782	3,224	39,339
給水	上水 (m³)	53	65	63	57	57	54	60	79	53	49	57	52	699
	砂ろ過水 (m³)	5,744	5,963	5,438	5,603	5,573	6,361	7,148	7,226	6,577	6,001	5,362	6,665	73,661
燃料	重油 (L)	33	33	201	231	632	253	33	33	202	33	95	196	1,975

表 5－1 8 中継ポンプ場運転状況

(単位：時間)

ポンプ場名称	項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
松留 中継ポンプ場	No. 1-1 汚水ポンプ	5.4	384.8	34.6	455.8	65.0	437.6	79.9	396.4	22.9	364.0	33.0	414.3	2,693.7
	No. 1-2 汚水ポンプ	5.3	380.3	34.3	450.9	64.3	432.5	78.9	392.2	22.6	359.7	32.5	409.0	2,662.5
	No. 2-1 汚水ポンプ	439.4	73.4	412.4	5.8	358.4	6.6	376.1	46.2	416.1	63.3	370.4	32.9	2,601.0
	No. 2-2 汚水ポンプ	434.6	72.5	408.2	5.7	353.9	6.5	372.1	45.8	410.5	62.2	365.7	32.5	2,570.2
	No. 3-1 汚水ポンプ	0.5	0.4	1.6	0.5	0.4	1.1	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	1.0	7.6
	No. 3-2 汚水ポンプ	0.5	0.4	1.6	0.5	0.3	1.1	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	1.0	7.3
	No.1非常用発電機	0.2	0.2	0.2	1.5	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	1.1	0.0	0.1	4.5
	No.2非常用発電機	0.2	0.2	0.2	1.5	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	1.1	0.2	0.2	4.9
川合 中継ポンプ場	No. 1-1 汚水ポンプ	6.4	373.4	36.7	440.4	62.3	446.9	460.5	479.8	495.8	385.2	33.4	0.0	3,220.8
	No. 1-2 汚水ポンプ	6.4	372.0	36.5	439.0	61.9	445.4	459.2	479.1	494.4	384.2	33.3	0.0	3,211.4
	No. 2-1 汚水ポンプ	475.6	85.2	452.4	24.5	412.3	8.6	16.1	0.0	0.0	0.0	348.6	466.0	2,289.3
	No. 2-2 汚水ポンプ	474.4	84.9	451.3	24.4	411.2	8.6	15.9	0.0	0.0	0.0	347.6	464.1	2,282.4
	No. 3-1 汚水ポンプ	0.5	0.4	4.4	1.3	0.9	1.1	3.2	0.9	1.2	51.6	20.6	0.6	86.7
	No. 3-2 汚水ポンプ	0.5	0.4	4.4	1.3	0.9	1.1	3.1	0.9	1.2	50.8	20.2	0.6	85.4
	No.1非常用発電機	0.2	0.2	0.2	1.3	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	1.1	1.6	0.2	6.1
	No.2非常用発電機	0.2	0.2	0.2	1.3	0.6	0.2	0.2	0.2	0.2	1.1	0.9	0.2	5.5

表 5－19 機器故障状況（機械関連）

機 器 名 称	内 容 及 び 原 因	処 置 及 び 対 応
汚泥処理棟 No.2 遠心脱水機給泥 ポンプ	汚泥流量が不安定となる状況が確認された。 原因はカップリングロッド部の摩耗によるものであつた。	カップリングロッド等摩 耗部品の交換を実施し た。
管理本館 ACP-1A 事務室系統 空調機	室外ユニット水温センサー系異常の警報が発生した。 原因は室外機のセンサー・基板等の故障によるものであつた。	センサー・基板等故障部 品の交換を実施した。
管理本館 ACP-1A 事務室系統 空調機	室内ユニットドレン水位系異常の警報が確認された。 原因はドレンポンプ及びフロートスイッチの故障によ るものであつた。	ドレンポンプ及びフロート スイッチの交換を実施 した。
水処理施設 No.2 消泡水ポンプ	圧力計の指示値不良が確認された。 原因は圧力計の故障によるものであつた。	圧力計の交換を実施し た。
汚泥処理棟 No.3 脱水ケーキ搬出機	運転時に駆動装置より異音が確認された。 原因は駆動装置内部の軸受等の劣化によるものであつた。	駆動装置の交換を実施し た。
管理本館 No.1-1 送風機	冷却水点検窓(サイトグラス)のボルトの折損が確認さ れた。 原因は経年劣化・腐食によるものであつた。	冷却水点検窓(サイトグ ラス)の交換を実施し た。
管理本館 ACP-6 機器分析室 排気フード系統空調機	室外ユニット熱交換用サーミスタ異常の警報が発生し た。 原因は室外機のサーミスタ等の故障によるものであつた。	サーミスタ等故障部品の 交換を実施した。
管理本館 ACP-1A 事務室系統 空調機	低圧圧力スイッチ作動の警報が発生した。 原因は冷媒配管の部品の故障によるものであつた。	冷媒配管の故障部品の交 換を実施した。
猿橋伏越(大月立坑) 給気ブロワー	モーターベースのボルトの折損が確認された。 原因は経年劣化によるものであつた。	モーターベースの交換を 実施した。

注) 令和7年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

(2) 電気設備運転管理状況

①電力使用状況

施設の受電電圧は、桂川清流センター、松留中継ポンプ場及び川合中継ポンプ場とも高圧 6,600 V、新田及び新田第 2 マンホールポンプは低圧 200 V（動力）及び 100 V（照明）である。

桂川清流センター、松留中継ポンプ場及び川合中継ポンプ場の使用電力量と流入下水量の表とグラフをそれぞれ表 5-20～表 5-22、図 5-9～図 5-11 に示す。

桂川清流センターの使用電力量は、120～146 千 kWh/月の間で推移し、年間として 1,616 千 kWh/年となり昨年度と比較して約 4.4%の減少となっている。

これは、反応タンク設備の更新に伴う曝気装置のダウンサイジング及び流入下水水量や汚泥処理量の減少に伴う水処理及び汚泥処理関連機器の運転時間の減少が主な要因である。

桂川清流センターの原単位電力量と最大需要電力の表とグラフをそれぞれ表 5-23、図 5-12、図 5-13 に示す。

原単位電力量は 0.573～0.685 kWh/m³ の間で推移した。

最大需要電力は 235～257 kW の間で推移した。

桂川清流センターの契約電力は、実量制による契約電力決定方式により、257～259 kW で推移した。

また、電気料金のコスト縮減対策として、蓄熱空調機及び蓄熱温水器に係る産業用蓄熱調整契約を通年で締結した。

ポンプ場の契約電力は、松留中継ポンプ場及び川合中継ポンプ場は実量制による契約電力決定方式により、それぞれ 179～281 kW、196～233 kW で推移した。

マンホールポンプの契約電力は、設備容量による契約電力決定方式により、新田及び新田第 2 マンホールポンプは、それぞれ 33 kW 及び 6 kW である。

②非常用発電設備運転状況

桂川清流センターでは、保守点検として 1 箇月に 1 回約 12 分間の無負荷運転と 3 箇月に 1 回約 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量は 680 kWh であった。また、2 月に No. 1 非常用発電機エンジン部の点検及び排気部の修繕に伴う試験運転として、それぞれ 12 分間及び 10 分間の無負荷運転を実施した。

松留中継ポンプ場及び川合中継ポンプ場では、保守点検として 1 箇月に 1 回約 12 分間の無負荷運転と 6 箇月に 1 回約 1 時間の実負荷運転を実施し、総発電電力量はそれぞれ 200 kWh 及び 140 kWh であった。松留中継ポンプ場では、2 月より No. 1 非常用発電機の不具合により運用休止とし、3 月に不具合確認に伴い 3 分間の無負荷運転を実施した。川合中継ポンプ場では、2 月に No. 1 非常用発電機の分解点検に伴う試験運転として、13 分間の無負荷運転と 1 時間 12 分の実負荷運転を実施し、発電電力量は 50 kWh であった。

また、停電による運転として、桂川清流センターでは 7 月、8 月及び 9 月にそれぞれ 1 時間 8 分、3 時間 24 分及び 17 分間の実負荷運転を実施し、発電電力量はそれぞれ 120 kWh、410 kWh 及び 10 kWh であった。松留中継ポンプ場では 7 月及び 8 月にそれぞれ 25 分間及び 17 分間の実負荷運転を実施し、発電電力量はそれぞれ 60 kWh 及び 0 kWh であった。川合中継ポンプ場では 7 月及び 8 月にそれぞれ 9 分間及び 18 分間の実負荷運転を実施し、発電電力量はいずれも 0 kWh であった。

③機器故障状況

本年度の主な機器故障状況を表 5-24 に示す。

V 桂川流域下水道

表5-20 使用電力量と流入下水量（清流センター）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	141,480	141,288	136,608	146,112	144,000	139,560	127,248	126,360	132,264	132,240	120,048	129,168	1,616,376	134,698
流入下水量	219,317	225,707	220,451	222,462	210,302	214,957	222,038	218,900	228,247	229,187	208,637	223,601	2,643,806	220,317

表5-21 使用電力量と流入下水量（松留中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	53,531	56,445	57,459	62,791	59,794	61,841	60,899	58,968	53,976	53,365	49,605	56,389	685,063	57,089
流入下水量	67,810	68,883	67,446	68,903	63,235	67,273	67,811	65,588	67,218	65,952	61,625	67,704	799,448	66,621

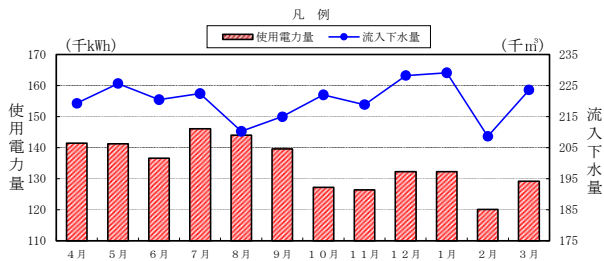


図5-9 使用電力量と流入下水量（清流センター）

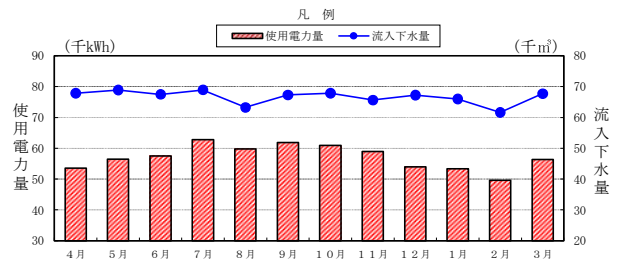


図5-10 使用電力量と流入下水量（松留中継ポンプ場）

表5-22 使用電力量と流入下水量（川合中継ポンプ場）

(単位: 上段 kWh, 下段 m³)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
使用電力量	38,773	44,882	53,893	51,867	54,350	51,771	52,190	52,750	54,066	51,324	47,045	52,330	605,241	50,437
流入下水量	96,568	98,645	95,923	98,173	91,317	96,600	96,282	93,868	96,283	94,989	87,306	96,230	1,142,184	95,182

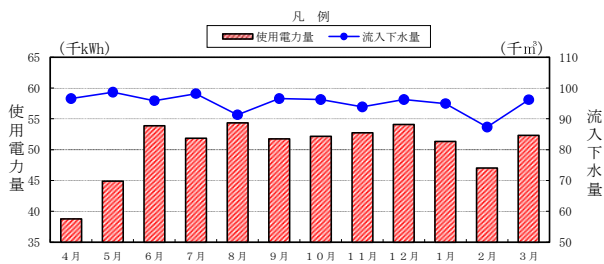


図5-11 使用電力量と流入下水量（川合中継ポンプ場）

表5-23 原単位電力量と最大需要電力（清流センター）

(単位: 上段 kWh/m³, 下段 kW)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
原単位電力量	0.645	0.626	0.620	0.657	0.685	0.649	0.573	0.577	0.579	0.577	0.575	0.578	0.612
最大需要電力	257	254	250	252	252	252	235	240	245	235	238	242	246

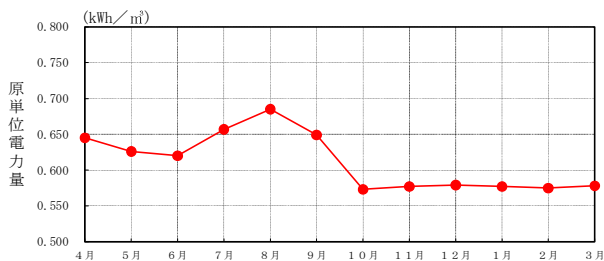


図5-12 原単位電力量（清流センター）

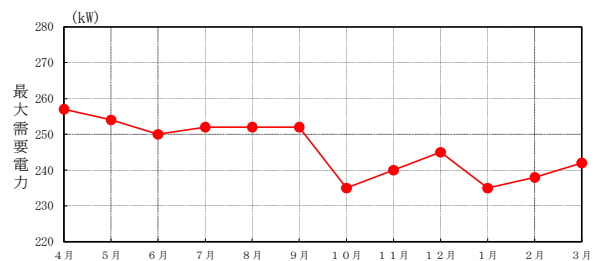


図5-13 最大需要電力（清流センター）

表 5－2 4 機器故障状況（電気関連）

機 器 名 称	内 容 及 び 原 因	処 置 及 び 対 応
放流渠 放流流量計	計測値が低下した。 原因は圧力水位センサーの故障によるものであった。	圧力水位センサーの交換を実施した。
汚泥処理棟 電灯分電盤 SL-1	消臭剤注入装置（消臭剤②）電源回路の漏電遮断器がトリップした。 原因は漏電遮断器の故障によるものであった。	漏電遮断器の交換を実施した。
汚泥処理棟 No. 1 脱水ケーキホッパー 重量計	ホッパー満杯予告警報が確認タイマー設定値に達する前に出力する状態となった。 原因は満杯予告確認タイマー用の直流電源装置の故障によるものであった。	直流電源装置の交換を実施した。
管理本館 中央監視設備 プリンタ（1）	プリンタのディスプレイが表示せず、印刷が不可能となった。 原因はプリンタのメインボードの故障によるものであった。	メインボードの交換を実施した。

注）令和 7 年度に発生した機器故障のうち、修繕費等を執行し、処置を行ったものについて記載している。

3 水質及び汚泥管理状況

(1) 水質管理状況

①水質試験結果

水質日常試験及び精密試験結果を表5-25～表5-28、図5-14～図5-15に示す。

流入水は、年間平均BODが160mg/L、SSについては200mg/Lであった。

放流水は、年間を通じて安定して良好な水質で推移した。磷含有量は年間平均で0.58mg/Lであった。

②幹線調査結果

幹線調査結果を表5-29に示す。

地点①、⑤でふっ素及びその化合物が、地点④で銅含有量及び溶解性鉄含有量が検出されたが、下水道排除基準を超過することはなかった。

③反応タンク試験結果及び生物試験結果

反応タンク運転状況、反応タンク試験結果及び生物試験結果を表5-30～表5-33に、反応タンクの管理状況を図5-16～図5-17に示す。

反応タンクは、脱窒による汚泥浮上対策を目的として第1槽目を嫌気とした運転を行った。また、窒素除去を目的として第3槽目を無酸素とした嫌気硝化内生脱窒法による運転を行った。

SVIは110～200mL/gの間で推移し、沈降性悪化による障害は認められなかった。

BOD-SS負荷は0.05～0.12kg/kg・日の間で推移した。

活性汚泥生物は、微生物の種類についても多く、活性汚泥性生物の割合についても高く良好な状態であった。

④通日試験結果

通日試験結果を表5-34～表5-37、図5-18～図5-33に示す。

流入負荷については、流入水量が少ないため、ポンプ場からの流入及び汚泥処理施設からの返流水の影響を受け、一時的に負荷が高くなる傾向を示した。

放流水は、水質変動が小さく安定した良好なものであった。

(2) 汚泥管理状況

汚泥処理運転状況を表5-38に、汚泥試験測定結果を表5-39～表5-41に示す。

汚泥処理については、最初沈殿池で発生する生汚泥は重力濃縮槽へ投入、最終沈殿池で発生する余剰汚泥は機械濃縮機に投入して濃縮を行い、混合濃縮汚泥は9月から11月にかけて低い値で推移したが、年間平均で3.9%程度の濃度となった。

脱水はNo.2二重円筒加圧脱水機を主機として使用し、週6～7日の運転により処理を行った。

脱水ケーキの発生量は、年間1,599.94t、含水率は年間平均値で68.1%となった。なお、脱水ケーキは、セメント原料として全量有効利用した。

(3) その他管理状況

①放流河川調査結果

放流河川調査結果を表5-42～表5-43に示す。

清流センター放流口の上流にあたる塩瀬橋地点、下流にあたる金畑橋地点ともに、ほぼ同等の水質であった。

V 桂川流域下水道

②臭気測定結果

臭気測定結果を表5－44に示す。

敷地境界及び放流水においては、規制値以下の結果であった。

V 桂川流域下水道

表 5-25 日常試験分析結果（流入水）

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (°C)	最大	19.5	21.5	24.0	25.5	26.5	27.0	25.0	22.0	20.0	17.5	17.0	18.5	27.0
	最小	17.0	19.5	21.0	23.5	25.5	25.0	22.5	20.0	18.0	16.0	15.5	17.0	15.5
	平均	18.3	20.7	22.5	24.8	26.0	26.1	24.0	21.0	18.9	16.8	16.2	17.4	21.1
水素イオン濃度	最大	7.00	6.99	6.93	6.97	6.90	7.01	7.22	7.35	7.31	7.24	7.33	7.25	7.35
	最小	6.82	6.86	6.77	6.70	6.77	6.76	6.89	7.12	7.09	7.13	7.07	7.06	6.70
	平均	6.90	6.90	6.84	6.85	6.84	6.90	7.18	7.23	7.18	7.18	7.17	7.15	7.03
透 視 度 (cm)	最大	7.0	6.0	6.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	6.0	6.0	6.0	7.0	7.0
	最小	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
	平均	5.7	5.7	5.8	6.1	5.9	6.2	6.3	5.9	5.6	5.5	5.2	5.5	5.8
浮遊物質量 (mg/L)	最大	240	240	230	210	200	210	220	210	240	280	250	240	280
	最小	160	170	160	160	170	170	160	180	180	180	170	190	160
	平均	200	200	200	190	190	180	190	190	210	200	200	210	200
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	200	190	190	150	150	160	140	150	170	180	160	170	200
	最小	170	160	140	140	130	120	120	130	150	160	140	160	120
	平均	190	170	170	140	140	150	130	140	160	170	160	170	160
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	110	120	110	99	110	110	110	110	110	120	110	110	120
	最小	90	91	83	85	81	79	79	86	92	89	88	86	79
	平均	100	100	97	92	93	93	92	96	100	100	100	99	97
大腸菌数 (CFU/mL)	最大	36,000	30,000	19,000	18,000	48,000	25,000	14,000	22,000	8,000	28,000	20,000	17,000	48,000
	最小	21,000	19,000	9,000	12,000	15,000	9,500	8,800	8,000	7,400	6,200	9,000	2,400	2,400
	平均	28,000	24,000	15,000	15,000	28,000	15,000	12,000	12,000	7,700	16,000	12,000	7,800	16,000

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表 5-26 日常試験分析結果（放流水）

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (°C)	最大	20.0	21.5	24.0	25.5	26.0	26.5	25.0	22.0	20.0	17.5	17.0	18.0	26.5
	最小	17.0	20.0	21.0	24.0	25.5	25.0	22.0	20.0	18.0	16.0	15.5	16.5	15.5
	平均	18.7	20.7	22.4	24.7	25.7	25.7	23.7	20.9	18.9	16.8	16.1	17.2	21.0
水素イオン濃度	最大	6.69	6.68	6.56	6.58	6.54	6.69	7.14	6.98	6.93	6.86	6.95	6.88	7.14
	最小	6.45	6.39	6.35	6.35	6.35	6.30	6.45	6.73	6.69	6.61	6.71	6.64	6.30
	平均	6.55	6.52	6.47	6.46	6.44	6.51	6.88	6.84	6.83	6.74	6.81	6.73	6.65
透 視 度 (cm)	最大	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	最小	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
	平均	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
浮遊物質量 (mg/L)	最大	3.0	2.9	2.4	2.3	2.7	2.6	2.8	2.2	2.5	1.9	2.5	2.6	3.0
	最小	1.7	1.3	1.4	1.4	1.2	<1.0	1.5	1.1	1.2	1.2	1.2	1.4	<1.0
	平均	2.1	1.8	1.9	1.7	1.8	1.7	2.0	1.8	1.9	1.5	1.9	2.2	1.9
生物化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	2.5	2.5	2.0	1.4	1.8	2.5	1.4	1.3	1.4	1.3	1.7	1.8	2.5
	最小	1.3	1.6	1.5	0.9	1.3	0.9	1.1	1.0	1.1	1.0	1.1	1.2	0.9
	平均	1.9	2.1	1.7	1.2	1.6	1.5	1.2	1.2	1.3	1.2	1.4	1.5	1.5
化学的酸素要求量 (mg/L)	最大	7.9	7.7	7.7	7.4	7.5	8.0	8.0	7.5	7.4	7.2	7.3	7.5	8.0
	最小	6.8	6.7	6.7	6.6	6.4	6.3	6.5	6.2	6.2	6.5	6.3	6.5	6.2
	平均	7.5	7.3	7.1	7.0	7.1	7.3	6.9	6.8	6.9	6.8	6.9	7.0	7.1
大腸菌数 (CFU/mL)	最大	4	8	6	3	25	4	4	6	3	2	3	4	25
	最小	1	2	2	1	4	0	1	0	1	0	0	0	0
	平均	2	5	5	2	10	2	2	2	2	1	2	2	3

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

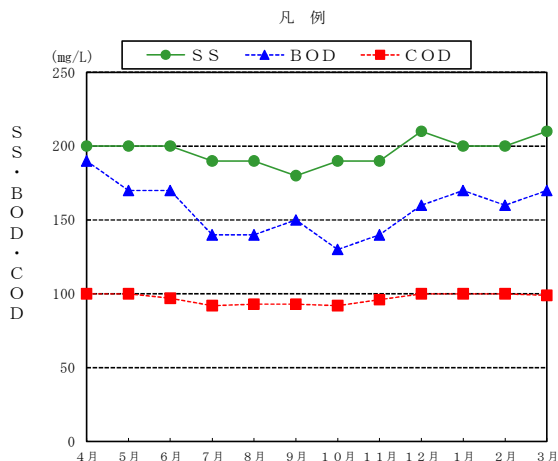


図 5-14 流入水の水質変化

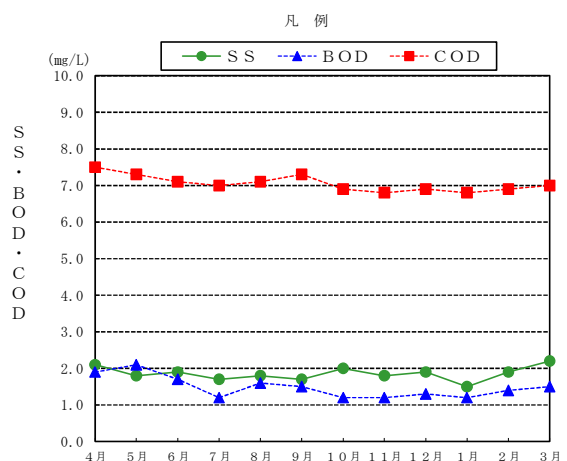


図 5-15 放流水の水質変化

V 桂川流域下水道

表5－27（1） 精密試験分析結果（流入水－1）

測定項目	単位	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
実施日	－	3	17	8	22	5	19	3	17	7	21	4	17	2	16
水温	℃	17.0	18.5	20.0	20.5	21.5	23.0	24.0	25.0	26.5	26.0	27.0	26.0	25.0	24.0
透視度	cm	6.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0	5.0	6.0	6.0	6.0	7.0	6.0
水素イオン濃度	－	6.90	6.98	6.93	6.95	6.89	6.93	6.97	6.97	6.90	6.83	6.93	7.01	7.22	7.22
蒸発残留物	mg/L	480	530	500	540	500	500	540	500	490	430	520	530	470	510
強熱残留物	mg/L	230	270	220	270	260	230	240	240	200	250	240	220	230	270
溶解性物質	mg/L	290	330	300	350	310	320	340	310	300	310	310	340	310	320
浮遊物質質量	mg/L	190	180	190	200	210	180	200	170	190	190	210	200	170	190
アルカリ度	mg/L	138	147	147	140	142	145	142	141	147	138	152	150	144	147
生物化学的酸素要求量	mg/L	180	190	160	190	190	140	150	140	150	140	160	160	120	130
化学的酸素要求量	mg/L	100	95	98	110	93	90	97	90	96	81	95	94	85	91
アンモニア性窒素含有量	mg/L	18.2	22.2	21.4	20.9	21.2	21.4	22.3	20.5	20.3	20.4	19.7	13.7	30.8	16.7
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.41	0.22	0.31	0.31	0.45	0.43	0.33	0.41	0.33	0.33	0.37	0.29	0.28	0.21
有機性窒素含有量	mg/L	11.6	13.4	14.8	13.2	12.1	13.9	16.1	13.3	2.36	14.6	15.1	19.8	17.1	10.1
窒素含有量	mg/L	30.2	35.8	36.5	34.4	33.7	35.7	38.8	34.2	23.0	35.3	35.2	33.8	48.1	27.0
磷酸イオン態リン含有量	mg/L	1.65	2.40	1.94	2.00	1.95	1.86	2.30	2.04	2.01	1.62	2.50	2.12	1.89	1.83
リン含有量	mg/L	3.66	5.03	4.18	4.35	4.08	3.03	4.58	4.46	4.32	4.05	5.29	4.40	4.19	4.01
大腸菌数	CFU/mL	21,000	32,000	23,000	30,000	17,000	19,000	13,000	12,000	48,000	21,000	25,000	13,000	8,800	14,000
よう素消費量	mg/L	9	11	11	13	14	13	15	10	15	13	14	14	12	14
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	5	6	7	7	6	6	5	6	8	5	7	6	<5	<5
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.21	0.19	0.18	0.13	0.17	0.13	0.19	0.16	0.25	0.34	0.28	0.19	0.17	0.16
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	<0.10	<0.10	0.11	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.0005	－	－	－	－	－
有機リン化合物	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.10	－	－	－	－	－
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.0005	－	－	－	－	－
ジクロロメタン	mg/L	－	－	<0.02	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
四塩化炭素	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
1,2-ジクロロエタン	mg/L	－	－	<0.004	－	－	－	－	－	<0.004	－	－	－	－	－
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.04	－	－	－	－	－
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.001	－	－	－	－	－
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.006	－	－	－	－	－
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
チウラム	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.006	－	－	－	－	－
シマジン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.003	－	－	－	－	－
チオベンカルブ	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
ベンゼン	mg/L	－	－	<0.01	－	－	－	－	－	<0.01	－	－	－	－	－
セレン及びその化合物	mg/L	－	－	<0.01	－	－	－	－	－	<0.01	－	－	－	－	－
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.12	0.13	<0.10	<0.10	<0.10	0.16	0.10	0.35	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	18.6	22.4	21.7	21.2	21.6	21.8	22.6	20.9	20.6	20.7	20.1	14.0	31.1	16.9
1,4-ジオキサン	mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.05	－	－	－	－	－

V 桂川流域下水道

表5－27（2） 精密試験分析結果（流入水－2）

測定項目	単位	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		最大	最小	平均
実施日	—	6	20	4	18	8	22	5	19	5	18	—	—	—
水温	℃	22.0	20.5	20.0	18.5	17.0	17.0	16.0	16.0	17.0	17.0	27.0	16.0	21.0
透視度	cm	7.0	6.0	6.0	5.0	5.0	6.0	5.0	5.0	6.0	5.0	7.0	5.0	5.8
水素イオン濃度	—	7.29	7.35	7.24	7.26	7.24	7.16	7.26	7.19	7.24	7.18	7.35	6.83	7.09
蒸発残留物	mg/L	480	510	530	560	550	480	500	490	510	540	560	430	510
強熱残留物	mg/L	240	260	280	280	270	240	220	250	270	240	280	200	250
溶解性物質	mg/L	310	320	350	360	350	320	310	290	330	290	360	290	320
浮遊物質量	mg/L	190	180	210	200	200	180	210	190	190	220	220	170	190
アルカリ度	mg/L	153	148	151	147	149	147	146	144	139	152	153	138	146
生物化学的酸素要求量	mg/L	130	130	150	150	180	160	160	160	160	170	190	120	160
化学的酸素要求量	mg/L	86	91	100	100	97	97	100	94	91	100	110	81	95
アンモニア性窒素含有量	mg/L	24.7	17.3	22.9	21.3	20.7	21.7	21.2	21.0	19.6	22.5	30.8	13.7	20.9
亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	0.06	0.05	0.06	0.09	0.04	0.08	0.12	0.11	0.02	0.12	<0.02	0.03
硝酸性窒素含有量	mg/L	0.25	0.45	0.49	0.58	0.46	0.58	0.87	0.68	0.49	0.45	0.87	0.21	0.42
有機性窒素含有量	mg/L	7.64	8.87	14.0	15.8	12.0	11.6	13.9	12.8	13.0	13.0	19.8	2.36	12.9
窒素含有量	mg/L	32.6	26.7	37.5	37.7	33.3	34.0	36.0	34.6	33.2	35.9	48.1	23.0	34.3
磷酸イオン態磷含有量	mg/L	1.97	1.80	1.84	1.69	2.23	1.56	1.47	1.88	1.95	2.05	2.50	1.47	1.94
磷含有量	mg/L	3.91	4.25	4.31	4.37	4.09	3.55	3.57	4.11	3.75	4.75	5.29	3.03	4.18
大腸菌数	CFU/mL	22,000	8,000	8,000	7,800	13,000	6,200	20,000	9,400	6,200	17,000	48,000	6,200	17,000
よう素消費量	mg/L	11	8	10	11	9	9	<5	8	8	9	15	<5	11
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	5	6	5	6	6	6	6	7	5	10	10	<5	6
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L	0.21	0.15	0.11	0.13	0.17	0.13	0.10	0.20	0.31	0.25	0.34	0.10	0.19
溶解性鉄含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	0.21	0.21	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	0.16	0.17	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.14	0.16	<0.10	<0.10	0.17	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機磷化合物	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	<0.01	—	—	—	—	—	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	0.15	<0.10	0.14	0.17	0.12	0.17	0.11	0.13	0.35	<0.10	<0.10
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	25.0	17.8	23.4	21.9	21.2	22.3	22.2	21.8	20.2	23.0	31.1	14.0	21.4
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

V 桂川流域下水道

表 5－28（1） 精密試験分析結果（放流水－1）

測 定 項 目	単位	水質基準	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月	
実施日	－		3	17	8	22	5	19	3	17	7	21	4	17	2	16
水温	℃		17.0	19.0	20.0	21.5	21.5	23.0	24.0	24.5	25.5	25.5	26.0	26.0	24.5	23.5
透視度	cm		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	－	5.8～8.6	6.60	6.62	6.46	6.60	6.56	6.47	6.42	6.48	6.51	6.38	6.68	6.41	6.89	6.87
蒸発残留物	mg/L		300	320	280	340	290	310	350	320	310	320	310	350	350	360
強熱残留物	mg/L		230	240	200	240	230	240	230	230	190	250	240	200	250	270
溶解性物質	mg/L		300	320	270	330	290	310	350	310	300	310	310	330	340	360
浮遊物質量	mg/L	40(30)	2.3	1.9	1.6	2.0	1.8	1.7	1.6	2.0	1.9	2.2	1.9	1.9	2.2	2.1
アルカリ度	mg/L		50	59	50	59	45	51	43	43	48	40	53	44	38	38
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	1.5	2.1	1.7	2.4	1.8	1.5	1.3	0.9	1.8	1.5	1.8	2.5	1.1	1.4
化学的酸素要求量	mg/L		6.9	7.8	7.4	7.6	6.8	7.3	6.6	7.0	7.2	7.4	7.8	8.0	7.0	6.6
アンモニア性窒素含有量	mg/L		1.26	3.69	1.48	1.53	0.63	1.53	1.29	1.13	1.40	0.74	1.39	0.37	0.67	0.40
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.08	0.08	0.10	0.08	0.07	0.05	0.06	0.08	0.07	0.07	0.10	0.04	0.09	0.06
硝酸性窒素含有量	mg/L		7.07	6.35	8.52	4.81	8.26	8.60	9.78	9.06	5.45	8.76	7.45	5.16	6.63	9.59
有機性窒素含有量	mg/L		0.78	0.81	0.86	0.54	0.82	1.18	0.77	0.80	0.59	0.68	1.99	0.63	0.84	0.53
窒素含有量	mg/L	120(60)	9.18	10.9	11.0	6.96	9.78	11.4	11.9	11.1	7.50	10.3	10.9	6.20	8.22	10.6
磷酸イオン態磷含有量	mg/L		0.08	0.31	0.61	0.46	0.41	0.34	0.70	0.72	0.64	0.57	0.91	1.31	0.79	0.75
磷含有量	mg/L	16(8)	0.17	0.41	0.69	0.54	0.49	0.37	0.78	0.81	0.72	0.65	0.99	1.36	0.90	0.85
大腸菌数	CFU/mL	300	1	3	7	6	2	6	1	1	25	5	4	1	1	4
よう素消費量	mg/L		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.0005	－	－	－	－	－
有機磷化合物	mg/L	不検出	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.10	－	－	－	－	－
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.0005	－	－	－	－	－
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.04	－	－	－	－	－
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.001	－	－	－	－	－
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.006	－	－	－	－	－
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.002	－	－	－	－	－
チウラム	mg/L	0.06	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.006	－	－	－	－	－
シマジン	mg/L	0.03	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.003	－	－	－	－	－
チオベンカルブ	mg/L	0.2	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.02	－	－	－	－	－
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	7.65	7.91	9.21	5.50	8.58	9.26	10.4	9.59	6.08	9.13	8.11	5.35	6.99	9.81
1,4-ジオキササン	mg/L	0.5	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.05	－	－	－	－	－

V 桂川流域下水道

表5-28 (2) 精密試験分析結果 (放流水-2)

測定項目	単位	水質基準	11月		12月		1月		2月		3月		最大	最小	平均
実施日	—		6	20	4	18	8	22	5	19	5	18	—	—	—
水温	℃		21.5	20.5	19.5	18.5	17.0	17.0	16.0	16.0	17.0	17.0	26.0	16.0	20.9
透視度	cm		>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100
水素イオン濃度	—	5.8~8.6	6.93	6.79	6.90	6.84	6.84	6.71	6.87	6.83	6.64	6.88	6.93	6.38	6.67
蒸発残留物	mg/L		330	360	340	310	340	330	310	310	350	310	360	280	330
強熱残留物	mg/L		240	250	260	240	270	240	210	250	260	230	270	190	240
溶解性物質	mg/L		330	360	340	310	340	320	310	300	350	310	360	270	320
浮遊物質質量	mg/L	40(30)	1.5	1.4	1.5	1.7	1.3	1.4	1.2	2.4	2.0	2.5	2.5	1.2	1.8
アルカリ度	mg/L		50	39	44	46	45	48	54	55	44	51	59	38	47
生物化学的酸素要求量	mg/L	15(15)	1.3	1.0	1.3	1.1	1.3	1.1	1.4	1.7	1.2	1.8	2.5	0.9	1.5
化学的酸素要求量	mg/L		6.9	6.9	7.3	7.0	7.2	7.0	6.7	7.3	7.0	7.2	8.0	6.6	7.2
アンモニウム性窒素含有量	mg/L		1.25	0.52	1.73	1.38	1.63	2.58	3.17	2.56	1.35	2.16	3.69	0.37	1.49
亜硝酸性窒素含有量	mg/L		0.10	0.06	0.06	0.06	0.07	0.07	0.06	0.05	0.05	0.08	0.10	0.04	0.07
硝酸性窒素含有量	mg/L		6.67	8.93	9.73	8.98	8.32	8.36	7.59	6.89	6.65	8.30	9.78	4.81	7.75
有機性窒素含有量	mg/L		0.58	0.73	0.68	0.71	0.70	0.69	0.42	0.79	0.81	0.60	1.99	0.42	0.77
窒素含有量	mg/L	120(60)	8.59	10.2	12.2	11.1	10.7	11.7	11.2	10.3	8.87	11.1	12.2	6.20	10.1
磷酸イオン態リン含有量	mg/L		0.14	0.53	0.50	0.38	0.42	0.54	0.06	0.20	0.28	0.37	1.31	0.06	0.50
リン含有量	mg/L	16(8)	0.20	0.62	0.61	0.46	0.49	0.60	0.14	0.28	0.40	0.46	1.36	0.14	0.58
大腸菌数	CFU/mL	300	6	0	1	3	2	1	3	2	2	4	25	0	4
よう素消費量	mg/L		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	10	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5
シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
鉄含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	<0.10	<0.10
溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
マンガン含有量	mg/L		<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	0.1	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機リン化合物	mg/L	不検出	—	—	—	—	—	—	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	—	—	—	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.02	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	0.06	—	—	—	—	—	—	<0.006	—	—	—	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	0.03	—	—	—	—	—	—	<0.003	—	—	—	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	0.2	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	—	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ふっ素及びその化合物	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	0.10	<0.10	<0.10
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	7.27	9.20	10.5	9.59	9.04	9.46	8.92	7.96	7.24	9.24	10.5	5.35	8.42
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	—	—	—	—	—	—	<0.05	—	—	—	<0.05	<0.05	<0.05

V 桂川流域下水道

表 5 - 2 9 幹線調査分析結果

		測定項目	単位	排除基準	①	②	③	④	⑤
		採水月日			5月14日	5月14日	5月14日	5月14日	5月14日
		採水時刻			9:50	10:35	11:40	11:25	9:20
政 令 で 定 め る 物 質	政 令 で 定 め る 物 質	カドミウム及びその化合物	mg/L	不検出	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
		シアン化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		有機リン化合物	mg/L	不検出	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
		鉛及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		六価クロム化合物	mg/L	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		砒素及びその化合物	mg/L	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		トリクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		テトラクロロエチレン	mg/L	0.1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		四塩化炭素	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
		1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		シス1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
		1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
		1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
		1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		チウラム	mg/L	0.06	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
		シマジン	mg/L	0.03	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		チオベンカルブ	mg/L	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		ベンゼン	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		セレン及びその化合物	mg/L	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		ほう素及びその化合物	mg/L	10	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
		ふっ素及びその化合物	mg/L	1	0.18	<0.10	<0.10	<0.10	0.12
		1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
		フェノール類含有量	mg/L	1	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50	<0.50
		銅含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	0.10	<0.10
		亜鉛含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
		溶解性鉄含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	0.11	<0.10
		溶解性マンガン含有量	mg/L	1	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
		クロム含有量	mg/L	0.5	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
条 例 で 定 め る 物 質	条 例 で 定 め る 物 質	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素 及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380	19.7	24.8	25.5	19.9	14.5
		生物化学的酸素要求量	mg/L	600	250	230	81	210	120
		浮遊物質	mg/L	600	260	250	94	240	130
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	30	7	7	<5	14	6
		水素イオン濃度	—	5~9	7.02	6.78	6.91	6.61	7.17
		水温	℃	45	18.0	19.0	19.0	21.0	19.0
		よう素消費量	mg/L	220	12	14	8	15	11
		色	—		白濁	白濁	微白濁	白濁	白濁
そ の 他	そ の 他	化学的酸素要求量	mg/L		110	130	49	110	63
		番号 幹線名	上流市町村名						
備 考	備 考	① 桂川1号幹線	西桂町、富士吉田市						
		② 桂川1号幹線	都留市、西桂町、富士吉田市						
		③ 桂川1号幹線	大月市、都留市、西桂町、富士吉田市						
		④ 桂川2号幹線	上野原市						
		⑤ 桂川1号幹線	富士吉田市						

V 桂川流域下水道

表 5 - 3 0 反応タンク運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年最大最小平均
流 入 下 水 量 (m ³ /日)	最大	8,755	7,805	8,003	8,241	7,351	10,109	7,742	7,924	7,732	7,966	7,993	8,195	10,109
	最小	6,505	6,612	6,517	6,322	6,321	6,379	6,356	6,560	6,701	6,447	6,783	6,732	6,321
	平均	7,311	7,281	7,348	7,176	6,784	7,165	7,163	7,297	7,363	7,393	7,451	7,213	7,243
反応タンク 流入水量 (m ³ /日)	最大	9,362	8,411	8,546	8,810	7,863	10,746	8,448	8,556	8,369	8,504	8,604	8,790	10,746
	最小	7,125	7,256	7,129	6,979	6,906	7,078	7,017	7,224	7,346	7,065	7,408	7,366	6,906
	平均	7,922	7,891	7,939	7,767	7,386	7,795	7,829	7,933	7,980	7,991	8,053	7,846	7,859
返 送 汚 泥 量 (m ³ /日)	最大	3,337	3,146	3,088	3,211	2,879	3,854	3,622	3,666	3,953	3,148	3,138	3,147	3,953
	最小	2,745	2,722	2,733	2,612	2,554	2,756	2,721	2,782	2,775	2,743	2,800	2,777	2,554
	平均	2,931	2,948	2,938	2,916	2,785	2,929	2,930	3,084	3,170	2,972	2,985	2,933	2,960
返 送 汚 泥 率 (%)	最大	38.9	38.7	38.4	39.4	39.0	39.3	47.7	44.9	48.5	39.2	39.4	38.4	48.5
	最小	35.6	36.3	35.4	35.2	36.0	35.9	36.1	35.8	36.1	35.9	35.6	35.3	35.2
	平均	37.0	37.4	37.0	37.6	37.8	37.7	37.6	38.9	39.7	37.2	37.1	37.4	37.7
余 剩 汚 泥 量 (m ³ /日)	最大	64	69	59	55	61	59	56	53	60	52	64	66	69
	最小	49	26	49	48	29	19	49	39	31	14	19	44	14
	平均	60	61	52	53	49	51	51	49	49	44	50	58	52
送 風 量 (m ³ /日)	最大	27,677	26,598	23,513	23,519	22,372	24,571	22,005	22,670	23,722	23,948	24,135	22,998	27,677
	最小	24,695	22,654	20,821	20,855	19,832	19,687	15,361	19,456	20,155	20,963	20,251	20,938	15,361
	平均	25,549	24,496	22,413	22,310	21,177	21,316	20,398	21,214	21,585	22,296	22,759	22,086	22,293
送 風 倍 率 (倍)	最大	3.5	3.6	3.0	3.1	3.2	3.0	2.9	2.9	3.0	3.4	3.2	3.0	3.6
	最小	2.7	2.8	2.6	2.6	2.7	2.3	2.0	2.5	2.5	2.6	2.7	2.4	2.0
	平均	3.2	3.1	2.8	2.9	2.9	2.8	2.6	2.7	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8
滞 留 時 間 (H r)	最大	17.0	16.7	17.0	17.4	17.5	17.1	17.3	16.8	16.5	17.2	16.4	16.5	17.5
	最小	12.9	14.4	14.2	13.8	15.4	11.3	14.5	14.2	14.5	14.3	14.1	13.8	11.3
	平均	15.4	15.4	15.3	15.7	16.5	15.7	15.6	15.3	15.2	15.2	15.1	15.5	15.5

V 桂川流域下水道

表5-31 反応タンク試験結果(1)

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年最大最小平均
水 温 (℃)	最大	20.0	21.5	24.0	25.0	26.0	26.5	25.0	22.0	20.0	17.5	17.0	18.5	26.5
	最小	17.5	20.0	21.0	24.0	25.0	24.5	22.0	20.0	18.5	16.5	16.0	17.0	16.0
	平均	18.7	20.8	22.5	24.5	25.5	25.5	23.7	20.9	19.0	17.1	16.5	17.6	21.0
p H	ML	最大	6.24	6.16	6.14	6.16	6.13	6.23	6.50	6.47	6.36	6.38	6.35	6.50
		最小	6.06	6.02	6.00	6.00	5.93	6.00	6.20	6.19	6.24	6.13	6.18	5.93
		平均	6.14	6.08	6.06	6.06	6.03	6.12	6.34	6.30	6.29	6.22	6.27	6.18
	RS	最大	6.47	6.47	6.43	6.38	6.33	6.42	6.63	6.55	6.47	6.53	6.53	6.63
		最小	6.32	6.30	6.27	6.20	6.08	6.21	6.27	6.32	6.33	6.36	6.39	6.08
		平均	6.42	6.37	6.33	6.30	6.24	6.31	6.41	6.43	6.42	6.44	6.48	6.38
D O (mg/L)	最大	1.3	1.6	1.9	1.8	1.9	2.0	2.0	2.1	2.0	1.7	1.7	1.7	2.1
	最小	1.0	1.0	1.2	1.3	1.1	0.9	1.1	1.5	1.4	1.3	1.3	1.3	0.9
	平均	1.2	1.3	1.5	1.5	1.4	1.5	1.7	1.7	1.7	1.5	1.5	1.5	1.5
M L S S (mg/L)	最大	2,350	2,310	2,170	2,180	2,040	2,220	2,050	2,130	2,340	2,360	2,600	2,510	2,600
	最小	2,090	2,020	1,940	1,910	1,890	1,860	1,670	1,630	1,670	2,070	2,380	2,190	1,630
	平均	2,210	2,160	2,040	2,000	1,950	2,010	1,900	1,980	2,090	2,190	2,470	2,280	2,110
M L V S S (mg/L)	最大	1,830	1,770	1,690	1,660	1,530	1,690	1,510	1,600	1,760	1,810	2,000	1,940	2,000
	最小	1,620	1,570	1,490	1,420	1,410	1,400	1,280	1,210	1,260	1,560	1,840	1,680	1,210
	平均	1,710	1,680	1,570	1,500	1,460	1,530	1,400	1,470	1,570	1,690	1,910	1,740	1,600
M L V S S / M L S S (%)	最大	79.0	79.2	78.7	76.5	76.2	77.4	76.6	75.6	76.2	78.8	79.0	78.0	79.2
	最小	76.2	76.6	75.0	72.5	73.8	74.2	71.2	72.6	74.1	75.4	76.2	75.3	71.2
	平均	77.5	77.8	77.0	75.0	75.1	76.1	74.0	74.4	75.2	77.0	77.4	76.4	76.1
S V 3 0 (%)	ML	最大	40	38	34	32	29	32	30	34	38	42	48	48
		最小	32	24	30	28	22	26	26	27	34	36	38	22
		平均	36	34	33	29	26	29	28	30	36	39	42	33
	RS	最大	99	99	99	99	98	99	99	99	99	99	99	99
		最小	98	97	95	95	92	89	94	96	94	98	98	89
		平均	99	99	99	98	96	97	98	98	99	99	99	98
S V I (mL/g)	ML	最大	180	170	180	160	150	160	160	170	200	190	190	200
		最小	140	110	150	140	110	130	140	140	150	170	150	110
		平均	160	160	160	150	130	140	150	150	180	180	170	160
	RS	最大	170	200	200	190	210	210	200	210	230	170	150	230
		最小	100	100	100	120	130	120	130	110	91	88	94	88
		平均	130	150	140	150	160	150	150	140	150	120	120	140
BOD-SS 負 荷 (kg/kg・日)	最大	0.09	0.10	0.07	0.07	0.09	0.12	0.08	0.08	0.08	0.09	0.07	0.07	0.12
	最小	0.05	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.07	0.05	0.06	0.05
	平均	0.07	0.08	0.07	0.06	0.07	0.08	0.06	0.07	0.07	0.08	0.06	0.06	0.07
S R T (日)	平均	24.1	25.6	27.7	29.3	33.2	29.6	29.4	28.6	32.2	30.4	28.6	24.3	28.6

※年最大最小平均の欄の平均については、月間平均値の平均値である。

表5-32 反応タンク試験結果(2)

項 目		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		最大	最小	平均
酸素利用速度 Rr (mg/L・H)	—	33.0	12.0	9.4	10.6	10.4	10.0	8.5	8.3	9.7	9.7	10.4	6.8	6.0	6.2	6.9	5.8	5.5	6.1	4.7	5.5	7.2	8.7	6.7	6.0	33.0	4.7	8.9
	ATU	8.7	10.2	8.4	9.3	9.2	9.4	8.1	7.3	8.3	7.5	8.6	6.7	5.9	6.2	6.9	5.8	5.3	5.6	4.3	5.3	6.8	8.3	6.6	5.8	10.2	4.3	7.3
酸素利用速度 係数Kr (mg/g・H)	—	14.3	5.1	4.2	4.7	5.0	4.8	4.1	4.2	4.9	5.1	4.7	3.4	3.6	3.1	3.3	2.8	2.6	2.7	2.1	2.5	3.0	3.4	2.7	2.6	14.3	2.1	4.1
	ATU	3.8	4.3	3.8	4.1	4.4	4.5	3.9	3.7	4.2	4.0	3.9	3.4	3.5	3.1	3.3	2.8	2.5	2.5	1.9	2.4	2.8	3.2	2.6	2.5	4.5	1.9	3.4
備 考		A T U 添加量10mg/L、酸素利用速度係数はM L S S による。																										

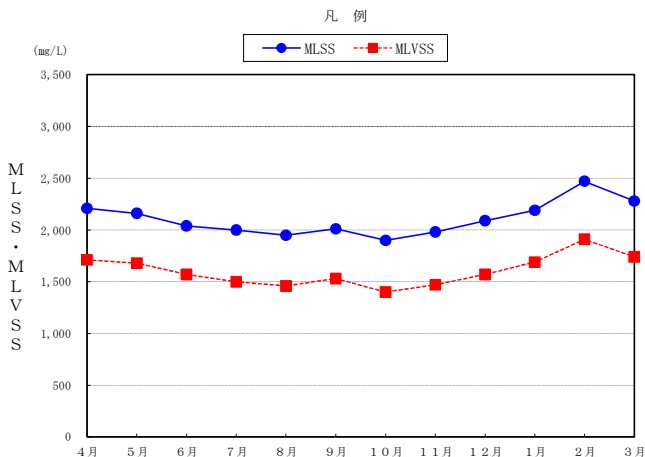


図5-16 反応タンクの管理状況(1)

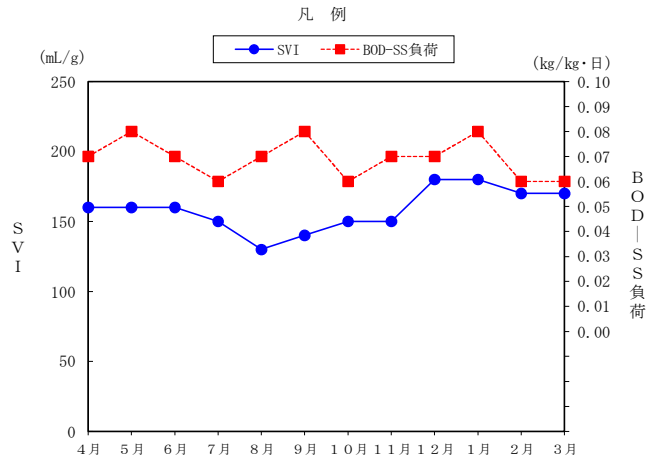


図5-17 反応タンクの管理状況(2)

V 桂川流域下水道

表 5 - 3 3 反応タンク生物試験結果

(単位：個/cm³)

分類及び生物名			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	最大	最小	平均	
動物	鞭毛虫類	動物性	Bodo・Monas	530	1,060	930	650	610	700	450	540	520	580	620	310	1,060	310	625
		植物性	Peranema	130	190	150	10	110	140	590	70	10	30	70		590	0	125
			Entoshiphon	170	140	130	100	180	30	50	430	1,210	290	70	40	1,210	30	237
	原生動物	原口目	Prorodon	370	230	330	380	330	60	110	230	500	350	460	300	500	60	304
		異毛目	Spirostomum	10	30	30	200	80	20	10	30	10		10	190	200	0	52
			Metopus	60	20					10	40	10	50	70		70	0	22
		裸口目	Chilodonella	120	50	10				10	10	20	10		20	120	0	21
			Amphileptus	20							10				20	20	0	4
			Trachelophyllum	40		30	10				390	40	40	20		390	0	48
			Litonotus	110	180	60		70	60	90	80	170	70	30	110	180	0	86
		Microthorax								10					10	0	1	
		下毛目	Aspidisca	3,390	3,920	3,650	2,010	2,070	2,720	400	1,610	1,380	380	660	4,640	4,640	380	2,236
			Euplotes	90		20	40	30		10	10	50			60	90	0	26
	Chaetospira		20		10	20	20	10		10				190	190	0	23	
	虫類	ナシ目	Drepanomonas								10	20				20	0	3
		縁毛目	Vorticella	6,080	1,040	750	520	670	560	1,090	380	2,090	4,130	2,200	410	6,080	380	1,660
			Epistylis	20			10	1,220	940			740	970			1,220	0	325
			Carchesium	30	40	10		10								40	0	8
			Opercularia	1,650	420	150	1,040	550		1,210	970	280	710	510	1,190	1,650	0	723
			Vaginicola					10							160	160	0	14
		吸管目	Tokophrya	20	10	10	30		10						40	40	0	10
			Podophrya			40			20							40	0	5
			Acineta	30	40	50	30	90	10	50	10	30	70	120	30	120	10	47
			multifasciculatum	10	30							40				40	0	7
	根足虫類	有殻	Arcella	1,010	1,360	2,380	1,750	2,490	1,710	2,940	1,580	1,720	1,190	2,850	950	2,940	950	1,828
			Euglypha	60	30	140		70	40	230	510	830	710	700		830	0	277
			Pyxidicula	280	290	250	200	420	340	100	360	170	250	150	720	720	100	294
			Centrophyxis						20							20	0	2
			Diffflugia	10		20		30	10							30	0	6
		無殻	Amoeba			30	10	20			20	40		60	20	60	0	17
	後動物	輪虫類	Lecane						10	30		40	80	40		80	0	17
Colurella			40	30		100	720	270			40	10		60	720	0	106	
Lepadella					60			40							60	0	8	
Rotaria			70	140	180	160	210	100	90	40	120	110	90		210	0	109	
Philodina			20	50	30	10			20						50	0	11	
腹毛類			Chaetonotus	110	90	160	130	340	410	30	10	110	60	40	190	410	10	140
線虫類		Dyplogaster	20		20							10	20		20	0	6	
総生物数			14,520	9,390	9,630	7,410	10,350	8,230	7,520	7,360	10,190	10,100	8,790	9,650	14,520	7,360	9,428	
活性汚泥生物数			13,700	8,100	8,550	6,740	9,650	7,470	6,970	6,320	9,400	9,390	8,040	9,190	13,700	6,320	8,627	
活性汚泥性生物(%)			94.4	86.3	88.8	91.0	93.2	90.8	92.7	85.9	92.2	93.0	91.5	95.2	95.2	85.9	91.2	

V 桂川流域下水道

表 5-3 4 流入水及び放流水の経時変化(4/8~4/10)

流入水							
採水時間	流入量 ($\text{m}^3/2\text{hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/8 10:00	571	140	80	160	91	89	51
12:00	655	130	85	160	105	81	53
14:00	704	190	134	220	155	110	77
16:00	708	130	92	150	106	73	52
18:00	658	260	171	340	224	140	92
20:00	742	320	237	450	334	160	119
22:00	809	190	154	210	170	100	81
4/9 0:00	814	210	171	230	187	100	81
2:00	707	180	127	210	148	100	71
4:00	573	160	92	190	109	90	52
6:00	490	110	54	130	64	73	36
8:00	634	150	95	150	95	95	60

放流水							
採水時間	放流量 ($\text{m}^3/2\text{hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
4/9 10:00	567	1.3	0.7	2.0	1.1	7.2	4.1
12:00	641	1.6	1.0	2.2	1.4	7.5	4.8
14:00	736	1.7	1.3	1.8	1.3	7.6	5.6
16:00	676	1.7	1.1	2.2	1.5	7.2	4.9
18:00	590	1.4	0.8	2.0	1.2	7.3	4.3
20:00	751	1.3	1.0	2.2	1.7	7.4	5.6
22:00	829	1.6	1.3	2.0	1.7	7.5	6.2
4/10 0:00	782	1.5	1.2	1.8	1.4	7.2	5.6
2:00	655	1.8	1.2	2.2	1.4	7.4	4.8
4:00	538	1.7	0.9	2.6	1.4	7.4	4.0
6:00	447	1.8	0.8	2.0	0.9	8.2	3.7
8:00	612	1.5	0.9	2.2	1.3	8.0	4.9

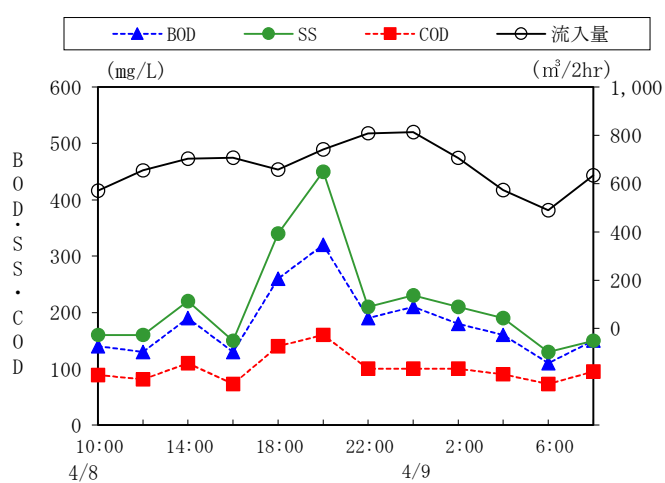


図 5-18 流入水濃度の経時変化 (4/8~4/9)

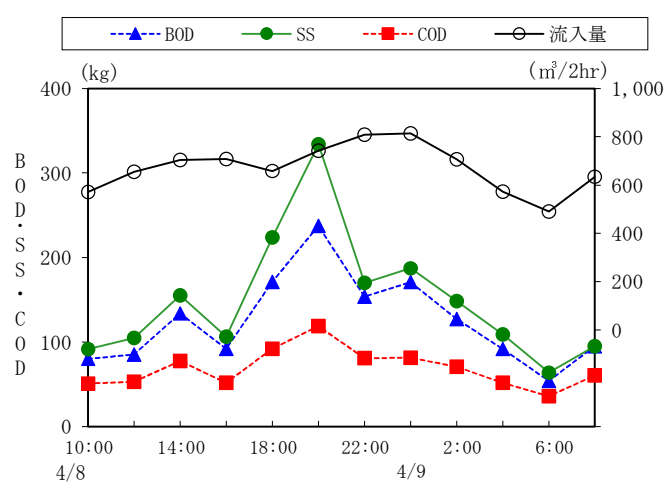


図 5-19 流入水負荷量の経時変化 (4/8~4/9)

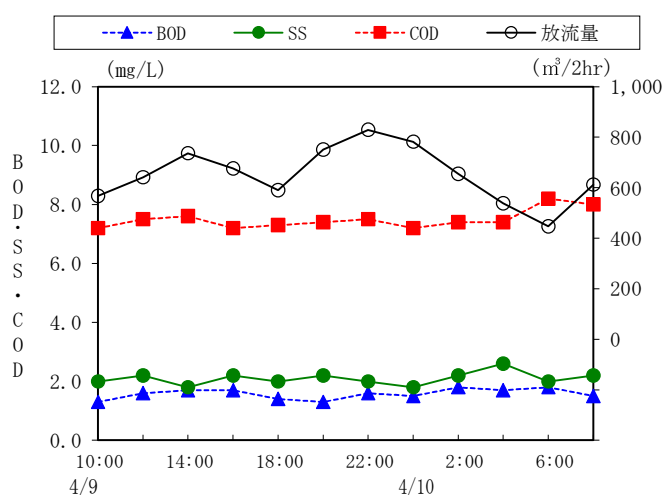


図 5-20 放流水濃度の経時変化 (4/9~4/10)

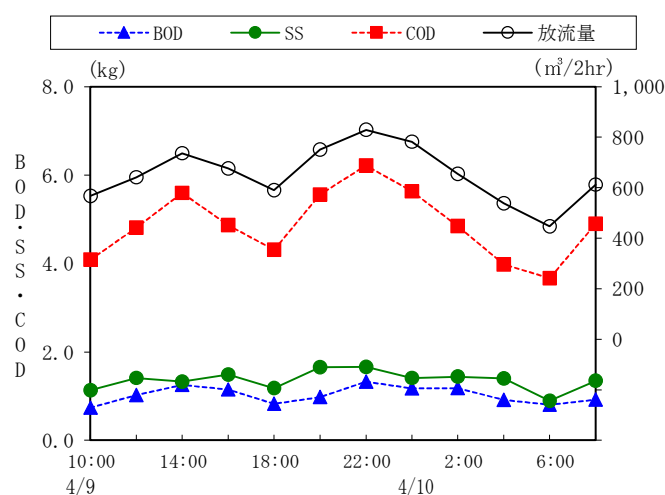


図 5-21 放流水負荷量の経時変化 (4/9~4/10)

V 桂川流域下水道

表 5-3 5 流入水及び放流水の経時変化(8/12~8/14)

流 入 水							
採 水 時 間	流入量 ($\text{m}^3/2\text{hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/12 10:00	542	170	92	170	92	80	43
12:00	555	100	56	140	78	67	37
14:00	621	130	81	180	112	84	52
16:00	561	99	56	150	84	68	38
18:00	630	140	88	210	132	94	59
20:00	679	120	81	170	115	80	54
22:00	710	130	92	190	135	86	61
8/13 0:00	737	150	111	220	162	91	67
2:00	619	200	124	270	167	110	68
4:00	536	140	75	180	96	78	42
6:00	441	100	44	140	62	64	28
8:00	563	100	56	130	73	66	37

放 流 水							
採 水 時 間	放流量 ($\text{m}^3/2\text{hr}$)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
8/13 10:00	471	1.4	0.7	1.2	0.6	6.9	3.2
12:00	400	2.2	0.9	2.0	0.8	7.0	2.8
14:00	536	2.1	1.1	1.2	0.6	6.8	3.6
16:00	517	1.8	0.9	1.4	0.7	6.7	3.5
18:00	547	1.4	0.8	1.4	0.8	6.8	3.7
20:00	613	1.9	1.2	2.0	1.2	6.7	4.1
22:00	615	1.7	1.0	1.8	1.1	6.6	4.1
8/14 0:00	644	1.6	1.0	2.0	1.3	6.7	4.3
2:00	541	1.9	1.0	2.0	1.1	7.1	3.8
4:00	433	1.8	0.8	1.6	0.7	7.2	3.1
6:00	372	1.5	0.6	2.0	0.7	6.8	2.5
8:00	469	1.9	0.9	2.2	1.0	7.1	3.3

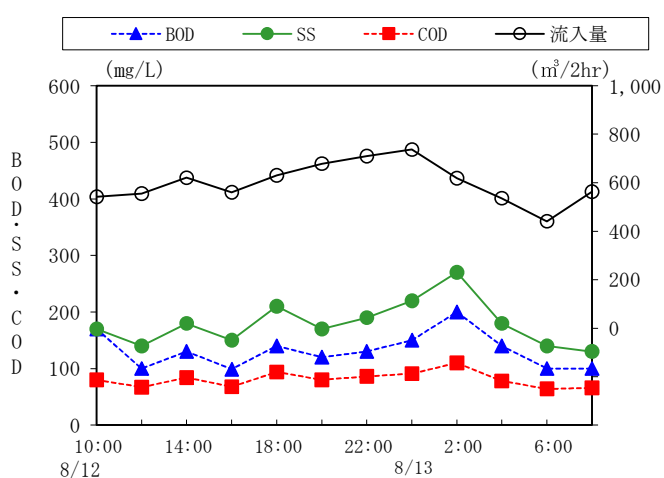


図 5-2 2 流入水濃度の経時変化 (8/12~8/13)

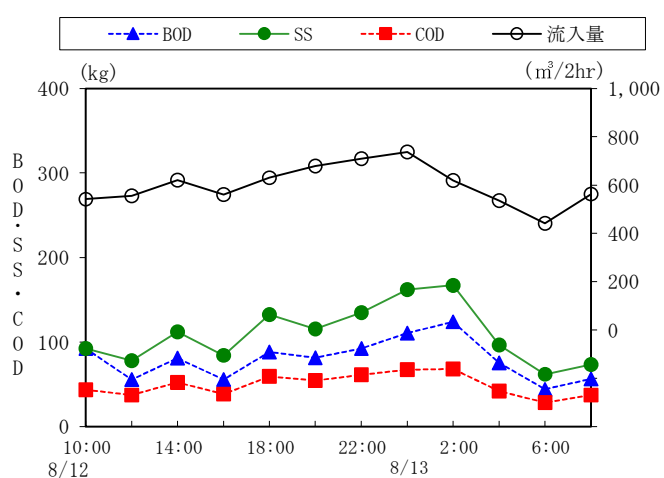


図 5-2 3 流入水負荷量の経時変化 (8/12~8/13)

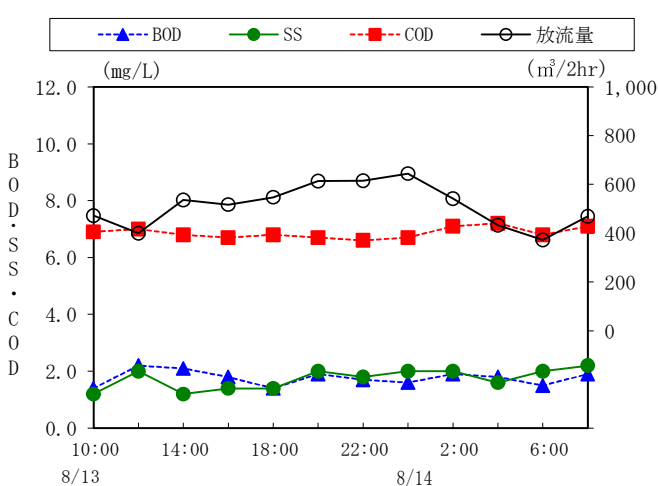


図 5-2 4 放流水濃度の経時変化 (8/13~8/14)

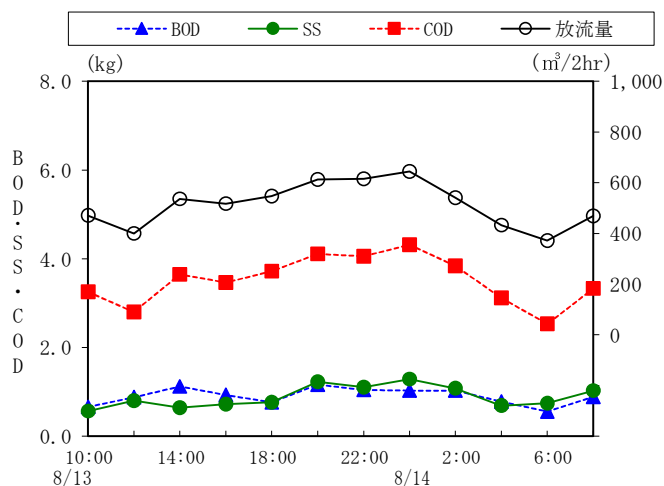


図 5-2 5 放流水負荷量の経時変化 (8/13~8/14)

V 桂川流域下水道

表 5-3 6 流入水及び放流水の経時変化(11/11~11/13)

流 入 水							
採 水 時 間	流入量 (m³/2Hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/11 10:00	555	97	54	130	72	75	42
12:00	648	110	71	130	84	71	46
14:00	717	130	93	180	129	87	62
16:00	712	140	100	140	100	76	54
18:00	721	220	159	260	187	110	79
20:00	787	130	102	170	134	83	65
22:00	846	150	127	200	169	93	79
11/12 0:00	850	130	111	200	170	78	66
2:00	619	200	124	300	186	120	74
4:00	506	210	106	260	132	100	51
6:00	585	110	64	140	82	74	43
8:00	360	140	50	160	58	78	28

放 流 水							
採 水 時 間	放流量 (m³/2Hr)	BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
11/12 10:00	497	1.2	0.6	1.6	0.8	6.6	3.3
12:00	580	1.3	0.8	1.8	1.0	6.4	3.7
14:00	647	1.3	0.8	1.6	1.0	6.6	4.3
16:00	644	1.2	0.8	1.8	1.2	6.6	4.3
18:00	641	1.2	0.8	1.4	0.9	6.6	4.2
20:00	744	1.1	0.8	2.0	1.5	6.8	5.1
22:00	829	1.1	0.9	1.8	1.5	6.6	5.5
11/13 0:00	736	1.3	1.0	2.0	1.5	6.8	5.0
2:00	585	1.4	0.8	1.6	0.9	6.8	4.0
4:00	593	1.2	0.7	2.0	1.2	6.6	3.9
6:00	452	1.3	0.6	1.4	0.6	6.8	3.1
8:00	572	1.5	0.9	2.2	1.3	6.7	3.8

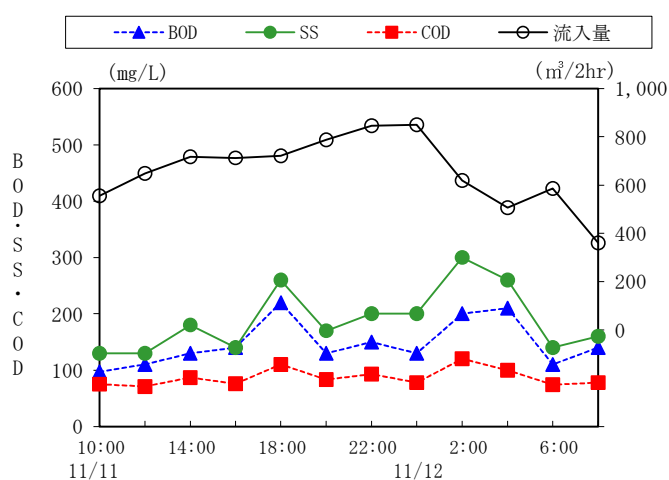


図 5-2 6 流入水濃度の経時変化 (11/11~11/12)

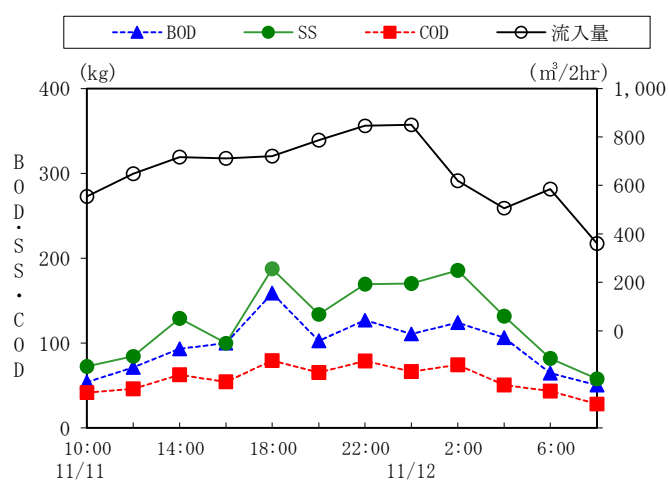


図 5-2 7 流入水負荷量の経時変化 (11/11~11/12)

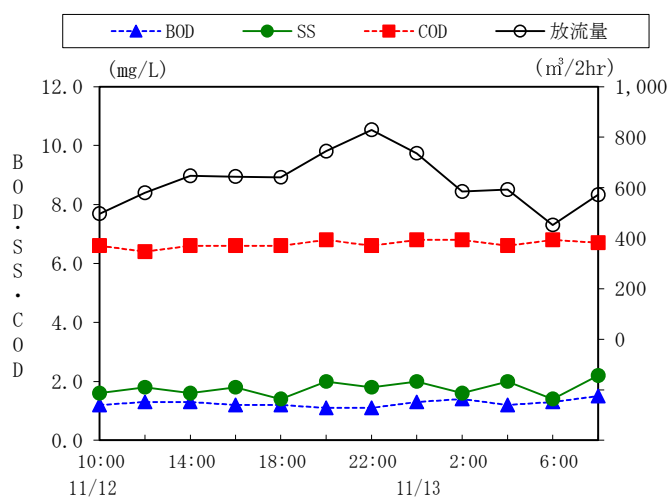


図 5-2 8 放流水濃度の経時変化 (11/12~11/13)

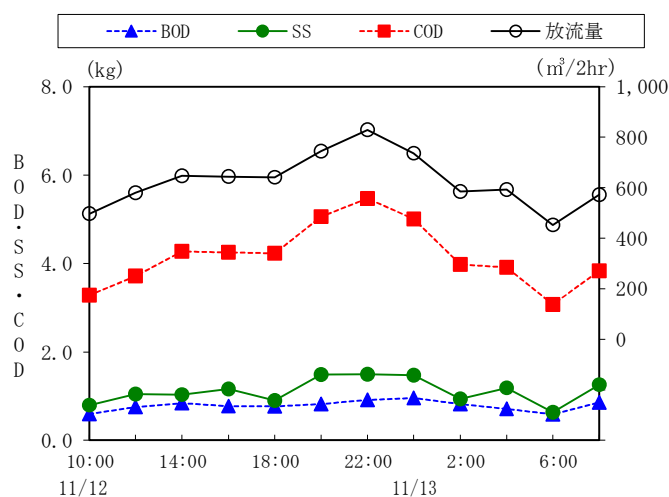


図 5-2 9 放流水負荷量の経時変化 (11/12~11/13)

V 桂川流域下水道

表 5-3 7 流入水及び放流水の経時変化(2/24~2/26)

採 水 時 間	流入量 ($\text{m}^3/2\text{Hr}$)	流 入 水					
		BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/24 10:00	486	120	58	150	73	83	40
12:00	672	110	74	150	101	77	52
14:00	681	130	89	160	109	83	57
16:00	716	110	79	150	107	77	55
18:00	713	160	114	180	128	90	64
20:00	724	170	123	240	174	100	72
22:00	858	160	137	200	172	94	81
2/25 0:00	814	180	147	230	187	90	73
2:00	734	190	139	250	184	120	88
4:00	569	150	85	230	131	92	52
6:00	502	250	126	240	120	110	55
8:00	638	140	89	170	108	84	54

採 水 時 間	放流量 ($\text{m}^3/2\text{Hr}$)	放 流 水					
		BOD		SS		COD	
		濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)	濃度 (mg/L)	負荷量 (kg)
2/25 10:00	546	1.9	1.0	3.0	1.6	7.4	4.0
12:00	680	2.4	1.6	3.4	2.3	7.8	5.3
14:00	791	2.1	1.7	3.2	2.5	7.7	6.1
16:00	732	2.1	1.5	3.2	2.3	7.8	5.7
18:00	780	2.0	1.6	3.8	3.0	7.7	6.0
20:00	829	2.2	1.8	3.4	2.8	7.6	6.3
22:00	883	2.0	1.8	3.8	3.4	7.4	6.5
2/26 0:00	831	2.2	1.8	3.4	2.8	7.4	6.1
2:00	781	1.8	1.4	3.8	3.0	7.5	5.9
4:00	521	1.6	0.8	3.8	2.0	7.4	3.9
6:00	515	1.7	0.9	3.2	1.6	7.5	3.9
8:00	660	1.6	1.1	3.4	2.2	7.3	4.8

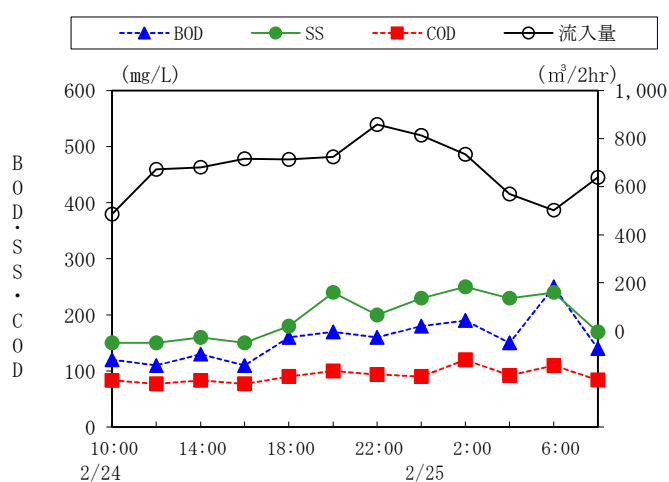


図 5-3 0 流入水濃度の経時変化 (2/24~2/25)

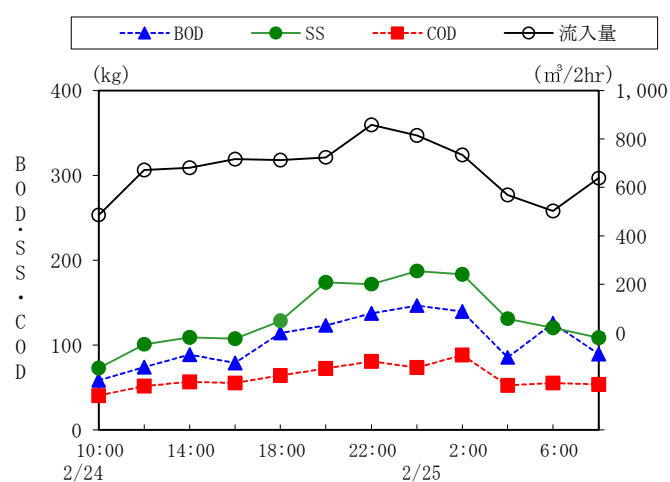


図 5-3 1 流入水負荷量の経時変化 (2/24~2/25)

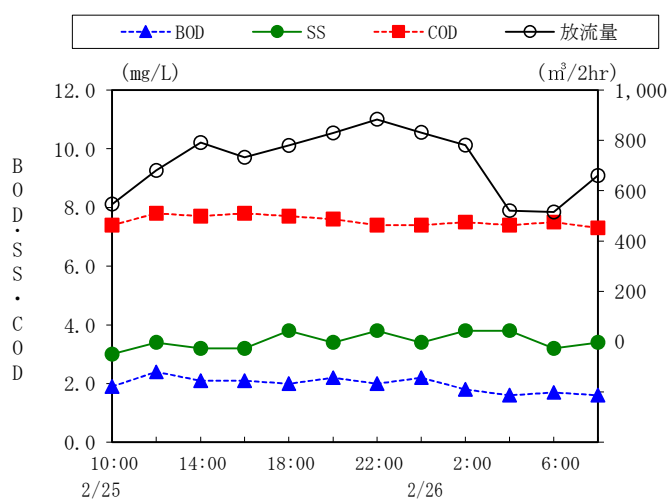


図 5-3 2 放流水濃度の経時変化 (2/25~2/26)

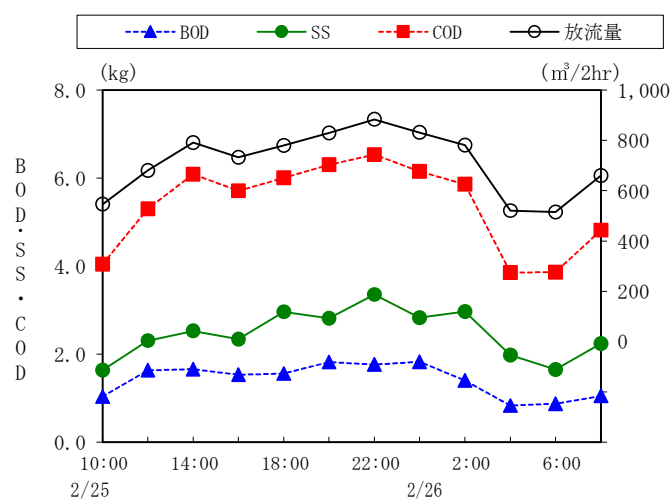


図 5-3 3 放流水負荷量の経時変化 (2/25~2/26)

V 桂川流域下水道

表 5－3 8 汚泥処理運転状況

項 目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均	計
生汚泥	固 形 分 (%)	0.49	0.46	0.51	0.47	0.44	0.48	0.45	0.46	0.47	0.50	0.54	0.50	0.54	0.44	0.48	—
	引 抜 量 (m³)	9,329	9,561	9,251	9,552	9,380	9,101	9,612	9,300	9,616	9,639	8,641	9,614	9,639	8,641	9,383	112,596
	固形物量 (kg)	45,563	44,070	46,999	45,363	40,953	43,279	42,896	42,723	45,013	48,002	46,627	47,610	48,002	40,953	44,925	539,098
重縮力汚泥	固 形 分 (%)	4.97	4.60	3.92	3.61	3.55	3.21	3.76	4.16	4.67	4.96	4.99	4.97	4.99	3.21	4.28	—
	引 抜 量 (m³)	732.4	768.6	985.4	1,002.6	851.5	1,020.5	908.6	878.4	824.2	679.9	643.8	785.9	1,020.5	643.8	840.2	10,081.8
	固形物量 (kg)	36,372	35,336	38,604	36,196	30,202	32,732	34,174	36,566	38,478	33,709	32,148	39,049	39,049	30,202	35,297	423,566
余剰汚泥	固 形 分 (%)	1.00	0.95	0.83	0.76	0.67	0.76	0.71	0.84	0.97	1.00	1.05	0.97	1.05	0.67	0.88	—
	引 抜 量 (m³)	1,789	1,880	1,549	1,649	1,507	1,535	1,589	1,469	1,520	1,362	1,413	1,790	1,880	1,362	1,588	19,052
	固形物量 (kg)	17,932	17,811	12,898	12,492	10,135	11,742	11,295	12,397	14,730	13,631	14,803	17,416	17,932	10,135	13,940	167,282
濃縮機	固 形 分 (%)	1.01	0.94	0.92	0.83	0.81	0.89	0.83	1.03	1.07	1.15	1.29	1.13	1.29	0.81	0.99	—
	供 給 量 (m³)	1,814	1,911	1,576	1,681	1,531	1,560	1,611	1,476	1,513	1,376	1,407	1,806	1,911	1,376	1,605	19,259
	固形物量 (kg)	18,314	17,981	14,452	13,870	12,394	13,813	13,428	15,210	16,120	15,764	18,202	20,447	20,447	12,394	15,833	189,995
高分子凝集剤	濃 度 (%)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	—
	供 給 量 (m³)	21.45	21.87	18.36	20.00	17.92	19.15	19.11	19.41	20.42	19.29	20.23	24.92	24.92	17.92	20.18	242.13
	薬 注 率 (%)	0.23	0.25	0.26	0.30	0.30	0.29	0.30	0.26	0.26	0.25	0.23	0.25	0.30	0.23	0.27	—
脱水機	固 形 分 (%)	4.50	4.16	3.77	3.56	3.66	3.30	3.40	3.45	3.69	4.02	4.43	4.29	4.50	3.30	3.85	—
	供 給 量 (m³)	1,104.7	1,114.3	1,266.9	1,316.7	1,099.5	1,273.9	1,166.0	1,129.9	1,163.9	1,026.0	991.8	1,163.3	1,316.7	991.8	1,151.4	13,816.9
	固形物量 (kg)	49,755	46,391	47,825	46,821	40,290	41,983	39,602	39,029	42,988	41,249	43,916	49,878	49,878	39,029	44,144	529,727
高分子凝集剤(脱水)	濃 度 (%)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	—
	供 給 量 (m³)	120.6	126.2	141.1	126.4	102.6	118.3	96.2	95.8	122.4	109.7	112.5	147.3	147.3	95.8	118.3	1,419.1
	薬 注 率 (%)	0.73	0.82	0.89	0.81	0.76	0.85	0.73	0.74	0.85	0.80	0.77	0.89	0.89	0.73	0.80	—
脱水ケーキ	含 水 率 (%)	67.5	68.3	68.4	68.1	67.8	68.3	67.6	68.3	68.7	68.0	68.1	68.5	68.7	67.5	68.1	—
	ケーキ量(t)	143.99	139.38	138.61	138.09	117.92	122.28	123.28	124.23	137.36	130.49	129.75	154.56	154.56	117.92	133.33	1,599.94
	固形物量 (kg)	46,797	44,183	43,801	44,051	37,970	38,763	39,943	39,381	42,994	41,757	41,390	48,686	48,686	37,970	42,476	509,715

V 桂川流域下水道

表 5－39 汚泥中試験、汚泥返流水試験分析結果

項 目			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	最 大	最 小	平 均
汚泥中試験	重力汚泥濃縮	水素イオン濃度	5.00	5.11	4.83	5.02	4.96	4.93	4.88	5.03	4.96	5.03	4.77	5.12	5.12	4.77	4.97
		固形分 (%)	4.90	4.13	3.90	3.57	3.82	3.03	3.45	3.51	3.99	5.00	5.01	4.32	5.01	3.03	4.05
		有機分 (%)	91.9	93.0	91.6	91.3	92.4	91.6	91.3	91.6	90.7	92.3	91.3	90.9	93.0	90.7	91.7
	機械汚泥濃縮	水素イオン濃度	6.43	6.52	6.54	6.48	6.50	6.61	6.62	6.66	6.61	6.59	6.52	6.46	6.66	6.43	6.55
		固形分 (%)	3.60	3.79	3.67	3.30	3.93	3.74	4.16	4.02	3.60	3.47	3.96	4.01	4.16	3.30	3.77
		有機分 (%)	76.8	77.2	76.3	75.0	75.0	75.9	73.1	74.1	74.8	76.7	77.4	76.3	77.4	73.1	75.7
	脱水機供給汚泥	水素イオン濃度	5.11	5.14	4.85	4.98	4.89	5.06	4.82	4.98	5.04	4.99	4.95	5.22	5.22	4.82	5.00
		固形分 (%)	4.37	4.11	3.64	3.40	3.58	3.11	3.50	3.55	3.75	4.24	4.48	4.23	4.48	3.11	3.83
		有機分 (%)	87.0	88.4	86.9	86.2	87.2	86.2	86.6	86.4	86.1	87.5	87.0	85.7	88.4	85.7	86.8
	脱水ケーキ	含水率 (%)	67.7	68.0	68.3	69.0	65.6	68.0	66.1	67.0	68.8	68.3	67.6	67.8	69.0	65.6	67.7
		有機分 (%)	87.8	89.1	88.7	87.6	88.2	87.3	87.7	87.5	87.3	88.7	88.1	86.9	89.1	86.9	87.9
汚泥返流水試験	重力分離液濃縮	水素イオン濃度	6.00	6.08	6.21	6.39	6.11	5.79	6.45	6.44	6.40	6.40	6.44	6.59	6.59	5.79	6.28
		アルカリ度 (mg/L)	158	164	159	166	143	122	178	162	170	179	208	178	208	122	166
		浮遊物質 (mg/L)	250	280	260	190	280	410	280	280	310	320	320	250	410	190	290
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	520	490	450	380	520	690	530	500	530	590	570	450	690	380	520
		化学的酸素要求量 (mg/L)	180	170	160	130	170	230	170	190	210	220	220	180	230	130	190
	機械分離液濃縮	水素イオン濃度	6.53	6.50	6.50	6.54	6.46	6.51	6.89	6.98	6.88	6.81	6.80	6.67	6.98	6.46	6.67
		アルカリ度 (mg/L)	57	65	62	57	59	60	50	51	52	55	63	59	65	50	58
		浮遊物質 (mg/L)	140	97	180	270	290	350	120	100	130	180	190	190	350	97	190
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	87	62	95	150	150	150	42	51	46	68	110	100	150	42	93
		化学的酸素要求量 (mg/L)	52	46	72	98	110	130	54	49	47	57	75	68	130	46	72
	脱水分離液	水素イオン濃度	5.00	5.00	4.85	4.90	4.81	4.93	4.81	4.93	5.00	4.97	4.88	5.19	5.19	4.81	4.94
		アルカリ度 (mg/L)	129	129	84	86	18	85	12	57	175	138	116	230	230	12	105
		浮遊物質 (mg/L)	1,100	680	1,500	1,800	470	1,200	770	710	710	950	750	880	1,800	470	960
		生物化学的酸素要求量 (mg/L)	4,000	3,000	4,500	3,500	2,800	2,400	2,900	2,600	2,900	4,000	3,800	3,400	4,500	2,400	3,300
		化学的酸素要求量 (mg/L)	1,000	850	810	690	630	610	660	610	660	1,000	900	810	1,000	610	770

V 桂川流域下水道

表 5－4 0 汚泥測定結果（溶出試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機燐化合物	mg/L	—	<0.1	—	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
砒素又はその化合物	mg/L	<0.005	0.013	<0.005	0.018	0.018	<0.005	0.008
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
銅又はその化合物	mg/L	<0.10	<0.10	0.11	0.14	0.14	<0.10	<0.10
亜鉛又はその化合物	mg/L	1.5	1.1	4.2	5.0	5.0	1.1	3.0
鉄	mg/L	1.9	1.1	1.1	0.52	1.9	0.52	1.2
マンガン	mg/L	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	<0.004	—	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.04	—	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	<0.002	—	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	—	<0.006	—	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	—	<0.003	—	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	—	<0.01	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	—	<0.05	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 5－4 1 汚泥測定結果（含有試験）

項 目	単 位	5 月	8 月	1 1 月	2 月	最 大	最 小	平 均
カドミウム	mg/kg	0.33	0.28	0.35	0.17	0.35	0.17	0.28
シアン化合物	mg/kg	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0	<5.0
鉛	mg/kg	2.6	3.7	3.6	2.1	3.7	2.1	3.0
六価クロム	mg/kg	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40
ひ素	mg/kg	1.4	1.9	1.9	1.6	1.9	1.4	1.7
水銀	mg/kg	0.08	0.12	0.10	0.07	0.12	0.07	0.09
銅	mg/kg	170	160	180	180	180	160	170
ニッケル	mg/kg	7.8	5.6	7.2	4.9	7.8	4.9	6.4
亜鉛	mg/kg	1,900	2,000	4,100	3,800	4,100	1,900	3,000
鉄	mg/kg	1,100	1,200	1,500	850	1,500	850	1,200
マンガン	mg/kg	21	21	23	17	23	17	21
クロム	mg/kg	7.3	10	18	12	18	7.3	12

V 桂川流域下水道

表5－4 2 放流河川調査結果 河川名：桂川（採水地点 金畑橋[放流口下流約450m]）

項 目		単 位	4/10	5/7	6/12	7/10	8/20	9/11	10/9	11/13	12/11	1/15	2/12	3/12	最大	最小	平均
一般生活環境項目	採水時刻		9:00	9:00	9:05	9:05	9:00	9:00	9:00	9:05	9:05	9:00	9:15	9:00	—	—	—
	水温	℃	12.0	14.0	17.5	23.5	24.0	22.0	19.0	10.5	7.0	5.0	8.5	9.5	24.0	5.0	14.4
	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
	水素イオン濃度	—	7.42	7.43	7.61	7.65	7.62	7.54	7.96	7.89	7.94	7.75	7.83	7.90	7.96	7.42	7.71
	溶存酸素量	mg/L	11	10	9.8	8.6	8.7	8.6	8.9	11	12	12	12	11	12	8.6	10
	生物化学的酸素要求量	mg/L	0.9	0.8	0.8	1.1	0.8	0.7	0.9	<0.5	0.7	0.7	0.5	0.9	1.1	<0.5	0.7
	化学的酸素要求量	mg/L	1.9	2.3	2.0	2.0	1.5	1.9	1.5	3.7	1.7	1.5	1.7	1.7	3.7	1.5	2.0
	浮遊物質質量	mg/L	1.8	2.2	2.4	2.5	1.9	1.3	2.3	12	<1.0	1.1	2.5	1.1	12	<1.0	2.6
	大腸菌数	CFU/mL	2	3	1	2	2	5	5	12	1	0	1	1	12	0	3
	窒素含有量	mg/L	1.25	0.53	0.64	1.05	1.04	1.09	0.97	1.11	0.70	1.62	1.42	1.63	1.63	0.53	1.09
特殊項目	燐含有量	mg/L	<0.06	<0.06	0.11	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	0.15	0.10	0.15	<0.06	<0.06
	アンモニア性窒素含有量	mg/L	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16
	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.02	<0.02	0.02	<0.02	<0.02
	硝酸性窒素含有量	mg/L	1.08	0.53	0.64	0.85	0.81	1.09	0.97	0.90	0.70	1.42	1.17	1.45	1.45	0.53	0.97
	燐酸イオン態燐含有量	mg/L	<0.05	<0.05	0.07	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.14	0.10	0.14	<0.05	<0.05

表5－4 3 放流河川調査結果 河川名：桂川（採水地点 塩瀬橋[放流口上流約350m]）

項 目		単 位	4/10	5/7	6/12	7/10	8/20	9/11	10/9	11/13	12/11	1/15	2/12	3/12	最大	最小	平均
一般生活環境項目	採水時刻		9:20	9:15	9:20	9:25	9:15	9:15	9:15	9:20	9:20	9:15	9:30	9:15	—	—	—
	水温	℃	12.0	14.0	17.5	23.5	24.0	22.0	19.0	10.5	7.0	4.5	8.5	9.0	24.0	4.5	14.3
	透視度	cm	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
	水素イオン濃度	—	7.39	7.34	7.63	7.64	7.69	7.50	7.95	7.76	7.80	7.74	7.80	7.88	7.95	7.34	7.68
	溶存酸素量	mg/L	11	10	9.9	8.9	8.9	8.8	9.1	11	12	13	12	12	13	8.8	11
	生物化学的酸素要求量	mg/L	0.6	0.7	0.8	0.9	0.7	0.6	0.8	<0.5	0.7	0.9	<0.5	0.6	0.9	<0.5	0.6
	化学的酸素要求量	mg/L	1.5	2.0	1.9	1.9	1.4	1.7	1.4	2.4	1.4	1.1	1.5	1.5	2.4	1.1	1.6
	浮遊物質質量	mg/L	1.7	2.3	2.2	2.6	2.1	1.7	2.3	14	<1.0	1.0	2.5	1.0	14	<1.0	2.8
	大腸菌数	CFU/mL	1	0	2	2	0	3	5	10	1	0	2	1	10	0	2
	窒素含有量	mg/L	0.88	0.30	0.65	0.77	0.82	1.07	0.87	1.13	0.46	0.97	1.31	1.11	1.31	0.30	0.86
特殊項目	燐含有量	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	0.15	<0.06	0.15	<0.06	<0.06
	アンモニア性窒素含有量	mg/L	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16	<0.16
	亜硝酸性窒素含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.02	<0.02	0.02	<0.02	<0.02
	硝酸性窒素含有量	mg/L	0.88	0.30	0.65	0.77	0.82	1.07	0.87	0.92	0.46	0.97	1.11	1.11	1.11	0.30	0.83
	燐酸イオン態燐含有量	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.14	0.06	0.14	<0.05	<0.05

表 5－4 4 臭気測定結果

項 目	敷地境界		規 制 値
採取年月日	令和7年8月22日	令和8年2月9日	
採取時刻	9:25	10:15	
臭気指数	<10	<10	15

項 目	放流口排水	規 制 値
採取年月日	令和7年8月22日	
採取時刻	9:10	
臭気指数	14	31

参 考 資 料

水質試験等実施要領

1. 水質試験等実施内容

1) 水質関係

項目 試験	試験回数	試料名	試験項目
日常試験	毎日	流入下水 最初沈殿池流出水 最終沈殿池流出水 放流水	水温、水素イオン濃度、 透視度、浮遊物質、 化学的酸素要求量、アルカリ度、 残留塩素（放流水のみ ※1）
中試験	1回／週	日常試験に同じ	日常試験と同様の項目、 生物化学的酸素要求量、 大腸菌数
精密試験 ※2	2回／月	流入下水 放流水	日常試験・中試験と同様の項目、 栄養塩類項目（ア）、健康項目（イ）、 生活環境項目（ウ）、蒸発残留物、 強熱残留物、溶解性物質、 よう素消費量
幹線調査	1回／年	幹線行政境において採取した 下水	水温、よう素消費量、 健康項目（イ）、生活環境項目（ウ）
通日試験	4回／年	流入下水 放流水 （2時間おきの24時間採水）	水素イオン濃度、浮遊物質、 生物化学的酸素要求量、 化学的酸素要求量、 大腸菌数（放流水のみ）

※1 日常試験の残留塩素は、桂川清流センターを除く。

※2 精密試験は、検出状況等により試験回数を減らしている項目がある。

2) 反応タンク関係

項目 試験	試験回数	試料名	試験項目
日常試験	毎日	反応タンク混合液（出口） 返送汚泥	水温、水素イオン濃度、 MLSS、MLVSS、SV30、 SVI
中試験	2回／月	反応タンク混合液（出口）	酸素利用速度、生物定量試験

参考資料

3) 汚泥関係

項目 試験	試験回数	試料名	試験項目
日常試験	毎日（ただし、脱水機稼働日に限る。）	脱水機供給汚泥 脱水ケーキ	固形分（含水率）
中試験	2回／月	重力濃縮汚泥 機械濃縮汚泥 脱水機供給汚泥 脱水ケーキ	水素イオン濃度（脱水ケーキを除く）、固形分（含水率）、有機分
返流水試験	2回／月	重力濃縮分離液 機械濃縮分離液 脱水分離液	水素イオン濃度、浮遊物質、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、アルカリ度
精密試験	4回／年	脱水ケーキ	含有試験(エ)、溶出試験(オ)

4) 環境調査関係

項目 試験	試験回数	試料名	試験項目
放流河川	1回／月	放流河川等の上流、下流水	水温、透視度、溶存酸素、栄養塩類項目(ア)、生活環境項目(ウ)の一部
臭気測定	2回／年	敷地境界	臭気指数
臭気測定	1回／年 (桂川清流センターのみ)	放流水	臭気指数

参考資料

- ア) 栄養塩類項目 : 窒素含有量、有機性窒素含有量、アンモニア性窒素含有量、
硝酸性窒素含有量、亜硝酸性窒素含有量、燐含有量、燐酸イオン態燐含有量
- イ) 健康項目 : カドミウム及びその化合物、シアン化合物、有機燐化合物、
六価クロム化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、(アルキル水銀化合物)、
ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、
ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、
シス 1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、
1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、
セレン及びその化合物、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物、1,4-ジオキサン
- ウ) 生活環境項目 : 水素イオン濃度、浮遊物質、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、
ノルマルヘキサン抽出物質含有量、大腸菌数、フェノール類含有量、
銅含有量、亜鉛含有量、溶解性鉄含有量、溶解性マンガン含有量、クロム含有量、
窒素含有量、燐含有量
- エ) 含有試験 : シアン化合物、鉄、マンガン、亜鉛、ニッケル、銅、鉛、カドミウム、
クロム、六価クロム、ひ素、水銀、含水率
- オ) 溶出試験 : シアン化合物、鉄、マンガン、亜鉛又はその化合物、銅又はその化合物、
鉛又はその化合物、カドミウム又はその化合物、六価クロム化合物、
砒素又はその化合物、水銀又はその化合物、アルキル水銀化合物、
有機燐化合物、ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、
テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、
1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、
1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、
チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物、1,4-ジオキサン

参考資料

2. 水質試験等実施方法

1) 水質試験

(1/2)

試 験 項 目	試 験 方 法
水温	JIS K0102-1 6.3
透視度	JIS K0102-1 8
水素イオン濃度	JIS K0102-1 12 ガラス電極法
蒸発残留物	JIS K0102-1 14.3
強熱残留物	JIS K0102-1 14.5
溶解性物質	JIS K0102-1 14.4
浮遊物質量	S46 環境庁告示第59号 付表8 ろ過重量法
アルカリ度	JIS K0102-1 15.2.2
生物化学的酸素要求量	JIS K0102-1 18 JIS K0102-1 21.4 隔膜電極法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-1 21.5 光学式センサ法(峡東)
化学的酸素要求量	JIS K0102-1 17.2 酸性過マンガン酸カリウムによる酸素消費量
アンモニア性窒素含有量	JIS K0102-2 13.2.2、13.4 インドフェノール青吸光光度分析法
亜硝酸性窒素含有量	JIS K0102-2 14.2 ナフチルエチレンジアミン吸光光度分析法
硝酸性窒素含有量	JIS K0102-2 15.3 還元蒸留-インドフェノール青吸光光度分析法
有機性窒素含有量	JIS K0102-2 16.4 インドフェノール青吸光光度分析法
窒素含有量	JIS K0102-2 17.2 総和法
磷酸イオン態リン含有量	JIS K0102-2 18.2.1 モリブデン青吸光光度分析法
リン含有量	JIS K0102-2 18.4.4 モリブデン青吸光光度分析法
大腸菌数	S37 厚生省・建設省令第1号 別表第1 定型的集落数平均値法
よう素消費量	S37 厚生省・建設省令第1号 別表第2 滴定法
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	JIS K0102-1 22.3 抽出法
シアン化合物	JIS K0102-2 9.3.2、9.5 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度分析法
フェノール類含有量	JIS K0102-4 5.2.3.2 4-アミノアンチピリン吸光光度分析法
鉄含有量	JIS K0102-3 16.3 フレーム原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 16.5 ICP 発光分光分析法(峡東)
溶解性鉄含有量	JIS K0102-3 4.2.2、16.3 フレーム原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 4.2.2、16.5 ICP 発光分光分析法(峡東)
マンガン含有量	JIS K0102-3 15.2 フレーム原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 15.4 ICP 発光分光分析法(峡東)
溶解性マンガン含有量	JIS K0102-3 4.2.2、15.2 フレーム原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 4.2.2、15.4 ICP 発光分光分析法(峡東)
亜鉛含有量	JIS K0102-3 12.2 フレーム原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 12.4 ICP 発光分光分析法(峡東)
銅含有量	JIS K0102-3 11.3 フレーム原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 11.5 ICP 発光分光分析法(峡東)
鉛及びその化合物	JIS K0102-3 13.3 電気加熱原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 13.4 ICP 発光分光分析法(峡東)
カドミウム及びその化合物	JIS K0102-3 14.3 電気加熱原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 14.4 ICP 発光分光分析法(峡東)
クロム含有量	JIS K0102-3 24.2.3 電気加熱原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 24.2.4 ICP 発光分光分析法(峡東)
六価クロム化合物	JIS K0102-3 24.3.3.4、24.2.3 電気加熱原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 24.3.3.4、24.2.4 ICP 発光分光分析法(峡東)
砒素及びその化合物	JIS K0102-3 20.3 水素化物発生原子吸光分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 20.4 水素化物発生 ICP 発光分光分析法(峡東)
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	S46 環境庁告示第59号 付表2 原子吸光分析法
トリクロロエチレン	JIS K0125 5.5 溶媒抽出ガスクロマトグラフ法(峡東、釜無川) JIS K0125 5.4.1 ヘッドスペース-ガスクロマトグラフ法(ECD)(富士北麓、桂川)
テトラクロロエチレン	JIS K0125 5.5 溶媒抽出ガスクロマトグラフ法(峡東、釜無川) JIS K0125 5.4.1 ヘッドスペース-ガスクロマトグラフ法(ECD)(富士北麓、桂川)

試 験 項 目	試 験 方 法
アルキル水銀化合物	S46 環境庁告示第 59 号 付表 3、S49 環境庁告示第 64 号 付表 1 ガスクロマトグラフ法(ECD)
有機燐化合物	JIS K0102-4 7.2.1、7.2.3 ガスクロマトグラフ法(FPD)
ポリ塩化ビフェニル	S46 環境庁告示第 59 号 付表 4 ガスクロマトグラフ法(ECD)
ジクロロメタン	JIS K0125 5.2.1 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法
四塩化炭素	JIS K0125 5.2.1 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法
1,2-ジクロロエタン	JIS K0125 5.2.1 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法
1,1-ジクロロエチレン	JIS K0125 5.2.1 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法
シス 1,2-ジクロロエチレン	JIS K0125 5.2.1 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法
1,1,1-トリクロロエタン	JIS K0125 5.2.1 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法
1,1,2-トリクロロエタン	JIS K0125 5.2.1 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法
1,3-ジクロロプロペン	JIS K0125 5.2.1 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法
チウラム	S46 環境庁告示第 59 号 付表 5 固相抽出・高速液体クロマトグラフ法
シマジン	S46 環境庁告示第 59 号 付表 6(第 1) 固相抽出・ガスクロマトグラフ質量分析法
チオベンカルブ	S46 環境庁告示第 59 号 付表 6(第 1) 固相抽出・ガスクロマトグラフ質量分析法
ベンゼン	JIS K0125 5.2.1 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法
セレン及びその化合物	JIS K0102-3 26.2 水素化物発生原子吸光分析法(富士北麓、峡東、釜無川) JIS K0102-3 26.4 ICP 質量分析法(桂川)
ほう素及びその化合物	JIS K0102-3 5.3 アゾメチン H 吸光光度分析法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-3 5.5 ICP 発光分光分析法(峡東)
ふっ素及びその化合物	JIS K0102-2 5.2、5.3 ランタン-アリザリンコンプレキソン吸光光度分析法
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	JIS K0102-2 13.2.2、13.4 インドフェノール青吸光光度分析法 JIS K0102-2 15.3 還元蒸留-インドフェノール青吸光光度分析法
1,4-ジオキサン	S46 環境庁告示第 59 号 付表 7 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法
溶存酸素	JIS K0102-1 21.4 隔膜電極法(富士北麓、釜無川、桂川) JIS K0102-1 21.5 光学式センサ法(峡東)
残留塩素	JIS K0102-1 23.2 DPD 比色法
MLSS	下水試験方法(2012)4.1.6 遠心分離法
MLVSS	下水試験方法(2012)4.1.7

参考資料

2) 汚泥試験

含 有 試 験	
試 験 項 目	試 験 方 法
カドミウム	下水汚泥分析方法(2007) 9. 6. 1(富士北麓、釜無川、桂川) 9. 6. 2(峡東)
シアン化合物	下水試験方法(2012) 5. 1. 25
鉛	下水汚泥分析方法(2007) 9. 23. 1(富士北麓、釜無川、桂川) 9. 23. 2(峡東)
六価クロム	下水試験方法(2012) 3. 2. 4
ひ素	下水汚泥分析方法(2007) 9. 2. 2(富士北麓、釜無川、桂川) 9. 2. 3(峡東)
水銀	下水汚泥分析方法(2007) 9. 14. 1
銅	下水汚泥分析方法(2007) 9. 11. 1(富士北麓、釜無川、桂川) 9. 11. 2(峡東)
ニッケル	下水汚泥分析方法(2007) 9. 21. 1(富士北麓、釜無川、桂川) 9. 21. 2(峡東)
亜鉛	下水汚泥分析方法(2007) 9. 30. 1(富士北麓、釜無川、桂川) 9. 30. 2(峡東)
鉄	下水汚泥分析方法(2007) 9. 13. 2(富士北麓、釜無川、桂川) 9. 13. 3(峡東)
マンガン	下水汚泥分析方法(2007) 9. 17. 1(富士北麓、釜無川、桂川) 9. 17. 2(峡東)
クロム	下水汚泥分析方法(2007) 9. 9. 1(富士北麓、釜無川、桂川) 9. 9. 2(峡東)
含水率	下水試験方法(2012) 5. 1. 6
溶 出 試 験	
試 験 項 目	試 験 方 法
カドミウム又はその化合物	JIS K0102-3 14. 3、14. 4 又は 14. 5
シアン化合物	JIS K0102-2 9. 3. 2、9. 5 又は S46 環境庁告示第 59 号 付表 1
有機燐化合物	JIS K0102-4 7. 2. 1、7. 2. 3
鉛又はその化合物	JIS K0102-3 13. 3、13. 4 又は 13. 5
六価クロム化合物	JIS K0102-3 24. 3. 4、24. 3. 5 又は 24. 3. 6
砒素又はその化合物	JIS K0102-3 20. 3、20. 4 又は 20. 5
水銀又はその化合物	S46 環境庁告示第 59 号 付表 2
アルキル水銀化合物	S46 環境庁告示第 59 号 付表 3、S49 環境庁告示第 64 号 付表 1
ポリ塩化ビフェニル	S46 環境庁告示第 59 号 付表 4
銅又はその化合物	JIS K0102-3 11. 3 又は 11. 5
亜鉛又はその化合物	JIS K0102-3 12. 2 又は 12. 4
鉄	JIS K0102-3 16. 3 又は 16. 5
マンガン	JIS K0102-3 15. 2 又は 15. 4
トリクロロエチレン	JIS K0125 5. 2. 1、5. 4. 1 又は 5. 5
テトラクロロエチレン	JIS K0125 5. 2. 1、5. 4. 1 又は 5. 5
ジクロロメタン	JIS K0125 5. 2. 1
四塩化炭素	JIS K0125 5. 2. 1
1, 2-ジクロロエタン	JIS K0125 5. 2. 1
1, 1-ジクロロエチレン	JIS K0125 5. 2. 1
シス-1, 2-ジクロロエチレン	JIS K0125 5. 2. 1
1, 1, 1-トリクロロエタン	JIS K0125 5. 2. 1
1, 1, 2-トリクロロエタン	JIS K0125 5. 2. 1
1, 3-ジクロロプロペン	JIS K0125 5. 2. 1
チウラム	S46 環境庁告示第 59 号 付表 5
シマジン	S46 環境庁告示第 59 号 付表 6(第 1)
チオベンカルブ	S46 環境庁告示第 59 号 付表 6(第 1)
ベンゼン	JIS K0125 5. 2. 1
セレン又はその化合物	JIS K0102-3 26. 2 又は 26. 4
1, 4-ジオキサン	S46 環境庁告示第 59 号 付表 7

参考資料

3) 臭気測定

分 析 項 目	分 析 方 法
臭気指数（敷地境界）	H7 環境庁告示第 63 号別表 三点比較式臭袋法
臭気指数（放流口排出水）	H7 環境庁告示第 63 号別表 三点比較式フラスコ法

維持管理年報（令和 7 年度版）

令和 8 年 1 0 月発行
公益財団法人 山梨県下水道公社

事務局・峡東浄化センター

〒406-0046 山梨県笛吹市石和町東油川字北畑 4 1 7 番地
電話 055-263-2738 FAX 055-263-2738

富士北麓浄化センター

〒403-0008 山梨県富士吉田市下吉田東四丁目 2 6 番 1 号
電話 0555-22-2259 FAX 0555-22-2188

釜無川浄化センター

〒400-0505 山梨県南巨摩郡富士川町長澤 1 7 9 0 番地
電話 0556-22-8511 FAX 0556-22-8513

桂川清流センター

〒409-0505 山梨県大月市梁川町塩瀬 8 0 0 番地
電話 0554-26-3401 FAX 0554-26-3403

ホームページアドレス <https://www.yamanashi-swc.or.jp/>

電子メールアドレス webmaster@yamanashi-swc.or.jp

X（旧Twitter） https://x.com/yamanashi_swc